

陸前高田市文化財調査報告書第28集

袖野 I 遺跡

平成22年3月

陸前高田市教育委員会

発刊にあたり

陸前高田市は、岩手県の東南部に位置し、三陸海岸特有のリアス式海岸と北上山系の山々に囲まれた温暖な地です。海と山からの豊かな恵みは、古来より今日に至るまでこの地に住む人々に大きな幸を与え続けています。先人たちが、この豊かな自然環境のあるこの地を選択し、生活を営み、文化を育んできたことは、250箇所以上もの遺跡が市内に存在することにあらわれています。その中でも、袖野I遺跡が位置している広田半島には、国指定史跡 中沢浜貝塚や、縄文時代後期の標識土器となっている「門前式土器」で有名な門前貝塚などの著名な遺跡が数多く存在していることで知られています。

これらの多くの遺跡は、現在の陸前高田市の成り立ちを考える上で、貴重な財産であり、後世に残していくために大切に保護していかなければならないものです。

しかし、近年増加傾向にある開発事業により、遺跡やその周辺環境は変化を遂げつつあります。このことは本市においても例外ではなく、各関係機関との調整を図っているものの、やむを得ぬ事情により緊急発掘調査を実施するに至っております。

開発事業などによって失われてしまう遺跡については、発掘調査をおこない、その記録保存を残すことが私たちに課せられた重要な責務であり、後世に地域の歴史を伝える一役を担うことになります。

袖野I遺跡では、陸前高田市の先史、とりわけ縄文前期から晩期までの生活史を知る上で貴重な成果を得ることができました。

この度ここに刊行されました、「袖野I遺跡発掘調査報告書」を地域の方々をはじめ研究者の方々にご活用いただき、埋蔵文化財の保護に対する关心と理解を深めるとともに、さらなる普及啓蒙にお役立て下されば幸いです。

おわりに、これまでの発掘調査に従事及び協力してくださった多くの方々、並びに関係各位に深く感謝申し上げますとともに、今後ともご指導・ご協力を賜りますようお願い申し上げます。

陸前高田市教育委員会

教育長 伊藤 壽

例 言

- 1 本書は、岩手県陸前高田市広田町字袖野地内に位置する袖野Ⅰ遺跡の発掘調査報告書であり、平成15年度におこなわれた調査を取りまとめたものである。
- 2 袖野Ⅰ遺跡の発掘調査は、宅地造成に伴う緊急発掘調査である。調査は、陸前高田市広田町字袖野195-5 金沢菊男氏より依頼を受け、陸前高田市教育委員会生涯学習課で担当した。
- 3 調査期間、調査体制は以下のとおりである。

調査期間	平成15年8月1日～10月30日
調査体制	団長 砂田康郎 陸前高田市教育委員会教育長
	総括 吉田明郎 陸前高田市教育委員会生涯学習課長
	事務局 岡本教司 陸前高田市教育委員会生涯学習課長補佐
	調査員 佐藤正彦 陸前高田市教育委員会生涯学習課副主幹
	水野(遠野)いずみ 陸前高田市教育委員会生涯学習課主事
	遠藤勝博 発掘調査員
	遠藤(坂本)優子 ノ
- 4 野外調査は水野いずみが担当した。室内整理は水野いずみ、佐藤正彦、遠藤優子がおこなった。
- 5 本報告書の執筆は、V・VIの石器を遠藤優子が担当し、他は佐藤正彦が執筆した。編集・構成は佐藤正彦が担当した。
- 6 石材鑑定は佐藤悦郎氏（大船渡市役所）に依頼した。
- 7 野外調査に際しては、次の方々の協力をいただいた。(順不同・敬称略)
金澤キミヨ、熊谷タケ子、金野玲子、西條嘉代子、桜井一子、佐々木サヨ子、佐藤多恵子、
佐藤とも子、鈴木初子、千田礼子、前川ヨシ子、渡辺和子、吉田チヨ子
- 8 室内整理及び報告書の作成にあたり、次の方々の協力をいただいた。(順不同・敬称略)
青山道子、岩崎ミヨ子、岡本典子、菅野トシエ、金野玲子、村上奈穂子、佐々木のり子、
佐藤紀代子、佐藤多恵子、佐藤とも子、佐藤洋子、菅原とみ子、鈴木貞子、鈴木初子、
戸羽由美、新沼カチ子、新沼浩美、藤井明美
- 9 揭載した土層の色調は、「新版標準土色帖」第4版（小山正忠・竹原秀雄編著 1973）によった。
- 10 本遺跡から出土した遺物及び調査資料は、陸前高田市埋蔵文化財収納庫に保管している。
- 11 野外調査においては、広田町袖野地区をはじめとする地元の方々のご協力をいただいた。
- 12 調査対象面積は19.2m²であるが、遺構確認作業の結果、精査面積を17.6m²に絞り込んでいる。

目 次

発刊にあたり

例言

目次

I 調査に至る経過	1
II 遺跡の位置・と環境	
1 遺跡の位置と周辺の環境	1
2 基本層序	5
3 周辺の遺跡	7～8
III 調査と室内整理の方法	10
1 調査方法	
2 室内整理	
IV 発見された遺構	
1 土坑	11～25
2 燃土遺構	25～26
3 埋設土器	27
V 遺構出土遺物	
1 土器	30～51
2 土製品	51～52
3 石器	97～103
VI 考察とまとめ	114～119
報告書抄録	

挿図目次

第1図 袖野I遺跡位置図	2
第2図 袖野I遺跡地形図	3
第3図 地形分類概念図	4
第4図 基本層序	6
第5図 周辺の遺跡分布図	8
第6図 遺構配置図	11
第7図 A1-1土坑及び出土遺物	12
第8図 A2-1土坑	13
第9図 A2-2土坑及び出土遺物	13
第10図 B1-1土坑	14
第11～16図 B1-1土坑出土遺物	16～21
第17図 C1-1土坑	22
第18～20図 C1-1土坑出土遺物	23～25
第21図 B2-1・C1-1燃土遺構及び出土遺物	26
第22図 C1-1埋設土器	27

第23～53図 遺構外出土土器	53～83
第54～57図 土製品	84～87
第58・59図 石器	104・105

写真図版目次

写真図版 1 調査区遠景・完掘状況	122
写真図版 2 A1～F1西壁セクション	123
写真図版 3 A1～3南壁セクション F1～2北壁セクション	124
写真図版 4 A1-1土坑検出状況・A2-1土坑土層断面 ・A2-2土坑検出状況・B1-1土坑土層断面・完掘状況	125
写真図版 5 C1-1土坑土層断面・完掘状況 B2-1・C1-1焼土遺構土層断面 C1-1埋設土器検出状況・埋設状況・土層断面・完掘状況	126
写真図版 6～8 遺構内出土遺物	127～129
写真図版 9～18 遺構外出土土器	130～139
写真図版19 土製品	140
写真図版20～25 石器	141～146

表目次

第1表 周辺の遺跡一覧表	9
第2表 遺構内出土土器一覧表	28
第3表 遺構内出土土製品一覧表	29
第4表 遺構内出土石器一覧表	29
第5表 遺構外出土土器一覧表	88～95
第6表 土製品一覧表	96
第7表 石器一覧表	106～113

I 調査に至る経過

平成15年1月20日、岩手県陸前高田市米崎町字中島36-5の鈴木工建より、陸前高田市広田町字袖野195-5の金野菊男氏の宅地造成を2月にしたい旨の相談があった。当教育委員会では、当該地は遺跡であるため事前の試掘調査あるいは発掘調査が必要であることを話し、工事開始の延期と、文化財保護法第57条第2項の規定に基づく書類の提出を依頼した。

次いで平成15年3月5日、鈴木工建と再度の打ち合わせを行い、3月中に試掘調査に入りたい旨を話したところ、5月以降にして欲しいとの申し出があった。

平成15年7月、陸前高田市広田町字袖野195-5金野菊男氏より文化財保護法第57条第2項での届出がなされ、平成15年7月8日付け陸高教生第94号で陸前高田市教育委員会の現地調査書を添えて副申した。平成15年7月10日付け教生第20-158号で、岩手県教育委員会より埋蔵文化財の発掘の通知があり、工事着手前に発掘調査を実施する旨の指導があった。

平成15年7月18日付け陸高教生第107号で本人に通知。国庫補助を導入して、平成15年8月1日より平成15年10月30日まで緊急発掘調査を実施した。発掘終了後、出土遺物の洗浄等を行うとともに、出土資料の数の把握に努め、平成16年3月2日付け陸高教生第217号で大船渡警察署長に埋蔵物発見届を提出し、同日、陸高教生第218号で岩手県教育委員会教育長あてに埋蔵文化財保管証を提出した。平成16年3月31日付け教生第150-90号で、岩手県教育委員会教育長より埋蔵物の文化財認定の通知があり、ついで平成16年6月8日付け陸高教生第60号で文化財譲与申請書を生涯学習文化課長に提出し、平成16年10月4日付け教生第924号で出土文化財の譲与についての通知があり、出土遺物は陸前高田市に帰属した。遺物は、現在、陸前高田市埋蔵文化財収納庫で保管している。

II 遺跡の位置と環境

1 遺跡の位置と周辺の環境（第1図・2図・3図）

袖野I遺跡は、岩手県陸前高田市広田町字袖野地内に所在し、市の中心部から東南東方向へ直線にして約7km、岩手県交通広田線の袖野バス停付近に位置する。

陸前高田市は岩手県の東南端に位置し、宮城県に隣接している。市境は、東は大船渡市、西は一関市、南は気仙沼市、北は気仙郡住田町に隣接し、東南方向は太平洋と面している。

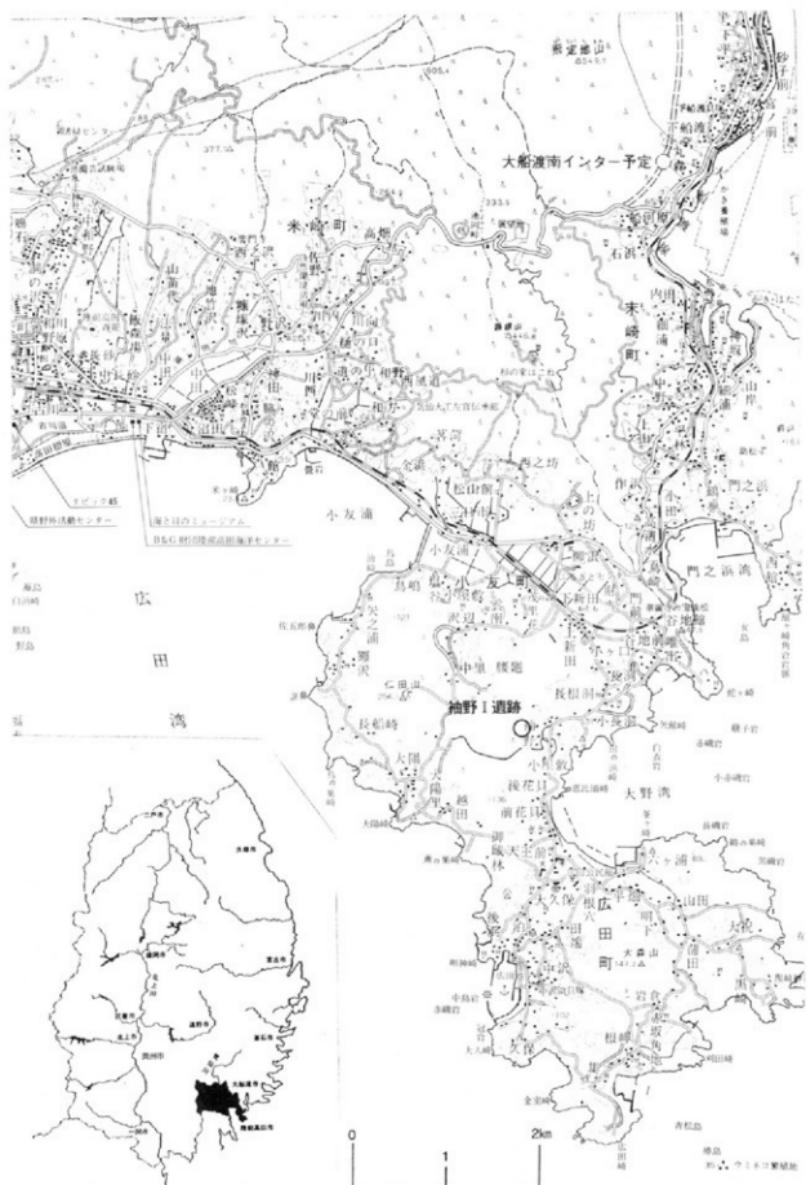
袖野I遺跡が所在する広田町は、リアス式海岸特有の突起した岬と湾入が交互に連続する複雑な海岸線の最南端市域の東南に位置する広田半島にある。広田半島は、北で小友町に隣接し、東をC字状に湾入する大野湾と西を逆U字状の広田湾に周囲を囲まれている。

広田半島の付け根には西方から小友浦が入り込み、その先には海拔10m以下の低地帯が広がり、繩文海進期には広田半島は島になっていたと考えられる。

遺跡は、大野湾を眼下に望む仁田山（標高234m）の山塊の内、仁田山山頂の東側に位置する標高202mの峰の東側に広がる緩斜面の裾に位置している。

地目は、現在は主に水田や畠地として利用されている。

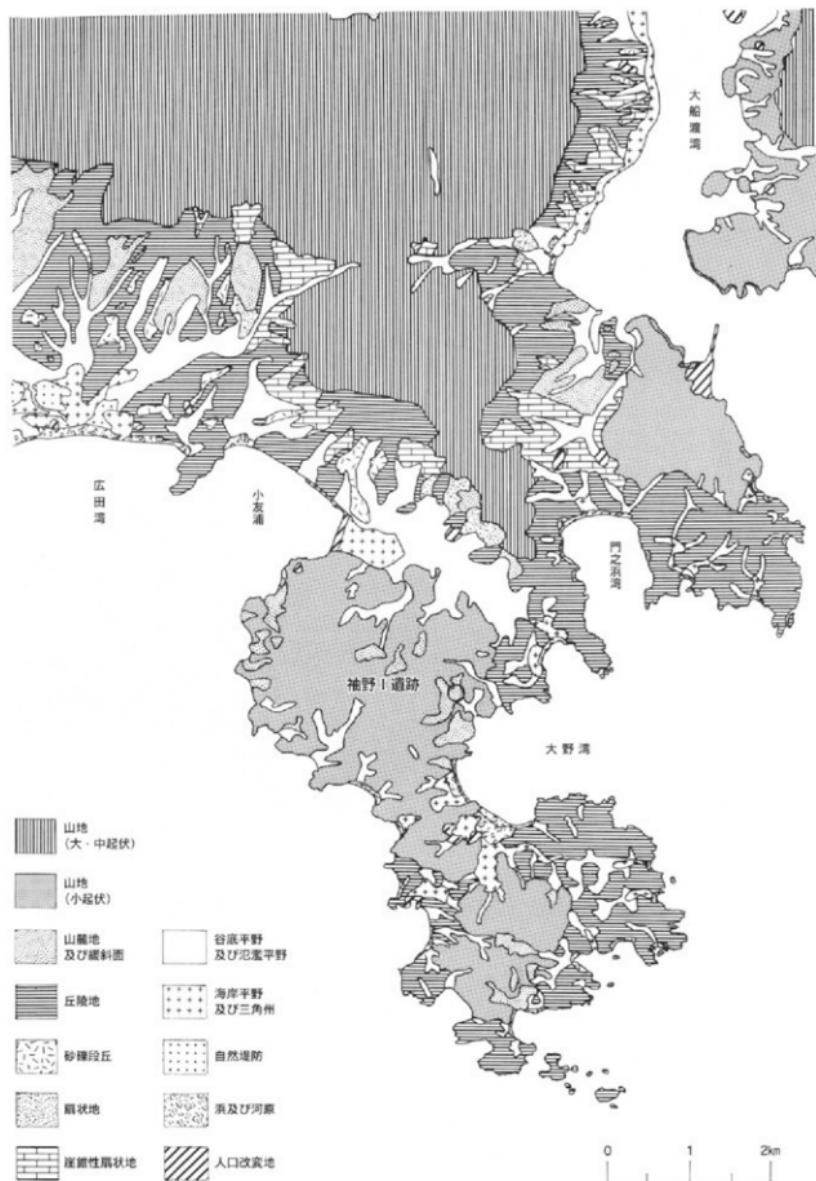
昭和53年には県道広田半島線の改良工事に伴い緊急発掘調査がおこなわれ平安時代の堅穴住居1棟が検出されている。



第1図 袖野I遺跡 位置図



第2図 袖野Ⅰ遺跡 地形図



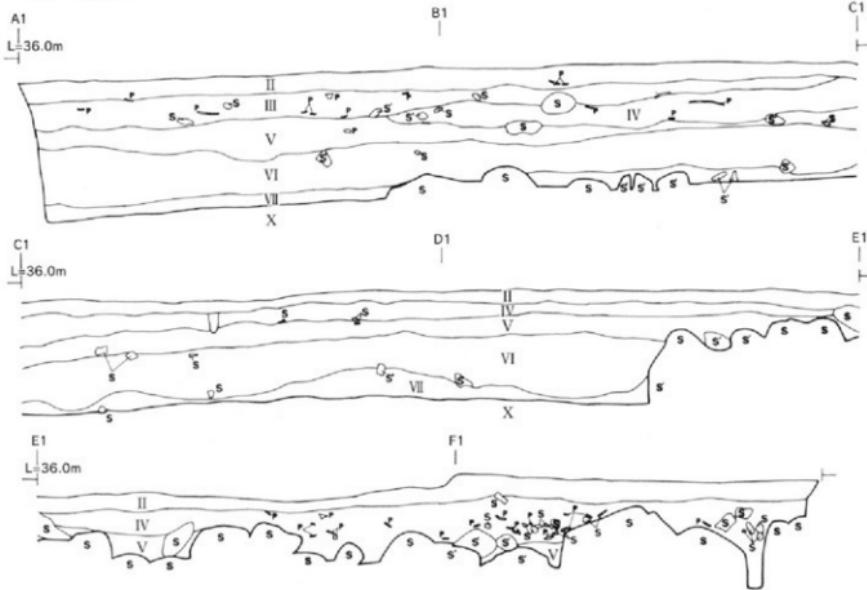
第3図 地形分類概念図

2 基本層序（第4図）

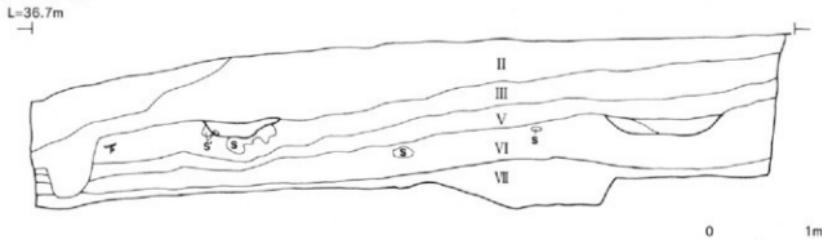
基本層序は、東方向に傾斜する緩斜面に設置した発掘区の、南壁・西壁・北壁の層序のうち、遺構内の層を除いた層序を記載したものである。概括すると層は10層に大別される。以下、その概要について触れる。なお、VII層・IX層については、発掘時において土層注記を失念し詳細は不明である。

- I層 10YR4/2 灰黄褐色土層。A 2 グリット南壁でのみ検出。土質は細砂。炭化物・焼土無し。粘性は無く柔らかい。しまりが無く、真砂・礫を含む。人工遺物は無い。攪乱層である。最大層厚は、A 2 グリット東南端で38cmを測る。
- II層 10YR4/2 灰黄褐色土層。発掘区全体に広がる層。土質は細砂。炭化物・焼土無し。粘性は無くやや硬い。しまりが無く、真砂・礫を含まない。人工遺物は縄文土器片を微量に含んでいる。攪乱層である。最大層厚は、A 2 グリット南壁で63cmを測る。
- III層 10YR3/2 黒褐色土層。発掘区南側のA 1・A 2 グリットでは層は比較的の厚いが、B 1 グリットで消える。土質は細砂。炭化物・焼土無し。粘性は弱く柔らかい。しまりが無く、真砂を含まない。礫有り。人工遺物は縄文土器片を少量含んでいる。最大層厚は、A 2 グリット南壁で32cm程である。
- IV層 10YR3/3 暗褐色土層。発掘区のB 1 グリットの北側に広がる層である。土質は細砂。炭化物を微量、焼土を少量含む。粘性は弱くやや硬い。しまり有り。真砂を含まない。礫有り。人工遺物は縄文土器片を多く含んでいる。最大層厚は、F 1 グリット北壁で35cm程を測る。
- V層 10YR3/3 暗褐色土層。発掘区全体にほぼ広がるが北壁には無い。土質は細砂。炭化物微量、焼土少量含む。粘性は弱くやや硬い。しまりが有り、真砂を含まない。礫有り。人工遺物は縄文土器片を多く含んでいる。最大層厚は、A 1 グリット西壁で40cm程である。
- VI層 10YR2/2 黒褐色土層。発掘区の中央から南側にかけて検出した。土質は細砂。炭化物・焼土無し。粘性は弱く硬い。しまりが有り、真砂・礫を含む。人工遺物は無い。最大層厚は、D 1 グリット西壁で60cm程である。
- VII層 10YR5/3 にぶい黄褐色土層。発掘区の中央から南側にかけての花崗岩の基盤上に堆積する層である。土質は細砂。炭化物・焼土無し。粘性は無く柔らかい。しまりが有り、真砂・礫を含む。人工遺物はほとんど無い。最大層厚は、C 1 グリット西壁で30cm程を測る。
- X層 花崗岩の岩盤である。発掘区の中央付近より南側は、比較的平坦であるが、北側は大小様々な円形あるいは梢円形の花崗岩礫が岩盤に食い込んだ状態で露出している。岩脈の違いであろうか、広田半島においては、このような円形あるいは梢円形の花崗岩礫の露出が隨所に散見される。

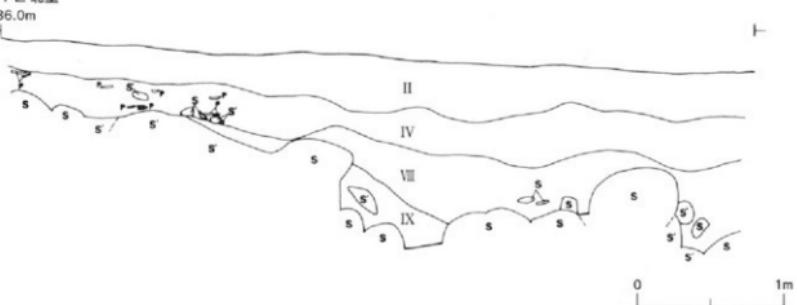
A1 ~ F1 西壁



A1 ~ A3 南壁



F1 + F2 北壁



第4図 基本層序

3 周辺の遺跡（第5図・第1表）

三陸沿岸には、貝塚や多数の遺跡が所在している。陸前高田市に隣接する大船渡市には、国指定史跡の蛸の浦貝塚・大洞貝塚・下船渡貝塚などの著名な貝塚が集中している。

陸前高田市内においてもこれまで250を越す遺跡が確認されており、特に袖野I遺跡の位置する広田半島には、国指定史跡「中沢浜貝塚」(71)や大陽台貝塚(52)、鰐沢貝塚(26)、雲南遺跡(33)といった著名な貝塚や遺跡を見ることができる。

現在確認されている遺跡の時代ごとの分布状況であるが、縄文時代早期の遺跡としては、市内においては3遺跡が知られる。小友町にある貝殻文系土器を主体とする上の坊遺跡(9)、広田町にある平安期まで続く国指定史跡の中沢浜貝塚(71)、図幅外ではあるが国道343号の改修工事の際の事前の調査によって早期遺物の発見された矢作町の梅木遺跡が知られる。

縄文時代前期の遺跡は、小友地区では仁田山(標高254m)北斜面の海拔50m以下の地点に雲南遺跡(33)・小屋敷遺跡(18)、西側斜面には鰐沢貝塚があるが、鰐沢貝塚は前期前葉の限られた時期のみである。広田地区では仁田山の南斜面の海岸部に大陽貝塚(53)と大陽台貝塚(52)があり、東側には縄文時代晚期まで続く袖野I遺跡(56)がある。このうち雲南遺跡・大陽台貝塚は大規模な遺跡であり、本市の縄文時代前期を代表する屈指の遺跡である。広田半島先端では、この頃、大森山(標高147.2m)の南側に金室貝塚(85)、集遺跡(86)もみられるようになった。

縄文時代中期になると、遺跡の数は前期と比べると非常に多くなり、図幅内では14遺跡が知られる。広田地区のうち、仁田山山麓で確認できる遺跡は小屋敷遺跡(18)・矢の浦I遺跡(23)・雲南遺跡(33)・柏崎遺跡(51)・大陽台貝塚(52)・袖野I遺跡(56)があり、大森山山麓では中沢遺跡(69)・中沢浜貝塚(71)・内田遺跡(74)・根岬遺跡(78)・胡畠遺跡(81)があり、広田湾岸及び大野湾岸に遺跡が分布する。広田半島外では、堂の前貝塚(1)・岩井沢遺跡(5)・三日市遺跡(10)・門前貝塚(42)がある。

縄文時代後期になると遺跡数は増え図幅内では17遺跡が知られる。広田半島では、仁田山山麓では広田湾を望む西側斜面及び南側斜面に遺跡の分布が広がり、鳥嶋II遺跡(12)・塙谷I遺跡(13)・矢の浦I遺跡(23)・矢の浦III遺跡(25)・鰐沢II遺跡(47)・船荒遺跡(49)・大陽貝塚(53)・赤沼遺跡(66)がある。大森山山麓では、広田湾を望む西側斜面には中沢遺跡(69)・中沢浜貝塚(71)・久保遺跡(75)がある。また、後期になって外洋を望む大森山の東側斜面にも遺跡が分布するようになり、大祝I遺跡(82)・岩倉遺跡(83)・黒崎遺跡(84)が知られる。この時期の著名な遺跡としては、半島の付け根の低地帯北側に、弓矢状の配石や帯状の配石が発見された門前貝塚(42)が立地している。

縄文時代晚期から弥生時代にかけての遺跡数は激減する。図幅内では晩期遺跡が6遺跡、弥生時代の遺跡が3遺跡知られるのみである。晩期遺跡は、仁田山山麓の西側斜面の鰐沢地区において鰐沢貝塚(26)・鰐沢I遺跡(27)・鰐沢II遺跡(47)が、東側斜面では小長洞遺跡(58)が知られる。大森山山麓においては、西側斜面で、中沢浜貝塚(71)・久保貝塚(75)が知られる。晩期の遺跡数は6遺跡と少ないが、貝塚が多いのが特色である。弥生時代の遺跡は、長洞遺跡(46)・小長洞遺跡(58)・中沢浜貝塚(71)の3遺跡のみが知られる。

古代の遺跡は、主たる生業が、狩猟採集から農耕へと変わったせいであろうか、広田半島の付け根部分にある低地帯を挟むように、両側の斜面に遺跡の分布が集中するのが特色である。また、遺跡数も図幅内で26遺跡と数が増える。遺跡の分布は、低地帯の北側斜面には金浜遺跡(2)・両

替 I 遺跡(3)・岩井沢遺跡(5)・西之坊遺跡(6)・松山前遺跡(8)・三日市遺跡(10)・谷地館遺跡(61)が、低地帯の南側斜面には鳥嶋 I 遺跡(11)・鳥嶋 II 遺跡(12)・塩谷 II 遺跡(15)・塩谷 III 遺跡(16)・森崎 I 遺跡(32)・森崎 II 遺跡(34)・森崎 III 遺跡(35)・新田遺跡(43)・小ヶ口遺跡(44)・小長洞遺跡(58)がある。広田半島中にも遺跡が増え、櫛沢 III 遺跡(28)・腰廻 I 遺跡(36)・腰廻 II 遺跡(37)・腰廻 III 遺跡(38)・袖野 I 遺跡(56)・小屋敷遺跡(60)・大陽崎遺跡(65)・久保貝塚(75)・黒崎遺跡(84)がある。古代の遺跡の中で特色的な遺跡として、岩井沢遺跡(5)からは毛抜形蘆手刀一振りが出土しており市指定の有形文化財となっている。大陽崎遺跡(65)からは製塙土器が出土しており海岸特有の遺跡となっている。



第5図 周辺の遺跡分布図

第1表 周辺の遺跡一覧表

No.	遺跡コード	遺跡名	種別	時代	遺構・遺物	所在地	備考
1	NF-69-2130	東の石垣	集落跡・貝塚	縄文	住居址・縄文土器(中・後)・土師器	米原町引葉の街	昭和46年、平成8~9年調査
2	NF-69-2131	東の石垣	集落跡	古代	住居址	小友町引葉	
3	NF-69-2176	西の石垣	集落跡	縄文	住居址・縄文土器・土師器	小友町引葉	
4	NF-69-2167	西の石垣	集落跡	縄文	住居址・土師器	小友町引葉	
5	NF-69-2220	井戸川	集落跡	縄文	住居址	小友町引葉	
6	NF-69-2252	西之站	散布地	縄文	縄文土器(中)・土師器・漆器・織物器・縄文刀	小友町引葉	
7	NF-69-2267	中西川	散布地	縄文	縄文土器	小友町引葉	
8	NF-69-2270	松山川	集落跡	縄文・古・代	縄文土器・土師器	小友町引葉・松山川	平成16年復元センター調査
9	NF-69-2380	中西川上の方	散布地	縄文	縄文土器(早・後)	小友町引葉	
10	NF-78-0108	二日市	集落跡	縄文・古・代	縄文土器(中)・土師器	小友町引葉・三日市	
11	NF-78-0166	飛龍	集落跡	古	土師器	小友町引葉	
12	NF-78-0173	飛龍Ⅱ	散布地	縄文・古・代	縄文土器(後)・土師器	小友町引葉	
13	NF-78-0178	鳴谷川	散布地	縄文	縄文土器(後)	小友町引葉	
14	NF-78-0182	飛龍Ⅲ	散布地	縄文	縄文土器	小友町引葉	
15	NF-78-0184	飛龍Ⅳ	散布地	古	土師器	小友町引葉	
16	NF-78-0188	飛龍Ⅴ	散布地	古	土師器	小友町引葉	
17	NF-78-0189	鳴谷川	散布地	縄文	縄文土器	小友町引葉	
18	NF-78-0241	小屋敷	散布地	縄文	縄文土器(前・中)・石核・断片	小友町引葉	
19	NF-78-0312	飛龍Ⅵ	散布地	縄文	石核・石片	小友町引葉・飛龍	
20	NF-78-0321	飛龍Ⅶ	散布地	中世	瓦	小友町引葉	
21	NF-78-0358	火薙	城郭跡	中世	瓦	小友町引葉・火薙	
22	NF-78-0362	貢台	散布地	縄文	縄文土器・断片	小友町引葉	
23	NF-78-1027	矢の通	散布地	縄文	縄文土器(前・中・後)	小友町引葉・矢之通	
24	NF-78-1037	矢の通Ⅱ	散布地	縄文	フジコロト・浮出土器・土壇・石器	小友町引葉・矢之通	平成15年調査
25	NF-78-1048	矢の通Ⅲ	散布地	縄文	縄文土器(後)・骨器	小友町引葉・矢之通	
26	NF-78-1067	第六段標	貝塚	縄文	縄文土器(晚)・骨器	小友町引葉	昭和50年、平成10~16年調査
27	NF-78-1079	鳴谷川	散布地	縄文	縄文土器(晚)	小友町引葉	
28	NF-78-1098	御室川	散布地	古	内輪土師	小友町引葉	
29	NF-78-1149	沢辺	散布地	縄文	縄文土器	小友町引葉	
30	NF-78-1159	中里川	散布地	縄文	縄文土器・土師器	小友町引葉	
31	NF-78-1202	沢辺	散布地	縄文	縄文土器・石器	小友町引葉	
32	NF-78-1205	森森	散布地	古	土師器	小友町引葉・森森	
33	NF-78-1214	西面	集落跡	縄文	住居址・陶器(早・中・中)・弦纹土器	小友町引葉	平成13~16年調査
34	NF-78-1225	森森	散布地	古	土師器	小友町引葉・森森	
35	NF-78-1226	森森	散布地	古	土師器	小友町引葉・森森	
36	NF-78-1245	森森Ⅰ	散布地	古	土師器	小友町引葉	
37	NF-78-1246	御室川	散布地	縄文・古・代	縄文土器・土師器	小友町引葉	
38	NF-78-1267	渡原田	散布地	古	土師器	小友町引葉	
39	NF-78-1270	小里川	散布地	縄文	縄文土器	小友町引葉	
40	NF-78-1273	渡原川	散布地	縄文	縄文土器	小友町引葉	
41	NF-78-1284	渡原川	散布地	縄文	縄文土器	小友町引葉	
42	NF-78-1307	門前川	貝塚	古	骨質横彫・フジコロビット・人骨・骨角器	小友町引葉	昭和29~40・55~56年、平成元年~3年調査
43	NF-78-1323	新田	散布地	古	土師器・鹿頭轍	小友町引葉・新田	
44	NF-78-1376	小ヶ口	散布地	古	鹿頭轍	小友町引葉・小ヶ口	
45	NF-78-1391	飛龍Ⅰ	散布地	縄文	縄文土器	佐伯町引葉根羽	
46	NF-78-1397	長洞	散布地	縄文	縄文土器・弦纹土器	佐伯町引葉・長洞	
47	NF-78-2005	鳴谷川	散布地	縄文	縄文土器(後・晩)	佐伯町引葉	
48	NF-78-2009	鶴原山(鶴原)	散布地・湖面遺跡	縄文・中・古	縄文土器	佐伯町引葉・鶴原山	
49	NF-78-2130	和泉	散布地	縄文	縄文土器(後)	佐伯町引葉・和泉	
50	NF-78-2140	大畠里	散布地	中世	瓦・斜面瓦	佐伯町引葉	
51	NF-78-2162	大畠里	散布地	縄文	縄文土器(明)	佐伯町引葉	
52	NF-78-2175	大畠里目標	貝塚	古	土師器	佐伯町引葉	
53	NF-78-2194	大畠里	散布地	縄文	縄文土器(明)・土器	佐伯町引葉	
54	NF-78-2197	大畠里	散布地	縄文	縄文土器	佐伯町引葉	
55	NF-78-2209	山里川	散布地・墨跡跡	縄文	縄文土器	小友町引葉	
56	NF-78-2239	袖野	散布地	縄文・古・代	縄文土器(明)・土師器・石器	佐伯町引葉・袖野	昭和51年、平成15年調査
57	NF-78-2304	御室川	散布地	縄文	縄文土器・石器	佐伯町引葉	
58	NF-78-2315	小坂川	散布地	縄文・古・代	縄文土器・石器・弦纹土器・土師器・土器	佐伯町引葉	
59	NF-78-2321	御室川	散布地	古	土師器	佐伯町引葉	
60	NF-78-2321	御室川	散布地	縄文	縄文土器	佐伯町引葉	
61	NF-79-2020	城郭跡	城郭跡・散布地	縄文・古・代	縄文土器・土師器・陶器	佐伯町引葉・二の割	
62	NF-79-2021	城郭跡	城郭跡	中・世	立甌・鹿頭・堆塗・主割・二の割	佐伯町引葉	
63	NF-79-2021	矢頭	城郭跡	中・世	立甌・鹿頭	佐伯町引葉	
64	NF-88-0111	路田	散布地	縄文	縄文土器・石核・断片・片盤	佐伯町引葉	
65	NF-88-0125	大篠高	散布地	古	縄文土器・縄文文・鹿頭	佐伯町引葉	
66	NF-88-0242	大沼	散布地	縄文	縄文土器(後期)	佐伯町引葉・大沼	遺滅
67	NF-88-1208	高瀬	城郭跡	中・世	立甌・鹿頭・削頭	佐伯町引葉・大久保	
68	NF-88-1245	泊	散布地	縄文	縄文土器(後)	佐伯町引葉	半壇
69	NF-88-1278	中川	散布地	縄文	縄文土器(中・後)	佐伯町引葉	
70	NF-88-1284	小篠	城郭跡	中・世	瓦	佐伯町引葉	
71	NF-88-1294	中川(浜尻)	貝塚	縄文	縄文(早・晩)・生糸・人骨・骨角器	佐伯町引葉	平成9年調査
72	NF-88-1311	花瓶	城郭跡	中・世	立甌	佐伯町引葉	
73	NF-88-1313	第一	散布地	縄文	縄文土器	佐伯町引葉	
74	NF-88-1319	第二	散布地	縄文	縄文土器	佐伯町引葉	
75	NF-89-2556	久保川岸	貝塚	縄文	縄文土器(後)・土師器	佐伯町引葉	導入
76	NF-89-2269	久保	散布地	縄文	縄文土器(後)	佐伯町引葉	
77	NF-88-2342	小篠	城郭跡	中・世	瓦・平堤	佐伯町引葉	
78	NF-88-2369	御室	散布地	縄文	縄文土器(中)	佐伯町引葉	
79	NF-89-1023	瀧山	散布地	縄文	縄文土器	佐伯町引葉	
80	NF-89-1031	千鶴	城郭跡	中・世	立甌・鹿頭・主割	佐伯町引葉	
81	NF-89-1059	大沢	城郭跡	縄文	縄文土器(中)	佐伯町引葉	
82	NF-89-1140	大沢	散布地	縄文	縄文土器(後)	佐伯町引葉	
83	NF-89-2035	河原	貝塚	縄文	縄文土器(後)・貝塚	佐伯町引葉	
84	NF-89-2104	阿良	集落跡	縄文・古・代	縄文土器(後)・土師器	佐伯町引葉	
85	NF-98-0303	室里	貝塚	縄文	縄文土器(前)	佐伯町引葉	
86	NF-98-0306	室里	散布地	縄文	縄文土器(前)	佐伯町引葉	
87	NF-98-0307	室里	散布地	縄文	縄文土器	佐伯町引葉	
88	NF-98-1057	瀧山	散布地	縄文	縄文土器	佐伯町引葉	平成20年新規発見
89	NF-98-1079	大沢	散布地	縄文	縄文土器	佐伯町引葉	平成20年新規発見
90	NF-98-2052	赤岩角地	散布地	縄文	縄文土器	佐伯町引葉	平成20年新規発見

III 調査と室内整理の方法

1 調査方法

- (1) すべて手掘りにより掘り下げた。
- (2) 基軸線の設定は、発掘区の南西隅に任意の基準杭を原点として設置し、発掘区の西壁に平行するように基軸線を設けた。また、原点に直交する直線を基軸線とした。発掘区の西壁に平行する基軸線は磁北より14度東偏している。グリットの設定は、4m幅の区画ごとに原点より北方向に向かってA～Fのアルファベットで示し、同様に原点より東方向にむかって順に1～3のアラビア数字で示した。グリットの名称は各区画内における南北方向の交点の杭によりA1、B1、C1のように表した。
- (3) 遺物の取り上げは原則として、遺構内出土のものは、遺跡記号(SN)、出土年月日、遺構名、グリット名、出土層位を記録し取り上げた。グリット名は、各グリットの南西に位置する杭の番号を用いた。
出土土器のうち、擾乱層出土のものと土器細片を除く遺物は原則として、遺物番号を付け実測後取り上げた。
- (4) 遺構名は、発掘時において冠したものを報告書作成の段階で部分的に変更している。
- (5) 平面実測は、グリット軸に合わせた1mメッシュを基本とし1/10の縮尺を用いた。
- (6) 写真記録は、35mmモノクロとカラースライド1台、デジタルカメラを用い、各種埋土堆積状況や断面、遺物の出土状況、完掘状況などについておこなった。撮影にあたっては、整理時の混乱を避けるため撮影カードを利用した。

2 室内整理

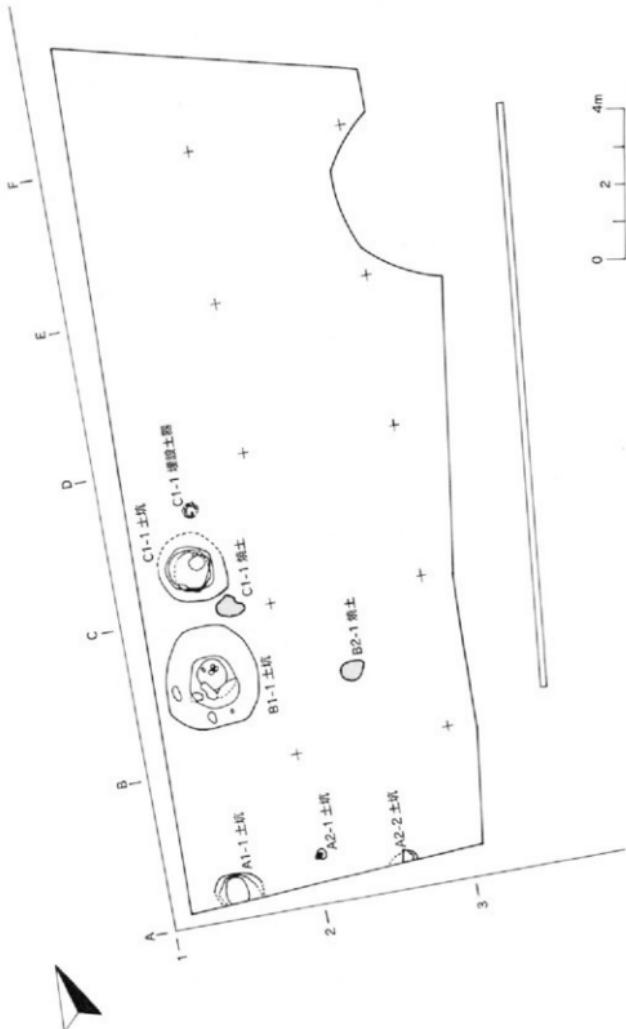
野外調査で得られた実測図、写真、遺物の各種資料は、室内整理の段階で以下のとおり処理、整理し、報告書作成の基礎とするとともに資料化をおこなった。

- (1) 土器・土製品
発掘調査後、室内に持ち帰り整理をおこなった。55×42×26cmのコンテナで約40箱程度の出土量がある。水洗後、各遺物に注記を行い、各出土地点、層位ごとに仕分けと復元をおこなった。その後、拓本、実測、写真撮影の順で整理をおこなった。
- (2) 石器
石器は水洗後、フレーク類からの石器の抜き取り、台帳登録をおこない、実測、計測、写真撮影を行った。石器は、約700点の出土量であり、データはすべてコンピューターに入力し管理した。石材の鑑定は、佐藤悦郎氏（大船渡市役所）に依頼した。
- (3) 図面
図面は、遺構に関しては遺構カード、土器・土製品・石器に関してはそれぞれの遺物カードを作成した。遺構は縮小して、遺物は実大または縮小して実測、トレースをおこない図化した。各実測図は遺構ごとに分類し、原図点検の上、報告書作成に必要なものについては第2原図を作成し用いた。
- (4) 写真
写真はネガと密着焼き付けのものをアルバムに貼付して整理し、カラースライドはスライドファイルに撮影順に収納した。

IV 発見された遺構（第6図）

袖野I遺跡の発掘調査で発見された遺構は、土坑5基・焼土遺構2基・埋設土器1基である。遺構のすべては、堆積土中において検出し、地表面においての検出遺構は無い。

遺構の時期は、遺物を伴わない遺構もあるが、遺構外の出土遺物から推定して、縄文時代前期後葉から縄文時代中期のものと思われる。以下、土坑・焼土遺構・埋設土器の順に、その概要に触れる。



第6図 遺構配置図

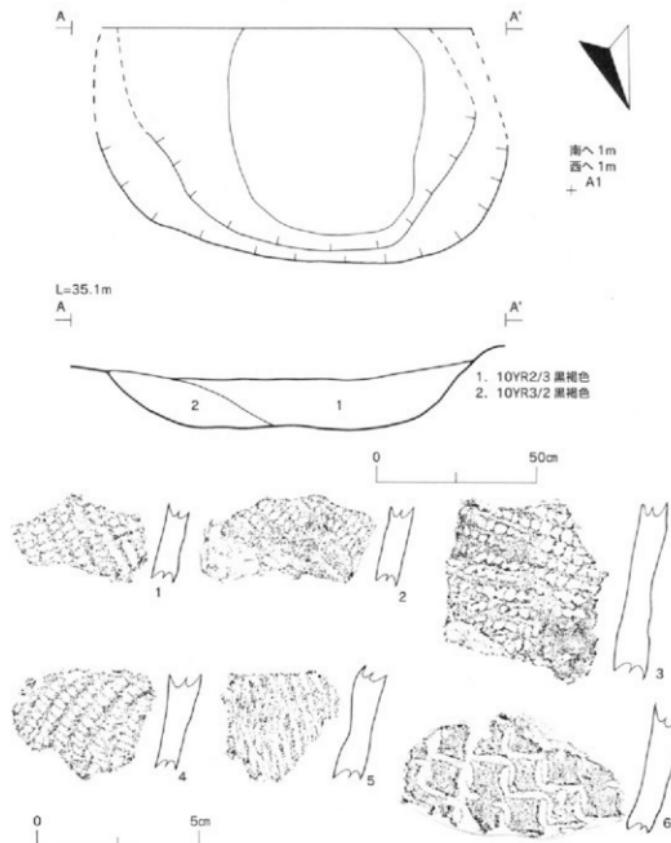
1 土坑

(1) A1-1 土坑 (第7図、写真図版4)

A1グリットのVI層 (10YR2/2) 黒褐色土層の上面において全体の1/5程を検出した。残りはグリット南側の調査区域外に広がる。形状は橢円形を呈すると思われ、規模は、開口部の長軸は127cm、底部の短軸は60cmである。壁は緩やかに傾斜し、断面形は舟底状を呈している。埋土は2層からなり自然堆積である。

【出土遺物】(第7図1~6、写真図版6-1~6)

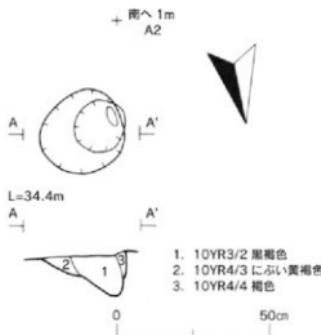
埋土中より縄文土器片21点が出土した。6点を図示した。1~6は深鉢の脇部片である。地文は、1~4は単節斜縄文が施文されるもので、1・2はRL、3・4はLRである。5は燃系文が施され、6にはS字状連鎖沈文が施されている。1・2では、胎土に微量の植物纖維を含む。



第7図 A1-1 土坑及び出土遺物

(2) A 2 - 1 土坑 (第8図、写真図版4)

A2グリットのV層 (10YR3/3) 暗褐色土の上面において検出した。形状は、開口部はほぼ円形を呈しているが、断面形は西方向に傾斜し、底部は尖底をなす。規模は、開口部径29cm、底部径は8cm×3cmである。埋土は3層からなり、1層は柱痕、2・3層は埋土と思われる。遺物の出土は無い。



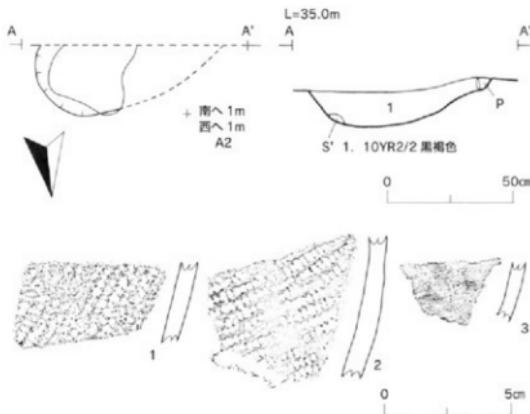
第8図 A2-1 土坑

(3) A 2 - 2 土坑 (第9図、写真図版4)

A2グリットのIII層 (10YR3/3) 暗褐色土の上面において検出した。形状は、不整形で、グリット南側の調査区域外に広がる。規模は、残存部の開口部の最大幅は40cm、底部は20cm、深さ12cmである。埋土は1層からなる。

〔出土遺物〕 (第9図1～3、写真図版6～7～9)

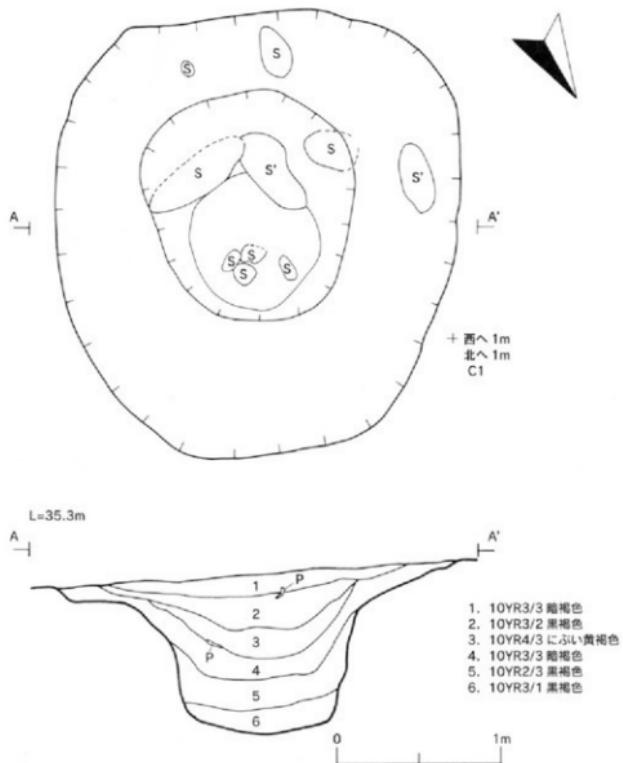
埋土中より縄文土器片24点 (うち口縁部片1点) が出土した。3点を図示した。1～3は深鉢の胴部片である。1・2はLRの単節斜縄文が施文され、3は無文である。



第9図 A2-2 土坑及び出土遺物

(4) B1-1 土坑 (第10図、写真図版4)

B1グリットのVI層 (10YR2/2) 黒褐色土の上面において検出した。形状は、ほぼ円形を呈しており、断面形は、開口部から断面中央部付近までは緩やかに傾斜し、中央部から底部にかけてはほぼ直壁状をなしている。規模は、開口部の径は140cm、底部径は70cm程度である。埋土は6層からなり自然堆積である。



第10図 B1-1 土坑

〔出土遺物〕(第11～16図、写真図版6-10～7-76)

出土した遺物は、土器・土製円盤・石器がある。

土器は、縄文土器細片が724点出土した。47点を図示した。いずれも、埋土中からの出土である。2～6は、大木1式に相当すると思われるもので、胎土中に植物繊維を含むものである。2は深鉢の胴部片である。結節の無い羽状縄文が施文される。3は深鉢の口縁部片である。口縁は平縁をなし、口縁部は外傾する。文様は口唇に短い斜め沈線が、胴部には横位の斜縄文（前々段多条RL）が施文されている。4～6は深鉢の胴部片である。いずれも斜縄文が施文され、4は前々段多

条(RL)、5は横位単節斜縄文(RL)、6は横位単節斜縄文(LR)である。

7は、深鉢の胴部片で大木2b式に相当すると思われるものである。S字状連鎖沈文施文後に、縦位の粘土紐を貼付し、貼付文には指頭押圧文を有している。

8～10は、深鉢の胴部片で大木4式に相当すると思われるものである。縄文施文後に、8では弧状貼付文、9では横位の波状貼付文と弧状貼付文、10では横位の波状貼付文が施文されている。

12は、深鉢の口縁部片、11・13・14は深鉢の胴部片で、大木5式に相当すると思われるものである。12は、口縁は平縁をなし若干外反する。口唇には浅い沈線による山形沈線文を有し、口縁部は無文で、胴部には横位の山形沈線文が施文されている。11は原体施文後(LR)に隆帯を貼付し、隆帯に山形の切込みを入れている。13は半截竹管による縦位の、14では沈線による横位の山形沈線文を有している。

15～43は、大木6式～大木7a式に相当すると思われるものである。

15～22は、刻みや刺突の施された横位の隆線を有するものである。15～17・19～21は、深鉢の口縁部片で、16・17は同一の土器の破片である。口縁は、15～17・21は平縁をなし、19は双頭波状口縁、20は波状口縁をなす。口縁部の断面形は、15は外傾、16・17は内反、19～21は外反である。文様は、15は口縁部に幅の広い横位貼付文を有し、貼付文には竹管による刺突が施される。16・17では口唇に変形した山形突起を有しており、突起下には円文や刺突の施された梢円形の貼付文・縦位の貼付文を有し、縦位貼付文には半截竹管による爪形文を有している。口縁部には横位沈線が3条と横位爪形文を有する。19は双頭波状の突起下に円形の貼付文を有し中央は指頭によってくびれる。口縁部には半截竹管による横位波状沈線と、横位隆線が巡り、隆線上には爪形文を有している。20は波状部が幅広く作り出され、口唇は梢円形にくびれている。口縁の形状に沿って、2条の隆線を有している。21は口唇に沿って幅広い隆線を有するもので、隆線上には刺突文と縦位の沈線が施文される。18・22は深鉢の胴部片である。口縁部と胴部は刻みの施された一条の隆線によって区画されている。

1・23～27は、貼付文・ボタン状貼付文を有するものである。1は深鉢の口縁部から胴部下半にかけてのもので、全体の1/3程が残存する。口縁は波状口縁をなし、口縁部の断面はやや内湾ぎみに外傾している。文様は、口縁部と胴部は1条の隆線によって区画され、口縁部には波状部下に刻みを有する縦位の貼付文を有し、6条の沈線と3条の波状沈線が巡る。胴部には縦位の結節を有する羽状縄文が施文される。23・24は、深鉢の口縁部から胴部片である。口縁は、23は山形口縁、24は平縁をなし、口縁部の断面は外傾である。口縁部の文様は、23では弧状の貼付文、24では縦位の貼付文とボタン状貼付文を有し、ともに横位沈線・弧状沈線を有している。口縁部と胴部の境には、23では刺突文列・波状沈線・横位沈線が、24では刺突文列を有している。胴部には、23では綾縫文を、24では胴部上反に弧状沈線と横位沈線が、胴部下反には单節斜縄文が施文されている。25～27は深鉢の口縁部片である。口縁は、25は山形口縁、26は波状口縁をなし、断面は、25・26は内反、27は外傾である。文様は、26はボタン状貼付文と弧状沈線が、27では沈線が施文された縦位貼付文と横位沈線が、25では縦位の貼付文と弧状沈線が施文されている。

28～33は、沈線による文様を有するものである。28～30は深鉢の口縁部片である。口縁は平縁をなし、断面は、28は外反、29・30は外傾である。文様は、28は口唇に沿って横位の刺突文列を有し、口縁部には縦位の弧状沈線と刺突文列が施文され、横位沈線によって胴部とを区画している。29には刺突文と沈線が、30には横位沈線と波状沈線・弧状沈線が施文されている。31～33は深鉢の胴部片である。31には渦巻き文・平行沈線・山形沈線・弧状沈線が、32にはLRの单

節斜縄文施文後に波状沈線が、33では撚糸文施文後に弧状沈線が施文されている。

34～43は、半截竹管によって施文されるものである。34・35は深鉢の口縁部資料である。口縁はともに平縁をなし、断面は34では頸部で屈折し口縁部は外傾し、35では外傾している。文様は、34では口縁部は半截竹管による横位の沈線文を有し、胴部には縦位の綾絞文を有している。35では単節斜縄文施文後に半截竹管による沈線文を有している。36～43は深鉢の胴部片である。36は頸部から胴部にかけての破片で、頸部には横位の半截竹管による沈線文が、胴部には沈線文が施文されている。37は斜縄文(RL) 施文後、半截竹管による斜め沈線・波状沈線が施文される。38～41・43は半截竹管によって、38は格子状の文様が、39は山形沈線・斜め沈線が、40は弧状沈線が、41は縦位沈線・弧状沈線が、43は横位沈線・波状沈線が施文されている。42は斜縄文(LR) 施文後、半截竹管による斜め沈線が施文されている。

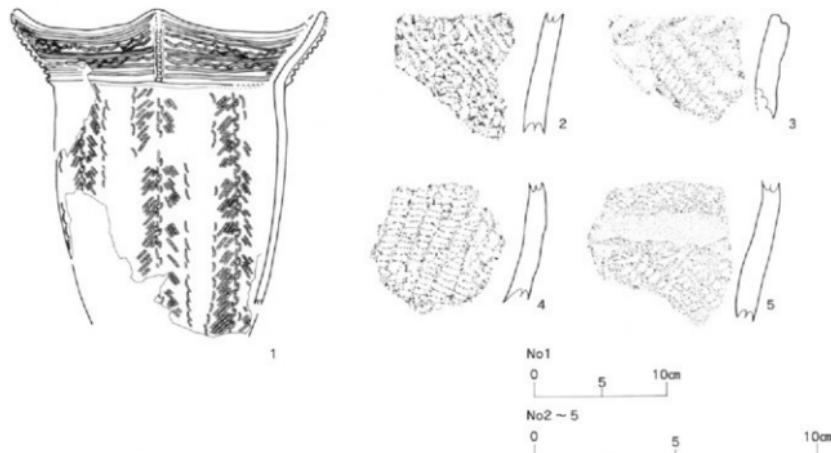
44～46は、文様が地文のみのものである。44は口縁部資料で、口縁は刻みを有する小波状口縁で、断面は外反である。胴部には撚糸文が施文される。45・46は縦位の撚糸文が施文される。

47はミニチュア土器である。手づくねで壺状に作り出されているが、整形されず、いびつである。

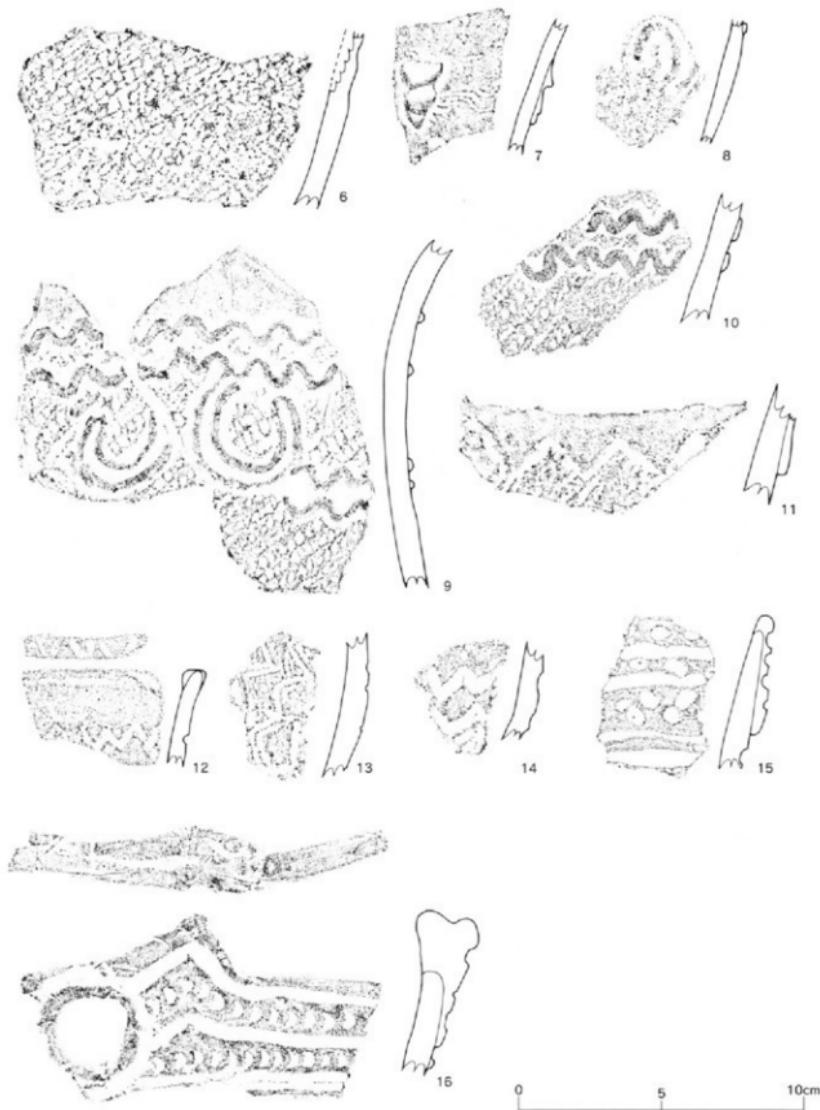
48～51は土製円盤である。形状は円形を呈し、打ち欠きによる整形後、周縁を研磨している。

石器は、石鏃9点・不定形石器6点・磨製石斧の剥落片1点が出土した。

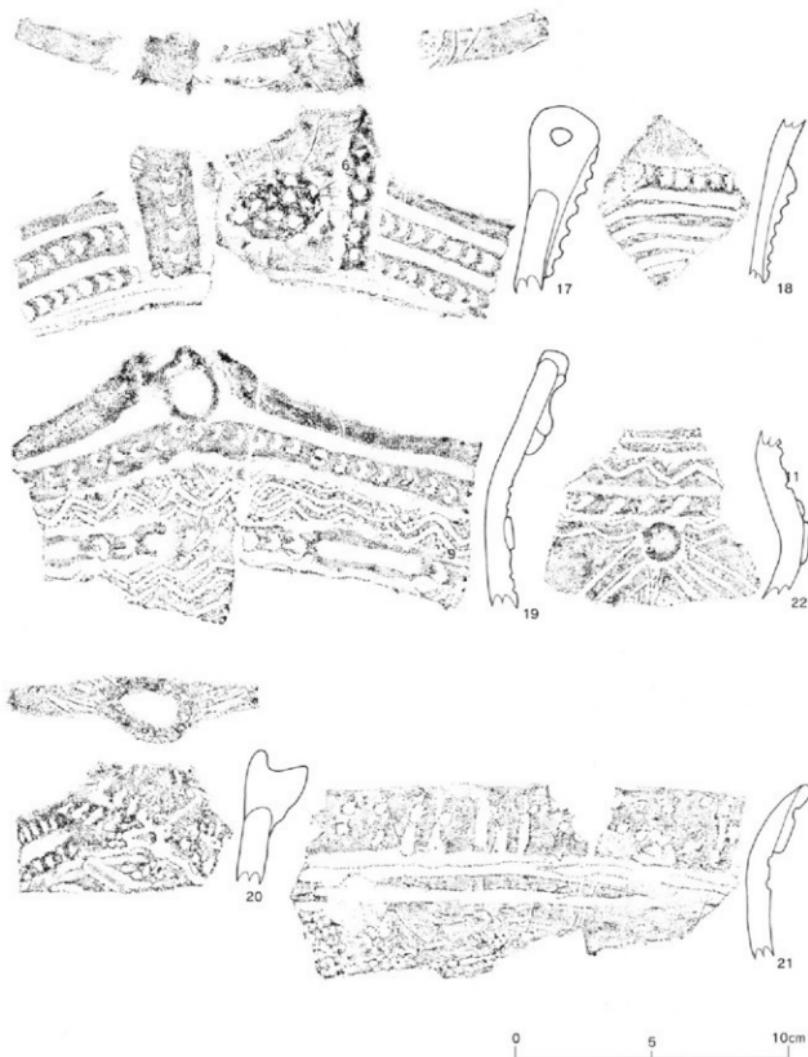
52～60は、凹基石鏃である。52～56は側縁が外弧をなすものである。52・53・55は片面に一次剥離痕を残している。57・58は側縁が直線的なものである。両面が剥離調整され、丁寧な作りとなっている。59・60は側縁の中央部付近で最大幅をなすものである。ともに片面に一次剥離痕を残す。厚さが厚く作り出されている。61～66は不定形石器である。61は一縁辺に片刃の刃部を有する。62～66は二縁辺に刃部を有するものである。62・64・65は二縁辺に片刃の刃部が、63は片刃と両刃の刃部が、66は二縁辺に両刃の刃部が作り出されている。67は磨製石斧の剥落片である。一面のほぼ全面に研磨痕を残している。



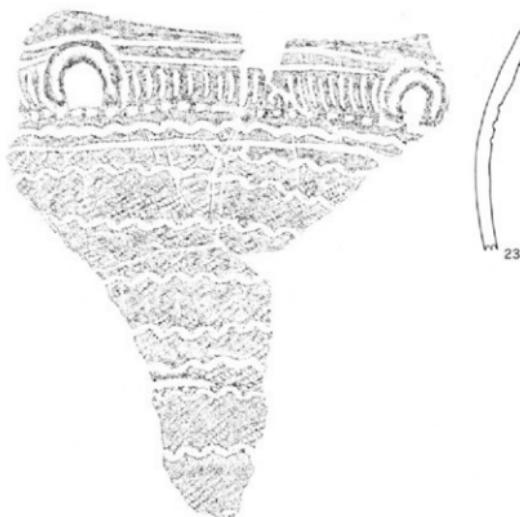
第11図 B1-1 土坑出土遺物



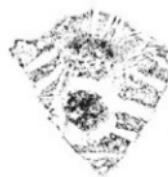
第12図 B1-1土坑出土遺物



第13図 B1-1土坑出土遺物

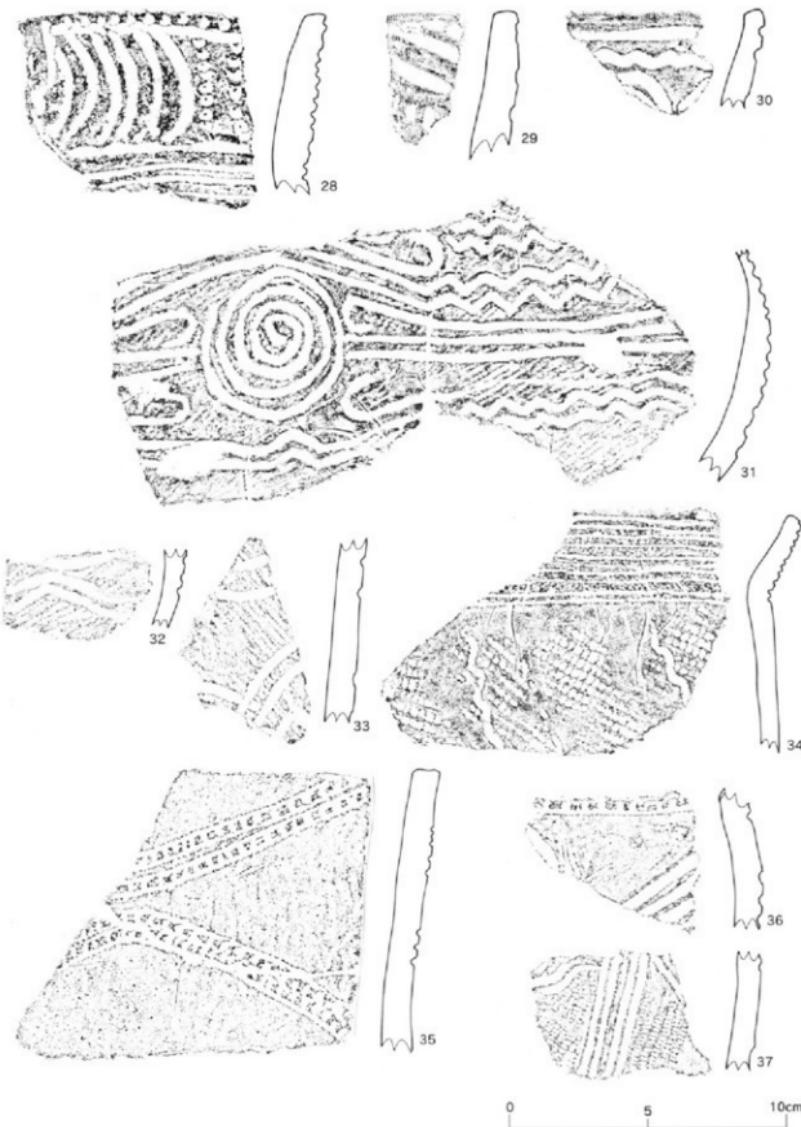


No.23・24
0 5 10cm

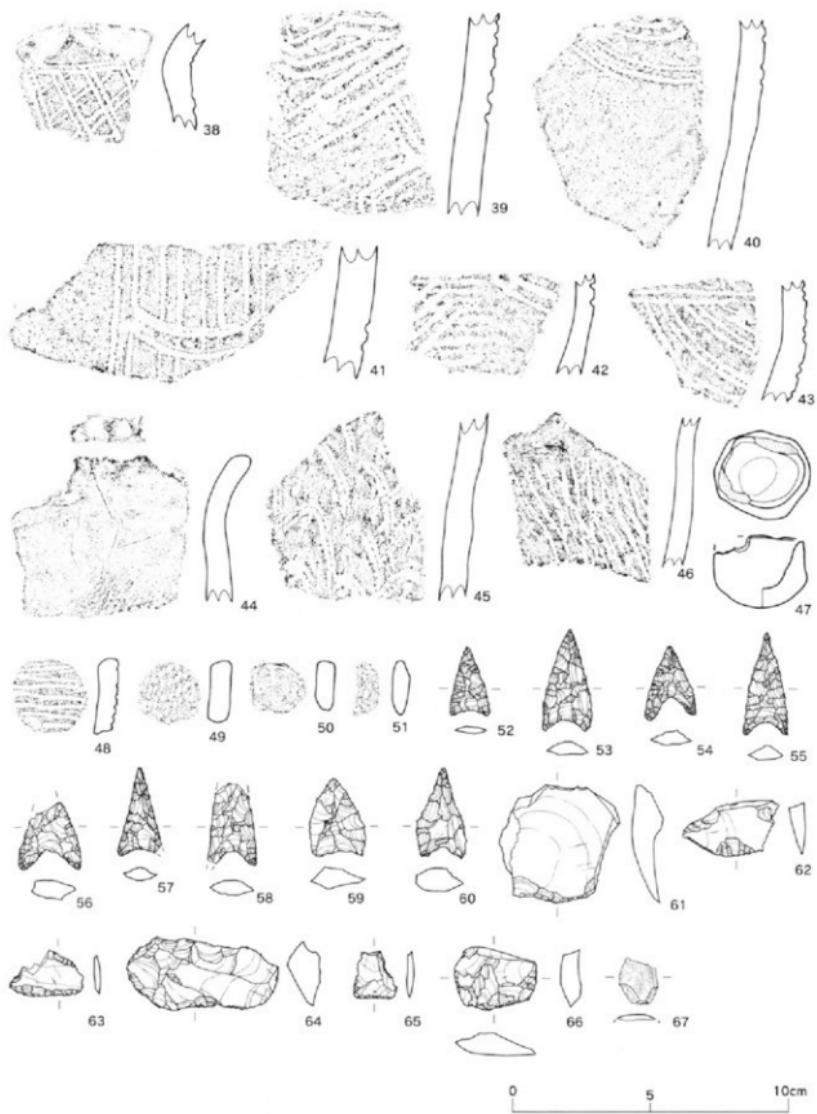


No.25~27
0 5 10cm

第14図 B1-1土坑出土遺物



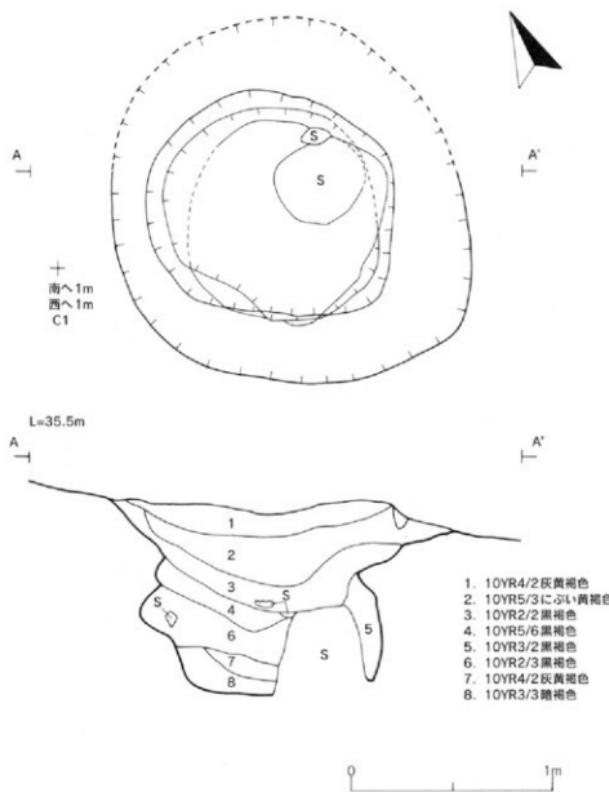
第15図 B1-1土坑出土遺物



第16図 B1-1土坑出土遺物

(5) C1-1 土坑 (第17図、写真図版5)

C1グリットのV層において検出した。全体の1/3程の開口部については不明である。形状は円形を呈し、断面形の形状は、中央で壁が締まるフラスコ状をなす。規模は、開口部の最大幅は188cm、底部径は106cm、深さ89cmである。埋土は、7層からなり自然堆積である。



第17図 C1-1 土坑

〔出土遺物〕(第18~20図、写真図版7-77~101)

出土遺物は、土器・石器がある。

土器は、縄文土器細片が135点出土した。23点を図示した。いずれも、埋土中からの出土である。

1~3は胎土に植物纖維が混入するもので、大木1式に相当すると思われるものである。1は深鉢の口縁部資料である。口縁は平線をなし、断面形は外傾している。口唇は平坦である。文様は、結節の無い羽状縄文(RL・LR)と斜め方向からの刺突による刺突文列が施文されて

いる。2・3は深鉢の胴部片である。ともに原体は前々段多条で、1は結節の無い羽状縄文が、2は斜縄文が施されている。

4・5は大木4式に相当すると思われるものである。4は深鉢の口縁部片で、口縁は平縁あるいは波状口縁で、断面形は外反している。文様は、口唇部下は無文で、口縁部には単節斜縄文上に巾の狭い横位の隆線が貼付されている。5は横位の幅の狭い隆線を有している。

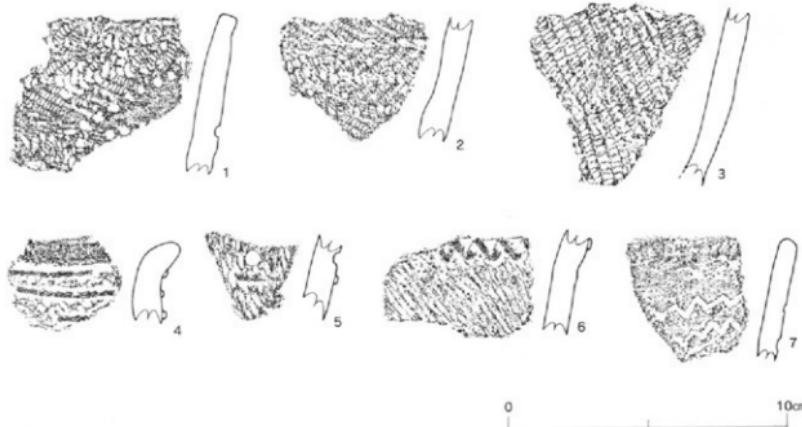
6・7は大木5式に相当すると思われるものである。6は深鉢の胴部片である。貼付文による山形文を有している。7は深鉢の口縁部片である。口縁は平縁をなし、断面形は若干外反している。口縁部は無文で、胴部に横位の山形沈線を有している。

8～14は大木6式に相当すると思われるものである。8～14は深鉢の胴部片である。半截竹管による曲線文や直線文を有する。

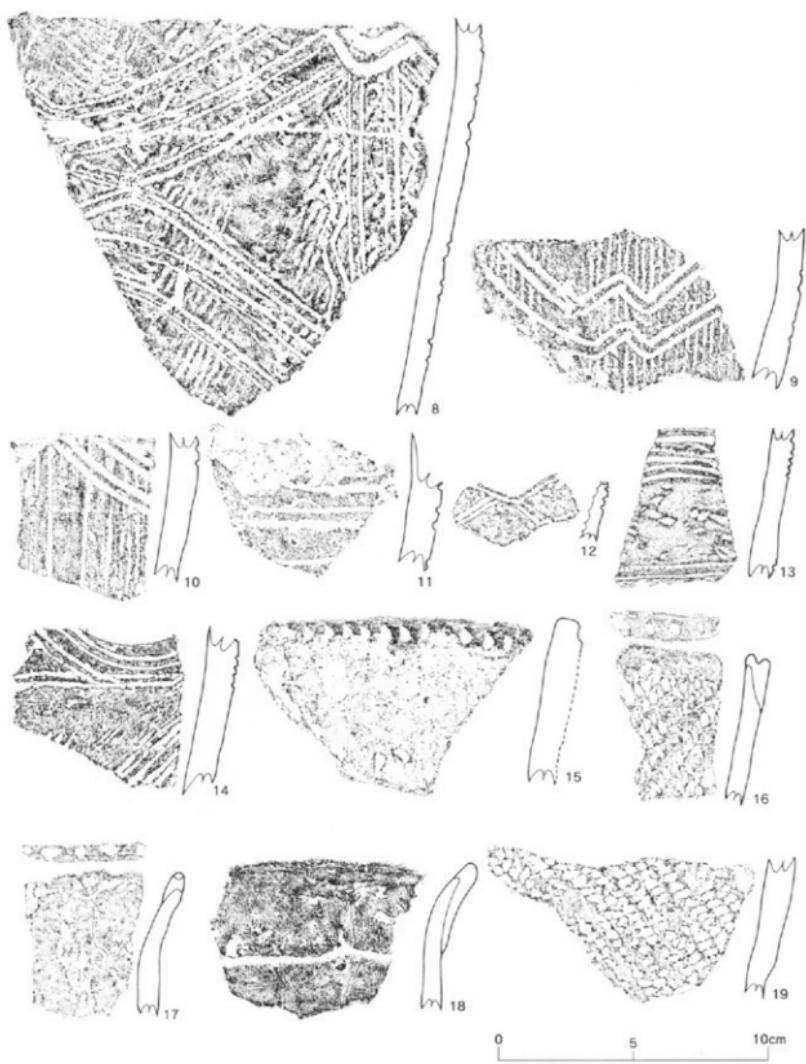
15～23は形式不明のものである。15は深鉢の口縁部片である。口縁は平縁をなし、断面形は外傾である。表面はほとんど剥落しており文様は不明であるが、口唇下に横位の刺突文を有している。16～18は深鉢の口縁部片である。口縁部は平縁をなし、16は口唇部に刺突が施され、18は折り返し口縁を有している。17は口唇部に粘土が貼り付けられ、表裏に折り返され、口唇に斜め方向からの刺突を有している。断面形は16では外傾、17・18は外反である。文様は、18は無文で、17は胴部に浅い縱位の縄文原体の側面圧痕文を有している。16ではLRの単節斜縄文が施されている。

19～23は深鉢の胴部片である。19はLRの単節斜縄文を、20は木目状撚糸文を、23は撚糸文を有している。21・22は不明である。

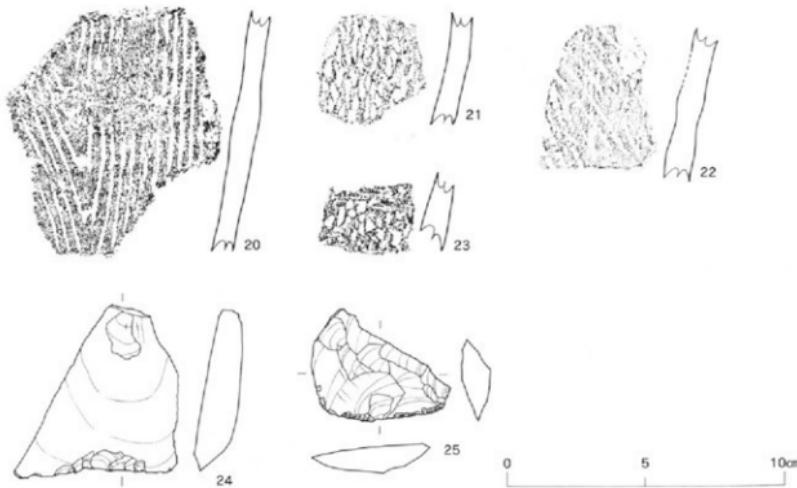
石器は不定形石器2点が出土した。24は片面のみに幅の狭い刃部を有するもので、他の面



第18図 C1-1 土坑出土遺物



第19図 C1-1土坑出土遺物



第20図 C1-1 土坑出土遺物

2 焼土遺構

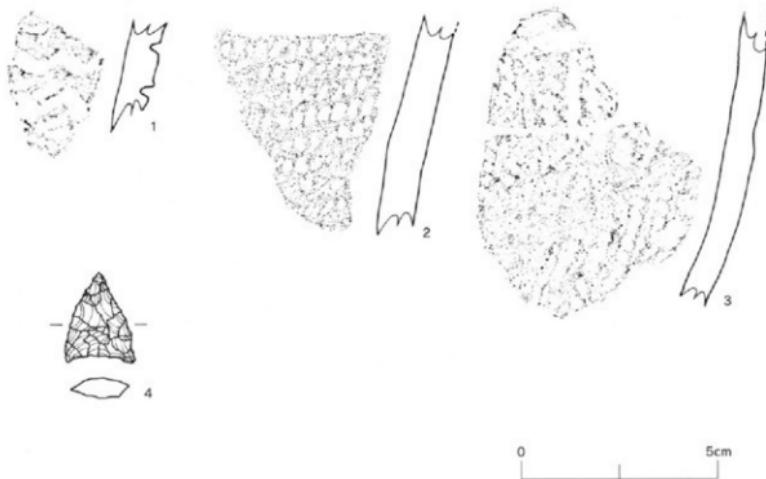
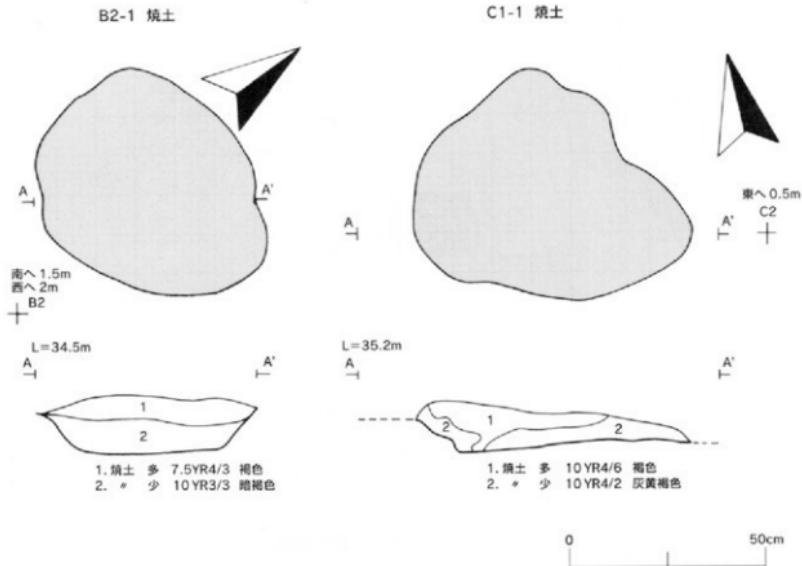
(1) B 2-1 焼土遺構 (第21図、写真図版5)

B2グリットにおいて検出した。規模は65cm×50cmの梢円形で、厚さは14cmである。炭化物は見られず、投棄の可能性がある。遺物の出土も無い。

(2) C 1-1 焼土遺構 (第21図、写真図版5、写真図版8-102~105)

C1グリットのV層において検出した。規模は71cm×57cmの不整形で、厚さは13cmである。炭化物が微量含まれるもの、投棄の可能性がある。

出土遺物は、焼土中より土器片13点、石鏃1点が出土した。土器片3点を図示した。1~3は深鉢の脇部片である。1は大木5式に相当すると思われるものである。沈線による山形文を有する。2・3は型式不明のものである。LRの単節斜縞文が施文される。4は無茎の石鏃である。側縁は外弧をなし、片面に一次剥離痕を残している。

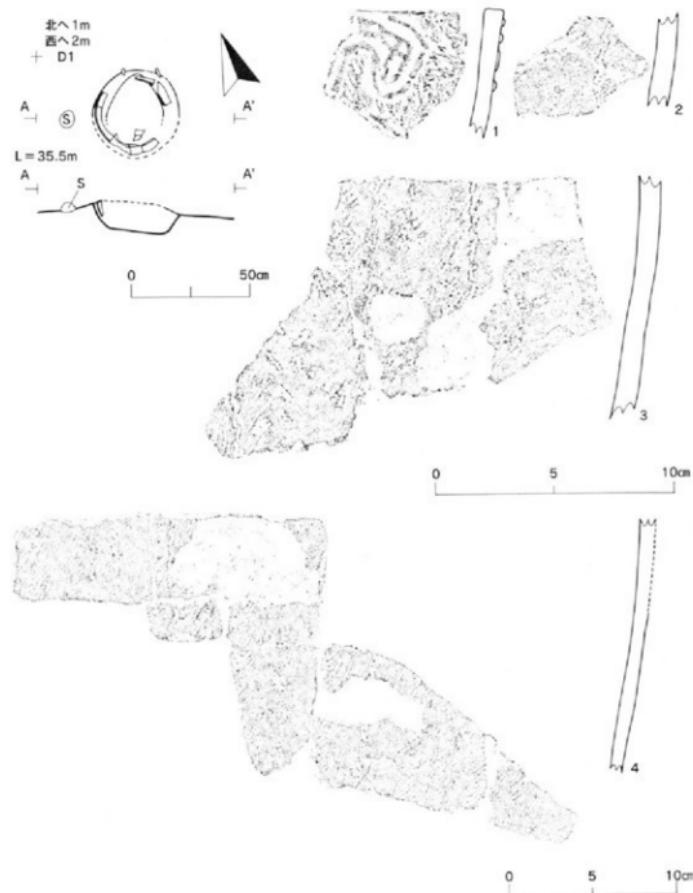


第21図 B2-1・C1-1焼土遺構及び出土遺物

3 埋設土器

C1-1 埋設土器（第22図、写真図版5、写真図版8-106~109）

C1グリットのV層において検出した。規模37cm×(37)cm、深さ(11)cmの円形の土坑に、深鉢の胴部が埋設される。第22図2~4は埋設土器である。同一固体であり、胴部中央部のみの埋設である。結節を有する斜縄文が、縦位で施文されている。1は深鉢の口縁部片である。埋土中からの出土である。口縁は平縁をなし、口縁部の断面形は外傾である。口縁部に細い隆線によって梯子状の文様が施文されている。



第22図 C1-1 埋設土器

第2表 遺構内出土土器一覧表

第3表 遺構内出土土製品一覧表

図 版	写真図版	出土地点	器 種	形 状	計測値 (cm)			重 量 (g)	登録 No
					長 さ	幅	厚 さ		
第16図 48	7-57	B1-1土坑	土製円盤	円形、打ち欠き	2.78	2.81	0.89	8.7	1640
第16図 49	7-58	B1-1土坑	土製円盤	円形、打ち欠き	2.25	2.25	0.78	5.4	1641
第16図 50	7-59	B1-1土坑	土製円盤	円形、打ち欠き	1.81	2.00	0.67	3.4	1688
第16図 51	7-60	B1-1土坑	土製円盤	円形、打ち欠き	1.90	(0.90)	0.71	1.3	2647

第4表 遺構内出土石器一覧表

図 版	写真図版	出土地点	器 種	形 状	計測値 (cm)			重 量 (g)	石 材	登録 No
					長 さ	幅	厚 さ			
第16図 52	7-61	B1-1土坑	石鏃	無茎凹基	2.49	1.43	0.23	0.7	珪質頁岩	18183
第16図 53	7-62	B1-1土坑	石鏃	無茎凹基	3.71	1.77	0.47	2.7	珪質砂岩	18118
第16図 54	7-63	B1-1土坑	石鏃	無茎凹基	2.70	1.84	0.49	1.6	チャート	18147
第16図 55	7-64	B1-1土坑	石鏃	無茎凹基	3.75	1.61	0.55	2.5	珪質頁岩	18154
第16図 56	7-65	B1-1土坑	石鏃	無茎凹基	(2.42)	2.26	0.62	2.5	凝灰質頁岩	18230
第16図 57	7-66	B1-1土坑	石鏃	無茎凹基	3.17	1.57	0.46	1.8	珪質頁岩	18209
第16図 58	7-67	B1-1土坑	石鏃	無茎凹基	(3.00)	1.83	0.49	2.4	珪質頁岩	18193
第16図 59	7-68	B1-1土坑	石鏃	無茎凹基	2.79	2.00	0.72	3.7	珪質頁岩	18059
第16図 60	7-69	B1-1土坑	石鏃	無茎凹基	3.27	1.89	0.74	3.9	珪質頁岩	18199
第16図 61	7-70	B1-1土坑	不定形石器	1縁刃片刃	4.36	4.24	1.36	24.7	ホルンフェルス	18537
第16図 62	7-71	B1-1土坑	不定形石器	2縁刃片刃	2.48	1.88	0.25	1.2	珪質粘板岩	18585
第16図 63	7-72	B1-1土坑	不定形石器	1縁刃片刃・1縁刃溝刃	3.60	1.83	0.54	3.6	珪質岩	18586
第16図 64	7-73	B1-1土坑	不定形石器	2縁刃片刃	5.42	7.53	1.14	14.1	珪質頁岩	18588
第16図 65	7-74	B1-1土坑	不定形石器	2縁刃片刃	1.74	1.54	0.22	0.7	粘板岩	18602
第16図 66	7-75	B1-1土坑	不定形石器	2縁刃両刃	2.21	2.91	0.75	5.1	凝灰岩	18604
第16図 67	7-76	B1-1土坑	磨製石斧	剥落片	(1.85)	(1.42)	(0.28)	0.8	細粒砂岩	18491
第20図 24	7-100	C1-1土坑	不定形石器	1縁刃片刃	6.22	5.72	1.36	46.8	細粒砂岩	18514
第20図 25	7-101	C1-1土坑	不定形石器	マイクロフレーリング	5.19	3.88	0.89	16.0	珪質砂岩	18623
第21図 4	8-105	C1-1燒土	石鏃	無茎凹基	2.29	1.80	0.47	1.7	珪質頁岩	18139

V 遺構外出土遺物（第23図～第59図、第5表～第7表、写真図版9～25）

2003年に実施した袖野I遺跡の発掘調査では、遺構外から土器・土製品・石器が出土している。ここでは、土器・土製品・石器の順にその概要について触れる。

1 土器

土器は、団化した資料53点、土器片が55cm×42cm×26cmのコンテナで約40箱が出土している。出土した土器の時期は、縄文時代前期・中期・後期・晩期があり、特に前期末から中期初頭のものが多く出土している。

以下、縄文時代前期のものを第Ⅰ群、前期末から中期初頭のものを第Ⅱ群、中期中葉から中期後葉のものを第Ⅲ群、後期のものを第Ⅳ群、晩期のものを第Ⅴ群、型式不明のものを第Ⅵ群として分類する。

第Ⅰ群 縄文時代前期のものである。

第1類

大木1式に相当すると思われるものである。出土量は少ない。植物纖維を胎土に含むものが多く、原体により細分が可能である。

A. (第35図54～62、写真図版14-54～62)

結節を有する羽状縄文を施文するものである。出土数は少ない。54・55は深鉢の口縁部片、56～62は胴部片である。54・55は平縁をなし、口縁の断面形は、54は外反、55は外傾である。ともに口唇部直下まで原体が施文されている。胎土には、全て植物纖維を含む。原体は全て前々段多条(LR l・RL r)である。

B. (第35図63～75、写真図版14-63～75)

結節の無い羽状縄文を施文するものである。出土数は少ない。63～66は深鉢の口縁部片、67～75は深鉢の胴部片である。口縁部片はすべて平縁をなし、口縁の断面形は、63～65は外反、66は外傾である。63・64は口唇部に斜めの刻みを有している。胎土には、63・65～70・72～75では植物纖維を含む。原体は63～74は前々段多条(LR l・RL r)で、75は上半が前々段多条(LR l・RL r)、下半が直前段半燃(RRL)である。

C. (第35図76～82、写真図版14-76～82)

ループ文を有するものである。出土数は少ない。76～81は深鉢の口縁部片である。口縁部は、76は山形突起をなし、77～81は平縁をなす。口縁の断面形は、76・78・79は内反、77・81は外反、80は外傾である。口唇部直下は、76・78は無文、77・79は口唇部直下まで斜縄文(LR)、80・81は口唇部直下までループ文が施文されている。ループ文は、細片ではあるが、81は3段、76・80は4段、77は5段、79は6段、78は8段を有しており、77は斜位のループ文が施文されている。76は前々段多条(RLr)、80は0段多条(Lr)の縄文が施

文される。82は深鉢の胴部片である。5段のループ文を有する。胎土には、76～80・82では植物繊維を含み、81は剥落のため不明である。

D. (第35図83～第42図91、写真図版14-83～91)

斜縄文を施文するものである。出土数は少ない。93～81は深鉢の口縁部片である。83～90は深鉢の口縁部片である。口縁部は、83～87・89・90は平縁をなし、88は刻みにより小波状口縁をなしている。口縁の断面形は、83・84・87は外反、85・86・88～90は外傾である。口唇部の形状は、83・84では平坦に作り出され、84は外側に張り出し、85は内面向かって削られ、87は尖る。89・90は口唇部に刻みを有している。地文は、83～87・89では口唇部直下まで縄文が施文され、83は単節斜縄文(LR)、88は単節斜縄文(RL)、84・86は前々段多条(RLR)、85・87・89は前々段多条(LRI)である。90は組紐による施文と思われる。89は小破片ではあるが、胴部に半截竹管による刺突文と、穿孔を有する。90も穿孔を有する。91は深鉢の胴部片である。地文は組紐？と思われる。全ての胎土に植物繊維を含んでいる。

E. (第36図92、写真図版14-92)

撚糸文を有するものである。1点のみの出土である。92は深鉢の口縁部片である。口縁部は波状口縁をなし、口縁部の断面形は外傾である。口縁部に横位の撚糸文が施文され、胴部は無文である。胎土に植物繊維を含む。大木2a式の可能性もある。

第2類 (第36図93～105、写真図版14-93～105)

大木2b式に相当すると思われるものである。出土量は少ない。胎土に植物繊維を含むものが多く見られるが、含有量は第1類と比べると少なく、含まないものもある。胴部には、S字状連鎖沈文を有する。

93～100は深鉢の口縁部片である。口縁部は全て平縁をなし、口縁の断面形は、93～99は外反・100は内反である。口縁部には地文が施されず、93では一条の原体の側面圧痕文を、94では1条の沈線による波状文と半截竹管による4条の沈線が、95～98では刻みの施された横位の貼付文が、99では刺突文を有している。100の口縁部は無文である。胴部にはS字状連鎖沈文が施文される。101～105は深鉢の胴部片である。S字状連鎖沈文が施文され、105では結節を有する。93～97・101・103は胎土に植物繊維を含むが微量で、他には含まれない。

第3類 (第36図106・107、写真図版14-106・107)

胎土に微量の植物繊維を含むもので、形式不明のものである。出土数は少ない。106は深鉢の胴部片で、縦位の刻みを施す貼付文と、横位の綾緒文を有している。107は口縁部片である。口縁部は平縁をなし、断面形は外反である。口唇直下から撚糸文が施文され、口縁部には横位の刻みを有する貼付文一条を有する。

第4類 (第23図1・2、第36図108～第39図170、写真図版9-1・2、写真図版14-108～15-170)

大木4式・5式に相当すると思われるものを一括した。出土量は多い。

A. (第36図108～第37図125、写真図版14-108～125)

細い粘土紐による小波状・「の」の字状・弧状の貼付文を有するもので、大木4式に相当すると思われるものである。

108～113は深鉢の口縁部片である。口縁の断面形は、すべて外反で、108～111・113は平縁をなし112は山形突起を有している。108～112は、口縁部は無文で、口縁部内面に貼付文を有するもので、108・109は小波状貼付文を、110は小波状貼付文と円形・直線状の貼付文を、111～112は小波状貼付文と円形の貼付文を有している。108は口唇を平坦に調整しており、平坦面に小波状貼付文を有する。113は口縁部が無文で、頸部に横位の小波状貼付文を有している。

114～116は口縁部から胴部にかけてのもので、口縁部は無文で、114・116は小波状貼付文によって口縁部と胴部が区画されている。115は胴部に単節斜縄文(LR)施文後に、小波状貼付文を施文している。116では小波状貼付文と弧状貼付文が施文されている。

117～125は胴部片である。118・123は横位の小波状貼付文が、117・125は小波状貼付文と「の」の字状貼付文が、119は横位の直線状の貼付文と小波状貼付文が、120は小波状貼付文と弧状貼付文が、121・124は横位・縦位の小波状貼付文が、122は弧状貼付文が施文されている。

B. (第23図1・2、第37図126～第38図155、写真図版9-1・2、写真図版14-126～15-155)

大木5式に相当すると思われるものである。

1は、深鉢の口縁部から胴部下半にかけての2/3程が残存する。口縁部は平縁をなし、口縁部の断面形は外傾である。口唇直下から胴部下半にかけて斜縄文(LR)が施文され、その後に口縁部に口唇部まで及ぶM字状の貼付文を有している。

2は、深鉢の口縁部から胴部下半にかけてのもので、全体の1/3程が残存する。口縁部は山形口縁をなし、断面形は内反気味に立ち上がり口唇で外側に折れ曲がっている。文様は、山形口縁の頂部下にボタン状の貼付文を有し、胴部下半まで撚糸文が施文され、その後に口縁部から胴部上半にかけて横位の弧状沈線・山形沈線・鉤状の沈線が施文されている。

126～138は、細い粘土紐の貼付による連続山形文を有するものである。126～131は深鉢の口縁部片である。口縁部は、126は口縁に鋸歯状装飾帯を有し、127～130は平縁・131は山形口縁をなす。口縁部の断面形は、126・129は外反、127・128は外傾、130は頸部で「く」の字状に屈折し外反、131は外傾している。文様は、126～130は、原体施文後に横位の2条の連続山形文が施文され、127では梯子状の貼付文も有している。129は上位の連続山形文が剥落している。131は隆起線によって口唇が肥厚し、貫通孔を有している。132～138は深鉢の胴部片である。138では横位の1条の連続山形文が、132～134は横位の2条の連続山形文が、135は縦位の2条の連続山形文が、136・137は横位の貼付文と連続山形文が施文されている。連続山形文の貼付は、136以外はすべて原体施文後に行われている。

139は口縁部に刺突を有する鋸歯状装飾帯を有するものである。口縁部の断面形は外傾をなす。

140・141は、口縁部に鋸歯状装飾帯状の文様を有するものである。140は、口縁部は平縁をなし、断面形は外反である。折り返し口縁上に縦位の沈線を施文することにより、鋸歯状装飾帯状の文様を作り出している。口唇は尖り刻みを有している。141は、口縁部は平縁をなし、断面系は外反である。口唇部の表裏に刺突を加えることにより、鋸歯状装飾帯状に作り出している。

142・143は口縁部の外面に環状貼付文を有するものである。142は刺突の施された環状貼付文を有するもので、口縁の断面形は外反である。口唇の内・外面にも刺突文列を有している。143は無文の環状貼付文を有するもので、口縁部は平縁をなし、断面形は外反である。

144～155は、沈線による山形沈線文を有するものである。144～148は深鉢の口縁部片である。口縁部は、144・145は波状口縁、146は山形口縁、147・148は平縁をなす。口縁部の断面形は、144・146は内反、145は外反、147・148は外傾である。文様は、144では口縁の形状に沿って口縁部に2条の沈線が施され、胴部には縦位の山形沈線が施文される。145・148では横位の山形沈線が、146では山形口縁の頂部にボタン状の貼付文を有し、縦位の山形沈線が施文される。147では口縁部の内外面に横位に粘土紐が貼付され、外面には刺突文を有する。頸部には横位の刺突文列を有し、胴部には半截竹管による横位の山形沈線を有している。149～155は深鉢の胴部片である。149・150・153・154では横位の山形沈線が、151・155は縦位の山形沈線が、152は半截竹管による横位の山形沈線が施文される。

C. (第38図156～第39図170、写真図版15～156～170)

梯子状貼付文・格子状貼付文を有するものを一括した。型式的には、大木4式・大木5式に相当する。

156～161は深鉢の口縁部片である。口縁部は、156～159は平縁、160は山形口縁、161は波状口縁と思われ波頂部の外側に刺突の施されたボタン状貼付文を有している。口縁部の断面形は、156～159は外反、160は内反、161は外傾である。文様は、一条の貼付文によって区画された内側に、梯子状・格子状の文様が貼付されている。162～170は深鉢の胴部片である。文様は、一条の貼付文によって区画された内側に梯子状・格子状の貼付文を有するもの(162・163・166・168・169)と、一条の貼付文による区画の無いもの(164・165)がある。167・170は波状貼付文を有しており、大木4式に相当すると思われる。

第二群

縄文時代前期末から中期初頭の、大木6式・7a式・7b式に相当すると思われるものを一括した。うち、大木7a式は出土点数が多く、発掘資料の中心をなすものである。ここでは、型式ごとに分類し、更に器種における胴部文様の有無によって細分する。

第1類 (第23図3～第25図12、第39図171～第40図183、写真図版9-3～12、写真図版15～171～183)

大木6式に相当すると思われるものである。器種は、球胴形深鉢・長胴形深鉢がある。

A. (第23図3～第24図7、第39図171、写真図版9-3～7、写真図版15～171) 球胴形の深鉢である。

3～6は、口縁部から胴部にかけてのもので、胴部文様帯を有するものである。口縁部は、すべて平縁をなす。断面形は、3・4は内反、6は外傾、5は外傾気味に立ち上がり口唇内面が膨らんでいる。4・5は、口唇に台形状の突起を有しており、4では幅広の台形状の突起と、その左右に幅の狭い突起2個を有し、突起には刻みがつく。5では3個単位の突起が付いている。口縁部の文様は、3では、斜め沈線・V字状の沈線・刺突文列を有している。4では、幅広の突起下には貼付文（剥落により形状不明）と途中で「V」字状に折れ曲がる横位沈線、横位の弧状沈線を有する。5では、渦巻き状の貼付文・中央が窪み渦巻き状の沈線が施文される貼付文・途中で「W」字状に折れ曲がる横位沈線と波状沈線・弧状沈線を有している。6では、3本単位の縦位の貼付文・横位沈線・斜め沈線・弧状沈線が施文され、縦位の貼付文には原体の側面圧痕文を有している。頸部には、3では横位沈線と刺突文列、4・6では横位沈線を有している。胴部上半には、3では円文と波状沈線・横位沈線・刺突文列が、4～6では緩やかに斜めに下がり先端が渦巻き状をなす沈線と、縦位の弧状沈線を有する。胴部下半には、3では櫛引文が、4・5では斜繩文（LR）、6では斜繩文（RL）が施文される。4～6では、横位沈線によって胴部上半の文様帯を区画している。

7は、胴部文様帯を持たないものである。口縁部は平縁をなし、口縁部の断面形は外傾するが、口唇の外面が隆起線によって膨らんでいる。口唇には、4個単位の突起が付き、突起には細い粘土紐が貼付される。口縁部には、突起下に弧状貼付文と、細い粘土紐が貼り付けられた幅の広い貼付文、途中「V」字状に屈折する横位沈線・波状沈線が施文されている。頸部には横位の刺突文列が施文され胴部と区画しており、胴部には木目状撫糸文が施文される。

171は、口縁部から胴部上半にかけてのものである。口縁部は平縁をなし、口縁部の断面形は内反である。文様は、口縁部には口唇から垂下する二条の貼付文と、半截竹管による下部で山形状となる斜め沈線が、口唇と胴部との境界に刺突文列が施文される。胴部には、半截竹管による斜め沈線・横位沈線と、竹管による縦位沈線、刺突文列が施文されている。

B. (第24図8～第25図11、第39図172～175、写真図版9-8～11、写真図版15-172～175)

長胴形の深鉢形で、胴部文様帯を有するものである。

8は、口縁部から胴部にかけてのものである。口縁部は山形口縁をなし、口縁の断面形は外傾である。口唇部には、口縁の形状に従って施文された沈線が巡る。口縁部には、山形口縁下に左右から押圧し中央を山形状にした貼付文と、縦位の弧状沈線を有する。頸部には、横位の刺突文列が施文される。胴部の上位には横位の沈線が施文され、下位には斜繩文（LR）を有している。

9は、口縁部から胴部にかけてのものである。口縁部は平縁をなし、断面形は外傾で、口唇内面は隆起線によって膨らむ。口唇には、一箇所にのみ3個の連続する弧状の突起と、その両側には台形状の突起を有している。弧状の突起の口唇には沈線を有しており、台形状の突起には3本の粘土紐が施文されている。口縁部には、横位沈線と縦位の弧状沈線が施文され、突起下にのみ2個のボタン状貼付文と2個の弧状貼付文が付き、他の3面には弧状貼付文1個が貼付される。頸部には、刺突文列と横位沈線を有する。胴部の上位には、2段の山形沈線を有しており、胴部中央から下半にかけては無文である。

10は口縁部下端から底部にかけてのものである。口縁部は、縦位の弧状沈線を有し、頸部には横位沈線が施文される。胴部には、斜繩文(LR)を施文後に、縦位・横位・弧状の沈線からなる対角線文を有し、中心にはボタン状貼付文が貼付される。

11は口縁部から底部直上にかけてのものである。口縁部は平縁をなし、断面形は外反である。口唇内面に幅の広い隆起線を有し、口唇には山形の突起を有している。口縁部には斜繩文(RL)施文後に、縦位の貼付文を貼付している。胴部には、斜繩文(RL)を施文後に、半截竹管による2本単位の横位沈線を施文し、沈線間に半截竹管の押し引きを行っている。胎土に金雲母を多く含む。

172～175は、口縁部片である。口縁部は、172は山形口縁、173～175は平縁である。口縁の断面形は、172・174は外反、173・175は外傾している。文様は、172は、口縁部には山形口縁の頂部下にボタン状貼付文を有し、貼付文を中心に弧状沈線が施文される。胴部とは一条の沈線によって区画され、胴部には無節の斜繩文施文後に、縦位・横位・斜め沈線が施文され、斜め沈線の交点には横位の弧状沈線が施文されている。173は、口縁部には円文・波状沈線・横位沈線・斜め沈線・刺突文が施文される。胴部とは刺突文列によって区画され、胴部には燃糸文施文後に横位沈線・弧状沈線・刺突文が施文される。174は、口縁部には縦位の貼付文と横位の梢円形状の貼付文が、胴部上半には半截竹管による山形沈線を有する。175は、口縁部には弧状の貼付文と波状沈線・横位の弧状沈線が、頸部には刺突を有する沈線が、胴部上半には横位の沈線が施文されている。

C. (第25図12、第39図176～第40図180、写真図版9～12、写真図版15～176～180)

頸部で締まる長胴形深鉢で、口縁部のみに文様を有するものである。

12は、口縁部から胴部中央にかけてのものである。口縁部は平縁をなし、口縁部の断面形は外傾である。口縁部の文様は、刺突文列・縦位の沈線と、沈線による渦巻き文を有し、渦巻き文の先端は緩やかに斜めに下がり、途中「V」字状に折れ曲がっている。頸部には刺突文列を有し、胴部と区画している。胴部には、縦位の結節回転繩文が施文されている。

176～180は、口縁部片である。口縁部は、176～179は平縁、180は山形口縁をなす。口縁部の断面形は、177・178・179は外反、176は外傾、180は内反である。文様は、176～178は縦位沈線・縦位の弧状沈線を有し、180は燃糸文施文後に山形沈線・弧状沈線・円文を有している。

D. (第40図181・182、写真図版15～181・182)

胴部が欠損し、胴部文様の有無が不明のものである。口縁部は、181は平縁、182は波状口縁をなす。口縁の断面形は外傾である。文様は、181は横位沈線・波状沈線が、182は弧状の貼付文と横位沈線・縦位の弧状沈線を有する。

E. (第40図183、写真図版15～183)

口縁部文様帯と胴部文様帯を区画しないものである。183は、口縁部は平縁をなし、断面形は外反である。単節斜繩文(LR)施文後、口縁部から胴部にかけて縦位の半截竹管による押し引きを有している。

第2類（第26図13～第31図36、第40図184～第49図269、写真図版10-13～12-36、写真図版15-184～17-269）

大木7a式に相当すると思われるものである。器種は、球胴形深鉢・長胴形深鉢がある。

A.（第26図13～第27図16、第40図184～第41図190、写真図版10-13～16、写真図版15-184～190）

球胴形の深鉢で胴部文様態を有するものである。

13は、口縁部から胴部にかけてのものである。口縁部は平縁をなし、口縁の断面形は内反である。口唇内面に隆起線を有する。口縁部には、貼付文と細い粘土紐による四角形の区画文を有し、区画文の内側には粘土紐による山形文を有している。貼付文は、縱長の四角形状のものと、それに接続する横位のイカリ型のもので、四角形状の貼付文は中心部が長方形状に抉れ、一辺も「W」状に抉れている。貼付文には細い粘土紐による縁取りと、イカリ状の貼付文には山形状の貼付文を有する。

14は、口縁部から底部にかけてのものである。口縁部は平縁をなし、口縁の断面形は外傾である。口唇外面には、隆起線を有し、隆起線には刻みと三角形印刻文を有している。口縁部には、集合沈線文を施文後に、沈線による渦巻き文・斜め沈線・波状沈線が施文される。頸部には、横位隆起線と、隆起線には刻みと三角形印刻文を有する。胴上半部上位には、集合沈線文を施文後に弧状沈線・斜め沈線・渦巻き文・ボタン状貼付文が施文されている。胴上半部下位から胴下半部中位まで、結節回転繩文が施文されている。

15は、口縁部から胴上半部にかけてのものである。口縁部は山形口縁をなし、口縁の断面形は外傾である。口唇内外面に刻みを有する隆起線を有し、山形口縁の頂部には内外面に渦巻き状の貼付文が付き、貼付文には刻みが施される。口縁部には、横位・縱位の斜繩文(RL)施文後に、刻みを有する縱位貼付文・鉤状の沈線・斜め沈線・波状沈線・刻みが施されている。頸部には段を有する。胴上半部には、斜繩文(RL)施文後に、斜め沈線・波状沈線が施文されている。

16は、口縁部から胴上半部にかけてのものである。口縁部は平縁をなし、口縁の断面形は内反である。口唇には、内外面に迫り出す大型突起を有する。突起の頂部には三角形状の貫通孔を有し、その周りは三角形の沈線によって縁取りされている。突起内面には「の」の字状の貼付文が付き、大きく抉れている。口唇外面には刻みが付き、内面には隆起線を有する。口縁部は、円形・涙滴状・三角形の凹みを入れた後に、凹みの周りを円形・涙滴状・連続する弧状沈線・斜め沈線に縁取り、各沈線の間には、幅の狭い集合沈線文が施文されている。突起下には、橋状把手を有し、橋状把手には集合沈線文が施文される。頸部には、横位隆起線を有し、隆起線には刻みが施される。胴上半部には、斜め沈線・弧状沈線・平行沈線・縱位綾絡文を有する。胎土には、細砂・細かい金雲母を多量に含み、表面がザラザラしている。細砂・細かい金雲母を多量に含む土器は他には見られず、搬入品の可能性もある。

184～190は、深鉢の口縁部片である。口縁部は、184・187・188は平縁をなし、185・189・190は山形口縁、186は波状口縁である。口縁の断面形は、185・187・189・190は内反、184・188は外傾、186は外反である。文様は、184は口縁部には円形沈線を有する円形の貼付文と平行沈線・山形沈線が、胴部上半には渦巻き文・弧状沈線・集合沈線文・横位沈線を有し、胴部下半には結節羽状繩文(LR・RL)が施文される。185は口唇部内面に隆起線

を有し、口縁部には波状沈線・「の」の字状沈線・集合沈線文が、胴部には横位沈線・集合沈線文が施文される。186は、波頂部は肥厚し頂部に凹みを有し、口縁部には横位沈線・刺突文列が、胴部には円形の沈線・連続する縦位弧状沈線・横位沈線を有し、胴部下半は無文である。187は、台形状の突起を有するもので、上部の口唇には半截竹管による短い平行沈線が施文される。口縁部・胴部上半には、半截竹管による平行沈線・弧状沈線が、胴部下半には斜繩文(LR)が施文されている。188は、口唇内面に幅の狭い隆起線が貼付され、口縁部には縦位貼付文・円形貼付文(剥落)・沈線が、胴部には斜め沈線と縦位の集合沈線文が施文される。189は、口縁部には山形口縁頂部より幅の太い隆起線が垂下し、口縁の形状に沿って刺突文列と沈線が、下部には横位沈線が施文される。頸部には横位刺突文列が、胴部上半には半截竹管による二条単位の縦位沈線と山形沈線が施文され、沈線間に刺突文が充填され、下半との境には横位刺突文列を有している。190は、刺突を有する貼付文と原体の側面圧痕文によって、文様を施文するものである。口縁部には、原体側面圧痕文による横位・山形の文様が、山形口縁下には貼付文を横位と縦位に貼付し、縦位のものは横に広がり胴部とを区画している。胴部には、貼付文と原体側面圧痕文による、逆「U」字状の文様を有している。

B. (第27図17～第28図22、第41図191～第42図202、写真図版10-17～22、写真図版15-191～16-202)

球胴形の深鉢で胴部文様を持たないものである。

17は、口縁部から胴部中央にかけてのものである。口縁部は山形口縁をなし、口縁の断面形は外傾である。山形口縁の山形部は膨れ、頂部下の口唇の両側に馬蹄形の貼付文が付く。口唇内面には隆起線を有する。口縁部は、斜繩文(RL)施文後に、頂部下に縦位の貼付文(剥落)を貼付し、貼付文を中心に縦位の弧状沈線・横位沈線・波状沈線を有する。頸部には、二条の横位隆起線を有し、上位の隆起線には刻みが施されている。胴部には、縦位の結節回転繩文を有する。胎土に金雲母を多く含む。

18は、口縁部から胴部中央にかけてのもので、口唇部は欠損する。口縁部には、横位沈線・横位波状沈線を施文後、縦位貼付文が添付される。貼付文には、横位の刻みが施される。胴部には、縦位の結節羽状繩文を有する。

19は、口縁部から胴部上半部にかけてのものである。口縁部は山形口縁をなし、口縁の断面形は外傾である。山形口縁頂部の口唇の両側には、外面から内面に至る弧状の貼付文が貼付されている。山形口縁の頂部の内外面には弧状の貼付文が付き、外面の弧状貼付文の両端は頸部まで伸び、原体の側面圧痕文を有している。口縁部には、横位の結節回転繩文(LR)を有している。頸部には段を有する。胴部には、縦位の綾絡文を有する。

20は、口縁部から胴部中央にかけてのものである。口縁部は平縁をなし、口縁の断面形は内反である。口唇内面に隆起線を有し、外面には刻みと三角形印刻文を有する。口縁部には、下端が円形に膨らみ中央が凹む縦位の貼付文・斜め沈線・横位沈線・円文・刺突文・三角形印刻文を有している。頸部には刺突文列を有する。胴部には結節回転繩文(RL)を有する。

21は、口縁部から底部にかけてのものである。口縁部は平縁をなし、口縁の断面形は内反である。口唇外面に隆起線を有し、隆起線は部分的に、指頭による左右方向からの押圧により山形に尖っている。口縁部から胴部は無文であるが、頸部に横位の貼付文が付いている。

22は、口縁部から底部直上にかけてのものである。口縁部は平縁をなし、口縁の断面形は

外傾である。口唇に横位の弧状の突起を有している。口縁部には、横位の結節回転繩文（RL）を有する。頸部には、横位隆起線を有し、隆起線には刻みが施されている。胴部には縦位の結節回転繩文（RL）を有する。

191～202は口縁部片である。口縁部は、191～193・196～198・200・202は平縁、194・195・199・201は山形口縁をなす。口縁の断面形は、192～194・196・197・199・202は内反、191・195・198・200・201は外傾である。191・192・193・200は口唇部に突起を有している。胴部には、191～194・196・198・200は結節回転繩文、197・199・202は結節羽状繩文が施文される。文様は、191は口唇部内面に隆起線が貼付され、口縁部には3条の横位沈線と沈線間に集合沈線文が充填される。突起下には幅の広い半截竹管による刺突文と横位沈線を有する縦位貼付文が貼付されている。頸部には刺突文列によって胴部と区画されている。192は口唇部に刻みを有し、内面には幅の狭い隆起線を貼付している。口縁部には、突起下に中央が凹むボタン状貼付文・横位の沈線・集合沈線文が施文されている。193は、口縁部には左右からの格子状の斜め沈線と竹管による刺突文を有する。194は、山形口縁の頂部にはボタン状・環状の貼付文が貼付され、口唇内面には隆起線を有する。口縁部には、縦位沈線の施された橋状把手・弧状沈線・平行沈線・波状沈線・集合沈線文が施文されている。195は、口縁部に貼付文・刺突文列・集合沈線文が施文される。196は、口縁部には半截竹管による横位沈線文と小波状文が施文され、頸部には三角形状印刻文を有する横位隆起線が貼付され、胴部と区画している。197は、口唇には貫通孔のある突起を有し、口縁部には、口唇の突起下には沈線の施された橋状把手が貼付され、他には刻み・横位沈線・波状沈線が施文されている。頸部には、刻みの施された隆起線によって胴部と区画されている。胎土には金雲母が多く含んでいる。198は、口唇部内面に隆起線を有し、外面には三角形状印刻文の施された隆起線を有している。口縁部には、ボタン状貼付文・山形沈線・横位沈線を有している。頸部には、沈線による刻みを有する隆起線が施文されている。199は、口唇部内面に隆起線を有し、外面には刻みを有している。口縁部には、沈線と押し引きによる渦巻き文・山形沈線を有している。頸部には橋状の貼付文を有する。200は、口唇には中央の抉れた突起を有しており、内面には幅の狭い隆起線を有している。口縁部には横位沈線が施文され、沈線上には繩文原体の側面压痕文を施されている。頸部には刺突文列が施され、胴部と区画する。201は山形口縁下にボタン状貼付文を有しており、口縁部には半截竹管による弧状沈線・山形沈線・横位沈線を有している。202は、口縁部に刺突の施された隆起線を有している。

C. (第28図23～第29図24、第43図203～208、写真図版10～23・24、写真図版16～203～208)

長胴形の深鉢で、器形が、胴部が膨れ頸部で締まり口縁部が聞くもののうち、胴部文様帶を有するものである。

23は、口縁部から胴下半部にかけてのものである。口縁部は平縁をなし、口縁の断面形は外反である。口唇内面には幅の広い隆起線を有する。口唇部外面には、斜繩文（LR）施文後に、口唇まで及ぶ弧状貼付文が貼付され、弧状貼付文には口縁部に垂下する縦位の貼付文が付く。縦位貼付文には斜繩文（LR）が施文されている。口縁部には、斜繩文（LR）施文後に横位の波状沈線・弧状沈線・横位沈線が施文されている。頸部には、隆起線を有し、隆起線には刻み・三角形印刻文が施文されている。胴上半部には、斜繩文（LR）施文後に縦位沈線・

連続する縦位弧状沈線・波状沈線・弧状沈線を有している。胴下半部には、斜繩文（LR）を有し、胴上半部と胴下半部は横位沈線と横位波状沈線によって区画されている。

24は、口縁部から底部にかけてのものである。口縁部は平縁をなし、口縁の断面形は外傾である。口唇に山形突起を有し、内外面に「の」の字状の貼付文が付く。口唇部は無文である。口縁部には、波状沈線・横位沈線・刺突文列・刻みを有する貼付文と、刻みを有する隆起線によって区画された無文部を有し、隆起線は頸部に横位に展開し、胴部と区画している。胴上半部には、刺突文列・波状沈線・横位沈線・縦位の波状貼付文と、刻みを有する隆起線によって縁取られた波頭文を有し、波頭文の内面は無文となっている。胴下半部は無文となっており、胴上半部と胴下半部は、横位の波状貼付文によって区画されている。

205は頸部から胴部資料で、203・204・206～208は口縁部から胴部にかけてのものである。口縁部は、203・206～208は平縁、204は山形口縁をなす。口縁部の断面形は、203・204・208は内反、206は外反、207は外傾である。文様は、203は口唇を厚く作り出し、口縁部には斜繩文（LR）施文後に幅の広い半截竹管による横位沈線が、頸部には半截竹管による横位沈線と貼付文が、胴部には半截竹管による斜め沈線と横位沈線が施文されている。204は口唇内面に隆起線を有し、口縁部には弧状沈線と集合沈線文が、頸部には縦位の集合沈線文を有する隆起線が、胴部には集合沈線文と三角形印刻文が施文される。205は、頸部には横位沈線と三角形印刻文・刻みが、胴部には弧状沈線・波状沈線・三角形印刻文・刺突を有する横位隆起線が施文されている。206は、口唇の内外面に隆起線を有し、外面の隆起線には刺突文が施文されている。口縁部は貼付文（剥落）と半截竹管による沈線、頸部には原体の側面圧痕文が、胴部には、斜繩文（LR）施文後に半截竹管による「L」字状と渦巻き状の文様を有している。207は、口縁部には幅の広い竹管による円文と、沈線間に半截竹管による刺突文を有する2条単位の縦位沈線と斜め沈線が施される。頸部には、半截竹管による横位沈線と横位刺突文列が、胴部には半截竹管による斜めの集合沈線が施されている。208は、口唇部に突起を有し（欠落）、口縁部には斜繩文（RL）施文後に三角形印刻文・梢円文・弧状沈線・波状沈線・横位沈線・橋状把手が、胴部には沈線を有している。

D. (第29図25～27、第43図209～第46図232、写真図版11～25～27、写真図版16～209～17～232)

長胴形の深鉢で、胴部が膨れ頸部で締まり口縁部が聞くもののうち、胴部文様帯をもたないものである。

25は、口縁部から胴下半部にかけてのものである。口縁部は波状口縁をなし、口縁の断面形は外傾である。口唇内外面に隆起線を有し、外面の隆起線には斜繩文（RL）施文後に、三角形印刻文を有している。口縁部には、斜繩文（RL）施文後に、渦巻き文・弧状沈線が施文される。頸部には段を有する。胴部には、斜繩文（RL）が施文されている。

26は、口縁部から胴上半部にかけてのものである。口縁部は山形口縁をなし、口縁の断面形は外傾である。山形口縁の頂部から下端が膨れる縦位貼付文が貼付され、貼付文には刻みを有する。口縁部には、横位沈線・山形沈線・刻みを有する。頸部には段を有し、刻みと三角形印刻文を有している。胴部には、回転羽状繩文が施文され、貼付文下にはボタン状貼付文を有している。

27は、口縁部から胴下半部にかけてのものである。口縁部は平縁をなし、口縁の断面形

は外傾である。口唇に突起を有し、突起の外面には横位貼付文と、横位貼付文に接続し、頸部まで垂下する縦位貼付文を有する。縦位貼付文には刻みが施される。口縁部には、斜繩文(LR)が施される。頸部には段を有し、胸部は無文である。

209～220は、口縁部に縦位の貼付文を有するものである。口縁部は、209は山形口縁、210・211は波状口縁、212は双頭口縁、213～220は平縁をなし、口縁部の断面形は、209・210・213・215・216・218は内反、211・220は外反、212・214・217・219は外傾である。胸部には、209・212・219は結節羽状繩文、213～218は結節回転繩文、210・211は単節斜繩文、220は綾絡文である。

文様は、209では口唇外面に幅の広い隆起線を有し、口縁部には横位沈線・弧状沈線・集合沈線文が施文され、その後に山形口縁の頂部より縦位貼付文が施文されている。頸部には、刻みを有する隆起線が施文されている。210は波頂部に突起を有している。口唇部には口唇の形状に沿って隆起線を有し、隆起線上には斜繩文が施文されている。口縁部には、斜繩文(LR)を施文後に両端が瘤状に膨れる縦位の貼付文が貼付され、貼付文上には斜繩文が施文されている。211は、折り返し口縁によって口縁部は肥厚する。口縁部には、波頂部下からの縦位貼付文(剥落)と横位沈線・ボタン状貼付文を有する。212は、縦位貼付文と集合沈線文を有する。213は口唇部に突起を有し、口唇部外面には横位の隆起線を有し、横位隆起線上には集合沈線文が施文されている。口唇部と口縁部は横位沈線によって区画される。口縁部には、縦位の集合沈線文施文後に半截竹管による波状沈線と、突起下には縦位貼付文を有し、貼付文上には横位の刻みが施される。頸部には、刻みを有する隆起線と横位沈線が施文されている。214は、口唇部は無文で、刺突文によって口縁部と区画される。口縁部には、縦位の結節回転繩文と刻みを有する縦位貼付が施文される。頸部には、刺突文を有する隆起線を有する。215は、口縁部は折り返し口縁をなす。口縁部には、横位沈線・刺突文列・刻みを有する縦位貼付文が、頸部には刻みを有する横位隆起線を有する。216は、口縁部には横位沈線・刻み・刻みを有する縦位貼付文が、頸部には刻みを有する隆起線が施文される。217は、口縁部には横位の結節回転繩文を施文後に横位の側面原体圧痕文を有する縦位貼付文が、頸部には段を設け胸部と区画する。218は、口縁部には横位沈線・山形沈線・刺突文列施文後に縦位貼付文が施文されている。219は、口縁部には横位の結節羽状繩文施文後に、両端に横位の梢円形貼付文を有する縦位貼付文が貼付される。縦位貼付文には、横位の刻みを有する。頸部は若干の段を有し、胸部と区画する。220は、口唇内面に隆起線(剥落)を有する。口縁部には、綾絡文施文後に、縦位の貼付文が施文される。

221～224は、口縁部に「ノ」の字状あるいは弧状の貼付文を有するものである。口縁部は、すべて平縁で、断面形は、221は外反、222～224は内反である。文様は、221は沈線と沈線間に刻み、刺突を有する弧状の貼付文が2段施文されている。胸部は無文である。222は口唇内面に隆起線を有し、口縁部には、斜繩文(RL)施文後に横位沈線・波状沈線が施文され、さらに「ノ」の字状・「の」の字状の貼付文が貼付される。頸部には段を有し、段の上位には、刻みを有する隆起線がある。胸部には、斜繩文(摩滅)が施文される。223は、口唇内面に隆起線を有する。口縁部には、斜繩文(RL)施文後に、横位沈線・波状沈線・「ノ」の字状貼付文が施文される。頸部には段を有し、胸部には斜繩文(RL)が施文される。224は口唇に突起を有し、口唇外面には集合沈線文と三角形印刻文を有する隆起線、口縁部には集合沈線文と刻みを有する「ノ」の字状貼付文を有している。頸部には段により胸部と区画し、胸部に

は結節羽状縄文が施文されている。

225・226は、口縁部に橋状の貼付文を有するものである。口縁部は、225は波状口縁、226は平縁で、断面形は225・226とも内反である。文様は、225は波頂部に突起、口唇内面には隆起線を有する。口縁部には斜縄文(LR)施文後に、横位沈線・円文・三角形印刻文と、波頂部下に橋状の貼付文を有している。頸部には段を有し、胴部には斜縄文(LR)が施文される。226は、口唇部に、頂部に縦孔を有する楕円形の貼付文を有し、貼付文には横位沈線と刺突が施される。口縁部には、弧状沈線・刻み・橋状の貼付文を有する。胴部は無文である。

227～229は、口縁部にボタン状貼付文を有するものである。口縁部は、すべて平縁、断面形は内反である。文様は、227は口縁部にはボタン状貼付文を貼付後に横位沈線・縦位の弧状沈線を施文している。頸部には段を有し、胴部には横位の結節羽状縄文が施文される。228は、上下2個のボタン状貼付文、横位・斜めの竹管による刺突文列を有する。胴部には木目状の燃糸文が施文される。229は、口唇内面に隆起線を有し、口縁部には横位・斜め沈線と集合沈線を施文後にボタン状貼付文を貼付している。胴部には斜縄文(LR)が施文される。

230～231は、口縁部文様態の施文が沈線によるものである。口縁部は、平縁で、口縁部の断面形は、230は外傾、231は内反、232は外反である。文様は、230は口縁部には平行沈線と波状沈線が、頸部には刻みを有する隆起線が、胴部には結節羽状縄文が施文されている。231は、口唇部内面は肥厚し、口縁部には半截竹管による縦位・横位の沈線が施文される。頸部には、横位の隆起線を有し、隆起線上には三角形印刻文と刻みが施されている。胴部には、結節回転縄文が施文される。232は、口縁部は折り返し口縁をもち、三角形印刻文が施される。口縁部には、沈線と刻みによる楕円文を有している。胴部には、櫛引文を有している。

E. (第30図28～32、第46図233～239、写真図版11～28～32、写真図版17～233～239)

長胴形の深鉢で、器形が口縁部から胴部にかけて直線的に立ち上がるものの、あるいは胴部が直線的に立ち上がり、頸部で屈折し口縁部が開くもので、区画された口縁部文様帯を有するものである。

28は、口縁部から胴下半部にかけてのものである。口縁部は平縁をなし、口縁の断面形は、頸部で「く」の字状に屈折し内反している。口唇の内外面に隆起線が付く。口唇に、3個単位と思われる突起を有し、中央の突起は円形と思われ、貫通孔と刻みが付く。両側の突起は、内面と外面の隆起線が中央の突起に向かって弧状に付き、弧状突起の下部の口縁部には橋状の貼付文が貼付されている。橋状貼付文には回転羽状縄文が施文されている。口縁部には、先の細い工具による格子状の文様を有している。胴部には縦位の結節羽状縄文が施文される。

29は、口縁部から胴部中央にかけてのものである。口縁部は平縁をなし、口縁の断面形は内反である。口縁部には横位沈線と2条の横位山形文、頸部には刺突を有する隆起線、胴部に木目状燃糸文が施文されている。

30は、口縁部から胴部中央にかけてのものである。口縁部は平縁をなし、口縁の断面形は外傾である。口縁部には、横位沈線と刺突文列が施文され、左右対称の刻みを有する縦位の弧状貼付文が貼付され、頸部の刻みを有する隆起線と接続している。胴部には、綾絡文を有している。

31は、口縁部から胴下半部にかけてのものである。口縁部は平縁をなし、口縁の断面形

は、頸部で屈折し外傾している。口唇には刻みを有する。口縁部には、横位沈線と刻みを有し、胸部には縦位の結節回転繩文(RL)を有している。

32は、口縁部から胸下半部にかけてのものである。口縁部は平縁をなし、口縁の断面形は内反である。口唇内面に隆起線を有し、口唇に突起を有している。口縁部には、横位沈線・横位山形沈線・刺突文列と、突起下には刻みの施された弧状沈線が垂下し、頸部の刻みを有する隆起線と接続している。胸部には、縦位の結節回転繩文(RL)が施文されている。

233～239は口縁部片である。口縁部は、235～237・239は平縁、233は山形口縁、238は一部小波状口縁をなし、口縁部の断面形は、235・236・238・239は内反、233・237は外傾、234は外反である。文様は、233は山形口縁の頂部下にボタン状貼付文を有し、頸部には刺突の施された隆起線が胸部と区画している。胸部には斜繩文(RL)が施文される。234は口縁部には弧状の貼付文と、二条単位の横位沈線が施文され、沈線間に集合沈線文を有している。頸部には、横位の波状沈線を有し胸部と区画し、波状沈線の端部は縦位に胸部に垂下している。235は口唇から胸部にかけて斜繩文(LR)が施文され、繩文施文後に口縁部に横位沈線・波状沈線・ボタン状貼付文が施文されている。236は口縁部には波状沈線を有し、頸部には刻みを有する横位隆起線が施文される。胸部には綾繩文を有する。237は折り返し口縁を持ち、外面には斜繩文(RL)が施文されている。口縁部には半截竹管による横位沈線・刺突・横位隆起線を有している。胸部には斜繩文(RL)が施文される。238は口唇から胸部にかけて斜繩文(LR)施文後、口縁部に刻みを有する貼付文・横位沈線・波状沈線が施文されている。239は半截竹管による横位沈線文と斜め沈線・刺突文・貼付文を有する。胸部には斜繩文(LR)が施文される。

F. (第46図240～第47図242、写真図版17～240～242)

長胴形の深鉢で、器形が、口縁部から胸部にかけて直線的に立ち上がるもので、区画された口縁部文様帯をもたないものである。

口縁部は、240は平縁、241・242は山形口縁をなし、口縁部の断面形は、240は外反、241は内反、242は外傾である。文様は、240は口唇に刻みを有し、地文(原体不明)施文後に半截竹管による山形沈線が施文されている。241は山形口縁頂部に貼付文(剥落)を、口唇内面には隆起線を有する。斜繩文(LR)施文後に縦位の貼付文が垂下している。胎土に金雲母を多量に含んでいる。242は口唇に波状・弧状の貼付文、内面には横位の隆起線を有している。刺突を有する波状・直線状の貼付文が、垂下している。240は、本類に分類したが大木5式の可能性もある。

G. (第31図33～35、第47図243～第49図269、写真図版11～33～12～35、写真図版17～243～269)

長胴形の深鉢で、胸部が欠損し、器形が不明のものを一括した。

33～35は、口縁部資料である。33は、口縁部は平縁をなし、口縁の断面形は外傾である。口縁部には、先端の尖った工具による細い縦位の沈線を施文後に、口唇部から頸部に至り、頸部の横位隆起線と連結する左右対称の弧状貼付文が貼付される。貼付文及び頸部の隆起線には刻みが施される。

34は、口縁部は山形口縁をなし、口縁の断面形は外反である。頂部下に横位の弧状貼付文

を有する。口縁部には、横位沈線と刻みが施され、頂部下には横位の弧状沈線を有している。

35 は、口縁部は平縁をなし、口縁の断面形は外反である。口唇外面に刻みの施された隆起線を有する。口縁部には、波状沈線・横位沈線と上端が尖る縦位貼付文を有し、貼付文には刺突が施される。

243～269 は、口縁部である。243～250 は、口縁部に縦位の貼付文を有するものである。口縁部は、243～245・247・248・250 は平縁、249 は波状口縁、246 は山形口縁で、口縁部の断面は、243・246・248～250 は内反、244・245・247 は外反である。文様は、243 では口縁部に横位沈線・刺突文列・刻みを有する縦位貼付文、頸部には横位刺突文列を有する。244 は、口縁部に横位沈線施文後に、縦位沈線が施文される縦位貼付文が貼付される。245 は、口縁部に横位沈線・波状沈線施文後に、刻みを有する二条の縦位貼付文が貼付され、両端には橋状の貼付文が付く。246 は口唇内面が肥厚する。山形口縁の頂部は膨れ、橢円形・円形の貼付文がつく。口縁部には斜繩文 (RL) 施文後に弧状沈線・渦巻状沈線・横位沈線が施文され、山形口縁の頂部より縦位の貼付文が貼付される。247 は、口縁部に弧状・縦位貼付文が貼付される。頸部には半截竹管による横位沈線を有する。248 は、口唇内面には折り返し口縁を有する。口縁部には、刻みを有する縦位貼付文と渦巻き状沈線・集合沈線文・三角形印刻文を有している。頸部には横位の隆起線を有し、隆起線上には三角形印刻文が施文される。249 は、口縁部に縦位の弧状の沈線と、波状口縁の波頂部下にボタン状貼付文と刻みを有する縦位の貼付文を有している。250 は、口唇には山形の突起を有し、突起には格子状の貼付文がつく。口縁部には、横位の結節回転繩文施文後に、突起下に刺突を有する縦位の波状貼付文がつく。頸部には、横位隆起線を有し、隆起線上には刺突が施される。

251～253 は、口縁部に「ノ」の字状の貼付文を有するものである。口縁部は、全て平縁をなし、252 では山形状の突起を有しており刺突が施される。口縁部の断面形は、すべて内反である。文様は、251 では、斜繩文 (LR) 施文後に、「ノ」の字状貼付文が貼付され、横位沈線と刺突文が施文されている。胎土に金雲母を多く含んでいる。252 は、沈線による網目状の文様を施文後に、突起下に、刻みを有する縦位の「ノ」の字状貼付文が 2 条単位で貼付され、その間は無文となっている。253 は、口縁部に半截竹管による横位沈線・山形沈線・集合沈線を施文後に、「ノ」の字状貼付文を貼付している。頸部には、隆起線を有し、隆起線には刻みが施される。

254～256 は、口縁部にボタン状貼付文が貼付されるものである。口縁部は、254・255 は平縁、256 は山形口縁をなし、口縁部の断面形はすべて内反である。文様は、254 は口唇が内面に折り返され、口縁部には横位沈線・鉤状の沈線・波状沈線・曲線状の沈線とボタン状の沈線が施文される。頸部には、横位の刺突文列を有する。255 は、口唇部に突起を有し、内面には貼付文を有している。口縁部には、ボタン状貼付文（剥落）・横位沈線・縦位弧状沈線が施文される。頸部には、刺突文列・横位沈線が施文される。256 は、口縁部にボタン状貼付文・横位沈線・斜め沈線・刺突文列が施文される。頸部には、横位沈線が施文されている。

257～259 は、上記以外の貼付文を有するものである。口縁部は、257・258 は平縁、259 は波状口縁で、口縁部の断面形は、257・259 は外反、258 は内反である。文様は、257 は口唇に山形状の突起があり、口縁部には、斜繩文 (RL) 施文後に、山形沈線と、山形状の突起の下に橋状の貼付文を有する。258 は口縁部上半には刻みを有する横位の隆起線と、円形の貼付文・部分的に山形に屈折する刺突が施された横位貼付文を有する。口縁部下半には半截沈

線による横位の波状沈線を有している。259は口唇に突起を有し、口縁部には斜め沈線・刺突文列と、刻みを有する渦巻状の貼付文と、その周りを囲む菱形の貼付文を有している。頸部には、ボタン状の貼付文と、それに繋がる刻みを有する横位の貼付文が施文される。

260～266は、口縁部に沈線により文様を施文するものである。口縁部は、261～266は平縁、260は波状口縁をなし、口縁部の断面形は、264は内反、260・263・266は外反、261・262・265は外傾である。文様は、260は波頂部直下に横位の弧状沈線を、他には横位沈線・刺突文列を有している。261・262は口縁部に横位沈線と波状沈線が、頸部には261は刺突を有する隆起線が、262は隆起線を有している。263は、口唇外面に隆起線を有する。口縁部には、横位沈線と集合沈線文を有している。264は、口唇部の外側に折り返し口縁を有し、三角形印刻文が施される。口縁部には、縦位沈線・横位沈線・山形沈線が施されている。265は、口縁部には横位沈線・縦位沈線が施文される。頸部には、隆起線を有し、隆起線には刻みが施されている。266は、口縁部には横位沈線・斜め沈線・縦位沈線と、斜め刺突文列・縦位刺突文列による区画文を有している。頸部には、隆起線と横位沈線を有し、隆起線には刻みが施されている。

267～269は、突起あるいは大型の突起を有する口縁部である。口縁の断面形は、すべて内反である。269は、口唇の一部が斜めにせり出し、先端が円形に膨らむ。突起部より口縁部にかけて、斜縫文（原体不明）が施文されている。268は、突起は大きく膨れ、内外面の周縁は隆起線で縁取られ、外面の隆起線には刻みを有している。突起の口唇には刻みを有する円形の貼付文が貼付される。269は口縁部に大型の突起を有している。突起の表裏には「の」の字状の貼付文がつき、裏面の貼付文の中心は大きく窪んでいる。突起の口唇には、盲孔を有する円形の貼付文がつく。口縁部には、表面の「の」の字状の貼付文を中心に、弧状に、集合沈線文・弧状沈線・山形沈線・三角形印刻文が施文されている。

H. (第31図36、写真図版12～36)

上記以外のものである。31は、深鉢の胴下半部から底部にかけてのものである。斜縫文(LR) 施文後に、底部直上まで幅の狭い半截竹管による縦位沈線・弧状沈線・縦位の渦巻き文と、半截竹管によって縁取られた縦長で幅の広い「匚」状の凹みを4単位有しており、底部の外周も抉れている。胎土には、粗砂は見られず、胎土は緻密である。焼成は硬い。搬入品の可能性がある。

第3類 (第31図37～第33図44、第49図270～第50図285、写真図版12～37～44、写真図版17～270～18～285)

大木7b式に相当すると思われるものである。器種は、球胴形深鉢・長胴形深鉢がある。

A. (第31図37、第49図270、写真図版12～37、写真図版17～270)

球胴形の深鉢である。

37は、口縁部から胴下半部にかけてのもので、口縁部と胴部の境が不明瞭なものである。口縁部は平縁をなし、口縁の断面形は口唇直下で若干縮まり外反している。口唇外面に隆起線を有し、隆起線には斜縫文(RL)が施文される。口唇の2箇所に突起を有している。突起下には「の」の字状の貼付文、突起間に「W」状の貼付文が付き、貼付文には斜縫文(RL)

が施文されている。口唇部の隆起線から胴中央部にかけて斜縄文 (RL) が施文されている。

270 は、口縁部から胴上半部にかけてのもので、口縁部は平縁をなし、断面形は頸部で若干縮まり外傾である。文様は、口唇に斜縄文 (LR) が施文され、口縁部には斜縄文 (LR・RL) 施文後に、曲線状の貼付文と、胴部に斜めに垂下する貼付文と、それに接する橋状の貼付文がつく。頸部には段がつき、胴部と区画する。胴部には、斜縄文 (RL) が施文される。胎土に、金雲母を多く含む。

B. (第 49 図 271 ~ 273、写真図版 17 ~ 271 ~ 273)

長胴形の深鉢で、器形が頸部で縊まり口縁部が開くもののうち、口縁部文様帯・胴部文様帯を持つものである。271 ~ 273 は同一固体である。口縁部は平縁、断面形は外傾をなし、口唇部内面は膨れる。口唇には双頭口縁状の突起を有している。文様は、口縁部には、沈線による円文と区画文を有し、区画文内には鉤状の沈線を有している。頸部には、段を有し胴部と区画する。胴部には、口縁部同様の文様を有している。

C. (第 31 図 38 ~ 第 32 図 41、第 49 図 274 ~ 第 50 図 282、写真図版 12 ~ 38 ~ 41、写真図版 17 ~ 274 ~ 18 ~ 282)

長胴形の深鉢で、器形が頸部で縊まり口縁部が開くもので、口縁部に縊位の貼付文を有し、胴部文様帯を持たないものである。

38 は、口縁部から胴下半部にかけてのものである。口縁部は山形口縁をなし、口縁の断面形は外傾である。山形口縁頂部下に縊位の貼付文を有し、口唇部から胴下半部に斜縄文 (LR) が施文される。頸部には段を有し、二個一対のボタン状貼付文を有する。

39 は、口縁部から胴上半部にかけてのものである。口縁部は平縁をなし、口縁の断面形は外反である。口唇外面に隆起線が付く。口唇の隆起線、口縁部、胴部に斜縄文 (LR) が施文され、口縁部には斜縄文施文後に縊位の弧状貼付文が貼付されている。貼付文にも斜縄文 (LR) が施文されている。胴部とは段によって区画している。

40 は、口縁部から胴中央にかけてのものである。口縁部は山形口縁をなし、口縁の断面形は外傾である。口唇外面に幅の広い隆起線を有し、山形口縁の頂部より頸部隆起線に接続する貼付文（剥落）を有している。口縁部には、横位結節縄文 (RL)、胴部には縊位の回転羽状縄文 (RL・LR) が施文される。

41 は、口縁部から胴中央にかけてのものである。口縁部は平縁をなし、口縁の断面形は内反である。口唇外面に隆起線を有し、隆起線から頸部隆起線に接続する「U」字状の貼付文を有し、貼付文には刻みを有している。頸部には、横位の隆起線を有し刻みが施される。口縁部・胴部には、回転羽状縄文を有する。

274 ~ 282 は、口縁部片である。口縁部は、274 ~ 280 は平縁、281 ~ 282 は山形口縁で、口縁部の断面形は、274 ~ 279・281 は内反、280・282 は外傾である。文様は、274 は口唇部に斜縄文 (LR) を有し、口縁部には斜縄文 (LR) 施文後に縊位の下部の膨れる貼付文を有している。275 は、斜縄文 (LR) 施文後、原体の側面圧痕が施され、縊位の梢円形状の貼付文が貼付される。頸部には、横位の隆起線が有し、隆起線には刺突が施されている。胎土に、金雲母を多く含む。276 は、口縁部には斜縄文 (RL) が施文される。頸部には段を有し、胴部と区画する。胴部には、斜縄文 (RL) 施文後に、頸部から胴部にかけて「Y」字状の貼付

文を有する。277 は、口唇に山形突起を有している。口縁部から胴部にかけて、斜繩文 (LR・RL) が菱状に施文され、山形突起下に口縁部に「Y」字状の貼付文が貼付される。貼付文には斜繩文 (LR) が施文される。278 は、口唇部は無文で、口縁部との境には刺突文列を有している。口縁部には、原体の側面圧痕文を施文後に縱位の貼付文が貼付され、貼付文には原体側面圧痕文を有している。279 は、折り返し口縁を有し、口縁部には結節を有する横位の斜繩文 (RL) 施文後に、折り返し口縁より「U」字状の貼付文が垂下する。貼付文には刺突が施されている。口縁部と胴部は若干の段によって区画され、胴部に結節を有する横位の斜繩文 (RL) が施文される。280 は、口縁部に撚糸文施文後に「匁」状の貼付文を有する。胴部とは、巻貝の殻頂部を施文具としたと思われる三角形印刻文によって区画されている。胴部には、撚糸文が施文される。281 は、山形口縁の頂部に横位の弧状の貼付文を、口唇内面には、隆起線を有する。口縁部から胴部にかけて、縱位の結節回転繩文を有し、山形部と山形部の中間の口唇より口縁部に縱位の貼付文が付き、頸部で弧状の貼付文と連結している。貼付文には刻みを有する。282 は、山形口縁の頂部の口唇の両側縁に瘤状の貼付文を有している。口縁部には、斜繩文 (RL) 施文後に、頂部下から貼付文が垂下しているが、剥落のため形状は不明である。

D. (第 32 図 42・43、写真図版 12 - 42・43)

長胴形の深鉢で、器形が、口縁部から胴部にかけて直線的に立ち上がるものである。

42・43 は、口縁部から胴下半部にかけてのものである。口縁部は平縁をなし、口縁の断面形は、42 は外傾、43 は外反である。口唇外面には幅の広い隆起線を有し、42 では隆起線に斜繩文 (RL) が施文され、43 は無文である。口縁部には、横位の回転羽状繩文 (RL・LR) 施文後に、42 は両端の膨れる縱位の貼付文が貼付され、貼付文には刺突が施される。43 は弧状貼付文が貼付され頸部の隆起線と接続している。頸部には、42 は段を有し刺突が施され、43 には横位の隆起線を有し刺突が施されている。胴部には、42 は横位の、43 は縱位の回転羽状繩文 (RL・LR) が施文される。

E. (第 33 図 44、写真図版 12 - 44)

長胴形の深鉢で、器形が、胴部が直線的に立ち上がり、頸部で屈折し、口縁部が大きく開くものである。44 は、口縁部から胴部上半にかけてのものである。口縁部は平縁をなし、口縁の断面形は外傾である。口唇内面に隆起線を有し、口唇には沈線を有し、半截竹管による刺突が施されている。口縁部と胴部には、縱位の結節回転繩文 (LR) を有する。頸部には、横位の隆起線を有し、隆起線には等間隔に橋状の貼付文が貼付されている。

F. (第 50 図 283 ~ 285、写真図版 18 - 283 ~ 285)

長胴形の深鉢で、原体側面圧痕による文様を有するものである。口縁部は、273 は平縁、284 は波状口縁、285 は山形口縁をなし、口縁部の断面形は、283 は外傾、284・285 は内反である。文様は、283 は、口唇部の一部に突起を有し、口縁部には原体側面圧痕による三角形形状・菱形の文様を有し、頸部には隆起線が巡る。胴部には、横位の結節羽状繩文を有する。284 は、波頂部内面に円形の貼付文が付く。口縁部には、原体側面圧痕文を施文後に弧状の貼付文を貼付し、貼付文は頸部の横位隆起線と連結している。胴部には、横位の側面原体圧痕

を有している。285 は、口唇部には原体側面圧痕文による刻みを有する。口縁部には、原体側面圧痕文を施文後に円形の貼付文を貼付し、貼付文には原体側面圧痕文による刻みを有している。

第三群

縄文時代中期中葉から中期後葉の、大木 8a 式から大木 9 式に相当すると思われるものの一括した。出土点数は少ない。

第1類（第 33 図 45、第 50 図 286～294、写真図版 12～45、写真図版 18～286～294）

大木 8a 式に相当すると思われるものである。

45 は、深鉢の口縁部から胴部中央にかけてのものである。口縁部は平縁をなし、口縁の断面形は内反である。口唇部は無文である。口縁部には、斜縄文 (RL) 施文後に、隆沈線による大きな波状文による区画を有し、区画の内側には沈線による渦巻き文を有している。波状文は、口唇部との境の 2 条の横位沈線と、胴部との境の横位の隆起線に接し、横位沈線との交点には有する横位貼付文が貼付され、隆起線との交点には刺突文を有している。胴部には、斜縄文 (RL) が施文される。

286～294 は深鉢の破片資料である。口縁部は、286・289・290 は平縁をなし、287・288 は大型突起を有している。口縁部の断面形は、286・287・289・290 は内反、288・290 は外傾をなす。文様は、286 では、口唇部・口縁部とも、斜縄文 (LR) 施文後に隆起線を施文され、口唇部では横位隆起線、口縁部では横位隆起線と波状の隆起線を有している。287 は、突起の表裏に隆起線による文様を有し、口縁部には縦位の原体側面圧痕文を、胴部には斜縄文 (RL) 施文後に横位沈線を有している。288 は、山形突起に径 2cm 程の貫通孔を有し、口縁部には斜縄文 (RL) 施文後に隆起線を有する。隆起線の一部には、沈線による縁取りを有している。289 は、口唇部は膨れ、口唇部には、口縁部と区画する隆起線と、隆起線に接続する縦位の X 字状の貼付文によって、横位の長梢円形区画文を有し、区画文内には刺突文列を有している。口縁部には、口縁部から胴部にかけて斜縄文施文後に、隆起線による三角形状の区画文、渦巻き文を有する。隆起線の全てではないが、隆起線の両側縁が沈線によって縁取りされている。290 は、口唇内面は膨れ、口唇部には X 字状の貼付文と刺突文列を有する。口縁部から胴部にかけて、連続する斜縄文 (RL) を施文後に、口縁部には沈線による縁取りを有する隆起線が、胴部に連続する横位弧状沈線が施文されている。291・293・294 は、口縁部から胴部にかけてのものであるが、口唇部を欠損する。291 は、口縁部から胴部にかけて、連続する斜縄文 (LR) 施文後に、口縁部には、隆起線による三角形状の区画文を有し、区画文内には沈線による三角形状・滴状の文様が、頸部には 2 条の横位沈線と沈線内には波状の隆起線が施文される。293 は、口縁部から胴部にかけて斜縄文施文後に、口縁部には隆起線、胴部には隆起線と沈線による文様を有する。294 は横位・縦位の斜縄文 (LR) 施文後に、口縁部には沈線による縁取りを有する隆起線によって、区画文が施文される。292 は胴部片である。斜縄文施文後に縦位沈線・縦位波状沈線・縦位に連続する弧状文が施文されている。

第2類（第 52 図 295～297、写真図版 18～295～297）

大木 8b 式に相当すると思われるものである。295～297 は深鉢の破片資料である。出土

点数は少ない。口縁部は、すべて内反し、断面形は内反である。文様は、295では、口唇部は、二条の横位隆起線と、隆起線に接続する「ノ」の字状の貼付文によって区画されている。口縁部には、斜繩文（LR）が施文される。296は、口縁部に横位斜繩文（LR）施文後に、二条の隆起線と「ノ」の字状の貼付文を有する。胴部には、縦位の斜繩文（LR）が施文される。297は、口唇部には二条の横位隆起線が、口縁部には斜繩文（LR）施文後に隆起線による渦巻き状の文様を有している。

第3類（第52図298、写真図版18-298）

大木9式に相当するものである。出土点数は1点のみである。

298は深鉢の胴部下半から底部にかけてのもので、繩文（RL）施文後に、底部直上まで三本単位の縦位沈線が施文されている。

第IV群

縄文時代後期中葉から後期後葉と思われるものを一括した。出土点数は少ない。

第1類（第52図299~303、写真図版18-299~303）

文様が、磨消繩文によるものである。299は深鉢の口縁部片、300~302は深鉢の胴部片である。299は、口縁部は弱い波状口縁をなし、口縁部の断面形は内反である。口唇部には斜繩文（RL）が施文され、口縁部には沈線と磨消繩文による曲線文を有している。300は、斜繩文（RL）を施文後に、横位沈線と磨消繩文に曲線文が描かれ、横位沈線上には刻みを有している。301は、胴部上半には磨消繩文による入り組み文が、下半には曲線文を有する。胴部文様帶の上半と下半の境には、二条の横位沈線を有し、沈線間は磨り消されている。302は、斜繩文（LR）施文後に、横位沈線・磨消繩文・刺突が施されている。

303は注口土器の口頸部から胴部にかけてのものである。口頸部には、磨消繩文による曲線文を有し、胴部には隆起線と突起を有し、隆起線には刻みが施されている。

第2類（第33図46、第52図304~306、写真図版13-46、写真図版18-304~306）

充填繩文を有するものである。

46は、口縁部から胴上半部にかけてのものである。口縁部は平線をなし、口縁の断面形は垂直に立ち上がっている。口唇部には、充填繩文を施文後に二個一対の貼付文を有している。口縁部は横位沈線によって区画され、内部は無文である。胴部には、横位沈線と充填繩文が施され、二個一対の貼付文を有している。

304~306は破片資料で、304は鉢の口縁部突起、306・306は鉢の口縁部片である。口縁部は、306は波状口縁、307は平線をなし、口縁部の断面形は、304~306は内反である。

文様は、304は突起の頂部は窪み、両側縁にボタン状の貼付文を有し、表面には、充填繩文による曲線文を有する。305は口唇部に弧状の文様帶を持ち斜繩文（RL）が充填され、頸部には横位沈線による区画文を持ち、区画文には斜繩文（RL）が施文されている。306は、口唇部に斜繩文（RL）が施文され、口縁部には沈線と充填繩文による円文・曲線文が施文されている。

第3類（第33図47、第52図307～317、写真図版13-47、写真図版18-307～317）

入組文を有するものである。

47は、口縁部から胴中央部にかけてのものである。口縁部は平縁をなし、口縁の断面形は内反である。口唇部は無文で、口縁部には横位沈線によって区画された文様帶に、沈線による入組文を有している。胴部には、斜繩文(LR)が施文される。

307～317は破片資料で、308～310・312～317は鉢の口縁部片、307・311は鉢の胴部片である。口縁部は、308～310・312・313・315～317は平縁、314は山形口縁をなす。口縁部の断面形は、312～317は内反、308～310は、口縁部は内反し口唇部がL字状に外側に折れ曲がっている。

文様は、307は入組文と横位沈線を有し、入組文の交点には瘤状の貼付文を有し、横位沈線間に刻みが施される。308～310は、口唇部には刻みを有し、入組文内に瘤状の貼付文を有している。308では、入組文は、沈線と磨消繩文により、入組文内には斜繩文(RL)を残している。311～317は入組文内に刻みが充填されるものである。312・313では、胴部に斜繩文(LR)が施文され、口縁部・胴部の境には中心に盲孔を有するボタン状貼付文が貼付され、312では口唇部に刻みと突起、313は横位沈線と刻みを有している。314は、山形口縁の頂部は窪んでおり、胴部との境にはボタン状の貼付文を有している。315は、口唇部には横方向からの刺突を有している。316は、口唇に突起と刻みを有し、口縁部の上位には斜繩文(LR)が施文されている。317は、口唇部に盲孔のある突起を有している。

第4類（第52図318～第53図325、写真図版18-318～325）

口縁部に数条の横位平行沈線を有し、平行沈線間に瘤状貼付文や刺突文・刻みが充填されるものである。

318～325は、鉢の口縁部片である。口縁部は、318～323は平縁、324は山形口縁、325は小波状口縁をなす。口縁部の断面形は、319～321・324は内反、325は外反、322・323は外傾、318は内反し口唇部が外側にL字状に折れ曲がっている。

文様は、318では口唇に刻みを有し、口縁部には斜繩文(LR)が施文後に、横位沈線が施文され、沈線間の磨消繩文と瘤状貼付文の貼付が行われている。319～321は、沈線間に刺突文が充填されるもので、319・321は口唇部から口縁部にかけて横位沈線が施文されている。319・320は、口唇に突起を有し、319では突起に刻みが施されている。320は、胴部に斜繩文(LR)が施文されている。322～325は、沈線間に刻みが充填されるもの、322・323は口唇部から口縁部にかけて横位沈線を有している。322は口唇に突起を、323は口唇に突起と刻みを、324では口唇に刻みが施され、口縁部上半に斜繩文(LR)が施文され、横位沈線間の刻みの磨消しも見られる。325では、胴部に沈線による文様が施文されている。

第5類（第53図326～328、写真図版18-326～328）

口縁部に横位の弧状沈線を有するものである。

326～328は、鉢の口縁部片である。口縁部は、326は山形口縁をなし、327・328は小波状口縁をなす。口縁部の断面形は、326は内反、327・328は頂部で締まり、327は外反、328は内反する。

文様は、326では、山形口縁の頂部に2つの窪みを有し、口縁部の弧状沈線内には刻みが充

墳されている。327・328は、口縁部は、横位の弧状沈線のみの施文で、胴部を区画する横位沈線を有する。胴部には、327は斜繩文（LR）が、328は斜繩文（摩滅）が施文されている。

第V群（第53図329～331、写真図版18～329～331）

縄文時代晩期のものと思われるものである。出土点数は3点と少ない。329は、鉢の口縁部片である。口縁部は小波状口縁をなし、断面形は内反する。文様は、波頂部下に沈線による渦巻き状の文様を有し、頸部には横位の三叉文、口縁部には横位沈線、胴部には斜繩文（LR）が施文されるが摩滅が著しい。330は、注口土器の頸部から胴部にかけてのものである。頸部には刻みが施され、胴部には雲形文・横位沈線が施文されている。331は、浅鉢の口縁部から胴部にかけてのものである。口縁部は平縁をなし、断面形は内反気味に立ち上がり、口唇部が外反している。文様は、口唇部内面に一条の横位沈線を有し、口縁部には横位沈線と変形工字文、胴部は無文である。

329が大洞B式、330が大洞C1式、331が大洞A'式である。

第VI群（第34図48～51、第53図332～338、写真図版13～48～51、写真図版18～332～338）

粗製の土器、あるいは無文のため時期不明のものを一括した。

48は、注口土器の頸部から底部にかけてのものである。無文で、底部は丸みを帯びている。

49は、深鉢の口縁部から底部にかけてのものである。口縁部は平縁をなし、口縁の断面形は外反である。口縁部は無文で、胴部には無節斜繩文を有している。

50は、深鉢の口縁部から底部にかけてのものである。口縁部は平縁をなし、口縁の断面形は外傾である。口縁部・胴部とも無文である。

51は、深鉢の口縁部から胴下半部にかけてのものである。口縁部は波状口縁をなし、口縁の断面形は外傾である。口唇部外面に、隆起線を有している。無文である。

332～338は、破片資料である。332～337は深鉢の口縁部から胴部にかけてのもの、338は浅鉢の口縁部から胴部にかけてのものである。口縁部は、すべて平縁をなす。口縁部の断面形は、338は内反、332・333・335～337は外反、334は外傾である。

文様は、332では口唇に山形突起を有し、口唇部外面に隆起線を有している。頸部には段を有し、胴部には斜繩文（RL）が施文される。333は口唇部にS字状の貼付文を有し、S字状貼付文の箇所のみ山形にせり出している。口唇から胴部にかけて、単節斜繩文（LR）が施文される。334は、口唇は尖り、部分的に竹管による刺突文を有している。口唇から胴部にかけて網目状燃糸文が施文される。胎土に植物纖維を多く含んでいる。335は、口縁部に折り返し口縁を有し無文である。胴部には、櫛引文が施文されている。336は、口縁部は無文で、胴部には燃りの粗い燃糸文が施文されている。337は、口唇に山形突起と中央が窪む突起を有している。口縁部から胴部は無文である。338は、口唇に山形及び波状の突起を有し、山形突起下には横位貼付文、波状突起下には縦位貼付文（一部剥落）を有するが、他は無文である。頸部には段を有し、胴部は無文である。

第VII群（第34図52・53、写真図版13～52・53）

上記以外の、特殊な土器片である。

52は、台付鉢の底部である。内外面にタール上の物質が付着している。

53は、動物意匠突起付土器の破片である。クマあるいはイノシシと思われる動物が意匠される。眼は沈線によって描かれ、鼻は大きく迫り出し刺突による鼻孔を有している。中空である。

2 土製品（第54～57図、第6表、写真図版19）

袖野I遺跡より出土した土製品は、土偶7点・スタンプ形土製品1点・管形土製品1点・器種不明土製品1点・土製円盤75点がある。以下、器種ごとに説明を行う。

(1) 土偶（第54図1～7、写真図版19-1～7）

土偶は、7点が出土した。1は、頭部から腹部にかけてのものであるが、頭部の一部と左腕が欠損する。眼は窪みによって、口は幅の狭い沈線によって表現されている。右腕は、三角形状に先が尖る。胸部から腹部にかけて縦位沈線による文様が施文されるが、背面は無文である。2は、頭部片である。眼は貫通孔2個によって表現され、細い工具によって施文された鼻と思われる縱位の沈線を有している。表裏側面に2条の縦位沈線を有する。3は、腹部である。臍と思われる貼付文を有し、下端には切れ込みが入っている。粗砂を含み、表面はザラザラしている。4は、脚部である。太く作り出され、横断面は円形である。底面は脚部と比べ大きく作り出され、境には沈線が巡る。裏面は平坦に作り出され、直立が可能である。5～7は、板状土偶の破片で、部位不明のものである。5は、片面には二条単位の沈線による山形文と平行沈線が描かれ、沈線間には刺突文を有している。他の片面には波状文を有している。6は、貫通孔を有している。片面には、細い工具による沈線と刺突文が、他の片面にはペン先状の工具による二条単位の沈線・刺突文を有する。7は、表裏とともに押し引きによる文様を有する。

(2) スタンプ状土製品（第54図8、写真図版19-8）

完形のもの1点が出土した。スタンプ面には、沈線による円文が四重描かれている。背面に把手状の柄を有し、先端には切り目が入っている。

(3) 管形土製品（第54図9、写真図版19-9）

ほぼ完形のものである。縦断面は梢円形、横断面は円形で、径5mmほどの貫通孔を有している。全体に刺突文が施される。

(4) 器種不明土製品（第54図10、写真図版19-10）

1点が出土した。全体の1/4程が欠損する。円錐形状の土製品で、底面は抉れている。頂部から径4mm程の貫通孔を有している。表面の貫通孔から、十字状に沈線を有し、側縁にも一条の沈線が巡っている。

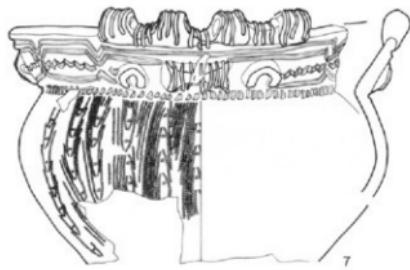
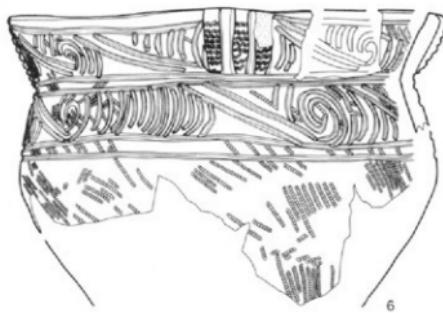
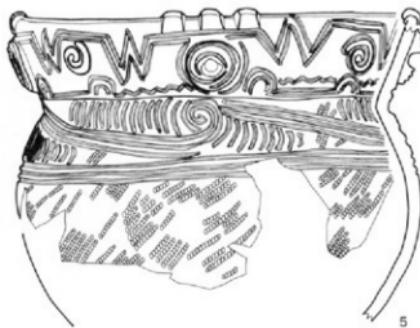
(5) 土製円盤（第55図11～第57図85、写真図版19-11～85）

75点が出土した。11～16は、周縁を打ち欠きのみによって整形したものである。17～44は、打ち欠きによって整形した後、部分的に研磨しているものである。45～79は、周縁を研

磨するものである。80～85は、大型の土製円盤である。80・81は打ち欠きのみ、82は一部研磨、83・85はほぼ全周研磨、84は全周を研磨している。81は口縁部片の利用で、83は底部片の利用である。



第23図 遺構外出土土器

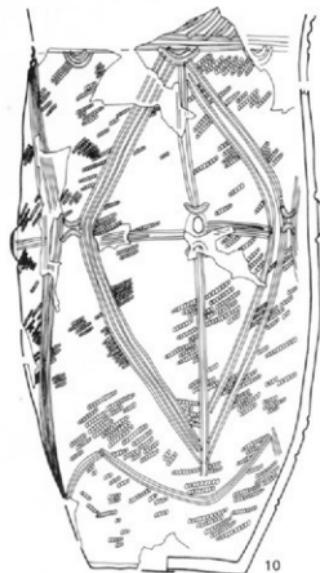


0 5 10cm

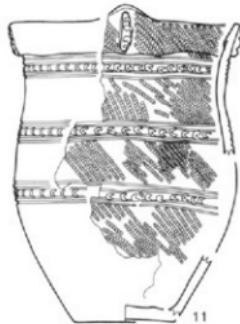
第24図 遺構出土土器



9

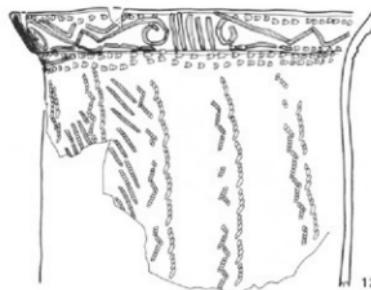


10



11

No.9・11
0 5 10cm



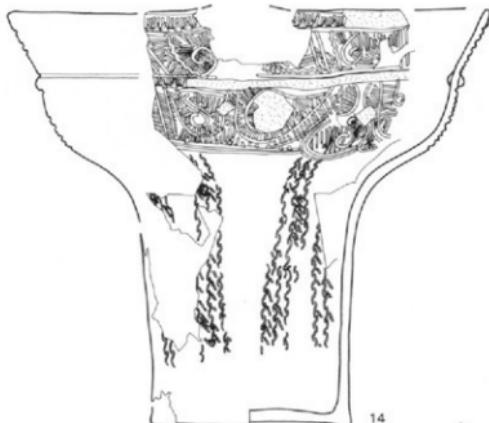
12

No.10・12
0 5 10cm

第25図 遺構外出土土器



13



14

0 5 10cm

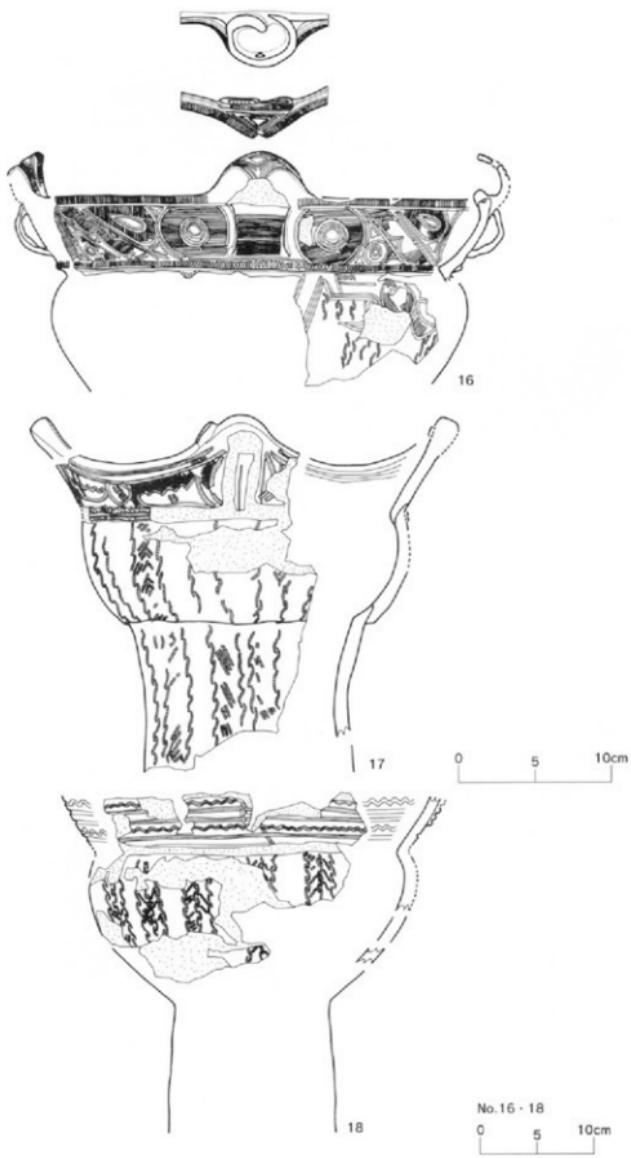


15

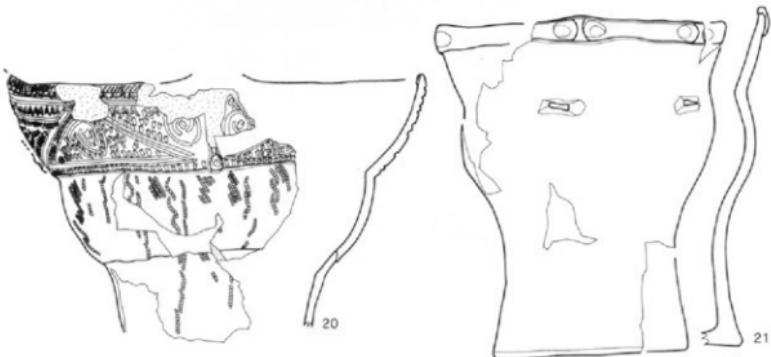
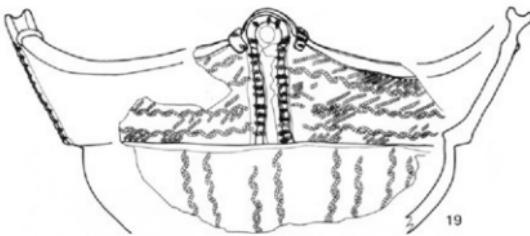
No. 13 - 15

0 5 10cm

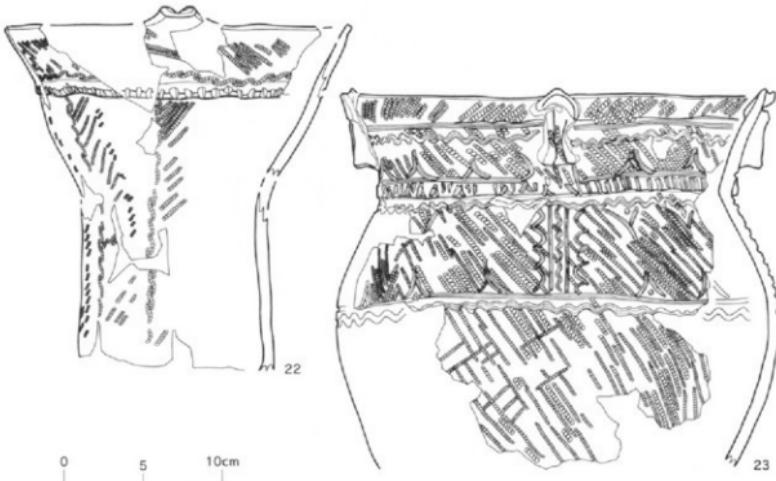
第26図 遺構出土土器



第27図 遺構外出土土器



No.20
0 5 10cm



第28図 遺構出土土器



24



25



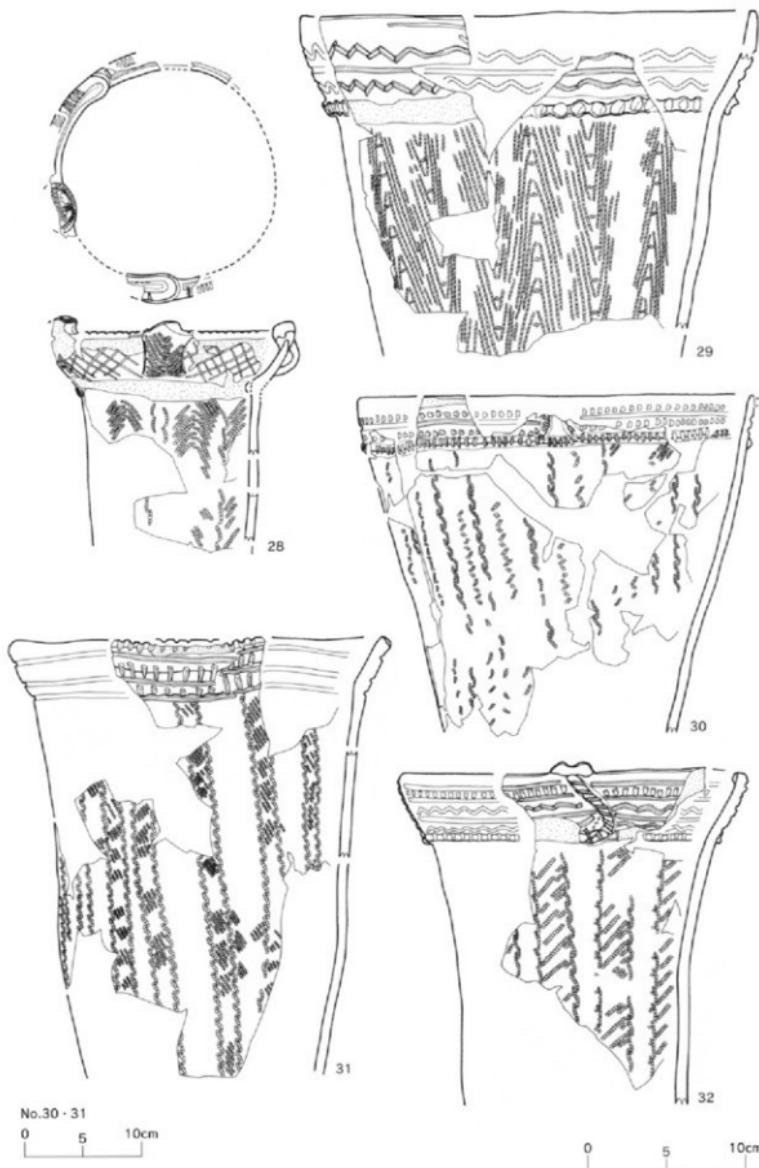
27



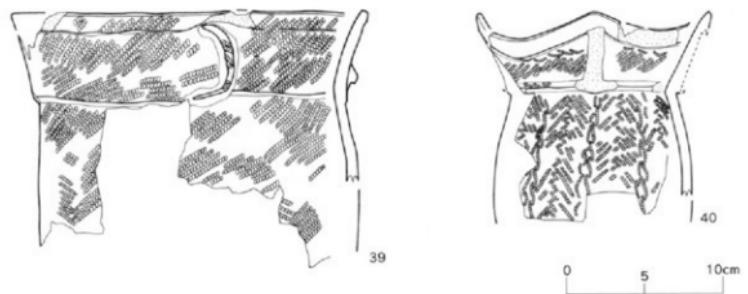
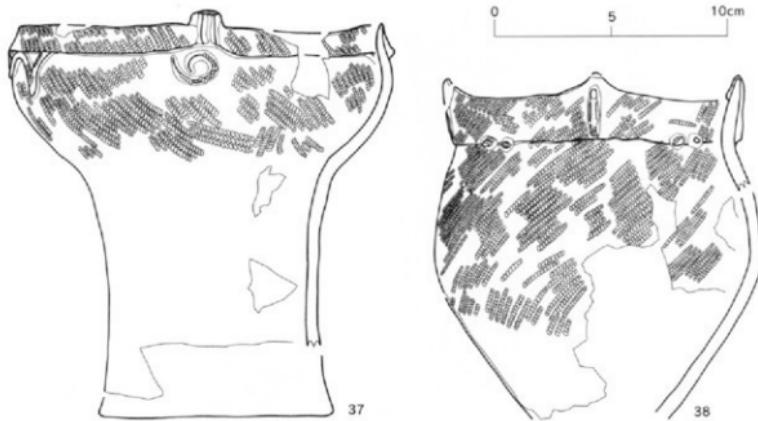
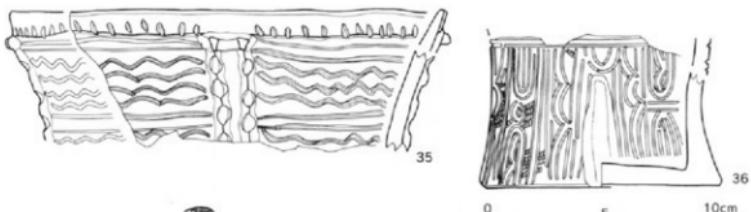
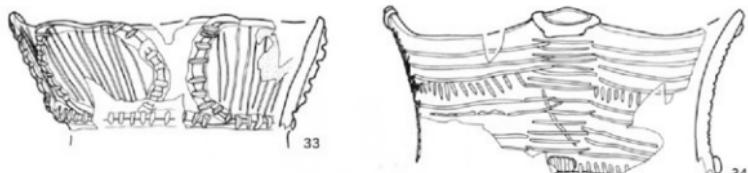
26



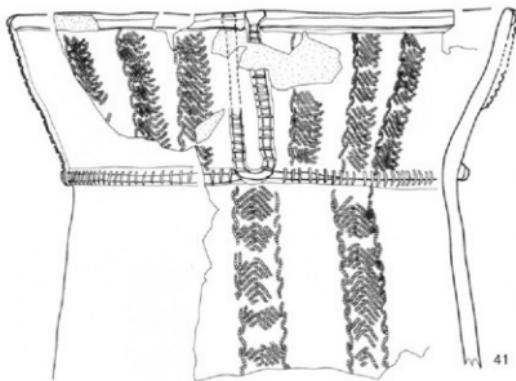
第29図 遺構出土土器



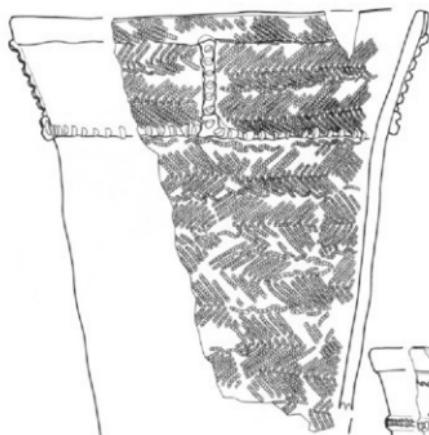
第30図 遺構外出土土器



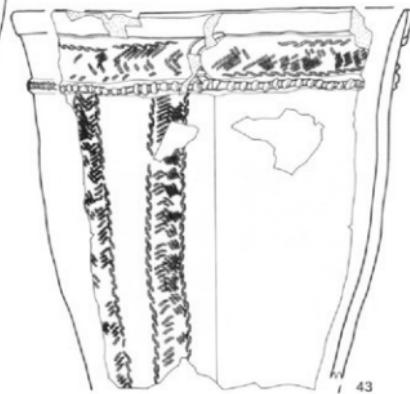
第31図 遺構外出土土器



0 5 10cm



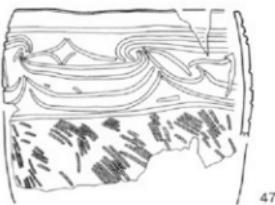
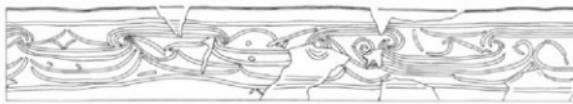
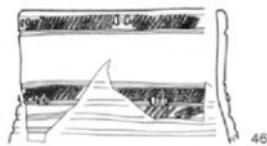
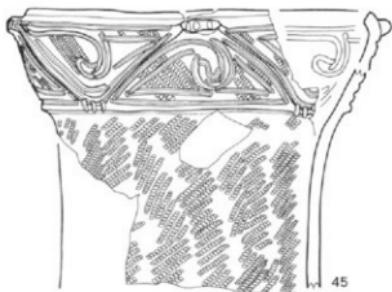
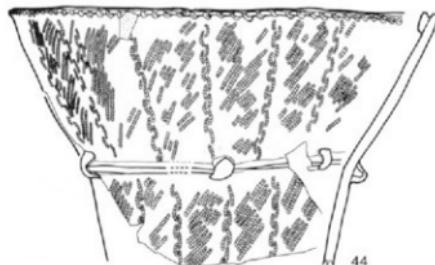
42



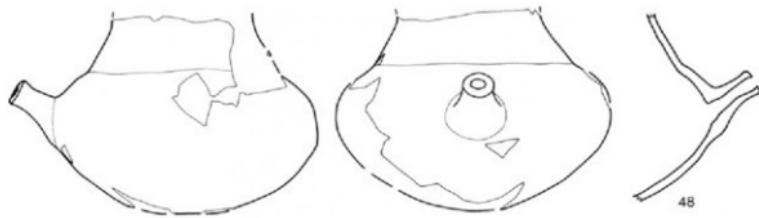
43

0 5 10cm

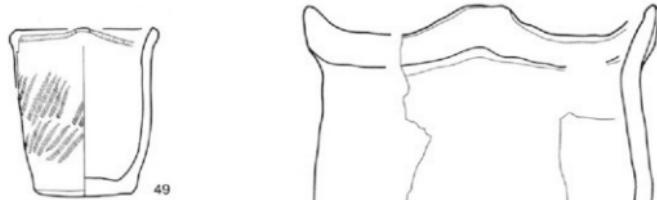
第32図 遺構外出土土器



第33図 遺構外出土土器



48



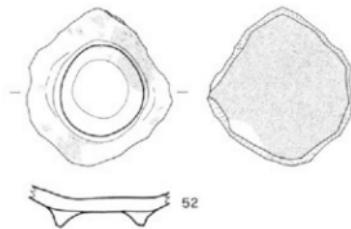
49

50



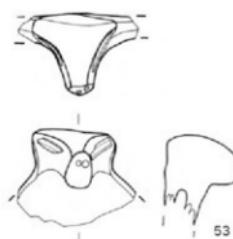
51

0 5 10cm



52

0 5 10cm



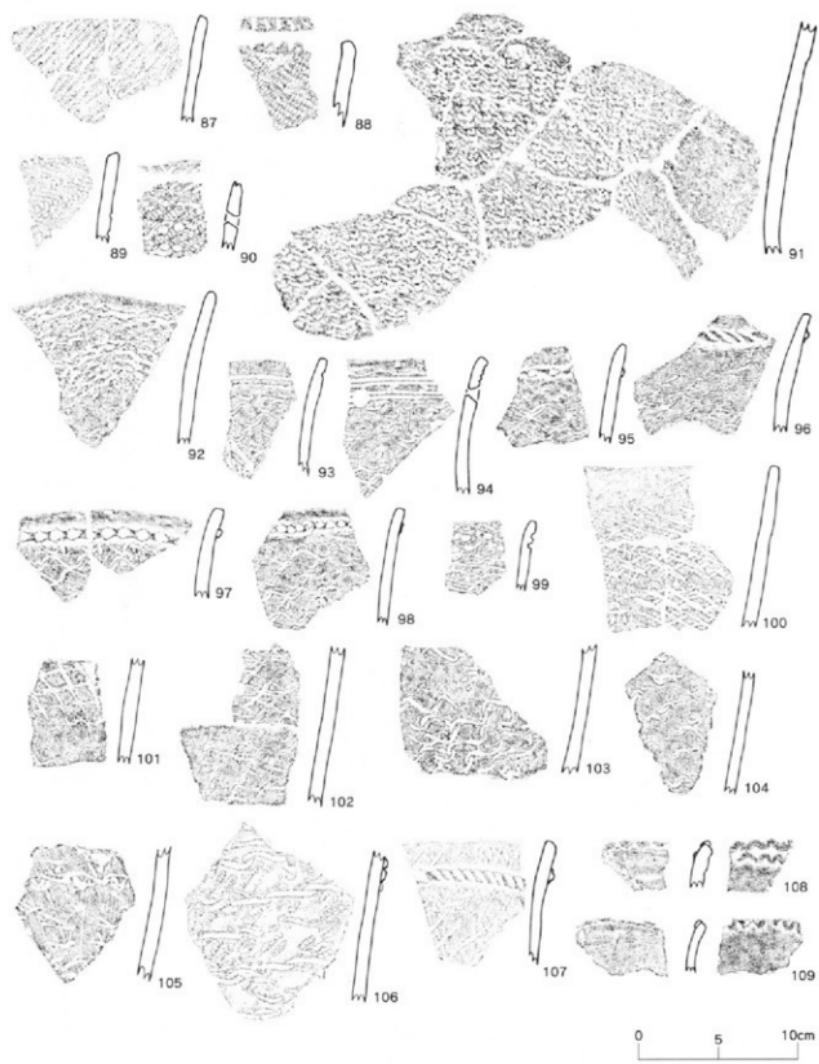
53

0 5 10cm

第34図 遺構出土土器



第35図 遺構外出土土器

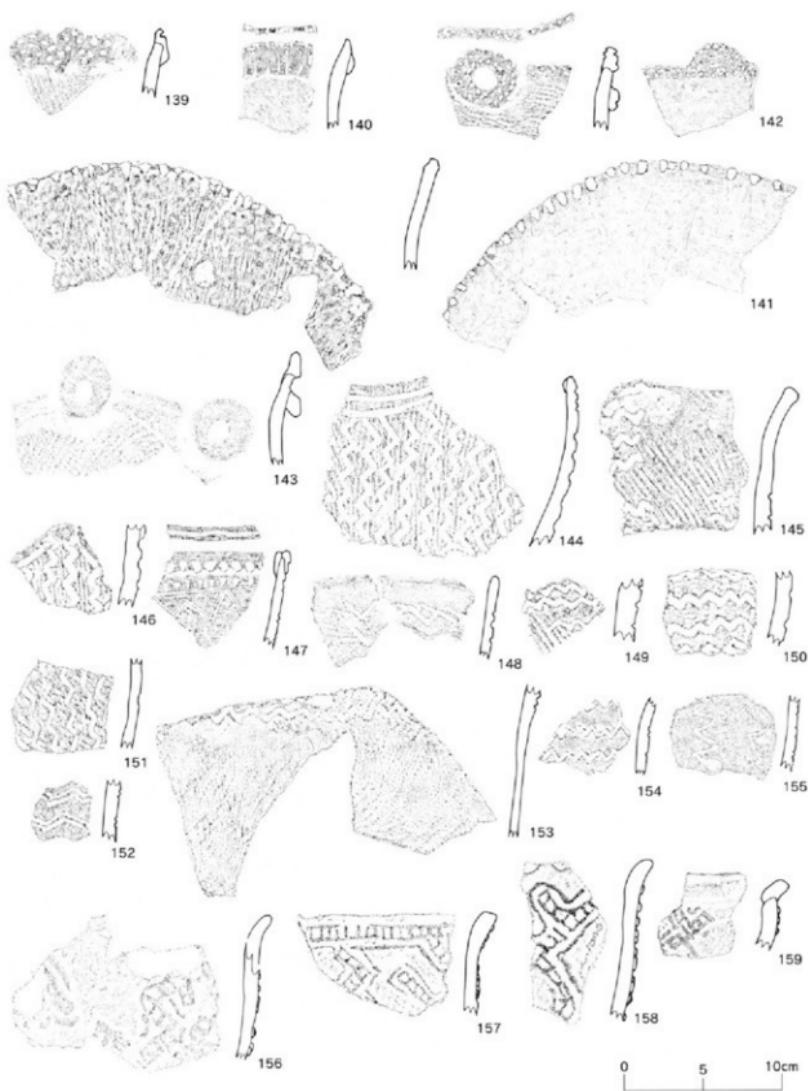


第36図 遺構外出土土器

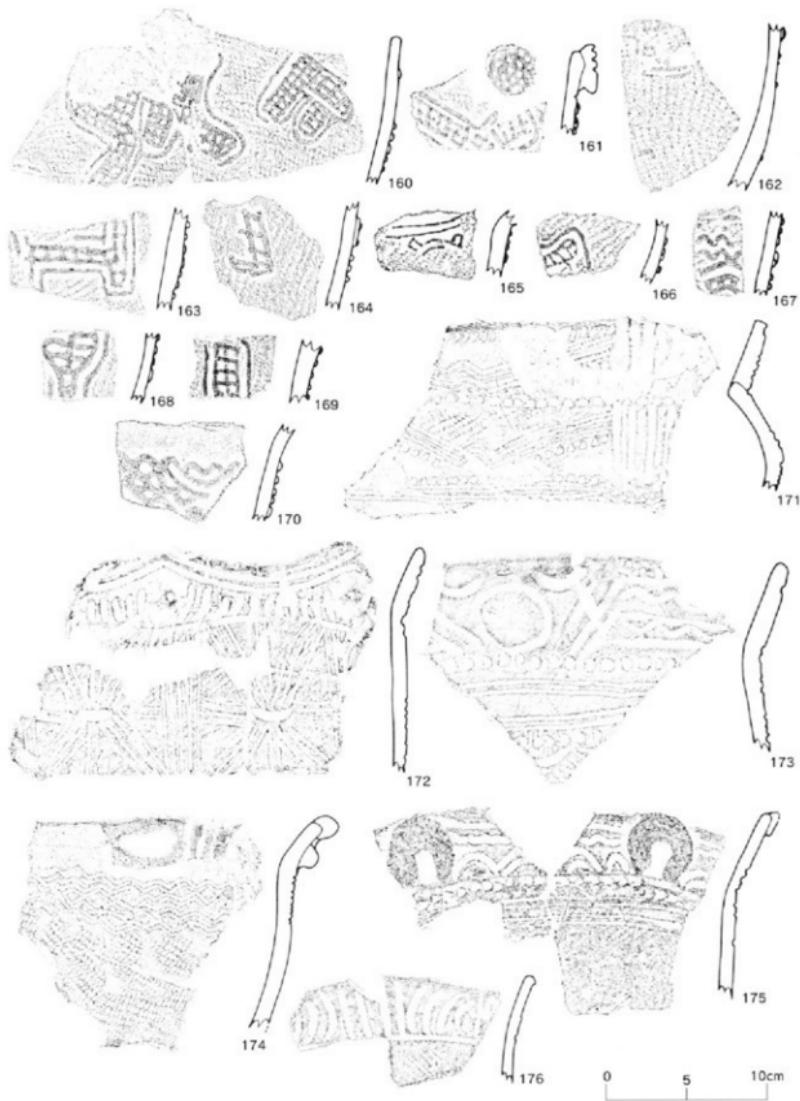


0 5 10cm

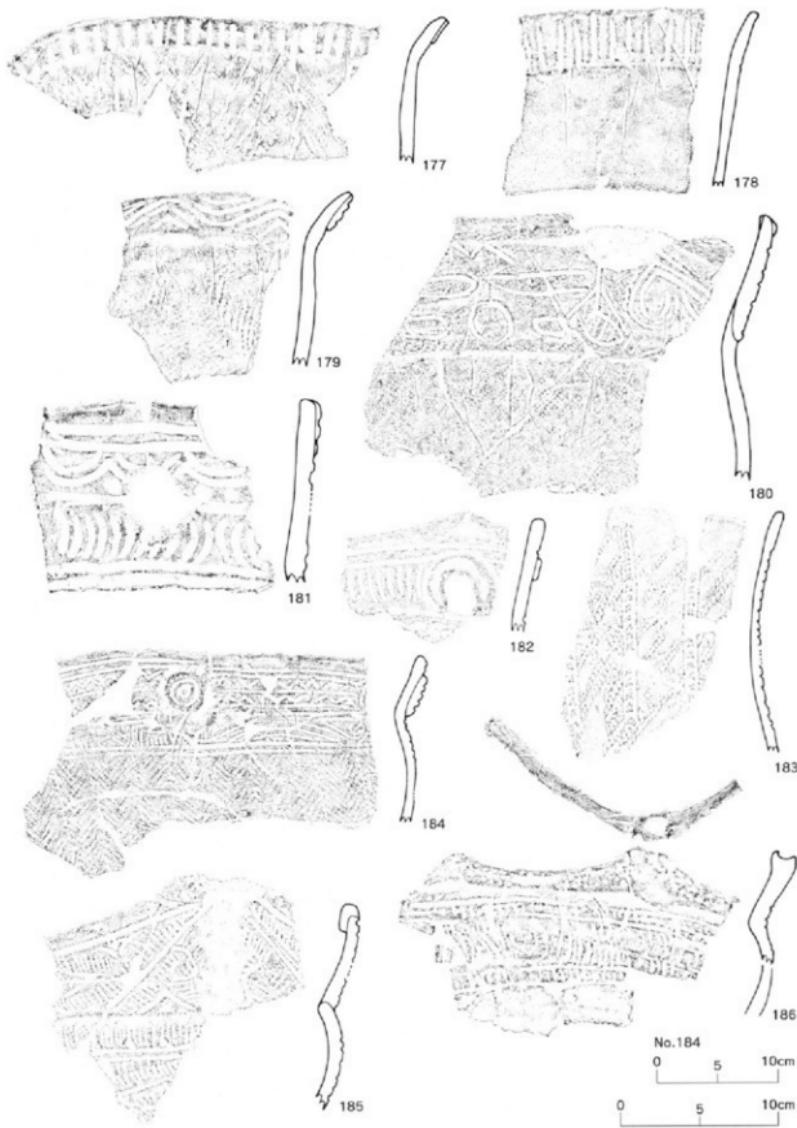
第37図 遺構外出土土器



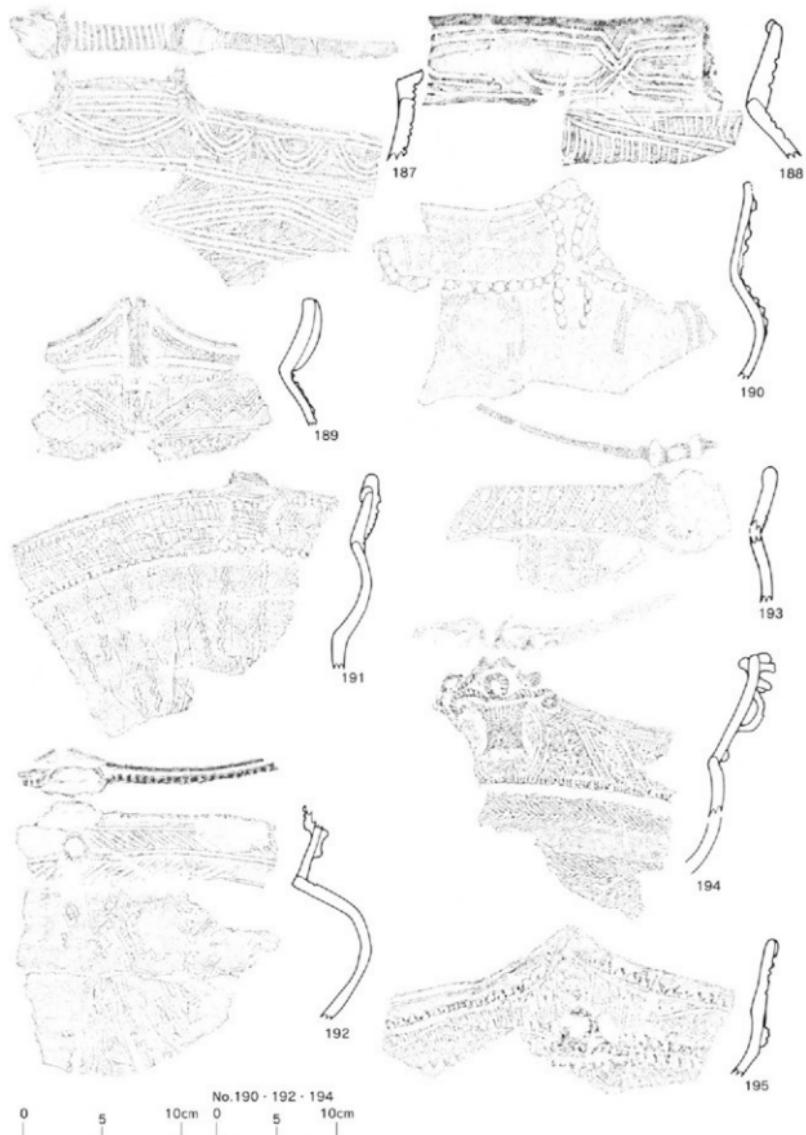
第38図 遺構外出土土器



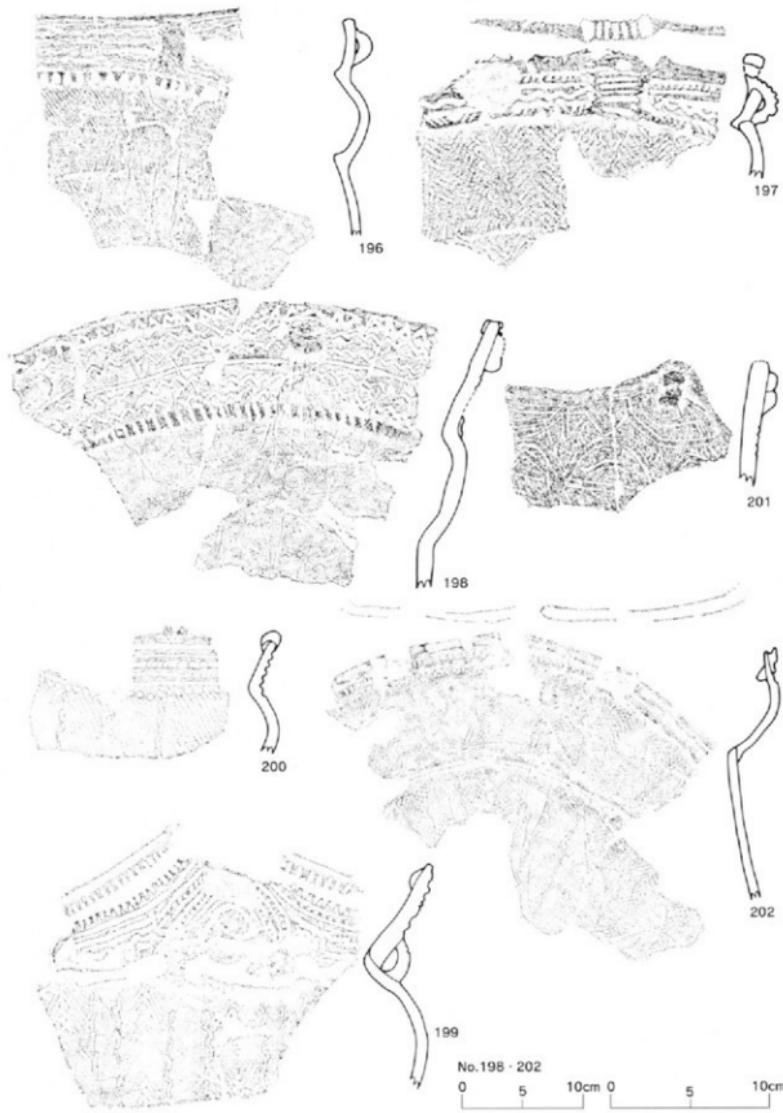
第39図 遺構外出土土器



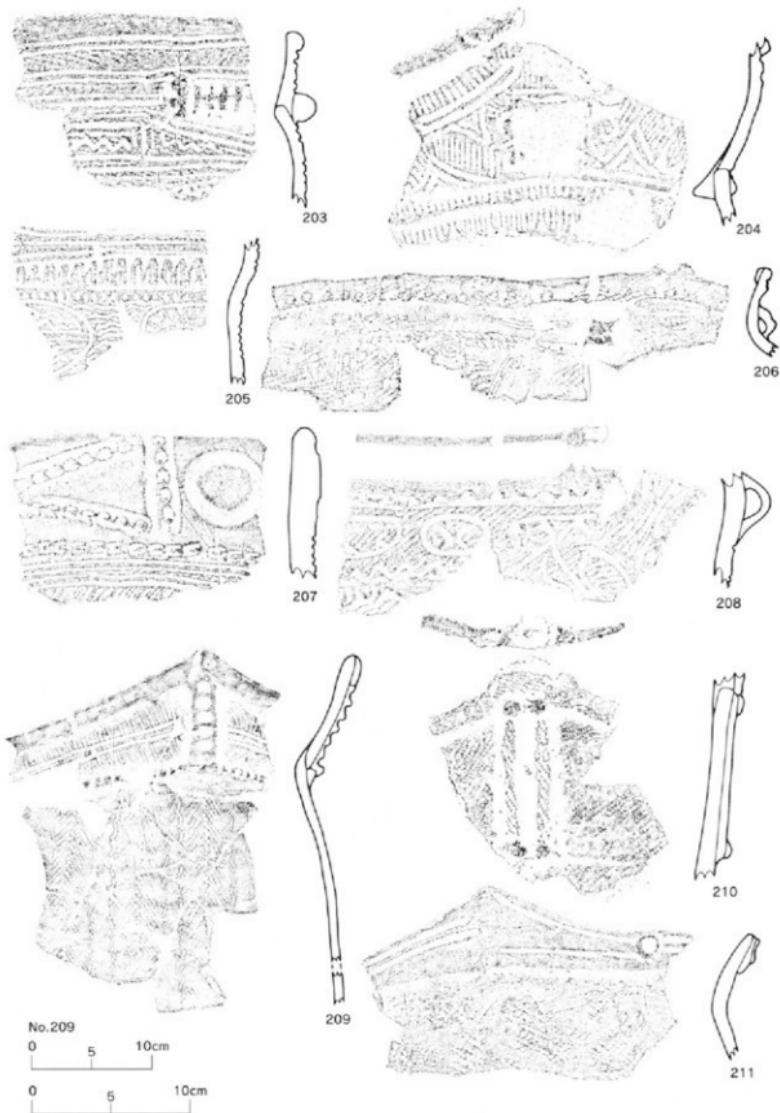
第40図 遺構外出土土器



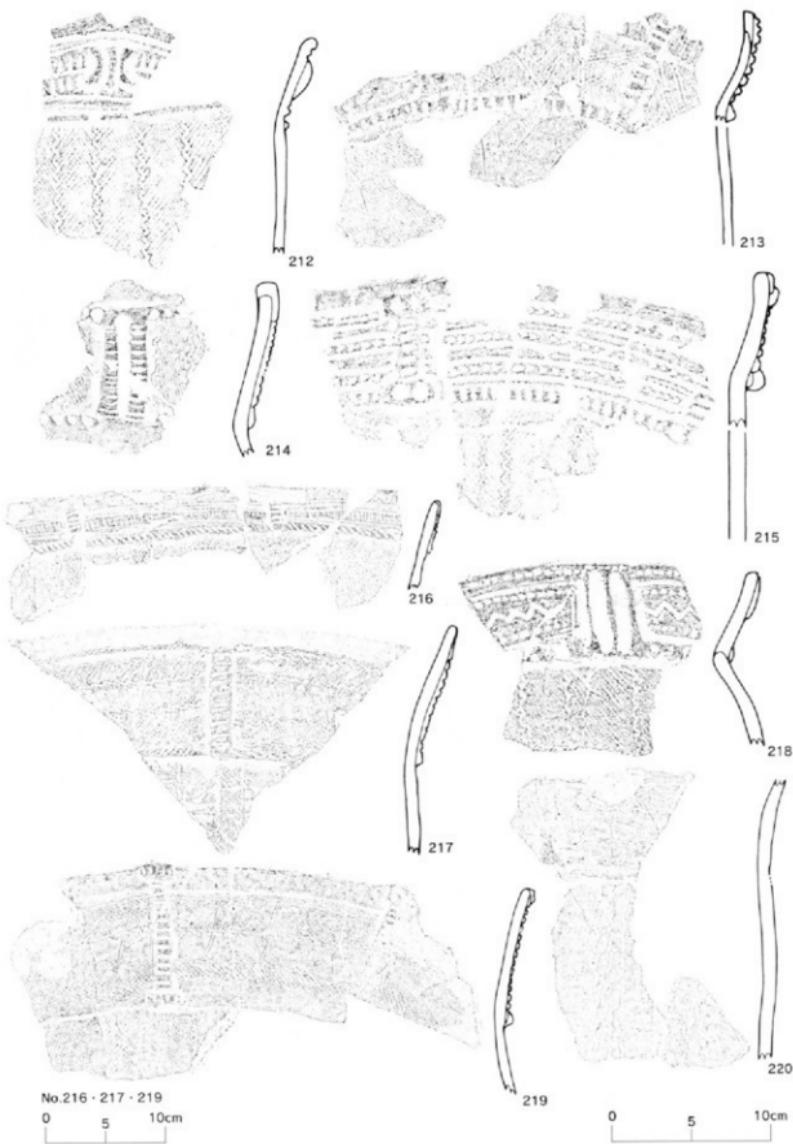
第41図 遺構外出土土器



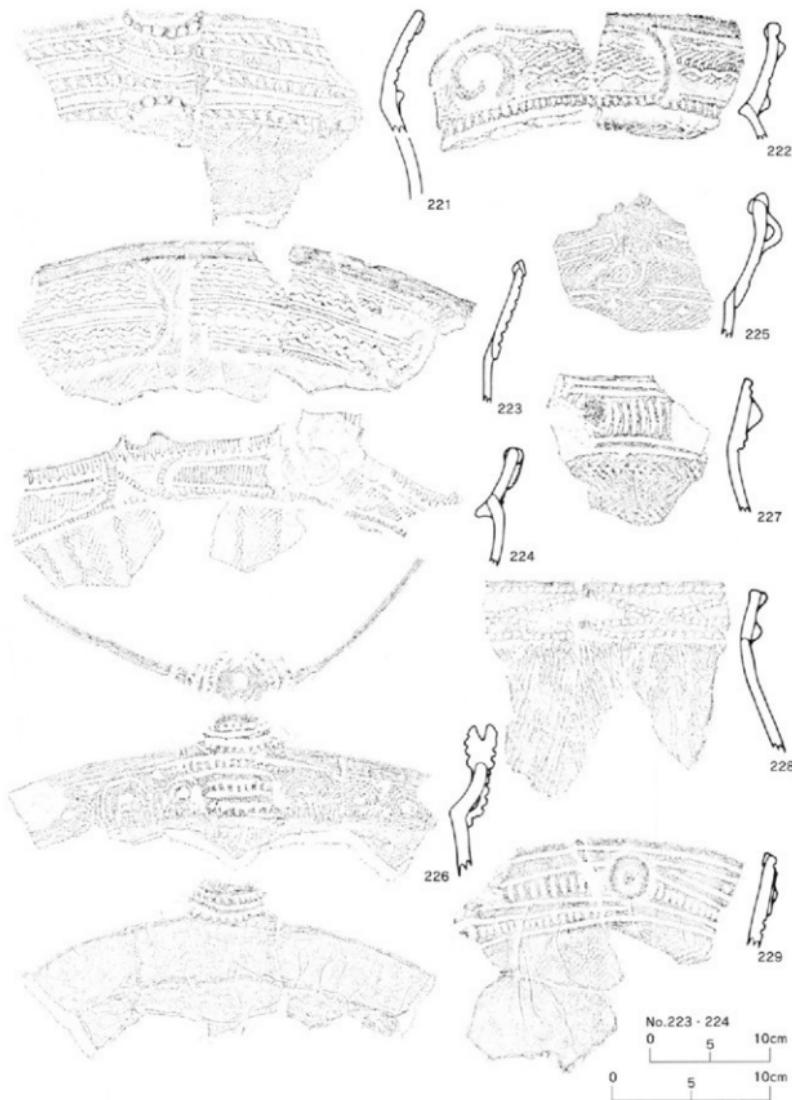
第42図 遺構出土土器



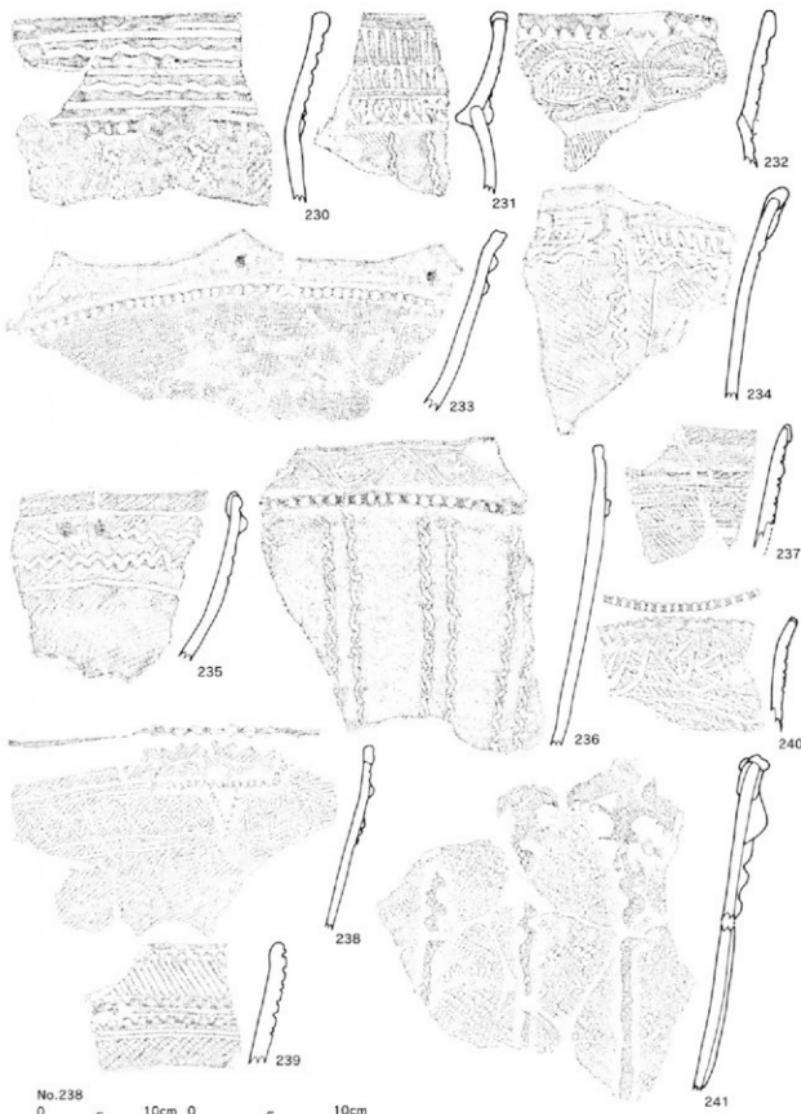
第43図 遺構外出土土器



第44図 遺構出土土器



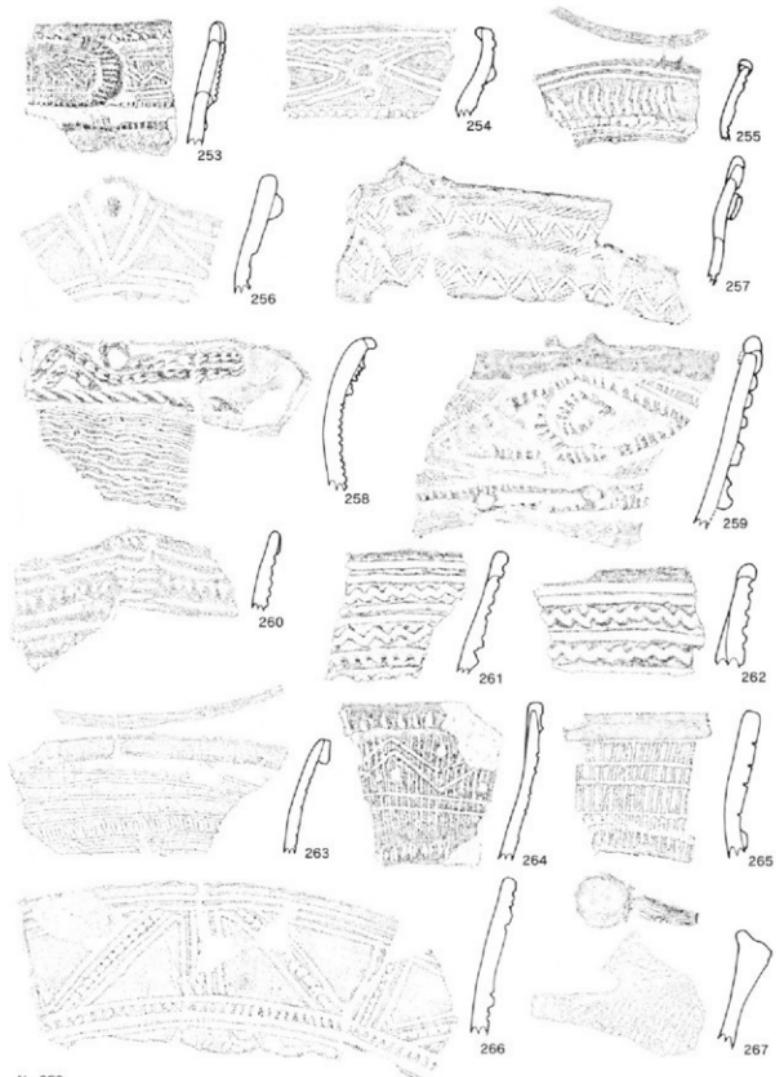
第45図 遺構外出土土器



第46図 遺構出土土器



第47図 遺構外出土土器

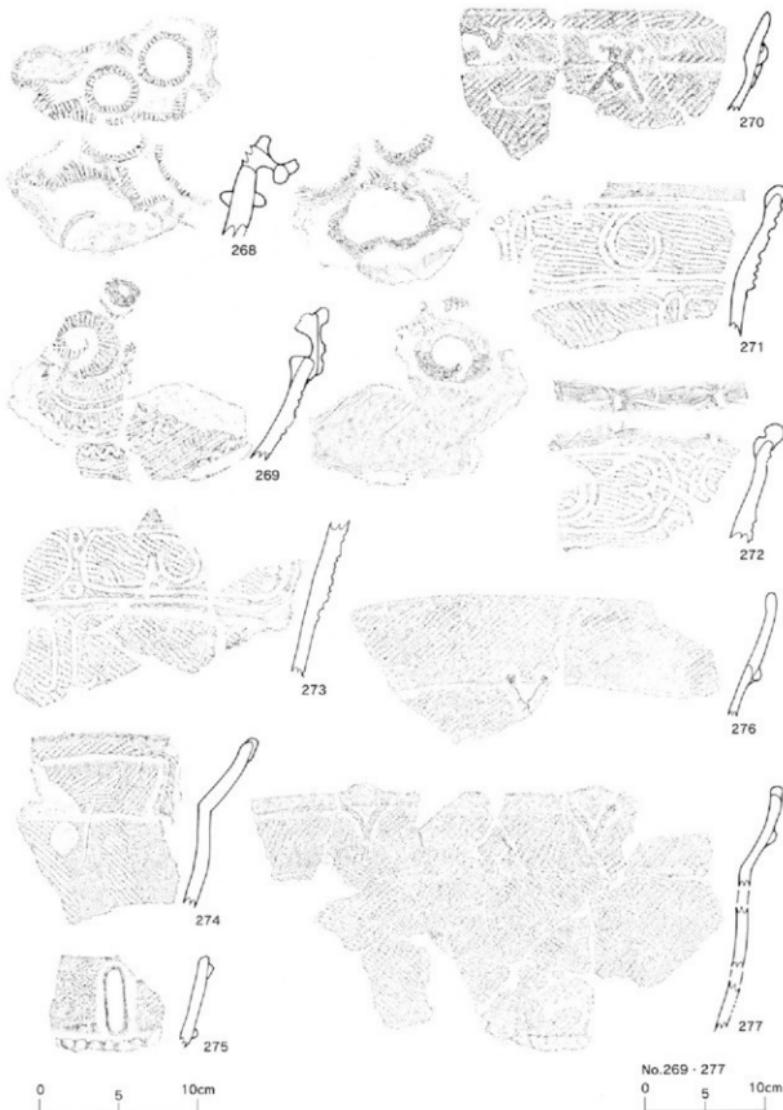


No.259

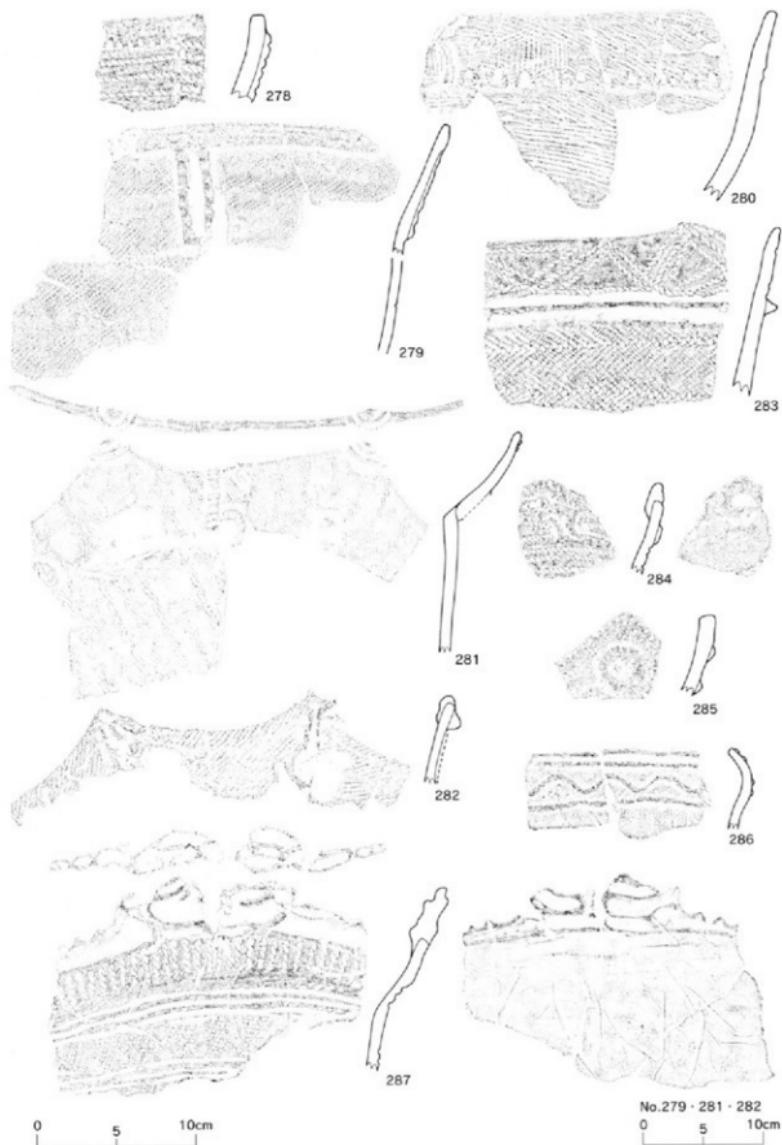
0 5 10cm

0 5 10cm

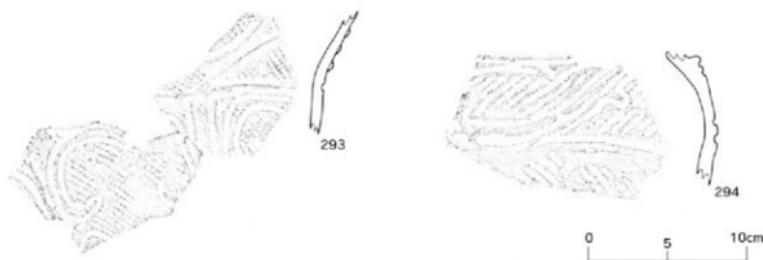
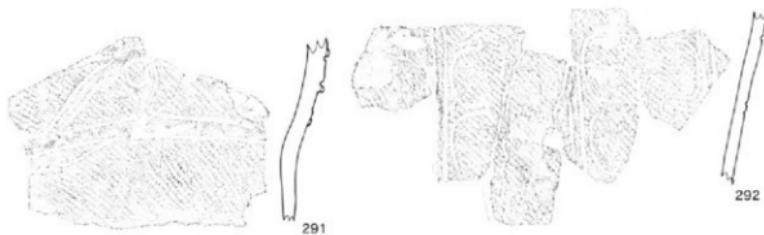
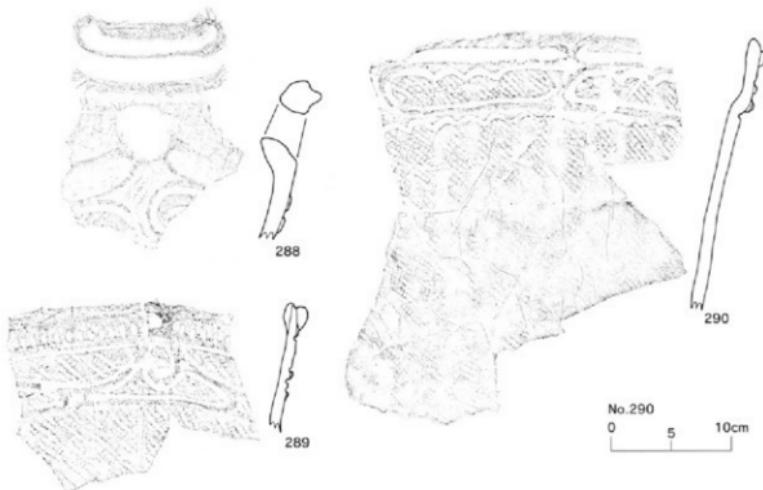
第48図 遺構出土土器



第49図 遺構外出土土器



第50図 遺構外出土土器

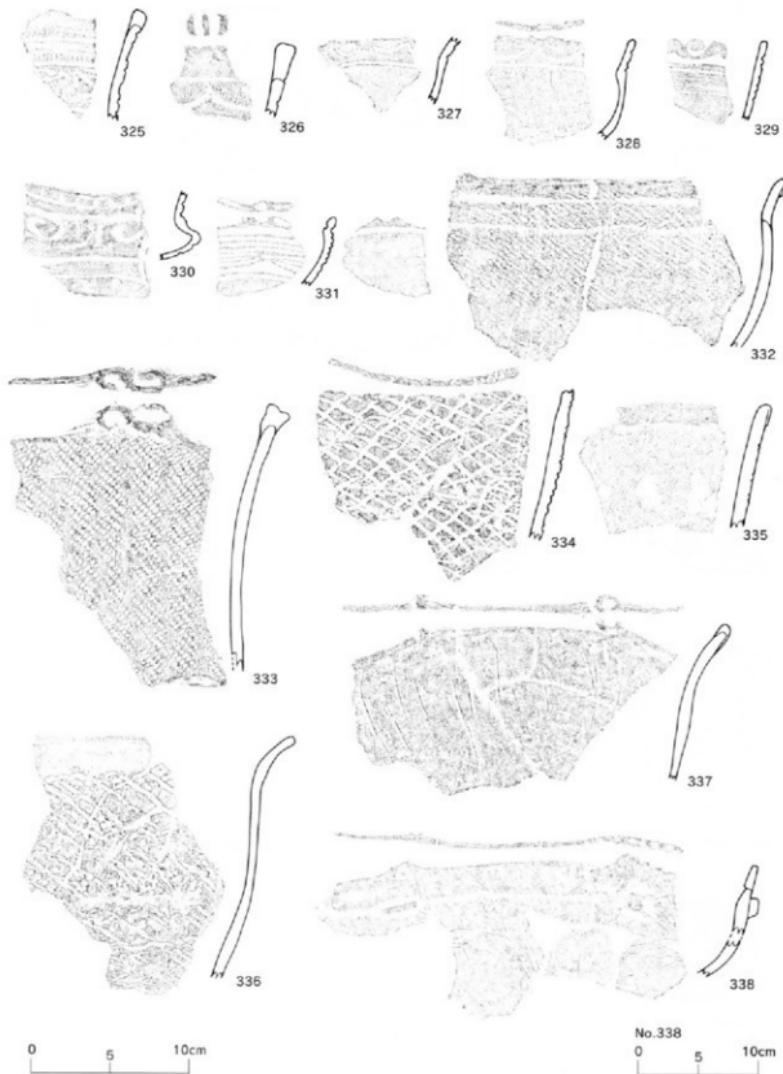


第51図 遺構外出土土器

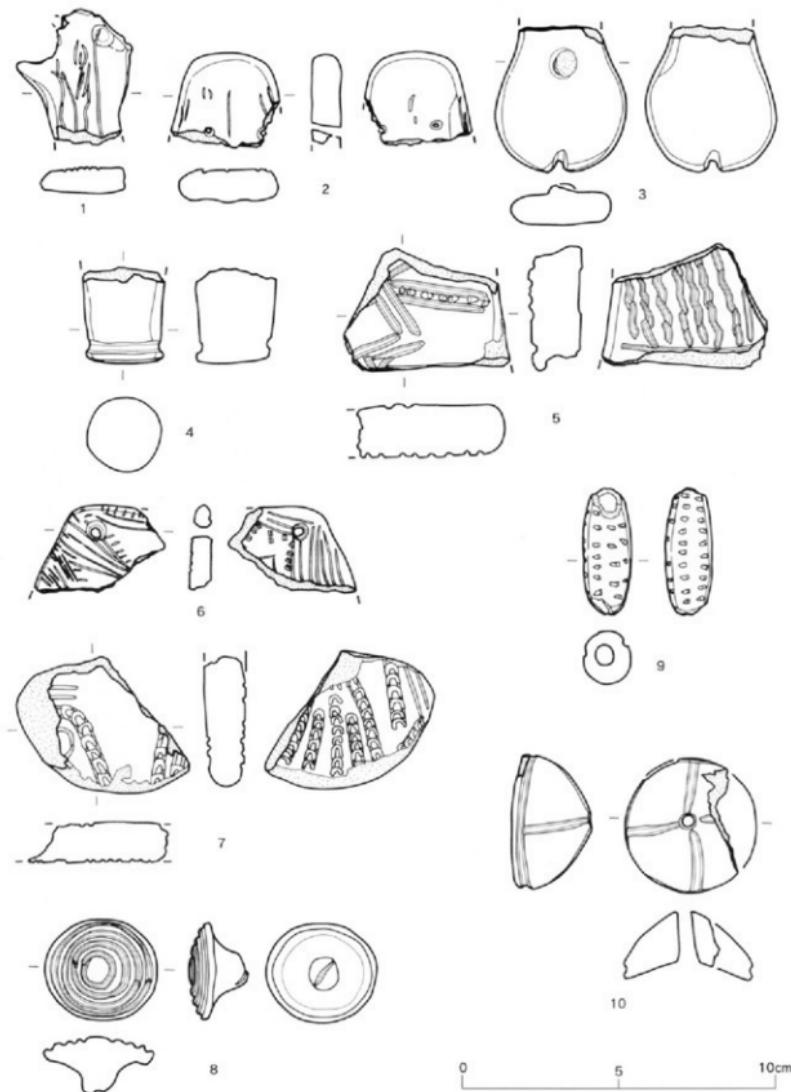


0 5 10cm

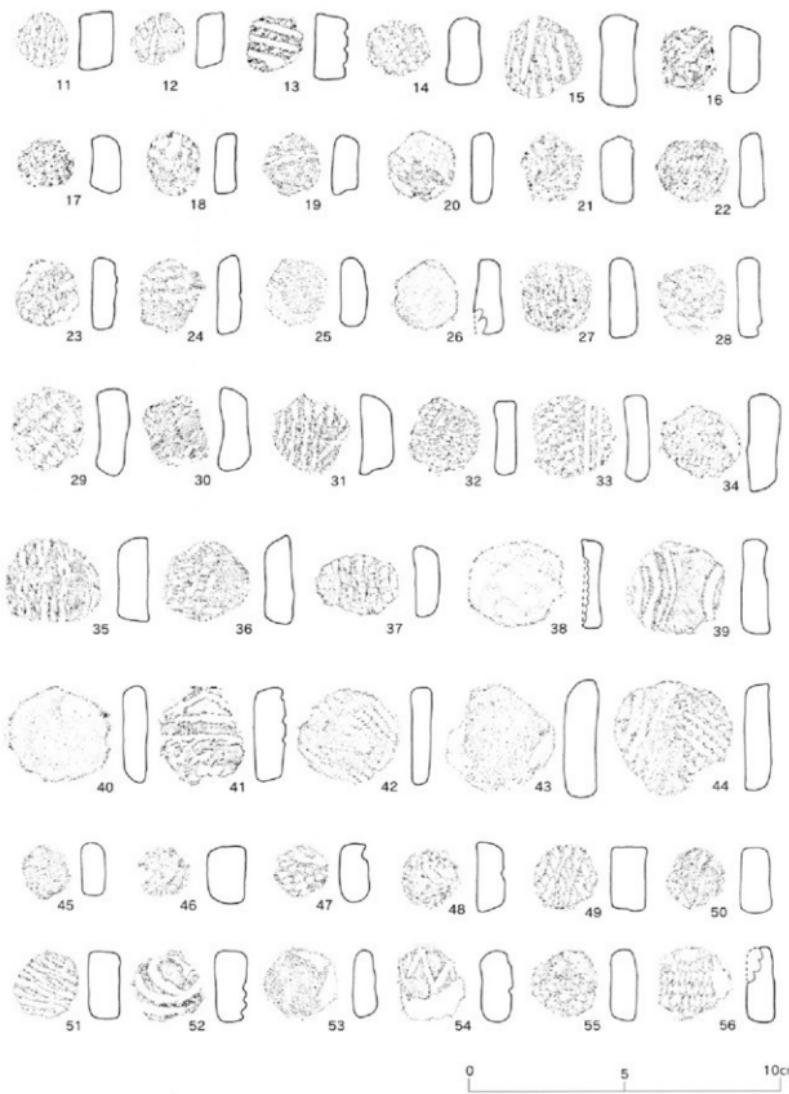
第52図 遺構外出土土器



第53図 遺構外出土土器



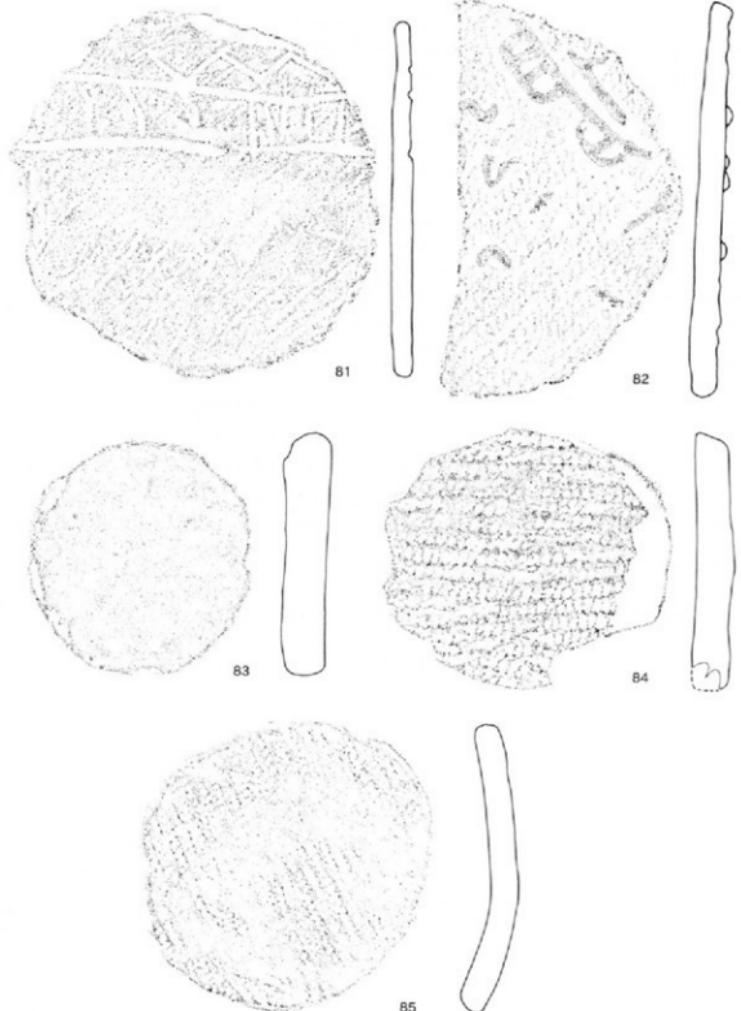
第54図 土製品



第55図 土製品



第56図 土製品



0 5 10cm

第57図 土製品

第五表 遺構外出土土器一覧表

回	版	写真図版	ケルト	層位	蓄部	部位	分類	文様の特徴	内面 調査			
第23回	1	9	1	B2	V	深鉢	口縁・腹部	第Ⅰ群第4類	口縁: 平縁・外縁。口部: 脊付文、脚部: 斜縞文 (LR)	ナデ		
第23回	2	9	2	F1	II	深鉢	口縁・腹部	第Ⅰ群第4類	口縁: 山形縁・内凹。口部: 扁平部、ボタン状貼付文。口縁部・腹部: 横文・模様・横文・波状模様	ナデ		
第23回	3	9	3	E1	No76	IV	深鉢	口縁・腹部	第Ⅱ群第1類	口縁: 平縁・内凹。口部: 斜縞文・V字状波状縁・刺突文、脚部: 横文・波状縁・斜め立縁	ナデ	
第23回	4	9	4	C2	V	深鉢	口縁・腹部	第Ⅱ群第1類	口縁: 平縁・内凹。口部: 山形波状・V字状波縁・刺突文、脚部: 横文・波状縁・斜め立縁	ナデ		
第24回	5	9	5	C1	No69	III	深鉢	口縁・腹部	第Ⅱ群第1類	口縁: 平縁・外縁。口部: 横文・波状縁・V字状波縁・刺突文、脚部: 横文・波状縁・斜め立縁	ナデ	
第24回	6	9	6	B2	V	深鉢	口縁・腹部	第Ⅱ群第1類	口縁: 平縁・外縁。口部: 横文・波状縁・V字状波縁・刺突文、脚部: 横文・波状縁・斜め立縁	ナデ		
第24回	7	9	7	A	-40cm	II	深鉢	口縁・腹部	第Ⅱ群第1類	口縁: 平縁・外縁。口部: 斜縞文・波状縁・V字状波縁・刺突文、脚部: 横文・波状縁・斜め立縁	ナデ	
第24回	8	9	8	D1	II	深鉢	口縁・腹部	第Ⅱ群第1類	口縁: 山形縁・外縁。口部: 脊付文、脚部: 横文・波状縁・斜め立縁	ナデ		
第25回	9	9	9	B2	III - N	深鉢	口縁・腹部	第Ⅱ群第1類	口縁: 平縁・外縁。口部: 脊付文、脚部: 横文・波状縁・V字状波縁・刺突文、脚部: 横文・波状縁・斜め立縁	ナデ		
第25回	10	9	10	B2	No75	IV	深鉢	脚部	第Ⅱ群第1類	口縁: 平縁・外縁。口部: 脊付文、脚部: 横文・波状縁・V字状波縁	ナデ	
第25回	11	9	11	B3	V	深鉢	口縁・腹部	第Ⅱ群第1類	口縁: 平縁・外縁。口部: 斜縞文 (LR) → 備位波縁・押し引き、脚部: 金背母多し	ナデ		
第25回	12	9	12	A1	No49	III	深鉢	口縁・腹部	第Ⅱ群第1類	口縁: 平縁・外縁。口部: 斜縞文・波状縁・波普き文・斜め立縁、脚部: 横位刺突文列、脚部: 斜縞文	ナデ	
第26回	13	10	13	B1	III - N	深鉢	口縁・腹部	第Ⅱ群第2類	口縁: 平縁・外縁。口部: 脊付文、脚部: 横文・波状縁・V字状波縁・刺突文、脚部: 横文・波状縁・斜め立縁	ナデ		
第26回	14	10	14	B2	V	深鉢	口縁・腹部	第Ⅱ群第2類	口縁: 平縁・外縁。口部: 斜縞文・波状波縁・刺突文、脚部: 横文・波状縁	ナデ		
第26回	15	10	15	B1	No3	III	深鉢	口縁・腹部	第Ⅱ群第2類	口縁: 山形縁・外縁。口部: 内凹、斜縞文・波状波縁・刺突文、脚部: 横文・波状縁・斜め立縁	ナデ	
第27回	16	10	16	C1	No74	No17	II	深鉢	口縁・腹部	第Ⅱ群第2類	口縁: 平縁・外縁。口部: 大型突起・貴賤孔・文様による縦取り、口縁部: 円筒・対称文・V字状波縁・V字状波縁・斜め立縁・波状波縁・斜め立縁・波状波縁・V字状波縁・刺突文、脚部: 横位波縁・波状波縁	ナデ
第27回	17	10	17	B1	B2	No59	III	深鉢	口縁・腹部	第Ⅱ群第2類	口縁: 山形縁・外縁。口部: 馬鹿形突起・V字縫文、口縁部: 斜縞文 (LR) → 備位波縁・V字状波縁・斜め立縁・波状波縁・V字状波縁・刺突文、脚部: 横位波縁・波状波縁	ナデ
第27回	18	10	18	B1	-2	No58	III	深鉢	口縁・腹部	第Ⅱ群第2類	口縁: 平縁・外縁。口部: 斜縞文・波状波縁・V字状波縁・刺突文、脚部: 横位波縁・波状波縁	ナデ
第28回	19	10	19	A1	No51	III	深鉢	口縁・腹部	第Ⅱ群第2類	口縁: 山形縁・外縁。口部: 内凹、斜縞文・波状波縁・V字状波縁・刺突文、脚部: 横位波縁・波状波縁	ナデ	
第28回	20	10	20	B1	No10	III	深鉢	口縁・腹部	第Ⅱ群第2類	口縁: 平縁・外縁。口部: 斜縞文・V字状波縁・波状波縁・V字状波縁・刺突文、脚部: 横位波縁・波状波縁	ナデ	
第28回	21	10	21	B1	No24	III	深鉢	口縁・腹部	第Ⅱ群第2類	口縁: 平縁・外縁。口部: 脊付文、脚部: 横位波縁・波状波縁	ナデ	
第28回	22	10	22	A1	No47	III	深鉢	口縁・腹部	第Ⅱ群第2類	口縁: 平縁・外縁。口部: 斜縞文・波状波縁・V字状波縁・刺突文、脚部: 横位波縁・波状波縁	ナデ	
第28回	23	10	23	A3	III	深鉢	口縁・腹部	第Ⅱ群第2類	口縁: 平縁・外縁。口部: 斜縞文・波状波縁・V字状波縁・刺突文、脚部: 横位波縁・波状波縁	ナデ		
第29回	24	10	24	A2	III	深鉢	口縁・腹部	第Ⅱ群第2類	口縁: 平縁・外縁。口部: 斜縞文・波状波縁・V字状波縁・刺突文、脚部: 横位波縁・波状波縁	ナデ		
第29回	25	11	25	A1	-2	III	深鉢	口縁・腹部	第Ⅱ群第2類	口縁: 平縁・外縁。口部: 斜縞文・波状波縁・V字状波縁・刺突文、脚部: 横位波縁・波状波縁	ナデ	
第29回	26	11	26	A1	No40	III	深鉢	口縁・腹部	第Ⅱ群第2類	口縁: 平縁・外縁。口部: 斜縞文・波状波縁・V字状波縁・刺突文、脚部: 横位波縁・波状波縁	ナデ	
第29回	27	11	27	A2	III	深鉢	口縁・腹部	第Ⅱ群第2類	口縁: 平縁・外縁。口部: 斜縞文・波状波縁・V字状波縁・刺突文、脚部: 横位波縁・波状波縁	ナデ		
第30回	28	11	28	A1	No51	III	深鉢	口縁・腹部	第Ⅱ群第2類	口縁: 平縈・外縁。口部: 斜縞文・波状波縁・V字状波縁・刺突文、脚部: 横位波縁・波状波縁	ナデ	
第30回	29	11	29	C3	V	深鉢	口縁・腹部	第Ⅱ群第2類	口縁: 平縈・外縁。口部: 斜縞文・波状波縁・V字状波縁・刺突文、脚部: 横位波縁・波状波縁	ナデ		
第30回	30	11	30	B1	No1	III	深鉢	口縁・腹部	第Ⅱ群第2類	口縁: 平縈・外縁。口部: 斜縞文・波状波縁・V字状波縁・刺突文、脚部: 横位波縁・波状波縁	ナデ	
第30回	31	11	31	B1	No12	III	深鉢	口縁・腹部	第Ⅱ群第2類	口縁: 平縈・外縁。口部: 斜縞文・波状波縁・V字状波縁・刺突文、脚部: 横位波縁・波状波縁	ナデ	
第30回	32	11	32	C1	-	III	深鉢	口縁・腹部	第Ⅱ群第2類	口縁: 平縈・外縁。口部: 斜縞文・波状波縁・V字状波縁・刺突文、脚部: 横位波縁・波状波縁	ナデ	
第31回	33	11	33	A1	III	深鉢	口縁部	第Ⅱ群第2類	口縁部: 平縈・外縁。口部: 斜縞文・波状波縁・V字状波縁・刺突文、脚部: 横位波縁・波状波縁	ナデ		
第31回	34	11	34	C3	V	深鉢	口縁部	第Ⅱ群第2類	口縁部: 平縈・外縁。口部: 斜縞文・波状波縁・V字状波縁・刺突文、脚部: 横位波縁・波状波縁	ナデ		
第31回	35	12	35	A	-40cm	III	深鉢	口縁部	第Ⅱ群第2類	口縁部: 平縈・外縁。口部: 斜縞文・波状波縁・V字状波縁・刺突文 (上位縁が波縁) → 刻文	ナデ	
第31回	36	12	36	A2	III	深鉢	脚部	第Ⅱ群第2類	脚部: 平縈・外縁。口部: 斜縞文・波状波縁・V字状波縁・刺突文 (上位縁が波縁) → 刻文	ナデ		
第31回	37	12	37	B2	V	深鉢	口縁・腹部	第Ⅱ群第3類	口縁: 平縈・外縁。口部: 斜縞文・波状波縁・V字状波縁・刺突文 (上位縁が波縁) → 刻文	ナデ		
第31回	38	12	38	B2	V	深鉢	口縁・腹部	第Ⅱ群第3類	口縁: 平縈・外縁。口部: 斜縞文・波状波縁・V字状波縁・刺突文 (上位縁が波縁) → 刻文	ナデ		
第31回	39	12	39	A2	III - N	深鉢	口縁・腹部	第Ⅱ群第3類	口縁: 平縈・外縁。口部: 斜縞文・波状波縁・V字状波縁・刺突文 (上位縁が波縁) → 刻文	ナデ		
第31回	40	12	40	B2	II	深鉢	口縁・腹部	第Ⅱ群第3類	口縁: 平縈・外縁。口部: 斜縞文・波状波縁・V字状波縁・刺突文 (上位縁が波縁) → 刻文	ナデ		

回	年	典書回数	ゲルト	種	基形	部位	分類	文	の	特	徴	他	内面 調整
第32回	41	12 41	A1	No35	III	深跡	口縁・胸部	第Ⅰ群第3種C	口縁：平縁、内凹。口部外縁：隆起縁。口縁部：隆起縫から頭部隆起縫に接続する「U」字縫の貼付文。縫込み：縫合筋膜と粘膜。頭部：縫合筋膜と粘膜。				ナテ
第32回	42	12 42	B1	No9	III	深跡	口縁・胸部	第Ⅰ群第3種D	口縁：平縁、外縫。口部外縁：幅の広い隆起縁+斜縫文（R-L）。口縫部：側面西脇筋膜縫文（RL-R）。背側方側面筋膜縫貼付文+刺突。頭部：凹面弓筋膜縫文（R-L）。				ナテ
第32回	43	12 43	A1	No35	III	深跡	口縁・胸部	第Ⅱ群第3種D	口縁：平縁、外縫。口部外縁：幅の広い隆起縫+無文。口縫部：横位筋膜縫膜筋縫文（R-L-LR）。縫合筋膜縫貼付文（頭部の側面弓筋膜縫と接続）。頭部：縫合筋膜縫膜筋縫文（R-L-LR）。				ナテ
第33回	44	12 44	B1	No2	III	深跡	口縁・胸部	第Ⅲ群第3種E	口縁：平縁、外縫。口部外縁：幅の広い隆起縫+無文。口縫部：横位筋膜縫膜筋縫文（R-L-LR）。頭部：凹面弓筋膜縫貼付文、頭部：縫合筋膜縫文（R-L）。				ナテ
第33回	45	12 45	E1	西壁	V	深跡	口縁・胸部	第Ⅲ群第1種	口縁：平縁、外縫。口部内縫：隆起縫。口縫部：幅の広い隆起縫+無文。頭部：縫合筋膜縫文（R-L）。				ナテ
第33回	46	13 46	F1		II	跡	口縁・胸部	第Ⅳ群第2種	口縁：平縁、外縫。口部外縁：幅の広い隆起縫+無文。頭部：縫合筋膜縫文（R-L-LR）。縫合筋膜縫貼付文+刺突。頭部：斜縫文（R-L）。				ナテ
第33回	47	13 47	F1-2	N2	-	跡	口縁・胸部	第Ⅴ群第3種	口縁：平縁、外縫。口部外縁：幅の広い隆起縫+無文。頭部：縫合筋膜縫文（R-L-LR）。				ナテ
第34回	48	13 48	F1		-	注口	唇部+面部	第Ⅵ群	頭部：無文、胸部：無文、口部：無文。				ナテ
第34回	49	13 49	C2-3-△	丘	V	深跡	口縁・底部	第Ⅶ群	口縁：平縁、外縫。口縫部：無文、胸部：無文。				ナテ
第34回	50	13 50	C2		V	深跡	口縁・底部	第Ⅷ群	口縁：平縁、外縫。口縫部：無文、胸部：無文。				ナテ
第34回	51	13 51	A1	V	深跡	口縁・底部	第Ⅸ群	口縁：波状口縁、外縫。口部外縫：隆起縫。頭部：無文。				ナテ	
第34回	52	13 52	F2		V	舌付 跡	底部	第Ⅹ群	内面：舌の底付物質性質。外側：ツール状の物質性質。				
第34回	53	13 53	E2		N	深跡	動物裏莖 起	第Ⅺ群	クマあるいはイノシシ、豪：茂葉、眞：渡り出し毛孔有り毛孔				
第35回	54	14 54	E2		N	深跡	口縫部	第Ⅻ群第1種A	口縁：平縁、外縫、胸部：結節を有する羽状縫文（前々段多条LR1-LR1,r）。胎土：植物繊維多量。				ナテ
第35回	55	14 55	D2		V	深跡	口縫部	第Ⅻ群第1種B	口縁：平縁、外縫、胸部：結節を有する羽状縫文（前々段多条LR1-LR1,r）。胎土：植物繊維微量。				ナテ
第35回	56	14 56	A2		V	深跡	胸部	第Ⅼ群第1種A	胸部：結節を有する羽状縫文（前々段多条LR1-LR1,r）。胎土：植物繊維多量。				ナテ
第35回	57	14 57	B1		V	深跡	胸部	第Ⅽ群第1種A	胸部：結節を有する羽状縫文（前々段多条LR1-LR1,r）。胎土：植物繊維少量、粗糸布荷重。				ナテ
第35回	58	14 58	F1		V	深跡	胸部	第Ⅾ群第1種A	胸部：結節を有する羽状縫文（前々段多条LR1-LR1,r）。胎土：植物繊維微量。				ナテ
第35回	59	14 59	C3		V	深跡	胸部	第Ⅿ群第1種A	胸部：結節を有する羽状縫文（前々段多条LR1-LR1,r）。胎土：植物繊維微量。				ナテ
第35回	60	14 60	F1		V	深跡	胸部	第ⅰ群第1種A	胸部：結節を有する羽状縫文（前々段多条LR1-LR1,r）。胎土：植物繊維少量。				ナテ
第35回	61	14 61	F1		V	深跡	胸部	第ⅱ群第1種B	胸部：結節を有する羽状縫文（前々段多条LR1-LR1,r）。胎土：植物繊維少量。				ナテ
第35回	62	14 62	B2		V	深跡	胸部	第ⅲ群第1種B	胸部：結節を有する羽状縫文（前々段多条LR1-LR1,r）。胎土：植物繊維微量。				ナテ
第35回	63	14 63	C1	ベルト	-	深跡	口縫部	第ⅳ群第1種B	口縁：平縁、外縫、口部：糸孔、胸部：結節の無い羽状縫文（前々段多条LR1-LR1,r）。胎土：植物繊維少量。				ナテ
第35回	64	14 64	A2		V	深跡	口縫部	第ⅴ群第1種B	口縁：平縁、外縫、口部：糸孔、胸部：結節の無い羽状縫文（前々段多条LR1-LR1,r）。胎土：植物繊維微量。				ナテ
第35回	65	14 65	A2		V	深跡	口縫部	第ⅵ群第1種B	口縁：平縁、外縫、胸部：結節の無い羽状縫文（前々段多条LR1-LR1,r）。胎土：植物繊維少量。				ナテ
第35回	66	14 66	C1		N	深跡	口縫部	第ⅶ群第1種B	口縁：平縁、外縫、胸部：結節の無い羽状縫文（前々段多条LR1-LR1,r）。胎土：植物繊維少量。				ナテ
第35回	67	14 67	C1		VII	深跡	胸部	第ⅷ群第1種B	胸部：結節の無い羽状縫文（前々段多条LR1-LR1,r）。胎土：植物繊維少量。				ナテ
第35回	68	14 68	A1		V	深跡	胸部	第ⅸ群第1種B	胸部：結節の無い羽状縫文（前々段多条LR1-LR1,r）。胎土：植物繊維少量。				ナテ
第35回	69	14 69	B1		V	深跡	胸部	第ⅹ群第1種B	胸部：結節の無い羽状縫文（前々段多条LR1-LR1,r）。胎土：植物繊維少量。				ナテ
第35回	70	14 70	C1		V	深跡	胸部	第ⅾ群第1種B	胸部：結節の無い羽状縫文（前々段多条LR1-LR1,r）。胎土：植物繊維微量。				ナテ
第35回	71	14 71	C1		V	深跡	胸部	第ⅿ群第1種B	胸部：結節の無い羽状縫文（前々段多条LR1-LR1,r）。尾翼背寄り。				ナテ
第35回	72	14 72	E1		VII	深跡	胸部	第ⅰ群第1種B	胸部：結節の無い羽状縫文（前々段多条LR1-LR1,r）。胎土：植物繊維少量。				ナテ
第35回	73	14 73	C1		V	深跡	胸部	第ⅱ群第1種B	胸部：結節の無い羽状縫文（前々段多条LR1-LR1,r）。胎土：植物繊維少量。				ナテ
第35回	74	14 74	C1		V	深跡	胸部	第ⅲ群第1種B	胸部：結節の無い羽状縫文（前々段多条LR1-LR1,r）。胎土：植物繊維微量。				ナテ
第35回	75	14 75	D1		VII	深跡	胸部	第ⅳ群第1種B	胸部：結節の無い羽状縫文（上半：前々段多条LR1-LR1,r、下半：前前段及前後IR1）。胎土：植物繊維微量。				ナテ
第35回	76	14 76	E1		V	深跡	口縫部	第ⅴ群第1種C	口縁：山形口縁、内凹、胸部：口部唇下無文、4段のループ文+前々段多条（LR1,r）。胎土：植物繊維微量。				ナテ
第35回	77	14 77	A1		III	深跡	口縫部	第ⅶ群第1種C	口縁：平縫、外縫、胸部：口部唇下無文、5段のループ文+斜めループ文。胎土：植物繊維多量。				ナテ
第35回	78	14 78	D2		V	深跡	口縫部	第ⅷ群第1種C	口縁：平縫、内縫、胸部：口部唇下無文、6段のループ文+0段多条（LR1,r）。胎土：植物繊維少量。				ナテ
第35回	79	14 79	F1		V	深跡	口縫部	第ⅸ群第1種C	口縁：平縫、外縫、胸部：口部唇下無文（LR1）。6段のループ文。胎土：植物繊維少量。				ナテ
第35回	80	14 80	C2		V	深跡	口縫部	第ⅹ群第1種C	口縁：平縫、外縫、胸部：口部唇下無文（LR1,r）。6段のループ文+0段多条（LR1,r）。胎土：植物繊維微量。				ナテ
第35回	81	14 81	B2		V	深跡	口縫部	第ⅾ群第1種C	口縁：平縫、外縫、胸部：3段のループ文。裏面剥落。				剥落
第35回	82	14 82	B2		VII	深跡	胸部	第ⅿ群第1種C	胸部：3段のループ文。胎土：植物繊維微量。				ナテ
第35回	83	14 83	A2		V	深跡	口縫部	第ⅰ群第1種D	口縁：平縫、外縫、口部：平縫：に作り出し。胸部：口部唇下まで半筋縫文（LR1,r）。胎土：植物繊維微量。				ナテ
第35回	84	14 84	D2		V	深跡	口縫部	第ⅱ群第1種D	口縁：平縫、外縫、口部：平縫：に張り出す。胸部：口部唇下まで前々段多条（LR1,r）。胎土：植物繊維微量。				ナテ
第35回	85	14 85	A1		V	深跡	口縫部	第ⅲ群第1種D	口縁：平縫、外縫、口部：内側に割らし。胸部：口部唇下まで前々段多条（LR1,r）。胎土：植物繊維微量。				ナテ
第35回	86	14 86	E1		V	深跡	口縫部	第ⅳ群第1種D	口縁：平縫、外縫、口部：丸み。胸部：口部唇下まで前々段多条（LR1,r）。胎土：植物繊維微量。				ナテ

回数	参考文献	グリフ	書体	部位	分類	文様の特徴	内面調整
第36回	87	14 87 A2	V	深鉢	口縁部 第1群第1種D	口縁：平縁・外反、口唇：尖る。胸部：口唇直下まで前々段多角（LR1）・株文、底土：植物纖維微量	ナデ
第36回	88	14 88 A3	V	深鉢	口縁部 第1群第1種D	口縁：脇みにより小波状口縁状・外反。胸部：口唇直下まで斜縞文（LR1）・株文、底土：植物纖維微量	ナデ
第36回	89	14 89 E1	VI	深鉢	口縁部 第1群第1種D	口縁：平縁・外傾、口唇：脇み、胸部：口唇直下まで前々段多角（LR1）→側突文+穿孔、底土：植物纖維微量	ナデ
第36回	90	14 90 B2	V	深鉢	口縁部 第1群第1種D	口縁：平縁・外傾、口唇：脇み、胸部：粗縫？株文、底土：植物纖維微量	ナデ
第36回	91	14 91 D2	V	深鉢	胸部 第1群第1種D	胸部：粗縫？による熱文。底土：植物纖維少量	ナデ
第36回	92	14 92 B1 No56	II	深鉢	口縁部 第1群第1種E	口縁：波状口縁・外傾、口縁部：横位貼付文、底土：植物纖維微量	ナデ
第36回	93	14 93 B2	V	深鉢	口縁部 第1群第2種	口縁：平縁・外反、口縫部：脇体の側面直痕文、胸部：S字状連續波文。植物纖維微量	ナデ
第36回	94	14 94 E1	IV	深鉢	口縁部 第1群第2種	口縁：平縁・外反、口縫部：脇みを有する4条の浅縫→穿孔、胸部：S字状連續波文、植物纖維微量	ナデ
第36回	95	14 95 C1	V	深鉢	口縁部 第1群第2種	口縁：平縁・外反、口縫部：脇みを有する4条の貼付文、胸部：S字状連續波文、底土：植物纖維微量	ナデ
第36回	96	14 96 C2・3	V	深鉢	口縁部 第1群第2種	口縁：平縁・外反、口縫部：脇みを有する4条の貼付文、胸部：S字状連續波文、底土：植物纖維微量	ナデ
第36回	97	14 97 A1	V	深鉢	口縁部 第1群第2種	口縁：平縁・外反、口縫部：脇みを有する4条の貼付文、胸部：S字状連續波文、底土：植物纖維微量	ナデ
第36回	98	14 98 C2	VI	深鉢	口縁部 第1群第2種	口縁：平縁・外反、口縫部：脇みを有する4条の貼付文、胸部：S字状連續波文、底土：植物纖維微量	ミガキ
第36回	99	14 99 A1	III	深鉢	口縁部 第1群第2種	口縁：平縁・外反、口縫部：刺突文、胸部：S字状連續波文、底土：植物纖維無し	ミガキ
第36回	100	14 100 D2	V	深鉢	口縁部 第1群第2種	口縁：平縁・外反、口縫部：無文、胸部：S字状連續波文、底土：植物纖維無し	ナデ
第36回	101	14 101 B2	V	深鉢	胸部 第1群第2種	胸部：S字状連續波文、底土：植物纖維無し	ナデ
第36回	102	14 102 A1	III	深鉢	胸部 第1群第2種	胸部：S字状連續波文、底土：植物纖維無し	ナデ
第36回	103	14 103 E2	IV	深鉢	胸部 第1群第2種	胸部：S字状連續波文、底土：植物纖維微量	ナデ
第36回	104	14 104 C1	V	深鉢	胸部 第1群第2種	胸部：S字状連續波文、底土：植物纖維無し	ナデ
第36回	105	14 105 E2	VI	深鉢	胸部 第1群第2種	胸部：S字状連續波文、底土：植物纖維無し	ナデ
第36回	106	14 106 D1	V	深鉢	胸部 第1群第3種	胸部：複位の勝跡文→脇みを有する横位貼付文、底土：植物纖維微量	ナデ
第36回	107	14 107 F2	V	深鉢	口縁部 第1群第3種	口縁：平縁・外反、口縫部：口唇直下より無文→脇みを有する横位貼付文、底土：植物纖維微量	ナデ
第36回	108	14 108 E2	IV	深鉢	口縁部 第1群第4種A	口縁：平縁・外反、口縫部：口唇直下より波状貼竹文。口縁部内面：波状貼付文	ナデ
第36回	109	14 109 A1	V	深鉢	口縁部 第1群第4種A	口縁：平縁・外反、口唇：裏面に波状貼付文	ナデ
第37回	110	14 110 C2	IV	深鉢	口縁部 第1群第4種A	口縁：平縁・外反、口縫部内面：波状貼付文+円形貼付文	ナデ
第37回	111	14 111 C1	IV	深鉢	口縁部 第1群第4種A	口縁：平縁・外反、口縫部内面：波状貼付文+円形貼付文	ミガキ半?
第37回	112	14 112 C1	IV	深鉢	口縁部 第1群第4種A	口縁：山形突起・外反、口縫部内面：波状貼付文+円形貼付文	ナデ
第37回	113	14 113 E1	VI	深鉢	口縁部 第1群第4種A	口縁：平縁・外反、口縫部：無文。胸部：波状貼付文	ナデ
第37回	114	14 114 F2	IV	深鉢	銀部-胸部 第1群第4種A	口縁：無文、裏面：波状貼付文、胸部：無文	ナデ
第37回	115	14 115 C2	IV	深鉢	銀部-胸部 第1群第4種A	口縁：無文、胸部：波状貼付文（LR1）→波状貼付文	ナデ
第37回	116	14 116 A3	III	深鉢	銀部-胸部 第1群第4種A	口縁：無文、胸部：波状貼付文（LR1）→波状貼付文+葉状貼付文	ナデ
第37回	117	14 117 B2	V	深鉢	胸部 第1群第4種A	胸部：波状貼付文+葉体・波状貼付文+（口）の字形の貼付文	ナデ
第37回	118	14 118 不明	-	深鉢	銀部-胸部 第1群第4種A	口縁：無文、胸部：波状貼付文	ナデ
第37回	119	14 119 F1	VI	深鉢	胸部 第1群第4種A	胸部：波状貼付文+横位貼付文	ナデ
第37回	120	14 120 A2	III	深鉢	胸部 第1群第4種A	胸部：葉狀斜綱文（LR1）→一横位・竪位法貼付文	ナデ
第37回	121	14 121 C2	VI	深鉢	胸部 第1群第4種A	胸部：横位波状貼付文	ナデ
第37回	122	14 122 A2	V	深鉢	胸部 第1群第4種A	胸部：葉狀斜綱文（LR1）→横位貼付文	ナデ
第37回	123	14 123 E1	IV	深鉢	胸部 第1群第4種A	胸部：葉狀斜綱文（不明）→波状貼付文	ナデ
第37回	124	14 124 C2	V	深鉢	胸部 第1群第4種A	胸部：葉狀斜綱文（LR1）→横位・竪位法貼付文	ナデ
第37回	125	14 125 F2	VI	深鉢	胸部 第1群第4種A	胸部：（口）の字形貼付文+波状貼付文	ナデ
第37回	126	14 126 F1	VI	深鉢	口縁部 第1群第4種B	口縁：葉瓣状勝跡・外反、贴文:連続山形貼付文	ナデ
第37回	127	14 127 F1	V	深鉢	口縁部 第1群第4種B	口縁：平縁・外傾、口縫部：2条の連続山形貼付文、胸部：葉瓣状綱文（LR1）→横位連続山形貼付文	ナデ
第37回	128	14 128 A2	V	深鉢	口縁部 第1群第4種B	口縁：平縁・外傾、口縫部：葉瓣状綱文（LR1）→2条の横位連続山形貼付文	ナデ
第37回	129	14 129 A1	VI	深鉢	口縁部 第1群第4種B	口縁：平縁・外反、口縫部：葉瓣状綱文（LR1）→2条の横位連続山形貼付文	ミガキ
第37回	130	14 130 C1	II	深鉢	口縁部 第1群第4種B	口縁：平縁・脇部で（C）の字形に覆し外縫。口縫部：無文→2条の横位連続山形貼付文	ナデ
第37回	131	14 131 A2	III	深鉢	口縁部 第1群第4種B	口縁：山形口縁・外傾、口唇：内面には脇起線、口縫部：山形貼付文+真透孔	ナデ
第37回	132	14 132 A3	II	深鉢	胸部 第1群第4種B	胸部：葉瓣状綱文→2条の横位連続山形貼付文	ナデ
第37回	133	14 133 F2	V	深鉢	胸部 第1群第4種B	胸部：葉瓣状綱文（LR1）→2条の横位連続山形貼付文	ナデ

圖 番	写真図版	グリット	層位	器物	部 位	分類	文 様 の 特 徴 他	内面 調整	
第37回	134	14	134	C2	V	深鉢	脚部 第1群第4組B	脚部：標準文→2条の横位連結山形足付文	
第37回	135	14	135	B1	No14	III	深鉢	脚部 第1群第4組B	脚部：早筋斜縞文(L,R)→2条の横位連結山形足付文
第37回	136	14	136	C1	~赴	—	深鉢	脚部 第1群第4組B	脚部：横位貼付文+横位連結山形足付文
第37回	137	14	137	B1	III・N	深鉢	脚部 第1群第4組B	脚部：標準文→横位貼付文+横位連結山形足付文	
第37回	138	14	138	B1	II	深鉢	脚部 第1群第4組B	脚部：標準文→無筋文(左)→1条の横位連結山形足付文	
第37回	139	14	139	F1	VI	深鉢	口縁部 第1群第4組B	口縁：斷面状装飾所、外縁、脚部：標準文	
第38回	140	14	140	A1	V	深鉢	口縁部 第1群第4組B	口縁：平縫、外縁、脚部：口縁文→断面状装飾所、外縁、脚部：標準文	
第38回	141	14	141	B2	II	深鉢	口縁部 第1群第4組B	口縁：平縫、外口路：表裏に断面状装飾所の跡み、脚部：標準文	
第38回	142	15	142	A1	H2	—	深鉢	口縁部 第1群第4組B	口縁：平縫、外縁、横状贴付文→刺突文、横位斜縞文、脚部：單筋斜縞文(L,R)
第38回	143	15	143	E2	N	深鉢	口縁部 第1群第4組B	口縁：平縫、外縁、横状贴付文、脚部：單筋斜縞文(L,R)	
第38回	144	15	144	A2	V	深鉢	口縁部 第1群第4組B	口縁：波状口縁、内縁、口縁部：2条の波状口縁、脚部：標準文→横位山形足縫	
第38回	145	15	145	B1	III・N	深鉢	口縁部 第1群第4組B	口縁：波状口縁、外縁、口縁部：標準文、脚部：標準文	
第38回	146	15	146	A1	V	深鉢	口縁部 第1群第4組B	口縁：波状口縁、内縁、山西口縁跡群にボタン状贴付文、脚部：標準文→横位山形足縫	
第38回	147	15	147	C2	H2	—	深鉢	口縁部 第1群第4組B	口縁：平縫、外縁、内外に4枚トス貼付文→刺突文、脚部：横位交突、脚部：半筋竹管による横位山形足縫
第38回	148	15	148	C1	No69	II	深鉢	口縁部 第1群第4組B	口縁：平縫、外縁、脚部：横位山形足縫
第38回	149	15	149	不規	—	深鉢	脚部 第1群第4組B	脚部：標準文→横位山形足縫	
第38回	150	15	150	E1	V	深鉢	脚部 第1群第4組B	脚部：單筋斜縞文(RL)→横位山形足縫	
第38回	151	15	151	C2	H2	—	深鉢	脚部 第1群第4組B	脚部：地文(不規)→横位山形足縫
第38回	152	15	152	F1	VI	深鉢	脚部 第1群第4組B	脚部：半筋竹管による横位山形足縫	
第38回	153	15	153	C1	V	深鉢	脚部 第1群第4組B	脚部：口縁部の弱い单筋斜縞文(L,R)→横位山形足縫	
第38回	154	15	154	A2	II	深鉢	脚部 第1群第4組B	脚部：標準文→横位山形足縫、脚土：宝珠母多し	
第38回	155	15	155	A2	III	深鉢	脚部 第1群第4組B	脚部：解位山形足縫	
第38回	156	15	156	E1	No77	N	深鉢	口縁部 第1群第4組C	口縁：平縫、外縁、脚部：1条の区画贴付文+様子字、格子状贴付文。一部剥落
第38回	157	15	157	A1	V	深鉢	口縁部 第1群第4組C	口縁：平縫、外縁、脚部：1条の区画贴付文+様子字、格子状贴付文	
第38回	158	15	158	E1	N	深鉢	口縁部 第1群第4組C	口縁：平縫、外縁、脚部：1条の区画贴付文+様子字、格子状贴付文	
第38回	159	15	159	B2	V	深鉢	口縁部 第1群第4組C	口縁：平縫、脚部で「」の字状に區別し外縫、脚部：1条の区画贴付文+様子字、格子状贴付文	
第39回	160	15	160	B2	V	深鉢	口縁部 第1群第4組C	脚部：山形口縁、内縁、脚部：單筋斜縞文(RL)→1条の区画贴付文+様子字、格子状贴付文	
第39回	161	15	161	C2	E	深鉢	口縁部 第1群第4組C	口縁：波状口縁?、外縫、口縁部：ボタン状贴付文、脚部：斜縞文→区画贴付文+様子字、格子状贴付文	
第39回	162	15	162	A2	V	深鉢	脚部 第1群第4組C	脚部：單筋斜縞文(RL)→1条の区画贴付文+様子字、格子状贴付文	
第39回	163	15	163	C2	V	深鉢	脚部 第1群第4組C	脚部：單筋斜縞文(RL)→1条の区画贴付文+様子字、格子状贴付文	
第39回	164	15	164	B1	V	深鉢	脚部 第1群第4組C	脚部：單筋斜縞文(RL)→1条の区画贴付文	
第39回	165	15	165	F1	西唇	深鉢	脚部 第1群第4組C	脚部：單筋斜縞文(RL)→2条の横位贴付文+横状贴付文	
第39回	166	15	166	A1	II	深鉢	脚部 第1群第4組C	脚部：單筋斜縞文(RL)→1条の区画贴付文+様子字、格子状贴付文	
第39回	167	15	167	B2	V	深鉢	脚部 第1群第4組C	脚部：波状贴付文+格子状贴付文	
第39回	168	15	168	D2	V	深鉢	脚部 第1群第4組C	脚部：單筋斜縞文(RL)→1条の区画贴付文+格子状贴付文	
第39回	169	15	169	E1	~赴	—	深鉢	脚部 第1群第4組C	脚部：單筋斜縞文(RL)→1条の区画贴付文+格子状贴付文
第39回	170	15	170	D2	V	深鉢	脚部 第1群第4組C	脚部：波状贴付文+格子状贴付文	
第39回	171	15	171	B2	V	深鉢	口縁～脚部 第1群第1組A	口縁：平縫、内縁、口縁部：解位贴付文+刺突文+横縫、脚部：斜彎文(RL)→1条+刺突文+脚部	
第39回	172	15	172	C2	V	深鉢	口縁～脚部 第1群第1組A	口縁：山形口縁、外縫、口縁部：ボタン状贴付文+直状状縫、脚部：標準、脚部：斜彎文→横位沈縫、脚部：めだた文	
第39回	173	15	173	A2	V	深鉢	口縁～脚部 第2群第1組B	口縁：平縫、外縫、口縁部：凹縫、波状沈縫、斜め沈縫、刺突文、脚部：標準文、脚部：標準文→横位沈縫+直状状縫+刺突文	
第39回	174	15	174	F2	IV	深鉢	口縁～脚部 第2群第1組B	口縁：平縫、外縫、口縁部：解位贴付文+横位山形贴付文、脚部：山形足縫	
第39回	175	15	175	B1	No56	III	深鉢	口縁～脚部 第2群第1組C	口縁：平縫、外縫、口縁部：横状贴付文+波状沈縫+標準状沈縫、脚部：單筋斜縞文(RL)
第39回	176	15	176	A	III	深鉢	口縁～脚部 第2群第1組C	口縁：平縫、外縫、口縁部：解位沈縫、脚部：單筋斜縞文(RL)	
第40回	177	15	177	A2	V	深鉢	口縁～脚部 第2群第1組C	口縁：平縫、外縫、口縁部：解位沈縫、脚部：斜彎文(組部有する合抱)	
第40回	178	15	178	B1	No56	III	深鉢	口縁～脚部 第2群第1組C	口縁：平縫、外縫、口縁部：解位沈縫、脚部：標準文
第40回	179	15	179	B2	V	深鉢	口縁～脚部 第2群第1組C	口縁：平縫、外縫、口縁部：隆縫+波状沈縫、脚部：標準文	
第40回	180	15	180	B1	No6	III	深鉢	口縁～脚部 第2群第1組D	口縁：山形口縁、内縁、口縁部：隆縫+波状沈縫+円文、脚部：標準文
第40回	181	15	181	A1	III	深鉢	口縁部 第2群第1組D	口縁：平縫、外縫、口縁部：横位沈縫+横状沈縫	

国	版	写真画像	テキスト	巻	巻	部	位	分類	文様の特徴	内訳
第40回	182	15 182 B1	II : 深	深跡	口縁	繩	第 II 章第 1 項 D	口縁：波状口縁・外縁、口縁部：點付文・継合沈縫は沈縫	ミガ 牛	
第40回	183	15 183 D3	V	深跡	口縁	一痕部	第 II 章第 1 項 E	口縁：平縁・外反、口縁部・一痕部：篆體釣文（LR）→押し引き（留目）	ナヂ	
第40回	184	15 184 A1	III	深跡	口縁	一痕部	第 II 章第 2 項 A	口縁：平縁・外縁、口縁部・平行沈縫・山形沈縫・平行沈縫を有する円形點付文、痕部上半：済書文字・如意沈縫、合意沈縫・機引沈縫、痕部下半：施合沈縫文・（LR = RL）	ナヂ	
第40回	185	15 185 F2	V	深跡	口縁	一痕部	第 II 章第 2 項 A	口縁：平縁・外縁、口縁部・平行沈縫・山形沈縫・波状沈縫+「の」の字状沈縫・集合花葉文、痕部：平行沈縫・合意沈縫	ミガ 牛	
第40回	186	15 186 A1	III	深跡	口縁	一痕部	第 II 章第 2 項 A	口縁：平縁・外縁、口縁部・平行沈縫・山形沈縫・波状沈縫+「の」の字状沈縫・集合花葉文、痕部：平行沈縫・合意沈縫	ナヂ	
第41回	187	15 187 C1 No64	III	深跡	口縁	一痕部	第 II 章第 2 項 A	口縁：平縁・外縁、口縁部：平行沈縫・波状沈縫、痕部上半：平行沈縫・直状沈縫	ナヂ	
第41回	188	15 188 A2	V	深跡	口縁	一痕部	第 II 章第 2 項 A	口縁：平縁・外縁、口縁部：平行沈縫・山形沈縫・波状沈縫+「の」の字状沈縫・集合花葉文	ナヂ	
第41回	189	15 189 E2	IV	深跡	口縁	一痕部	第 II 章第 2 項 A	口縁：山形口縁・内反、口縁部：平行沈縫・山形沈縫・波状沈縫+「の」の字状沈縫・集合花葉文、痕部：平行沈縫・合意沈縫	ナヂ	
第41回	190	15 190 A2	II	深跡	口縁	一痕部	第 II 章第 2 項 A	口縁：山形口縁・内反、口縁部：平行沈縫・山形沈縫・波状沈縫+「の」の字状沈縫・集合花葉文、痕部：平行沈縫・合意沈縫	ナヂ	
第41回	191	15 191 A1	III	深跡	口縁	一痕部	第 II 章第 2 項 B	口縁：平縁・外縁、口縁部：平行沈縫・山形沈縫・波状沈縫+「の」の字状沈縫・集合花葉文、痕部：平行沈縫・合意沈縫	ナヂ	
第41回	192	15 192 A1 No38	III	深跡	口縁	一痕部	第 II 章第 2 項 B	口縁：平縁・外縁、口縁部：平行沈縫・山形沈縫・波状沈縫+「の」の字状沈縫・集合花葉文、痕部：平行沈縫・合意沈縫	ナヂ	
第41回	193	15 193 C2 No67	III	深跡	口縁	一痕部	第 II 章第 2 項 B	口縁：平縁・内反、口縁部：点引・口縁部：斜の沈縫→刻文文、痕部：結節の輪彌文（RL）	ナヂ	
第41回	194	15 194 A1 No16	III	深跡	口縁	一痕部	第 II 章第 2 項 B	口縁：山形口縁・内反、突起部：ボタン状點付文・星状點付文、口路内：残跡、口縁部：横状把手・施合沈縫、波状沈縫・波状沈縫+「の」の字状沈縫・集合花葉文、痕部：横状把手・施合沈縫	ナヂ	
第41回	195	15 195 A2	III	深跡	口縁	一痕部	第 II 章第 2 項 B	口縁：山形口縁・外縁、口縁部：點付文・刻文文・集合沈縫	ナヂ	
第42回	196	16 196 A1	III	深跡	口縁	一痕部	第 II 章第 2 項 B	口縁：平縁・内反、口縁部：平行沈縫・直状沈縫+「の」の字状沈縫・小波状文、痕部：椎引隆縫・三角形印刷文	ナヂ	
第42回	197	16 197 B1 No12	III	深跡	口縁	一痕部	第 II 章第 2 項 B	口縁：平縁・内縫、口縫：突起・突起部、口縫部：椎引沈縫+波状沈縫・横状沈縫、痕部：隆縫・机引・痕部：結節形沈縫（LR = RL）	ミガ 牛	
第42回	198	16 198 A2	III	深跡	口縁	一痕部	第 II 章第 2 項 B	口縁：平縁・外縫、口路内：残跡、口路外：残跡・三角形印刷文、口縫：山形北縫・横位次縫・ボタン状點付文、痕部：隆縫・机引・痕部：結節形沈縫（LR = RL）	ナヂ	
第42回	199	16 199 A1 No47	III	深跡	口縁	一痕部	第 II 章第 2 項 B	口縁：山形口縁・内反、口路内：残跡、口路外：残跡・三角形印刷文、痕部：椎引沈縫+押し引きによる済書文字・山形北縫・机引・痕部：點引付文、痕部：結節形沈縫	ナヂ	
第42回	200	16 200 B1 No28	III	深跡	口縁	一痕部	第 II 章第 2 項 B	口縁：平縁・外縫、突起・突起部、口路内：残跡、口縫部：横位沈縫+波状沈縫上に施合面彌文、痕部：刺引・痕部：結節形沈縫（LR = RL）	ナヂ	
第42回	201	16 201 B1	III : N	深跡	口縁	一痕部	第 II 章第 2 項 B	口縁：山形口縁・外縫、口縫部：点引付文・手軽竹碧による落式沈縫・山形北縫・横位沈縫・ボタン状點付文	ナヂ	
第42回	202	16 202 C2 No34	III	深跡	口縁	一痕部	第 II 章第 2 項 B	口縁：平縁・内反、口縫部：椎引隆縫+刻文文、痕部：結節形沈縫（LR = RL）	ミガ 牛	
第43回	203	16 203 C1 No16	III	深跡	口縁	一痕部	第 II 章第 2 項 C	口縁：平縁、内反、口縫部：鉤織文（LR）→椎引沈縫、痕部：點付文、痕部：斜め沈縫+横位沈縫	ミガ 牛	
第43回	204	16 204 F1	VI	深跡	口縁	一痕部	第 II 章第 2 項 C	口縁：山形口縁・内反、口縫部：斜状沈縫・集合花葉文、痕部：椎引・三角形印刷文	ナヂ	
第43回	205	16 205 A1	III	深跡	口縁	一痕部	第 II 章第 2 項 C	口縁：点引次縫+三角形印刷文、痕部：点引次縫+波状沈縫+三角形印刷文+椎引隆縫	ナヂ	
第43回	206	16 206 B2	II	深跡	口縁	一痕部	第 II 章第 2 項 C	口縁：平縁、外縫、口路内：残跡、口路外：残跡・三角形印刷文、痕部：外内面に残跡、口縫部：點付文+次縫、痕部：原形面彌文、痕部：結節形沈縫	ナヂ	
第43回	207	16 207 C2	V	深跡	口縁	一痕部	第 II 章第 2 項 C	口縁：平縁、外縫、口縫部：内反、口路内：残跡、口路外：残跡・三角形印刷文、痕部：斜位沈縫+合意沈縫、鉤織文+机引・鉤織文+机引・集合沈縫	ナヂ	
第43回	208	16 208 C3	V	深跡	口縁	一痕部	第 II 章第 2 項 C	口縁：平縁、内反、口縫部：突起（灌水）、口縫部：鉤織文（LR）→三角形印刷文、痕部：斜状沈縫+波状沈縫	ミガ 牛	
第43回	209	16 209 C1 No67	III	深跡	口縁	一痕部	第 II 章第 2 項 D	口縁：山形口縁・内反、口路内：残跡、口路外：残跡・機引・机引・施合沈縫+椎引沈縫	ナヂ	
第43回	210	16 210 B1 No14	III	深跡	口縁	一痕部	第 II 章第 2 項 D	口縁：波状沈縫・内反、波狀突起付文・突起・口縫・口縫部：手軽竹碧による落式沈縫・山形北縫・横位沈縫・ボタン状點付文	ミガ 牛	
第43回	211	16 211 A2	V	深跡	口縁	一痕部	第 II 章第 2 項 D	口縁：波状沈縫・外縫、口縫部：折り返し口縫・機引・施合沈縫+横位點付文+点引・点引付文・痕部：斜位斜彌縫	ナヂ	
第44回	212	16 212 B2	II : N	深跡	口縁	一痕部	第 II 章第 2 項 D	口縁：波状沈縫・外縫、口縫部：点引・施合點付文・痕部：斜位點付文+横位點付文、痕部：結節形沈縫	ナヂ	
第44回	213	16 213 D2	IV	深跡	口縁	一痕部	第 II 章第 2 項 D	口縁：平縁、内反、口縫部：突起+隆縫、口縫部：椎引沈縫+集合沈縫+次縫、痕部：椎引・机引・机引斜彌縫	ナヂ	
第44回	214	16 214 A	II	深跡	口縁	一痕部	第 II 章第 2 項 D	口縁：平縁、内縫、口縫部：突起+隆縫、口縫部：椎引沈縫+施合沈縫+點引付文・痕部：結節形沈縫	ナヂ	
第44回	215	16 215 C1 No67	III	深跡	口縁	一痕部	第 II 章第 2 項 D	口縁：波状沈縫・内反、口縫部：突起+隆縫、口縫部：椎引沈縫+施合沈縫+點引付文・痕部：斜位斜彌縫	ナヂ	
第44回	216	16 216 A 97 No14	II	深跡	口縁	一痕部	第 II 章第 2 項 D	口縁：波状沈縫・内反、口縫部：折り返し口縫・機引・施合沈縫+横位點付文+点引・点引付文・痕部：斜位斜彌縫	ナヂ	
第44回	217	16 217 B1 No25	III	深跡	口縁	一痕部	第 II 章第 2 項 D	口縁：平縁、外縫、口縫部：椎引・點引付文、痕部：點引・結節形沈縫	ミガ 牛	
第44回	218	16 218 B1 No28	III	深跡	口縁	一痕部	第 II 章第 2 項 D	口縁：平縁、内反、口縫部：椎引・點引付文、痕部：點引・結節形沈縫	ミガ 牛	
第44回	219	16 219 B1 No6	III	深跡	口縁	一痕部	第 II 章第 2 項 D	口縁：平縁、外縫、口縫部：折り返し口縫、結節形沈縫+點引付文、痕部：結節形沈縫	ナヂ	
第44回	220	16 220 A2 No73	V	深跡	口縁	一痕部	第 II 章第 2 項 D	口縁：平縁、外縫、口縫部：鉤織文+點引付文、鉤織文、結節文	ナヂ	
第45回	221	16 221 A1	III	深跡	口縁	一痕部	第 II 章第 2 項 D	口縁：平縁、外縫、口縫部：波状・次縫間に突起・突起+波状沈縫+点引・点引付文・痕部：突起を有する波状・波状沈縫	ナヂ	
第45回	222	16 222 A1	III	深跡	口縁	一痕部	第 II 章第 2 項 D	口縁：平縁、内反、口縫部：内面に隆縫、口縫部：波状沈縫+「ノ」の字状沈縫+点引・痕部：突起を有する波状・波状沈縫	ナヂ	
第45回	223	16 223 B1	II	深跡	口縁	一痕部	第 II 章第 2 項 D	口縁：平縁、内縫、口縫部：突起+隆縫、口縫部：鉤織文+波状沈縫+「ノ」の字状沈縫+点引・痕部：突起+波状・波状沈縫	ナヂ	
第45回	224	16 224 B1	II : N	深跡	口縁	一痕部	第 II 章第 2 項 D	口縁：波状口縁・内反・突起、口縫部：内面に隆縫、口縫部：鉤織文+波状沈縫+「ノ」の字状沈縫+点引・波状・波状沈縫	ミガ 牛	
第45回	225	16 225 A1 No35	II	深跡	口縁	一痕部	第 II 章第 2 項 D	口縁：波状口縁・内反・突起、口縫部：内面に隆縫、口縫部：鉤織文（LR）→波状+三角形印刷文・横位點付文、痕部：段有り、痕部：鉤織文（LR）	ミガ 牛	
第45回	226	16 226 D2	V	深跡	口縁	一痕部	第 II 章第 2 項 D	口縁：平縁、内縫、突起有り、口縫部：施合沈縫+横位點付文+点引、痕部：無文	ナヂ	

回	章	写真脚録	ケル外	書	位	器形	部	位	分類	文様の特徴	内面 調整	
第4回	227	16	227	B2	V	深鉢	口縁	側部	第Ⅱ群第2種D 秋葉文	口縁：平縁・内反、口縁部：ボタン状突起付・側位沈線・横位沈線・横位拍打縫	ナテ	
第4回	228	16	228	C1	V	深鉢	口縁	側部	第Ⅱ群第2種D	口縁：平縁・内反、口縁部：ボタン状突起付・側位・斜め刻文尖文、側部：木目状捺文	ナテ	
第4回	229	16	229	B1	III-N	深鉢	口縁	側部	第Ⅱ群第2種D 刻文	口縁：平縁・内反、口縁部：内面に隆線、口縁部・側部・斜め沈線+集合沈線文・ボタン状突起付・刻文	ナテ	
第4回	230	17	230	B1	III-N	深鉢	口縁	側部	第Ⅱ群第2種D	口縁：平縁・外縁、口縁部：平行沈線・波状沈線・側部：隆線・底部：結節羽彌文	ナテ	
第4回	231	17	231	A2	II	深鉢	口縁	側部	第Ⅱ群第2種D	口縁：平縁・内反、口縁部：平軸沈線による横位・複位沈線・頂部：複縫三角形印刷文・刻文	ナテ	
第4回	232	17	232	C2	V	深鉢	口縁	側部	第Ⅱ群第2種D	口縁：平縁・外反・折り返し口縁、口縁部：沈線と斜めによる幾何文、側部：彌引文	ナテ	
第4回	233	17	233	A1	No65	III	深鉢	口縁	側部	第Ⅱ群第2種E	口縁：山形口縁・外板、口縁部：ボタン状突起付・頭部・横位隆線・刻尖・側部・斜彌文（LR）	ナテ
第4回	234	17	234	F1	V	深鉢	口縁	側部	第Ⅱ群第2種E	口縁：外反、口縁部：頭状突起付・横位沈線・集合沈線文、頂部：横在底状沈線・側部：対位波状	ナテ	
第4回	235	17	235	D2	IV	深鉢	口縁	側部	第Ⅱ群第2種E	口縁：平縁・外板、口縁部：内面に隆線口縁部：斜彌文（LR）→側位北縁・波狀沈線・ボタン状突起付・側部：斜彌文（LR）	ナテ	
第4回	236	17	236	B1	V	深鉢	口縁	側部	第Ⅱ群第2種E	口縁：平縁・内反、口縁部：平行沈線・波狀沈線・側部：刻文・複縫文	ナテ	
第4回	237	17	237	B2	V	深鉢	口縁	側部	第Ⅱ群第2種E	口縁：平縁・外板、口縁部：折り返し口縁→刻彌文（LR）、口縁部：側位沈縁・刻尖・側位隆線・側部：斜彌文（LR）	ナテ	
第4回	238	17	238	A2	No73	V	深鉢	口縁	側部	第Ⅱ群第2種E	口縁：一部少部分口縁・内板、口唇：内面に隆線、口縁部・斜彌文（LR）→刻付文・横位・波状沈線・側部：斜彌文（LR）	ナテ
第4回	239	17	239	D2	V	深鉢	口縁	側部	第Ⅱ群第2種E	口縁：平縁・外反、口縁部：集合沈線文・剪文・點付文・側部：斜彌文（LR）	ミガキ	
第4回	240	17	240	E1	V	深鉢	口縁	側部	第Ⅱ群第2種E	口縁：平縁・外板、口縁部・剪文部：地文・山面沈線	ナテ	
第4回	241	17	241	C3	V	深鉢	口縁	側部	第Ⅱ群第2種E	口縁：山形口縁・内反、口縁部・側部：斜彌文（LR）→対位點付文・地土・金雲母多量	ナテ	
第4回	242	17	242	B2	V	深鉢	口縁	側部	第Ⅱ群第2種E	口縁：山形突起・外縁、口唇部：対位・山面・口縁部・側部・対位の波状點付文	ナテ	
第4回	243	17	243	B1	No62	III	深鉢	口縁	側部	第Ⅱ群第2種G	口縁：平縁・内反、口縁部：側位沈縁・刻尖付文・波狀點付文・一部・側部・横位刻文例	ナテ
第4回	244	17	244	F2	IV	深鉢	口縁	側部	第Ⅱ群第2種G	口縁：平縁・外縁、口縁部：側位沈縁・斜位點付文→対位沈縁	ナテ	
第4回	245	17	245	A2	IV	深鉢	口縁	側部	第Ⅱ群第2種G	口縁：平縁・外反・折り返し口縁、口縁部：横位沈縁・波狀沈線・解剖位點付文・横位付文・一部	ナテ	
第4回	246	17	246	C3	V	深鉢	口縁	側部	第Ⅱ群第2種G	口縁：山形口縁・内反、口縁部・側部：斜彌文（LR）→対位點付文・地土・金雲母多量	ナテ	
第4回	247	17	247	A1	III	深鉢	口縁	側部	第Ⅱ群第2種G	口縁：平縁・外縁、口縁部・側位沈縁・刻尖付文・波狀點付文・一部・側部・横位刻文例	ナテ	
第4回	248	17	248	A	III	深鉢	口縁	側部	第Ⅱ群第2種G	口縁：平縁・内反・内板：波狀口縁・口縁部：刻みを有する複位點付文・波狀沈線・集合沈線文・三角形印刷文・側部・隆線・三角形印刷文	ナテ	
第4回	249	17	249	B2	No75	IV	深鉢	口縁	側部	第Ⅱ群第2種G	口縁：波狀口縁・内反、口縁部：波狀底部に削みを有する複位點付文・波狀沈線・側位點付文・剪文	ナテ
第4回	250	17	250	C5	-	深鉢	口縁	側部	第Ⅱ群第2種G	口縁：平縁・内反、口縁部：山形突起・格子状點付文、口縁部：側位點付文・圓彌文（LR）→波狀沈線・圓彌文・刻尖付文	ナテ	
第4回	251	17	251	C3	V	深鉢	口縁	側部	第Ⅱ群第2種G	口縁：平縁・内反・一部：山形突起・刻尖、口縁部：波狀沈線・側位點付文・剪文・新突文・胎土・金雲母多量	ナテ	
第4回	252	17	252	A1	III	深鉢	口縁	側部	第Ⅱ群第2種G	口縁：平縁・内反・一部に山形突起→刻尖、口縁部：波狀沈線・側位點付文+「ノ」の字状點付文→點打付文に限る、側部：横位・刻尖・刻文	ナテ	
第4回	253	17	253	A1	III	深鉢	口縁	側部	第Ⅱ群第2種G	口縁：平縁・外縁、口縁部：波狀竹筋による横位沈縁・山形沈縁・集合沈線文、側部：横位隆線・刻文	ナテ	
第4回	254	17	254	B2	V	深鉢	口縁	側部	第Ⅱ群第2種G	口縁：平縁・内反、口縁部：内面に折り返し、口縁部・ボタン状突起付文・波狀沈線・横位沈縁・側部：刻尖付文	ミガキ	
第4回	255	17	255	A2	VI	深鉢	口縁	側部	第Ⅱ群第2種G	口縁：平縁・内反、口縁部：無文・突起・口縁部・點付文（鉄落）+横位沈縁・強位沈縁・側部：横位突起付文+横位沈縁	ナテ	
第4回	256	17	256	C3	V	深鉢	口縁	側部	第Ⅱ群第2種G	口縁：山形口縁・内反、口縁部：済部にボタン状突起付文・側位沈縁・刻尖・沈縁付文・刻文	ナテ	
第4回	257	17	257	A2	III	深鉢	口縁	側部	第Ⅱ群第2種G	口縁：平縁・外縁、口縁部・斜彌文（LR）+横位の海打付文・山形沈縁	ナテ	
第4回	258	17	258	A2	V	深鉢	口縁	側部	第Ⅱ群第2種G	口縁：波狀口縁・内反、口縁部：刻尖・刻文・波狀各部位を有する複位點付文・波狀沈線・側位・刻文	ナテ	
第4回	259	17	259	B1	No29	III	深鉢	口縁	側部	第Ⅱ群第2種G	口縁：平縁・外縁、口縁部：波狀竹筋付文・側位點付文・剪文・突起付文+斜位沈縁・側部：波狀點付文・剪文	ナテ
第4回	260	17	260	B1	III-N	深鉢	口縁	側部	第Ⅱ群第2種G	口縁：波狀口縁・外縁、口縁部：横位沈縁・橫位竹筋付文・側位點付文・剪文・突起付文+斜位沈縁	ナテ	
第4回	261	17	261	B2	II	深鉢	口縁	側部	第Ⅱ群第2種G	口縁：平縁・外縁、口縁部：横位沈縁・橫位竹筋付文・側位點付文・剪文・突起付文+斜位沈縁	ナテ	
第4回	262	17	262	D2	II	深鉢	口縁	側部	第Ⅱ群第2種G	口縁：平縁・外縁、口縁部：横位沈縁・波狀沈縁・側位點付文	ナテ	
第4回	263	17	263	B2	II	深鉢	口縁	側部	第Ⅱ群第2種G	口縁：平縁・外縁、口縁部：無文・突起・口縁部・横位沈縁・集合沈線文	ナテ	
第4回	264	17	264	A1	No35	III	深鉢	口縁	側部	第Ⅱ群第2種G	口縁：平縁・内反、口縁部：外縁に折り返し→刻尖、口縁部：側位沈縁・山形沈縁・側位沈縁・刻文（漆付不規則）	ナテ
第4回	265	17	265	A2	III	深鉢	口縁	側部	第Ⅱ群第2種G	口縁：平縁・外縁、口縁部：無文・突起・口縁部・横位沈縁・側位沈縁・強部：横位沈縫・解剖沈縫	ミガキ	
第4回	266	17	266	A1	西壁	III	深鉢	口縁	側部	第Ⅱ群第2種G	口縁：平縁・外縁、口縁部：沈縫・押し引弓	ナテ
第4回	267	17	267	D2	V	深鉢	口縁	側部	第Ⅱ群第2種G	口縁：平縁・内反、口縁部：斜彌文・側部：解剖沈縫・側部：無文	ナテ	
第4回	268	17	268	A2	III	深鉢	口縁	側部	第Ⅱ群第2種G	口縁：内反、突起：(1)の字状點付文・集合沈線文、(2)の字形印刷文	ナテ	
第4回	269	17	269	B1	No29	III	深鉢	口縁	側部	第Ⅱ群第2種G	口縁：内反、突起：(1)の字形印刷文・集合沈線文・側孔を有する円形の點付文、口縁部：斜彌文・集合沈線文	ナテ
第4回	270	17	270	B2	V	深鉢	口縁	側部	第Ⅱ群第3種A	口縁：平縁・外縁、口縁部：斜彌文（LR）+横位沈縫	ナテ	
第4回	271	17	271	F1	V	深鉢	口縁	側部	第Ⅱ群第3種A	口縁：内反、外縁、口縁部：隆線+側彌文（LR）+側位沈縫	ミガキ	
第4回	272	17	272	F1	V	深鉢	口縁	側部	第Ⅱ群第3種A	口縁：平縁・外縁、口縁部：斜彌文（LR）→平行沈縫・波狀沈縫・側位隆線	ナテ	
第4回	273	17	273	F1	V	深鉢	口縁	側部	第Ⅱ群第3種A	口縁：平縁・内反、口縁部：側孔+側彌文（LR）	ナテ	
第4回	274	17	274	B2	V	深鉢	口縁	側部	第Ⅱ群第3種C	口縁：平縁・内反、口縁部：側孔+側彌文（LR）・内面は膨らむ、口縁部：斜彌文（LR）→対位點付文、側部：斜彌文（LR）	ミガキ	

固 層	写真図版	グリフ	層位	器物	部 位	分 類	文 様	の 特 徴	内面 調整
第49回	275	17 275/A区	III	深鉢	口縁	第Ⅲ群第3種C	口縁：平縁・内反、口縁部：斜縞文（LR）→原体の側面直張・鶴丹形状跡付文。颈部：横位捺起縫		ナデ
第49回	276	17 276/E1	IV	深鉢	口縁	第Ⅳ群第3種C	口縁：平縁・内反、口縁部：斜縞文（LR）、腹部：剥離文（LR）→〔V〕字状の貼付文		ナデ
第50回	277	17 277/A2	III	深鉢	口縁	第Ⅲ群第3種C	口縁：平縁・山形突起、口縁部から腹部：斜縞文（LR・RL・慶文）→〔Y〕字状貼付文→貼付文に斜縞文		ナデ
第50回	278	17 278/A	III	深鉢	口縁	第Ⅲ群第3種C	口縁：平縁・内反、口縁部：剥離文+脚突文+脚底側面直張文→対置貼付文→貼付文に脚底側面直張文		ナデ
第50回	279	18 279/B1～2 No59	III	深鉢	口縁～剥離部	第Ⅲ群第3種C	口縁：平縁・内反、口縁外縁：剥離文、口縁部：貼付文有する斜縞文（LR）→〔U〕字状貼付文→貼付文に剥離文、腹部：段・絞形を有する斜縞文（RL）		ナデ
第50回	280	18 280/A2	II	深鉢	口縁～剥離部	第Ⅱ群第3種C	口縁：平縁・外縫、口縁部：體系文→貼付文、腹部：剥離文+脚突文		ナデ
第50回	281	18 281/A1	III	深鉢	口縁～剥離部	第Ⅲ群第3種C	口縁：平縁・内反、山形口縁+弧状貼付文。口唇：内面・脚底縫+口縁部→口縁部：斜縞文（LR）→対置貼付文+脚底縫		ナデ
第50回	282	18 282/B2	V	深鉢	口縁	第Ⅴ群第3種C	口縁：山形口縁+外縫、口唇：内面に隆起縫、腹部：口唇部→口縁部：斜縞文（LR）→対置貼付文+対置貼付文		ミキ
第50回	283	18 283/B2	V	深鉢	口縁	第Ⅴ群第3種D	口縁：平縁・内反、口唇：外縫、口唇部：脚突文+脚底縫+脚底側面直張文による三角形状、腹部：脚底縫、颈部：横位捺起縫		ナデ
第50回	284	18 284/F1	VI	深鉢	口縁	第Ⅵ群第3種D	口縁：波状口縁・内反、口唇内面・円文、口縁部：脚底側面直張文→脚底貼付文+腹部：隆起縫、颈部：横位捺起縫直張文		ナデ
第50回	285	18 285/F2	VI	深鉢	口縁	第Ⅵ群第3種D	口縁：山形口縁+内反、口唇部：脚底側面直張文による前み、口縁部：脚底側面直張文→円文貼付文→原位側面直張文による前み		ナデ
第50回	286	16 286/E1	IV	深鉢	口縁～剥離部	第Ⅳ群第1種	口縁：平縁・内反、斜縞文（LR）→一様の脚底縫		ナデ
第51回	287	18 287/E2	VI	深鉢	口縁～剥離部	第Ⅵ群第1種	口縁：平縁・内反・大型突起、口縁部：筋状の脚底側面直張文、腹部：斜縞文（LR）→横位捺縫		ナデ
第51回	288	16 288/E1	II	深鉢	口縁	第Ⅱ群第1種	外縫、大形山形突起→露底縫、口縁部：斜縞文（LR）→一様脚底縫+脚底縫による縫切り		ナデ
第51回	289	18 289/F1	VI	深鉢	口縁～剥離部	第Ⅵ群第1種	口縁：平縁・内反、口唇：横位捺起縫、X字状貼付文→剥離文、口縁部：斜縞文（LR）→一様三角形状区画縫+露底縫		ナデ
第51回	290	19 290/E1	V	深鉢	口縁～剥離部	第Ⅴ群第1種	口縁：平縁・内反、斜縞文（LR）→一様脚底縫+脚底縫による脚底縫		ナデ
第51回	291	18 291/D3	V	深鉢	口縁～剥離部	第Ⅴ群第1種	口縁：平縁・内反、口唇：X字状貼付文+剥離文、口縁部：斜縞文（LR）→一様脚底縫+脚底縫による脚底縫+脚底側面直張文		ナデ
第51回	292	18 292/F1	II	深鉢	剥離部	第Ⅱ群第1種	剥離部：斜縞文（LR）→横位捺縫+対置脚底縫+対置の横位捺縫		ナデ
第51回	293	18 293/E1	II	深鉢	口縁～剥離部	第Ⅱ群第1種	口縁部：斜縞文（LR）→一様脚底縫+脚底縫		ナデ
第51回	294	18 294/E1	IV	深鉢	口縁～剥離部	第Ⅳ群第1種	口縁部：横位捺縫+斜縞文（LR）→一様脚底縫+脚底縫による脚底縫		ナデ
第52回	295	18 295/E1	IV	深鉢	口縁～剥離部	第Ⅳ群第2種	口縁：平縁・内反、口唇：一様の横位捺縫+脚底縫、腹部：斜縞文（LR）→脚底縫+脚底側面直張文		ナデ
第52回	296	18 296/F1	VI	深鉢	口縁～剥離部	第Ⅵ群第2種	口縁：斜縞文（LR）→横位捺縫+対置脚底縫+対置の横位捺縫		ナデ
第52回	297	18 297/F2	V	深鉢	口縁	第Ⅴ群第2種	口縁：平縁・内反、口唇：二様の横位捺縫+脚底縫、口縁部：斜縞文（LR）→済巻き文		ナデ
第52回	298	18 298/E2	V	深鉢	剥離部～第Ⅴ群第2種	剥離部：斜縞文（LR）→三本単位の対置脚底縫		ナデ	
第52回	299	19 299/F1	N	鉢	口縁	第Ⅸ群第1種	口縁：波状口縁・内反、口唇：斜縞文（LR）、口縁部：横位捺縫+済巻き文		ナデ
第52回	300	18 300/F2	N	鉢	剥離部	第Ⅸ群第1種	剥離部：斜縞文（LR）→横位捺縫+曲線文+済巻き文+剥離		ナデ
第52回	301	18 301/F2	N	鉢	剥離部	第Ⅸ群第1種	剥離部：斜縞文（LR）→入組文+横位捺縫+曲線文→済巻き文		ナデ
第52回	302	18 302/F1	N	鉢	剥離部	第Ⅸ群第1種	剥離部：斜縞文（LR）→横位捺縫+垂幕縫→剥離文		ナデ
第52回	303	18 303/F1	II	注口	剥離部～剥離部	第Ⅸ群第1種	剥離部：曲線文→剥離文、剥離部：突起+脚底縫+脚底縫による筋縫		ミキ
第52回	304	18 304/F1	II	鉢	突起	第Ⅸ群第2種	突起：内反、底部凹凸。ボタン状貼付文、曲縫文→充填縫文		ミキ
第52回	305	18 305/F1	II	鉢	口縁	第Ⅸ群第2種	口縁：波状口縁+内反、口唇：弦状文+斜縞文（LR）→充填、腹部：横位捺縫→斜縞文（LR）		ミキ
第52回	306	18 306/F1	II	鉢	口縁	第Ⅸ群第2種	口縁：平縁・内反、口唇：斜縞文（LR）、口縁部：横位捺縫+充填縫文		ナデ
第52回	307	18 307/F2	II	鉢	剥離部	第Ⅸ群第3種	剥離部：横位捺縫+入組文、入組文の点に筋縫貼付文+横位捺縫間に筋縫		ナデ
第52回	308	18 308/E2	IV	鉢	口縁	第Ⅸ群第3種	口縁：平縁・内反しして字状に外側に屈曲→筋縫、口縁部：斜縞文（LR）→済巻縫文による入組文+筋縫貼付文		ナデ
第52回	309	18 309/F2	V	鉢	口縁	第Ⅸ群第3種	口縁：平縁・外反しして字状に外側に屈曲→筋縫、口縁部：入組文→脚底貼付文		ナデ
第52回	310	18 310/F1	II	鉢	口縁	第Ⅸ群第3種	口縁：平縁・内反しして字状に外側に屈曲→筋縫、口縁部：入組文→脚底貼付文		ナデ
第52回	311	18 311/F1	II	鉢	剥離部	第Ⅸ群第3種	剥離部：入組文→剥離		ナデ
第52回	312	18 312/F1	II	鉢	口縁～剥離部	第Ⅸ群第3種	口縁：平縁・内反、口唇：筋縫、口縁部：筋縫+充填縫文		ナデ
第52回	313	18 313/F1	II	鉢	口縁～剥離部	第Ⅸ群第3種	口縁：平縁・内反しして字状に外側に屈曲→筋縫、口縁部：横位捺縫+筋縫		ナデ
第52回	314	18 314/F1	V	鉢	口縁	第Ⅸ群第3種	口縁：平縁・内反しして字状に外側に屈曲→筋縫、口縁部：横位捺縫+筋縫、腹部：入組文→筋縫+ボタン状貼付文		ナデ
第52回	315	18 315/F2	IV	鉢	口縁	第Ⅹ群第3種	口縁：平縁・内反、口唇：剥離、口縁部：剥離+筋縫		ナデ
第52回	316	18 316/F1	IV	鉢	口縁	第Ⅹ群第3種	口縁：平縁・内反、口唇：突起+筋縫、口縁部上位：斜縞文（LR）、口縁部下位：入組文→筋縫		ナデ
第52回	317	18 317/F2	IV	鉢	口縁	第Ⅹ群第3種	口縁：平縁・内反、口唇：突起+筋縫、口縁部：入組文→筋縫		ナデ
第52回	318	18 318/F1	IV	鉢	口縁	第Ⅹ群第4種	口縁：平縁・内反しして字状に外側に屈曲→筋縫、口縁部：斜縞文（LR）→横位捺縫+剥離文→脚底貼付文		ナデ
第52回	319	18 319/F1	II	鉢	口縁	第Ⅺ群第4種	口縁：平縁・内反、口唇：突起+筋縫、口縁部：横位捺縫+剥離文+筋縫		ナデ
第52回	320	18 320/F1	IV	鉢	口縁	第Ⅺ群第4種	口縁：平縁・内反、口唇：突起+筋縫、口縁部：横位捺縫+剥離文+筋縫		ナデ
第52回	321	18 321/F2	V	鉢	口縁～剥離部	第Ⅺ群第4種	口縁：平縁・内反、口唇：剥離文+口唇部+横位捺縫+剥離文+筋縫		ナデ

図版	写真図版	グリット	層位	露頭	部 位	分類	文 様 の 特徴	内面 露頭		
第52図	322	18	322	F1・2 f	—	露頭	第IV群第4類	口縁：平縁・外縁。口唇：突出。口唇部～口縁部：横位沈縫→刮みが先端	ナデ	
第52図	323	18	323	F1	Ⅲ	露頭	口縁	第IV群第4類	口縁：平縁・外縁。口唇：突出。口唇部～口縁部：横位沈縫→刮みが先端	ナデ
第52図	324	18	324	F1	V	露頭	口縁	第IV群第4類	口縁：山形口縁・内反。口唇部：刮み。口縫部上位：斜縫文 (LR)、口縫部下位：横位沈縫→刮み→削り消し	ナデ
第53図	325	18	325	E1	Ⅲ	露頭	口縁～胸部	第IV群第4類	口縁：小波状口縁・外反。口縫部：横位沈縫→刮み。胸部：沈縫による文様	ナデ
第53図	326	18	326	E2	N	露頭	口縁	第IV群第5類	口縁：山形口縁・内反。山形部：刮み。口縫部：横位凹状沈縫・刮み先端	ナデ
第53図	327	18	327	F1	Ⅲ	露頭	口縁～胸部	第IV群第5類	口縁：小波状口縁・外反。口縫部：横位凹状沈縫・胸部：斜縫文 (LR)	ナデ
第53図	328	18	328	F1	Ⅲ	露頭	口縁～胸部	第IV群第5類	口縁：小波状口縁・外反。口縫部：横位凹状沈縫・胸部：斜縫文 (不規)	ナデ
第53図	329	18	329	F1	Ⅲ	露頭	口縁～胸部	第V群	口縁：小波状口縁・内反。口唇：渦巻き文。露部：横位三叉文、口縫部：横位沈縫・胸部：斜縫文 (LR)	ナデ
第53図	330	18	330	F1	Ⅲ	注口	胸部～胸部	第V群	露部：横位沈縫→刮み、胸部：露形文・横位沈縫	ナデ
第53図	331	18	331	F1	Ⅲ	透跡	口縁～胸部	第V群	口縁：平縁・外反。口唇：突出+内面に沈縫。口縫部：横位沈縫+変形工字文。胸部：無文	ナデ
第53図	332	18	332	B2	V	深鉢	口縁～胸部	第VI群	口縁：平縁・外反。口唇：山形口縁+後起縫。口縫部：粘膜を有する斜縫文、露部：舟・胸部：斜縫文 (LR)	ナデ
第53図	333	18	333	E1	Ⅲ	深鉢	口縁～胸部	第VI群	口縁：平縁・外反。口唇：5字状點付文。口唇～胸部：斜縫文 (LR)	ナデ
第53図	334	18	334	D2	V	深鉢	口縁～胸部	第VI群	口縁：平縁・外縁。口唇：尖端・部分的に刺突文。口唇～胸部：網目状横糸文、胎土・植物繊維多	ナデ
第53図	335	18	335	E2	V	深鉢	口縁～胸部	第VI群	口縁：平縁・外縁。口唇：折り返し口縁・無文。胸部：横刃文	ナデ
第53図	336	18	336	C3	V	深鉢	口縁～胸部	第VI群	口縁：平縁・外縁。口縫部：無文。胸部：擦りの粗い擦れ文	ナデ
第53図	337	18	337	E2	V	深鉢	口縁～胸部	第VI群	口縁：平縁・外反。口唇：山形突起・中央が隆む突起。口縫部～胸部：無文	ナデ
第53図	338	18	338	B2	V	透跡	口縁～胸部	第VI群	口縁：平縁・内反。口唇：山形突起・波状突起。口縫部：突起下に點付文。胸部：舟・胸部：無文	ナデ

第6表 土製品一覧表

品名	写真説明	出上場所	属	基種	計測値 (cm)		重量 (g)	分類・備考	登録 No
					高さ	幅			
第54回	1	19-1 E1	II	土偶	(3.67)	4.95	1.42	36.3	1715
第54回	2	19-2 E1	II	土偶	(4.29)	(5.48)	1.08	29.8 頭部・腹部・胸板・欠損品・表面模様有(半截竹苞)	1716
第54回	3	19-3 B1	II-B	土偶	(4.34)	3.74	0.82	11.5 頭部・腹部・胸板・欠損品・表面模様有	1717
第54回	4	19-4 C2	B-B	土偶	(2.16)	(3.76)	0.69	7.9 頭部・腹部・胸板・欠損品・表面模様有	1718
第54回	5	19-5 B2	V	土偶	(2.94)	3.37	0.98	12.6 頭部・腹部・胸板・欠損品・表面模様有	1719
第54回	6	19-6 A3	III	土偶	(4.69)	4.23	1.25	26.3 頭部・腹部・胸板・欠損品・表面模様有	1720
第54回	7	19-7 F1	III	土偶	(2.94)	2.56	2.34	24.5 頭部	1695
第54回	8	19-8 E2	IV	スタンプ甲子製胎	3.48	3.10	1.84	12.5 頭部・腹部・胸板	1694
第54回	9	19-9 E2	IV	骨董状土器製胎(骨形土器製胎)	3.77	1.59	1.39	10.4 頭部・腹部・胸板	1697
第55回	10	19-10 F2	IV	疊縫不即の製胎	4.19	3.26	1.57	24.7 頭部・腹部・胸板	1698
第55回	11	19-11 A1 N° 55	II	土製円盤	1.75	1.66	1.08	4.2 円形、打ち灰火	1703
第55回	12	19-12 C1	IV	土製円盤	1.75	1.80	0.89	3.6 円形、打ち灰火	1691
第55回	13	19-13 D1	V	土製円盤	2.19	2.12	0.90	5.2 円形、打ち灰火	1668
第55回	14	19-14 S1	II	土製円盤	2.19	2.12	0.90	5.3 円形、打ち灰火	1678
第55回	15	19-15 Z2	IV	土製円盤	2.41	2.76	1.13	19.5 円形、(一部欠損)、(一部破損)、打ち灰火	1665
第55回	16	19-16 A1	II	土製円盤	2.49	2.06	0.88	6.3 円形、(一部破損)、打ち灰火	1663
第55回	17	19-17 A3	III	土製円盤	1.73	2.04	1.13	4.6 円形、(一部破損)、裏面刷毛	1705
第55回	18	19-18 C2	II	土製円盤	1.94	1.84	0.68	3.6 円形、(一部破損)、裏面刷毛	1693
第55回	19	19-19 A1	III	土製円盤	1.95	1.85	0.71	3.5 円形、一部磨き	1670
第55回	20	19-20 C1	IV	土製円盤	2.04	2.22	0.72	4.2 円形、(一部磨き)	1672
第55回	21	19-21 A1	III	土製円盤	2.13	1.95	0.91	5.5 円形、一部灰火、一部欠損	1693
第55回	22	19-22 S1	II	土製円盤	2.23	2.48	0.80	6.4 円形、(一部磨き)	1679
第55回	23	19-23 C1	III	土製円盤	2.25	2.09	0.70	4.4 円形、(一部磨き)	1681
第55回	24	19-24 F1-2 レンチ	IV	土製円盤	2.27	2.36	0.61	4.4 円形、(一部磨き)	1662
第55回	25	19-25 A1 N° 36	III	土製円盤	2.28	2.03	0.87	4.8 円形、(一部欠損)、(一部磨き)、(一部灰火)	1667
第55回	26	19-26 S2	V	土製円盤	2.31	2.17	0.64	5.9 円形、(一部磨き)、(一部灰火)	1677
第55回	27	19-27 S2	V	土製円盤	2.34	2.63	0.85	7.4 円形、(一部磨き)、(一部灰火)	1650
第55回	28	19-28 F1	V	土製円盤	2.43	2.40	0.81	6.1 円形、(一部磨き)	1633
第55回	29	19-29 A2	N	土製円盤	2.59	2.75	0.95	8.7 円形、(一部磨き)	1649
第55回	30	19-30 B2	V	土製円盤	2.62	2.45	1.03	7.3 円形、(一部磨き)	1652
第55回	31	19-31 (C2) トレンチ	V	土製円盤	2.65	2.82	0.87	3.4 円形、(一部磨き)	1673
第55回	32	19-32 A1	II	土製円盤	2.69	2.31	0.72	6.4 円形、(一部磨き)	1669
第55回	33	19-33 B1	III	土製円盤	2.72	2.92	0.75	8.3 円形、(一部磨き)	1642
第55回	34	19-34 A2	V	土製円盤	2.78	3.11	0.91	10.3 円形、(一部磨き)	1671
第55回	35	19-35 C2	C	土製円盤	2.78	3.12	1.07	12.2 円形、(一部磨き)	1700
第55回	36	19-36 A1	II	土製円盤	2.79	2.98	0.93	10.2 円形、(一部磨き)	1654
第55回	37	19-37 A1	II	土製円盤	2.80	2.23	0.74	6.6 円形、(一部磨き)	1685
第55回	38	19-38 B2	V	土製円盤	2.86	3.03	(0.67)	6.6 円形、(一部磨き)、表面刷毛	1656
第55回	39	19-39 B2	V	土製円盤	2.92	3.36	0.90	11.5 円形、(一部磨き)、表面刷毛	1684
第55回	40	19-40 B1	II-B	土製円盤	3.11	3.19	0.57	9.8 円形、(一部磨き)	1674
第55回	41	19-41 C2	C	土製円盤	3.13	2.95	0.86	9.9 円形、(一部磨き)	1676
第55回	42	19-42 F1	II	土製円盤	3.21	3.35	0.60	8.9 円形、(一部磨き)	1686
第55回	43	19-43 E2	II	土製円盤	3.37	3.58	0.87	12.3 円形、(一部欠損)、表面、周縁磨耗、一部磨き	1666
第55回	44	19-44 A2	V	土製円盤	3.70	3.61	0.89	15.6 円形、(一部磨き)	1699
第55回	45	19-45 B1	I	土製円盤	1.75	1.74	0.76	3.1 円形、全周磨き	1638
第55回	46	19-46 C1	V	土製円盤	1.76	1.88	1.19	5.3 円形、全周磨き、表面磨耗	1708
第55回	47	19-47 E2	IV	土製円盤	1.84	1.97	0.83	3.0 円形、全周磨き	1645
第55回	48	19-48 B1 N° 21	III	土製円盤	1.96	2.07	0.92	4.9 円形、全周磨き	1709
第55回	49	19-49 A1	II	土製円盤	2.04	2.07	1.16	7.1 円形、全周磨き	1661
第55回	50	19-50 A1	II	土製円盤	2.09	2.10	1.02	5.1 円形、全周磨き	1635
第55回	51	19-51 B1	F	土製円盤	2.18	2.30	1.09	7.4 円形、(一部欠損)、表面	1667
第55回	52	19-52 B1	I	土製円盤	2.19	2.26	0.98	7.1 円形、全周磨き	1705
第55回	53	19-53 A8	II	土製円盤	2.21	2.24	0.57	4.4 円形、(一部磨き)、全周磨き	1664
第55回	54	19-54 C2-3 ベルト	V	土製円盤	2.24	2.26	0.95	6.8 円形、全周磨き	1704
第55回	55	19-55 D3	I	土製円盤	2.32	2.25	0.81	5.5 円形、全周磨き	1653
第55回	56	19-56 D3	V	土製円盤	2.33	2.39	0.90	5.1 円形、(一部磨き)、表面刷毛	1702
第55回	57	19-57 N° 13	V	土製円盤	2.33	2.64	0.72	6.7 円形、(一部磨き)、表面刷毛	1707
第55回	58	19-58 A1	II	土製円盤	2.36	2.36	0.75	5.1 円形、全周磨き	1644
第55回	59	19-59 B2	V	土製円盤	2.40	2.62	0.91	7.4 円形、全周磨き	1651
第55回	60	19-60 E1	IV	土製円盤	2.40	2.54	1.12	8.7 円形、全周磨き	1634
第55回	61	19-61 B1	II	土製円盤	2.55	2.11	0.80	6.5 円形、(一部磨き)、全周磨き	1646
第55回	62	19-62 B2	V	土製円盤	2.56	2.48	0.85	8.3 円形、(一部磨き)、全周磨き	1643
第55回	63	19-63 C2	II	土製円盤	2.61	2.62	0.90	8.0 円形、(一部磨き)、全周磨き	1636
第55回	64	19-64 A1	II	土製円盤	2.69	2.63	1.17	10.1 円形、(一部磨き)、表面刷毛	1660
第55回	65	19-65 D1	V	土製円盤	2.72	2.57	0.81	6.9 円形、(一部磨き)、表面刷毛	2646
第55回	66	19-66 D1	II	土製円盤	2.72	2.79	0.86	8.9 円形、(一部磨き)、表面刷毛	1648
第55回	67	19-67 E1	IV	土製円盤	2.73	2.92	1.04	10.7 円形、(一部磨き)、表面刷毛	1662
第55回	68	19-68 B2	V	土製円盤	2.74	2.87	0.95	6.3 円形、(一部磨き)、表面刷毛	1653
第55回	69	19-69 A1	II	土製円盤	2.76	2.81	0.70	5.9 一部欠損、全周磨き、表面磨耗	1639
第55回	70	19-70 B1	A	土製円盤	2.80	2.88	0.90	9.4 円形、(一部磨き)、全周磨き、表面磨耗	1692
第55回	71	19-71 B1	III	土製円盤	2.85	3.25	0.90	12.0 円形、(一部磨き)、全周磨き	1641
第55回	72	19-72 C1	IV	土製円盤	(2.03)	1.85	0.90	6.7 円形、(一部磨き)、表面刷毛	1701
第55回	73	19-73 A2	V	土製円盤	3.03	2.33	0.61	6.7 小切型、全周磨き	1680
第55回	74	19-74 A8	III	土製円盤	3.13	2.73	0.84	11.5 円形、(一部欠損)、(一部磨き)、表面刷毛	1683
第55回	75	19-75 E1	II	土製円盤	3.25	3.09	1.06	14.2 円形、(一部磨き)、表面刷毛	1637
第55回	76	19-76 C1	II	土製円盤	3.25	3.30	1.12	14.2 円形、(一部磨き)、表面刷毛	1675
第55回	77	19-77 C2	V	土製円盤	3.96	3.87	1.14	23.7 円形、(一部磨き)、表面刷毛	1666
第55回	78	19-78 E1	V	土製円盤	4.80	4.43	0.46	16.5 円形、(一部磨き)、全周磨き	1667
第55回	79	19-79 C3	V	土製円盤	6.05	5.69	0.58	22.4 円形、(一部磨き)、表面刷毛	1711
第56回	80	19-80 A1	II	土製円盤	8.96	9.60	0.91	119.0 大形、円形、打孔欠損	1714
第56回	81	19-81 E1 ヘルト	II	土製円盤	11.64	10.71	0.71	120.0 大形、円形、打孔欠損、口縫部開削	1712
第56回	82	19-82 E2	A	土製円盤	12.87	(6.79)	0.84	106.8 大形、円形、半分欠損、一部磨き	1713
第56回	83	19-83 F1	V	土製円盤	7.80	7.69	1.45	111.4 大形、円形、(一部磨き)、底面開削、底部利用	1710
第56回	84	19-84 E2	IV	土製円盤	8.21	9.23	1.21	123.7 大形、円形、一部欠損、全周磨き	1669
第56回	85	19-85 E1	IV	土製円盤	9.24	9.33	0.91	116.4 大形、円形、(一部磨き)、全周磨き	1658

3 石器（第58・59図、第7表、写真図版20～25）

出土した石器は、石鏃228点・尖頭器6点・石錐12点・石匙42点・不定形石器214点・磨製石斧25点・石咀1点・敲石22点・磨石20点・特殊磨石39点・打製石斧2点・打製石斧未成品型スクレイパー35点・敲磨器類3点・礫器2点・礫石器1点・凹石6点・石棒5点・石刀・石剣4点・石製品類4点・けつ状耳飾り6点・垂飾品4点の総計681点である。なお、総計には含めてないが核石類は26点出土している。

石材は、珪質頁岩が約22%をしめる。以下、分類ごとに各器種を紹介し、さらに細分をおこなったものについてはその基準を示す。個々の遺物についての詳細は一覧表を参照していただきたい。

なお、原稿中の番号は写真図版番号を用いている。

（1）石鏃（第58図1～6、写真図版20～1～21～218）

石鏃は未製品・欠損品を含めて228点出土した。遺構内からは10点出土している。石材は、珪質頁岩63点（28%）が多く、ついで珪質砂岩が59点（26%）である。茎部の有無・基部の形状・側縁の形状によって分類した。圧倒的に凹基無茎鏃が多い。

第Ⅰ群

有茎の石鏃である。16点出土した。

第1類

基部が尖基をなすもの。8点出土した。2(第58図1)と7(第58図2)は基部から身部の下端部にアスファルト状の黒色物の付着がある。

第2類

基部が円基をなすもの。6点出土した。

第3類

基部と茎部の境が不明瞭なもの。2点出土した。

第Ⅱ群

無茎の石鏃である。200点出土した。

第1類

基部が平基をなし、身部が二等辺三角形状のもの。23点出土した。

第2類

基部が凹基をなし、身部が二等辺三角形のもの。171点出土した。遺構内からは10点出土している。(B1-1土坑から9点、C1-1焼土遺構から1点)

第3類

基部が尖基をなし、身部が二等辺三角形状のもの。2点出土した。

第4類

基部が円基をなすもの。4点出土した。

第Ⅲ群

異形石鏃である。2点出土した。208は凹基無茎鏃を呈し、先端に刃部を有する。不定形石器の可能性もある。207は脚部を有し、両側縁が脚部の上で内側に若干くびれる形状のアメリカ式石鏃。

第IV群

欠損により形状不明なもの、未成品を一括した。

(2) 石錐（第58図7～9、写真図版21～219～230）

石錐は12点出土し、約半数が欠損している。頭部と身部が明瞭に区別されるものがほとんどで、228は基部が尖る（第58図8）。230は錐部に磨耗痕を確認できた。

(3) 尖頭器（第58図10～12、写真図版21～231～236）

尖頭器は6点出土した。うち、欠損品が3点。ほとんどが珪質頁岩を石材として使用している。柳葉型で両端が尖る形状をしており、両面調整が丁寧にされている。

長さが6.4～7.4cmで、幅2.2～2.4cm、厚さ1.2～1.5cmで完形のもの全点が同様な形状と大きさになっている。

(4) 石匙（第58図13～17、写真図版21～237～278）

石匙は未成品と欠損品も含めて42点出土した。形状では縦長のものが多く、珪質頁岩が主な石材として使用されている。

身部の形状は、横長のもの（I）と縦長のもの（II）がある。刃は、片刃のもの（A）・両刃のもの（B）・片刃と両刃をもつものの（C）がある。刃を一辺に有するもの（a）・二辺に刃を有するもの（b）・三辺に刃を有するもの（c）がある。

欠損品であっても、形状が特定できるものについては分類している。

(5) 不定形石器（写真図版22～279～484）

不定形石器は214点出土した。遺構内からは8点出土している。刃の数・形状によって細分した。また、定形石器の未成品や欠損品の可能性があるものも含まれている。石材は、珪質頁岩が73点（34%）と多く、ついで珪質砂岩が52点（24%）である。302と332は瑪瑙を石材にしている。

第I群（写真図版22～279～378）

一辺に刃を有するもの。102点出土した。刃には、片刃のもの（1）・両刃のもの（2）がある。刃の形状は、丸みを帯びるもの（A）・直線的なもの（B）・ノッチを有するもの（C）がある。297は石核片を使用しており、339は研磨痕があった。

第II群（写真図版22～379～23～427）

2片に刃を有するもの。53点出土した。刃には、片刃のもの（1）・両刃のもの（2）・1辺が片刃で他は両刃のもの（3）がある。刃の形状は、丸みを帯びるもの（A）・直線的なもの（B）・1辺が丸みを帯び、他は直線的なもの（C）・1辺が丸みを帯び、他はノッチ状のもの（D）・1辺が直線的で、他はノッチ状のもの（E）がある。

第III群（写真図版23～428～448）

3辺に刃を有するもの。22点出土した。刃には、片刃のもの（1）・両刃のもの（2）・2辺が片刃で1辺が両刃のもの（3）・2辺が両刃で1辺が片刃のもの（4）がある。刃の形状は、直線的なもの（A）・2辺が丸みを帯び、1辺が直線的なもの（B）・2辺が直線的で、1辺が丸みを帯びるもの（C）・2辺がノッチ状で、1辺が直線的なもの（D）がある。

第IV群（写真図版 23 - 449 ~ 453）

全周に刃部を有するもの。5点出土した。刃は、すべて片刃と両刃をもつ。形状が方形のもの（A）、橢円形のもの（B）がある。

第V群（写真図版 23 - 454 ~ 481）

マイクロフレーリングを有するもの。29点出土した。1縁辺に使用痕があるものが17点、2縁辺に使用痕があるものが8点、3縁辺に使用痕のあるものが2点、4縁辺に使用痕のあるものが1点。

第VI群（写真図版 23 - 482）

一縁辺に打撲痕を有し、対になる辺にマイクロフレーリングを有するもの。1点出土した。2縁辺にマイクロフレーリングを有し、うち1縁辺にはアーチ状にノッチが2箇所並んである。

第VII群（写真図版 23 - 483・484）

両極剥離によるもの。2点出土した。483は長方形を呈し、向かいあつた2対の縁辺に階段状の剥離痕があり、中央に自然面を残す。

（6）打製石斧未成品型スクレイパー（第59図36～43、写真図版23-485～24-519）

片面がほぼ自然面を残す剥片を使用し、周縁に刃部が形成された石器。35点出土した。石斧や打製石斧に類似した形状をしているものの、一定の出土量があったため袖野I遺跡特有の定形石器と判断した。特に、発掘区南側から集中して出土している。（A-Cグリットより約70%）石材は、凝灰岩が12点と最も多い。

全体、基部、刃部の形状で分類した。

第Ⅰ群 形状が短冊形を呈するもの。

第Ⅱ群 形状が橢円形を呈するもの。

第Ⅲ群 基部から刃部にかけて広がる形状を呈するもの。

第Ⅳ群 欠損しているため、形状が特定できないもの。

1類 基部が丸みを帯びるもの

2類 基部が方形及び直線的なもの

3類 基部が尖っているもの

A:円刃 B:直刃 C:偏刃

第Ⅰ群

全体の形状が短冊形を呈するものである。3点出土した。平均値は長さ11cm程度、幅5cm前後、厚さ2.2～3.4cmである。刃部は円刃が2点、偏刃が1点である。他の分類のものに比べて大型である。487は刃部が両刃（第59図37）。485は両側縁両刃（第59図36）。486は1側縁両刃、刃部に使用痕があり、基部にも若干の使用痕。

第Ⅱ群

全体の形状が橢円形を呈するものである。10点出土した。平均値は長さ6～13cm、幅3～5cm、厚さ1.2～3cmである。最も小型のもの（488）も含まれている。

刃部は円刃が8点、直刃が1点である。1点のみ基部が尖っているものがあるが、その他は丸みを帯びている。495は1側縁使用痕・1側縁剥離有（第59図39）。490は2頂端使用痕・1側縁刃つぶし（?）がされており、厚みもあって握りやすい。493は2側縁両刃。496は

2頂端剥離有・使用痕有(第59図40)。492は2側縁使用痕。491は2頂端剥離有・使用痕有、496と類似する形状で使用痕剥離がある(第59図38)。

第III群

全体の形状が基部から刃部にかけて広がる形状を呈するもの。11点出土した。平均値は長さ6~12cm、幅3~6cm、厚さ1.4~3cm。

刃部は円刃が6点、直刃が5点である。約半数が凝灰岩製である。506は2側縁両刃。502は刃部に使用痕。508は基部欠損・1側縁剥離・刃部に使用痕有。全体の形状が判断できため第III群に分類している。507は2側縁両刃(第59図43)。501は2側縁・刃部に使用痕有。500は1側縁両刃。503は刃部に使用痕有。498は2側縁磨滅痕、刃部・基部使用痕有。499は2側縁使用剥離痕(第59図41)。504は刃部が両刃(第59図42)。

第IV群

欠損しているため、形状が特定できないもの。11点出土した。ただし、基部及び刃部が判別できるものについては分類している。510は刃部欠損。511は刃部欠損、両側縁の刃部が顕著に作られ、使用痕がある。513・514・515は基部欠損。518・519は中央部からの欠損のため基部か刃部か判断できない。517は粗い剥離で基部の欠損と思われる。509は刃部の欠損で1側縁両刃。516は基部か刃部か判断がつかない。

(7) 磨製石斧(第58図18~21、写真図版24~520~543)

磨製石斧は25点出土し、ほとんどが欠損しており、うち1点は未成品。

石材は粗粒砂岩が6点と最も多い。長さが5cmに満たないミニチュアが2点出土しており、直刃。521は片面は研磨整形されているが、片面が刃部と基部の1部に研磨痕が見られるだけで、破片を再加工したものと思われる(第58図19)。533は、長方形状で刃部は偏刃に作り出されているものの、側縁と前面に敲打剥離痕が残っており、確に研磨されているだけで整形までは至っていない。整形途中の可能性もある。540は刃部のみの欠損品ではあるが、大型のものと思われる。542は敲打剥離痕が全体に残っており、その後、一部研磨が施されていることから整形途中で欠損したものと思われる。

(8) 磨石(第59図47、写真図版24~544~563)

20点出土した。特殊磨石と呼ばれるものは含まない。石材の約8割を花崗岩が占めている。ほとんどが円・橢円碟を使用し、表裏面または側縁に磨面を有している。特殊磨石と同じ形状のものもあるが、稜線部及び側縁に使用痕が確認できなかったため、磨石に分類した。また、磨石の中には自然碟が含まれている可能性がある。

562は棒状の粗粒砂岩碟を使用し、両端を四方から擦っているため、擦り面があり両端の中心が鈍角に加工されている。(第59図47)

(9) 特殊磨石(写真図版24~564~25~602)

断面が三角形状あるいは台形で長楕円形を呈した自然碟を使用し、鋭角な稜線部または側縁に使用痕を有する磨石。39点出土し、ほとんどが花崗岩製である。発掘区北側のE1、F1グリットから約半数が出土している。

碟の断面形状、稜線部または側縁の使用痕、稜線部または側縁以外の使用痕、欠損状況で

分類した。

第Ⅰ群 断面が三角形あるいは台形状

第Ⅱ群 断面に丸みや膨らみがある

第Ⅲ群 断面が扁平状あるいは楕円形状

A類 條線または側縁に一定幅の擦り面を有する

B類 條線または側縁に敲打剥離を有する

C類 條線または側縁に一定幅の擦り面と敲打剥離を有する

D類 條線または側縁に不規則な擦り面と敲打剥離を有する

1 磨面を有する

2 磨面と敲打痕を有する

3 磨面と凹部を有する

4 磨面と敲打痕と凹部を有する

a：中央付近で欠損 b：一端が欠損 c：両端部が欠損 d：半分以上が欠損

e：片面が欠損など

擦り面の幅は最大3.3cm、平均値は1.7cmである。出土した39点の内、約半数が欠損品である。そのほとんどが中央付近で欠損したもの(a)、一端を欠損したもの(b)であった。完形品の擦り面の幅が平均値であるのに対して、欠損品の平均が約2cmと平均値より厚くなっている。稜線部または側縁の使用頻度の高いものが欠損していることがうかがえる。また、高い欠損割合と状況から、意図的に破壊された可能性も考えられる。完形品の平均値から、当遺跡では断面が三角形状(丸みや膨らみをもつものも含む)で、長さが15cm、幅が8cm、厚さが6cm程度の礫を選択し、特殊磨石として使用したことがうかがえる。花崗岩製の中には、風化が著しく使用痕が確定できないものもあった。

(10) 敲石 (写真図版25-603~624)

22点出土した。ほとんどが欠損品である。分類した中には、自然礫も含まれている可能性がある。2点が、磨製石斧からの転用と思われる。611は基礎の欠損部に使用痕がある。621は研磨痕が基礎と側縁・基部の一部にみられ、両側縁に敲打剥離痕がある。

618は扁平な楕円礫を使用し、側縁のほぼ全周に敲打剥離痕がある。616はA2 3層(V層)とA1 2層(III層)から出土したものが結合した。

(11) 打製石斧 (写真図版25-625·626)

2点出土した。2点とも粗粒砂岩の長方形を呈する礫を使用している。625は直刃で刃部のみの加工となっている。2稜線が敲打剥離されており、全面にも若干散在している。626も直刃である。基部が剥離されており、片面中央部が研磨され、もう片面の中央稜線が敲打されている。

(12) 敲磨器類 (写真図版25-627~629)

磨痕、敲打痕、凹痕の使用痕を数有する石器である。使用痕が複合しているものを敲磨器類として括する。3点出土した。石質は花崗岩2点と安山岩1点である。

627 は安山岩の円礫を使用し、2面に磨面と側縁に敲打痕を有する。628 は、側縁に磨面と1面にあばた状の凹痕を有する。629 は棒状の礫を使用し、1面に磨面ともう1面にあばた状の凹痕を有する。

(13) **凹石** (第 59 図 44・45、写真図版 25 – 630 ~ 635)

6 点出土した。石材のほとんどが花崗岩であった。円・楕円礫を使用し、両面または片面に1~2ヶ所の凹孔がある。すべて凹孔は浅い。風化のため片面が剥落しているものや欠損しているものがあり、凹孔を有していた可能性もある。

(14) **石皿** (第 59 図 46、写真図版 25 – 636)

1 点出土した。花崗岩製の欠損品である。使用面は1面で、研磨痕がみられる。

(15) **礫器・礫石器** (写真図版 25 – 637 ~ 639)

礫器 2 点、礫石器 1 点出土した。

礫器は、2点とも一端が刃部に加工され、刃部に向かって若干広がる棒状の自然礫を使用している。638 は刃部に近い基部両面に研磨面があり、石斧状を呈する。

礫石器はほぼ周縁を両面加工で刃部を形成している。形状は楕円形がほとんどで1部自然面が残存しているものもある。

(16) **石棒** (第 58 図 22・23、写真図版 25 – 640 ~ 644)

5 点出土した。頭部を作り出したものはない。640 は断面が楕円形で両端が欠損している。敲打剥離と敲打痕によって整形、もしくは整形途中のものと考えられる。644 は研磨が施され、焼成痕がある破片である。磨製石斧の可能性もあるが、残存している断面が円形に近いことから石棒？とした。641 は点紋粘板岩製で全体が風化し欠損している。側面に敲打痕がある。半裁したものは風化が著しいため特定できない。642 は上下端が欠損し、3 分の 1 を半裁したものである。欠損した両端を敲石、2 面を凹石として利用している。全体に研磨が施されている (第 58 図 30)。643 は大型石棒の欠損品で、焼成痕がある。

(17) **石刀・石剣** (第 59 図 48、写真図版 25 – 645 ~ 648)

石刀 1 点、石剣 2 点、石刀未成品 1 点出土した。すべて破損品のため、断面の形状により分類したものの、全体の形状・形態が推定できるものはない。

645 は先端を鋭角状につくりだした研磨痕がみられる (第 59 図 48)。646 は全体が剥離されており、1面・先端部・側縁の1部が研磨されている。研磨整形途中と考えたが、2次加工の途中の可能性もある。647 はほぼ片面が剥離しており、1部残存している部分から断面を推測して石剣に分類している。648 は両側縁が剥離しており、研磨痕はみられない。自然礫の可能性も考えられる。

(18) **石製品類** (第 58 図 24・25、写真図版 25 – 649 ~ 652)

4 点出土した。651 は円形で中央部に貫通孔を有する粗粒砂岩製の有孔石製品である。半分欠損しているものの、両面に研磨整形が施されている (第 58 図 24)。

652 は軽石製の石製品である。欠損しているものの、全体に研磨されており、扁平な板状を呈し、擦り面が形成されている（第 58 図 25）。

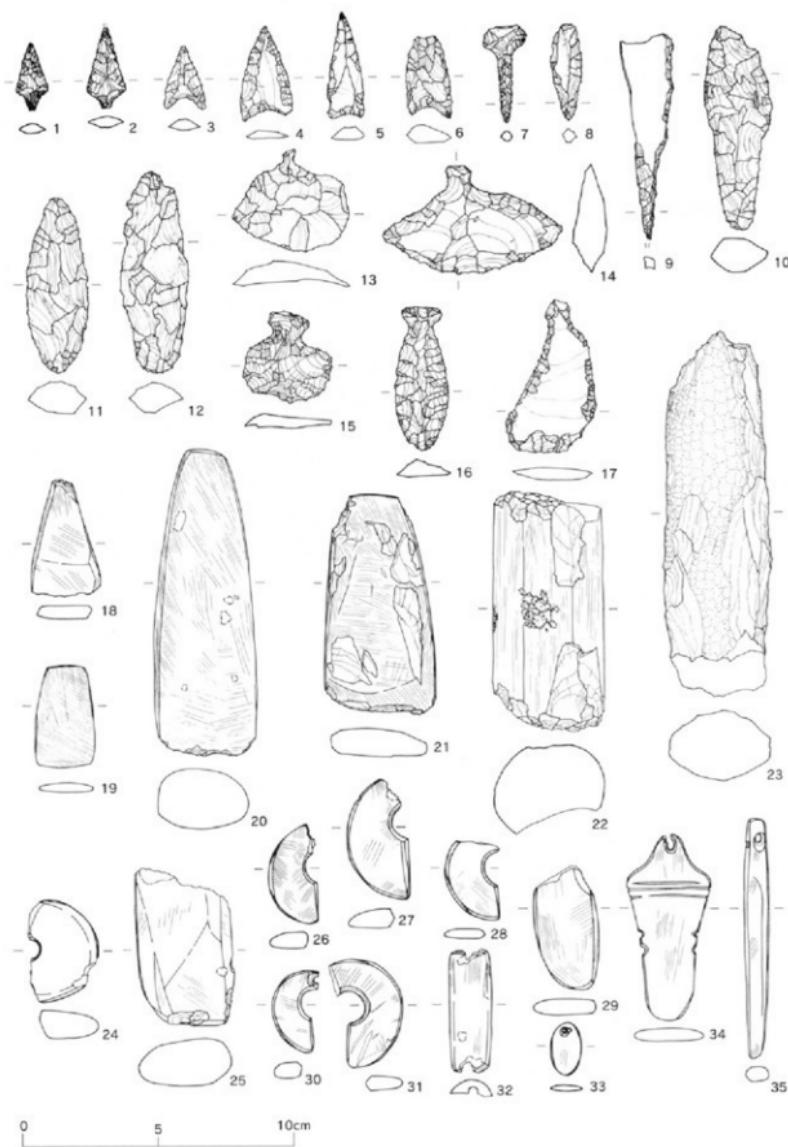
650 は自然礫を利用し、1 部擦痕がみられるから石製未成品に分類している。頂端と 1 側縁に敲打剥離がある。649 は丸みを帯びるように敲打整形された石器の破片である。石棒もしくは石斧の可能性が考えられるものの特定できない。整形途中とも考えられることから石製未成品とした。

(19) けつ状耳飾り（第 58 図 26～31、写真図版 25～653～658）

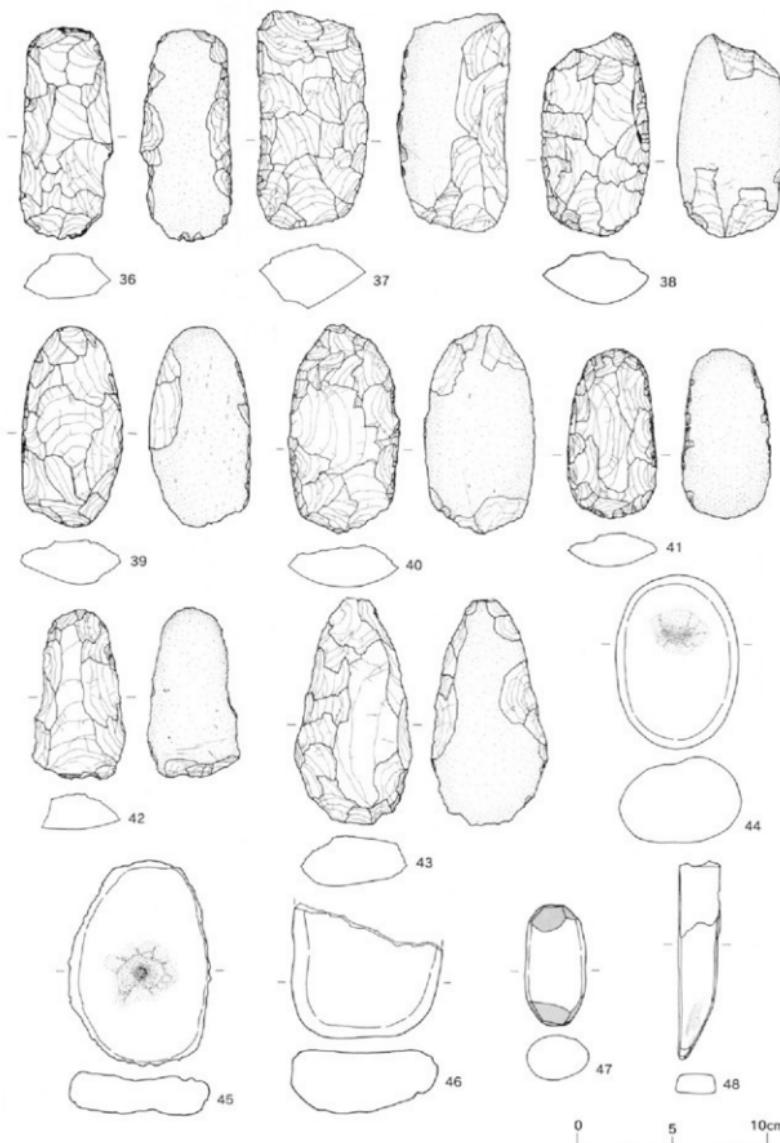
6 点出土した。うち 4 点が E1・2 からの出土であった。全点が欠損品で、657 のみ補修孔を有する（第 58 図 30）。形状は、円形が 4 点・梢円形と隅丸方形が各 1 点となっている。石材は、滑石が 2 点出土しているが、蛇紋岩、結晶片岩も各 1 点出土している。

(20) 垂飾品（第 58 図 32～35、写真図版 25～659～662）

4 点出土した。659 は扁平な梢円形状を呈し、全体に研磨されて光沢がある。上端部に約 1 mm の貫通孔があり、表側の孔部脇にはごく浅い末貫通孔が残る（第 58 図 32）。661 は線刻による文様がある、蛇紋岩製の垂飾品である。形状は、扁平な隅丸逆二等辺三角形状で両側縁の中央が内側にくびれ、上端中央に丸い突起が作られている。突起には約 4 mm 贯通孔があり、2 回の穿孔工程によって孔を広げた痕跡があるが、上端の 1 部が欠けている。表面の上部の最大幅部分には、3 本の沈線が平行に刻まれ、約 2 mm 幅の 2 本の隆線が浮き彫りになっている。両側縁の中央には 2 つの刻みが対になるようにつけられ、全体に研磨されて光沢が強い（第 58 図 34）。662 は針状を呈し、全体に研磨されて光沢がある。上端部に約 3 mm の貫通孔がある（第 58 図 35）。660 は半裁されているものの管玉状に全体が研磨整形されている。中央に約 5 mm の孔が両側から穿たれている（第 58 図 33）。



第58図 石器



第59図 石器

第7表 遺構外出土石器一覧表

図版	写真図版	出土地点	層	器種	分類・備考	計測値(cm)			重量(g)	石種	資料No
						長さ	幅	厚さ			
第56回1	20-1	F2	Ⅲ	石鏃	I-1	2.20	0.81	1.10	1.4	石英	18052
	20-2	E1	V	石鏃	I-1 黒色物付着	2.39	1.11	0.39	0.6	珪質砂岩	18045
	20-3	F1	Ⅲ	石鏃	I-1	3.39	1.53	0.30	1.0	珪質砂岩	18047
	20-4	F1	II・M'	石鏃	I-1	2.63	1.40	0.35	0.9	チート	18049
	20-5	E1	M'	石鏃	I-1	3.60	0.71	3.30	1.6	珪質砂岩	18055
第56回2	20-6	F1	II	石鏃	I-1	2.23	1.17	0.40	1.0	珪質砂岩	18047
	20-7	F1	II	石鏃	I-1 黒色物付着	2.95	1.38	0.34	1.0	珪質砂岩	18048
	20-8	F1	II	石鏃	I-1	2.55	1.27	0.41	1.3	チート	18053
	20-9	B1	Ⅲ・屏	石鏃	I-2	2.24	1.17	0.42	1.3	珪質頁岩	18043
	20-10	F1	II	石鏃	I-2	2.02	0.94	0.44	0.8	珪質頁岩	18048
20-11	1	II	石鏃	I-2	2.66	0.59	0.30	1.1	珪質頁岩	18046	
	20-12	F1	II	石鏃	I-2	1.81	0.84	0.70	0.9	珪質頁岩	18051
	20-13	E1	II	石鏃	I-2	2.89	1.31	0.24	0.7	チート	18050
	20-14	A8	Ⅲ	石鏃	I-2	1.96	0.65	0.40	0.7	珪質頁岩	18057
	20-15	F1	V	石鏃	I-3	3.04	1.03	1.40	2.1	珪質頁岩	18054
20-16	F1	Ⅲ	石鏃	I-3	(2.92)	1.51	0.72	2.7	珪質砂岩	18044	
	20-17	A1	V	石鏃	I-3	(2.23)	1.30	0.40	1.2	珪質砂岩	18079
	20-18	A3	Ⅲ	石鏃	I-3	1.92	1.56	0.40	1.2	珪質砂岩	18088
	20-19	C2 トレンチ	V	石鏃	I-3	(4.26)	1.27	0.47	2.8	珪質砂岩	18162
	20-20	D3	V	石鏃	I-3	(2.53)	1.47	0.34	1.1	珪質頁岩	18166
20-21	A1	Ⅲ	石鏃	I-3	2.43	1.28	0.44	1.3	珪質砂岩	18210	
	20-22	E2	II	石鏃	I-3	1.78	1.39	0.41	1.1	珪質砂岩	18223
	20-23	D2	II	石鏃	I-3	2.53	2.36	0.45	2.6	珪質砂岩	18227
	20-24	A8	Ⅲ	石鏃	I-3	3.17	1.20	0.31	1.4	矽藻貝殻岩	18232
	20-25	D2	V	石鏃	I-3	3.67	2.42	0.82	7.2	珪質砂岩	18249
20-26	D1	II	石鏃	I-3	3.91	2.95	1.02	10.7	珪質頁岩	18256	
	20-27	B1	Ⅲ・屏	石鏃	I-3	2.17	1.37	0.38	1.1	珪質砂岩	18107
	20-28	B1	Ⅲ・屏	石鏃	I-3	(1.63)	5.0	0.37	0.9	珪質頁岩	18109
	20-29	D1	II	石鏃	I-3	(1.97)	6.9	0.53	1.4	珪質頁岩	18225
	20-30	E1	V	石鏃	I-3	4.11	2.68	1.06	9.2	珪質頁岩	18227
20-31	B1	II・屏	石鏃	I-3	1.99	1.03	0.34	0.7	珪質頁岩	18110	
	20-32	A8	Ⅲ	石鏃	I-3	(2.44)	3.1	0.39	3.3	珪質頁岩	18145
	20-33	E1	V	石鏃	I-3	3.42	2.33	0.75	5.7	珪質頁岩	18239
	20-34	B1	II・屏	石鏃	I-3	5.9	2.72	0.79	4.4	珪質頁岩	18247
	20-35	E2	V	石鏃	I-3	3.57	1.76	0.63	2.2	珪質砂岩	18248
20-36	F1	II	石鏃	I-3	3.94	2.21	0.56	2.9	珪質頁岩	18256	
	20-37	E2	II	石鏃	I-3	(3.6)	2.65	0.73	5.9	珪質砂岩	18417
	20-38	B1	V	石鏃	I-3	4.58	2.77	1.02	12.4	珪質頁岩	18418
	20-39	F1	V	石鏃	I-3	4.01	2.62	0.76	8.3	珪質頁岩	18478
	20-40	B1	II	石鏃	I-2	3.33	1.66	0.46	3.0	珪質頁岩	18051
20-41	C2	II	石鏃	I-2	(1.86)	2.26	0.50	2.2	珪質頁岩	18063	
	20-42	E2	II	石鏃	I-2	3.64	1.95	0.64	3.4	珪質砂岩	18066
	20-43	B1	II・屏	石鏃	I-2	2.58	1.22	0.27	1.0	珪質頁岩	18069
	20-44	A8	II	石鏃	I-2	2.41	1.15	0.31	1.3	珪質砂岩	18072
	20-45	B1 NO12	II	石鏃	I-2	(2.44)	1.66	0.41	1.3	珪質頁岩	18074
20-46	D1 ベルト	II	石鏃	I-2	2.69	1.19	0.58	1.9	珪質砂岩	18078	
	20-47	D2	II	石鏃	I-2	2.36	1.58	0.33	1.3	珪質頁岩	18081
	20-48	F1	V	石鏃	I-2	1.91	1.49	0.38	1.1	珪質頁岩	18091
	20-49	B1 西壁	石鏃	I-2	(2.21)	1.54	0.24	0.9	珪質頁岩	18101	
	20-50	D2	V	石鏃	I-2	2.76	1.87	0.45	1.7	珪質砂岩	18119
20-51	B1	II	石鏃	I-2	2.35	1.63	0.27	1.0	珪質頁岩	18128	
	20-52	B1	II・屏	石鏃	I-2	3.70	1.37	0.44	1.9	珪質頁岩	18129
	20-53	E1	V	石鏃	I-2	2.62	1.48	0.53	1.7	珪質頁岩	18130
	20-54	B1	II・屏	石鏃	I-2	3.12	1.95	0.52	2.6	珪質頁岩	18143
	20-55	B2	II	石鏃	I-2	2.49	1.44	0.26	0.6	珪質頁岩	18151
20-56	A1	II	石鏃	I-2	2.69	1.66	0.56	2.4	珪質頁岩	18156	
	20-57	A1	II	石鏃	I-2	2.24	1.28	0.24	0.7	珪質頁岩	18159
	20-58	E2	V	石鏃	I-2	3.18	2.07	0.42	2.2	珪質頁岩	18161
	20-59	F2	II	石鏃	I-2	2.13	1.79	0.49	1.6	チート	18169
	20-60	B1	II・屏	石鏃	I-2	(2.61)	1.42	0.43	1.4	安山岩	18172
20-61	C2	V	石鏃	I-2	2.36	1.43	0.36	1.1	珪質砂岩	18174	
	20-62	A1	II	石鏃	I-2	2.19	1.99	0.36	1.2	珪質頁岩	18177
	20-63	A2	II	石鏃	I-2	2.55	1.92	0.37	1.6	珪質砂岩	18182
	20-64	B1	II・屏	石鏃	I-2	1.77	1.52	0.36	0.7	珪質砂岩	18185
	20-65	C1	II	石鏃	I-2	2.65	1.49	0.25	0.8	珪質砂岩	18187
20-66	B1	II・屏	石鏃	I-2	2.90	1.96	0.68	3.5	鈍頭	18200	
	20-67	C2 トレンチ	II	石鏃	I-2	2.60	1.32	0.26	0.7	珪質頁岩	18212
	20-68	表	II	石鏃	I-2	2.69	1.32	0.78	1.8	珪質砂岩	18229
	20-69	F1	II	石鏃	I-2	2.67	1.38	0.32	1.4	珪質砂岩	18233
	20-70	E2	V	石鏃	I-2	2.31	1.84	0.40	2.4	珪質砂岩	18065
20-71	C1 ベルト	II	石鏃	I-2	2.63	1.89	0.46	1.7	珪質頁岩	18060	
	20-72	B1 NO26	II	石鏃	I-2	3.35	1.67	0.41	1.7	珪質砂岩	18062
	20-73	A	II	石鏃	I-2	2.52	1.65	0.46	1.5	珪質頁岩	18064
	20-74	C2 ベルト	II	石鏃	I-2	(2.71)	1.60	0.44	1.1	珪質砂岩	18065
	20-75	P1	V	石鏃	I-2	2.67	1.67	0.22	1.2	珪質砂岩	18068
20-76	P2	V	石鏃	I-2	3.17	2.01	0.39	1.9	珪質砂岩	18071	
	20-77	A2 トレンチ	II	石鏃	I-2	2.12	1.83	0.58	2.3	珪質砂岩	18073
	20-78	A	II	石鏃	I-2	(2.65)	1.77	0.47	1.5	珪質砂岩	18080
	20-79	A2	V	石鏃	I-2	2.43	1.62	0.42	1.3	珪質砂岩	18082
	20-80	D1	II	石鏃	I-2	2.85	1.96	0.41	2.5	珪質砂岩	18084
20-81	F1	II	石鏃	I-2	3.18	2.00	0.67	3.9	珪質砂岩	18086	
	20-82	A	II	石鏃	I-2	(1.76)	1.22	0.38	0.8	珪質砂岩	18089
	20-83	F1	V	石鏃	I-2	2.63	1.86	0.61	1.9	珪質頁岩	18083
	20-84	B1	II	石鏃	I-2	3.24	1.64	0.37	1.8	珪質砂岩	18100
	20-85	A	II	石鏃	I-2	2.34	1.20	0.35	1.2	珪質砂岩	18104
20-86	F1	V	石鏃	I-2	2.74	1.60	0.53	1.9	珪質頁岩	18106	
	20-87	A	II	石鏃	I-2	(2.79)	1.86	0.68	2.9	珪質砂岩	18111

回数	写真番号	出土地点	層	基種	分類・備考	計測値(cm)			重さ(g)	石材	目録No
						高さ	幅	厚さ			
20-88	A 1	Ⅲ 石頭	Ⅱ-2			2.58	1.76	0.31	1.5kg	緑色砂岩	18112
20-69	E 1	Ⅲ・Ⅳ 石頭	Ⅱ-2			(2.31)	1.56	0.53	1.3kg	緑色砂岩	18113
20-90	A 1	Ⅲ 石頭	Ⅱ-2			(2.81)	1.58	0.59	2.2kg	緑色砂岩	18120
20-91	E 1	Ⅲ 石頭	Ⅱ-2			3.24	1.56	0.45	1.6kg	緑色砂岩	18122
20-92	A 1	Ⅲ 石頭	Ⅱ-2			2.42	1.45	0.46	1.1kg	緑色砂岩	18123
20-93	A	Ⅲ 石頭	Ⅱ-2			(1.90)	1.33	0.39	0.6kg	緑色砂岩	18124
20-94	D 2	V 石頭	Ⅱ-2			(2.36)	1.62	0.70	2.0kg	緑色砂岩	18125
20-95	E 2	V 石頭	Ⅱ-2			2.14	1.56	0.40	1.4kg	緑色砂岩	18126
20-96	C 1	V 石頭	Ⅱ-2			2.13	1.51	0.67	1.4kg	緑色砂岩	18127
20-97	B 1	Ⅲ・Ⅳ 石頭	Ⅱ-2			2.34	1.21	0.42	0.8kg	緑色砂岩	18128
20-98	B 1	V 石頭	Ⅱ-2			2.73	1.72	0.40	1.6kg	緑色砂岩	18140
20-99	C 2	V 石頭	Ⅱ-2			(2.36)	1.43	0.45	1.2kg	緑色砂岩	18141
20-100	F 1	Ⅲ 石頭	Ⅱ-2			2.71	2.03	0.36	1.6kg	緑色砂岩	18144
20-101	B 2	V 石頭	Ⅱ-2			(2.67)	2.16	0.87	4.4kg	緑色砂岩	18146
20-102	F 1・2 ブレンチ	石頭	Ⅱ-2			(2.82)	1.69	0.49	2.2kg	緑色砂岩	18148
20-103	A 1	Ⅲ 石頭	Ⅱ-2			(2.11)	1.48	0.34	1.2kg	緑色砂岩	18152
20-104	未標	Ⅲ 石頭	Ⅱ-2			(2.62)	2.00	0.52	2.3kg	緑色砂岩	18156
20-105	A 1	V 石頭	Ⅱ-2			3.91	1.86	0.56	3.1kg	緑色砂岩	18163
20-106	A 1	Ⅲ 石頭	Ⅱ-2			(1.95)	1.50	0.35	1.0kg	緑色砂岩	18175
20-107	E 1	V 石頭	Ⅱ-2			2.66	1.67	0.43	1.8kg	緑色砂岩	18176
20-108	C 2	V 石頭	Ⅱ-2			2.30	1.72	0.36	1.3kg	緑色砂岩	18178
20-109	B 1	Ⅲ・Ⅳ 石頭	Ⅱ-2			2.50	1.35	0.33	1.0kg	緑色砂岩	18184
20-110	B 1	Ⅲ・Ⅳ 石頭	Ⅱ-2			3.02	1.25	0.44	1.3kg	緑色砂岩	18186
20-111	E 1	Ⅲ・Ⅳ 石頭	Ⅱ-2			(2.11)	1.50	0.31	1.1kg	緑色砂岩	18188
20-112	C 1 ベルト	石頭	Ⅱ-2			2.54	1.55	0.42	1.3kg	緑色砂岩	18189
20-113	S 2	V 石頭	Ⅱ-2			(2.50)	1.79	0.57	2.1kg	緑色砂岩	18191
20-114	未	石頭	Ⅱ-2			2.67	1.80	0.56	2.0kg	緑色砂岩	18193
第50回	20-115	S 1	Ⅲ・Ⅳ 石頭	Ⅱ-2		2.54	1.55	0.36	0.9kg	緑色砂岩	18197
	20-116	D 2	Ⅲ 石頭	Ⅱ-2		(2.40)	1.69	0.34	1.7kg	緑色砂岩	18204
	20-117	S 1	Ⅲ・Ⅳ 石頭	Ⅱ-2		2.04	1.26	0.31	0.7kg	緑色砂岩	18205
	20-118	S 1	Ⅲ・Ⅳ 石頭	Ⅱ-2		(2.16)	1.72	0.31	1.3kg	緑色砂岩	18206
	20-119	S 1	Ⅲ・Ⅳ 石頭	Ⅱ-2		2.84	1.76	0.51	2.1kg	緑色砂岩	18207
	220-120	C 2 ブレンチ	石頭	Ⅱ-2		2.32	1.46	0.37	1.0kg	緑色砂岩	18213
	20-121	D 2	V 石頭	Ⅱ-2		2.30	1.52	0.59	1.6kg	緑色砂岩	18214
	20-122	S 1	Ⅲ・Ⅳ 石頭	Ⅱ-2		2.11	1.45	0.55	1.4kg	緑色砂岩	18216
	20-123	B 1	Ⅲ 石頭	Ⅱ-2		3.20	1.66	0.56	2.1kg	緑色砂岩	18217
20-124	B 1	Ⅲ 石頭	Ⅱ-2			1.82	1.27	0.44	1.0kg	緑色砂岩	18220
20-125	D 2	V 石頭	Ⅱ-2			2.37	1.60	0.25	0.9kg	緑色砂岩	18222
20-126	S 1	Ⅲ 石頭	Ⅱ-2			(1.81)	1.39	0.56	1.0kg	緑色砂岩	18229
20-127	A 3	V 石頭	Ⅱ-2			3.27	1.71	0.44	2.1kg	緑色砂岩	18244
20-128	F 2	V 石頭	Ⅱ-2			1.57	1.15	0.36	0.7kg	緑色砂岩	18221
20-129	E 2	Ⅲ 石頭	Ⅱ-2			(1.63)	1.31	0.25	0.6kg	緑色砂岩	18207
20-130	E 1	N 石頭	Ⅱ-2			1.98	1.19	0.42	0.6kg	緑色砂岩	18063
20-131	C 2	N 石頭	Ⅱ-2			2.31	1.60	0.34	0.9kg	緑色砂岩	18067
20-132	E 1	N 石頭	Ⅱ-2			3.89	1.91	0.70	5.1kg	緑色砂岩	18088
20-133	C 1	Ⅲ 石頭	Ⅱ-2			2.54	2.05	0.62	2.4kg	緑色砂岩	18092
20-134	F 1	V 石頭	Ⅱ-2			2.69	2.10	0.70	2.6kg	緑色砂岩	18094
20-135	F 1	V 石頭	Ⅱ-2			2.31	1.31	0.42	1.5kg	緑色砂岩	18116
20-136	E 1	Ⅲ 石頭	Ⅱ-2			3.55	2.06	0.53	3.2kg	緑色砂岩	18134
20-137	E 1	Ⅲ 石頭	Ⅱ-2			2.44	1.78	0.47	1.8kg	緑色砂岩	18133
20-138	F 1	Ⅲ 石頭	Ⅱ-2			3.23	1.78	0.23	2.1kg	緑色砂岩	18167
20-139	S 1	Ⅲ・Ⅳ 石頭	Ⅱ-2			2.78	1.85	0.57	2.1kg	緑色砂岩	18171
20-140	E 1	V 石頭	Ⅱ-2			2.44	1.63	0.54	2.1kg	緑色砂岩	18179
20-141	C 2	V 石頭	Ⅱ-2			2.68	1.76	0.54	2.0kg	緑色砂岩	18211
20-142	D 2	N 石頭	Ⅱ-2			(2.14)	2.06	0.72	2.7kg	緑色砂岩	18244
20-143	F 1	Ⅲ 石頭	Ⅱ-2			2.04	1.52	0.46	2.1kg	緑色砂岩	18235
20-144	A 2	Ⅲ 石頭	Ⅱ-2			(2.75)	2.16	0.54	2.4kg	ルンブルーフルス	18236
20-145	F 1	N 石頭	Ⅱ-2			2.58	1.62	0.48	1.8kg	緑色砂岩	18238
20-146	C 1 ベルト	石頭	Ⅱ-2			2.81	1.69	0.44	1.6kg	緑色砂岩	18240
20-147	S 2	V 石頭	Ⅱ-2			3.38	1.22	0.49	1.5kg	緑色砂岩	18245
20-148	D 1	Ⅲ 石頭	Ⅱ-2			4.92	2.82	1.05	12.6kg	緑色砂岩	18255
20-149	E 1 ベルト	石頭	Ⅱ-2			2.68	1.65	0.56	2.0kg	緑色砂岩	18070
20-150	A 1	V 石頭	Ⅱ-2			(2.28)	1.72	0.42	1.4kg	緑色砂岩	18075
20-151	A	Ⅲ 石頭	Ⅱ-2			(3.34)	1.75	0.57	2.3kg	緑色砂岩	18090
20-152	S 2	V 石頭	Ⅱ-2			2.28	1.38	0.40	1.1kg	緑色砂岩	18095
20-153	B 1	V 石頭	Ⅱ-2			2.91	1.50	0.36	1.1kg	緑色砂岩	18096
20-154	A	Ⅲ 石頭	Ⅱ-2			2.39	1.20	0.24	0.7kg	緑色砂岩	18098
20-155	E 1 ベルト	石頭	Ⅱ-2			1.81	1.00	0.30	0.4kg	緑色砂岩	18103
20-156	S 1	Ⅲ・Ⅳ 石頭	Ⅱ-2			(2.62)	1.89	0.42	1.8kg	緑色砂岩	18115
20-157	S 1	Ⅲ 石頭	Ⅱ-2			2.62	1.88	0.34	1.8kg	緑色砂岩	18117
20-158	D 2	V 石頭	Ⅱ-2			2.92	1.78	0.57	1.7kg	緑色砂岩	18160
20-159	S 1	Ⅲ 石頭	Ⅱ-2			2.76	1.67	0.55	1.9kg	緑色砂岩	18157
20-160	G 1	Ⅲ・Ⅳ 石頭	Ⅱ-2			(2.53)	1.68	0.49	2.2kg	緑色砂岩	18160
21-161	C 2・3 ベルト	N 石頭	Ⅱ-2			(2.07)	1.22	0.50	0.9kg	緑色砂岩	18165
21-162	E 2	石頭	Ⅱ-2			(2.43)	2.15	0.61	2.1kg	緑色砂岩	18173
21-163	C 2	V 石頭	Ⅱ-2			3.0%	1.81	0.49	1.9kg	緑色砂岩	18180
21-164	S 2	V 石頭	Ⅱ-2			2.09	1.46	0.25	0.5kg	緑色砂岩	18189
21-165	C 2 ベルト	石頭	Ⅱ-2			(1.88)	1.61	0.53	1.2kg	緑色砂岩	18190
21-166	B 1	Ⅲ 石頭	Ⅱ-2			(3.08)	1.85	0.59	2.3kg	緑色砂岩	18194
21-167	D 2	V 石頭	Ⅱ-2			(2.74)	1.66	0.38	1.1kg	緑色砂岩	18196
21-168	B 1	Ⅲ・Ⅳ 石頭	Ⅱ-2			(2.65)	1.70	0.38	1.5kg	緑色砂岩	18198
21-169	C 2	V 石頭	Ⅱ-2			(2.87)	1.64	0.52	1.4kg	緑色砂岩	18208
21-170	B 1	V 石頭	Ⅱ-2			4.23	1.73	0.54	2.7kg	緑色砂岩	18224
21-171	A 1	Ⅲ 石頭	Ⅱ-2			2.69	1.74	0.43	1.7kg	緑色砂岩	18237
21-172	B 2	V 石頭	Ⅱ-2			2.58	1.27	0.47	1.1kg	緑色砂岩	18242
21-173	B 1	V 石頭	Ⅱ-2			2.34	1.56	0.38	1.0kg	サート	18258
21-174	D 1	V 石頭	Ⅱ-2			2.33	1.17	0.29	1.2kg	緑色砂岩	18251
21-175	B 1	Ⅲ・Ⅳ 石頭	Ⅱ-2			(1.90)	1.40	0.42	1.1kg	緑色砂岩	18205
21-176	B 2	Ⅲ・Ⅳ 石頭	Ⅱ-2			2.39	1.55	0.49	1.2kg	緑色砂岩	18241

固 形 種	石英岩類	出 土 地 点	層	岩 種	分 類 ・ 備 考	計測値(cm)			重 量 (g)	石 材	目 錄 No
						長 さ	幅 き	厚 さ			
21-177	D3	V	石頭	I-2		2.62	1.56	0.52	1.0	珪質頁岩	16099
21-178	D1	V	石頭	I-2		2.13	1.48	0.54	1.7	細粒砂岩	16127
21-179	A	V	石頭	I-2		2.49	1.54	0.63	2.4	珪質頁岩	16132
21-180	E2	V	石頭	I-2		(2.36)	1.58	0.48	1.4	矽灰質頁岩	16170
21-181	B2	II-N	石頭	I-2		2.16	1.29	0.34	1.2	細粒砂岩	16192
第58回4	21-182	E2	N	石頭	I-2	3.47	1.83	0.28	2.0	珪質頁岩	16203
	21-183	F1	V	石頭	I-2	2.65	1.32	0.34	1.3	細粒砂岩	16218
	21-184	B1	V	石頭	I-2	2.69	1.94	0.63	3.9	矽灰質頁岩	16219
	21-185	C2	V	石頭	I-2	(2.12)	1.70	0.48	1.6	珪質頁岩	16226
	21-186	C2 トレンチ	V	石頭	I-2	3.26	2.75	0.12	19.7	珪質頁岩	16227
	21-187	D1	V	石頭	I-2	2.66	1.84	0.44	2.4	珪質頁岩	16297
	21-188	B1	II-N	石頭	I-2	2.18	0.64	0.38	1.1	珪質頁岩	16114
	21-189	E1	V	石頭	I-2	2.39	1.49	0.40	1.4	細粒砂岩	16171
	21-190	B1	V	石頭	I-2	2.26	1.73	0.58	1.8	細粒砂岩	16131
	21-191	A8	V	石頭	I-2	3.00	1.49	0.37	1.5	珪質頁岩	16135
	21-192	C2	V	石頭	I-2	(3.23)	1.56	0.35	2.0	細粒砂岩	16142
	21-193	B1	II-N	石頭	I-2	2.14	1.49	0.47	1.2	細粒砂岩	16149
	21-194	A2	V	石頭	I-2	2.79	1.64	0.44	2.8	珪質頁岩	16151
	21-195	E1 ベルト	V	石頭	I-2	3.85	1.62	0.43	2.3	珪質頁岩	16164
	21-196	B1	V	石頭	I-2	2.15	1.84	0.37	1.6	珪質頁岩	16166
	21-197	A1	V	石頭	I-2	2.07	1.32	0.46	1.0	珪質頁岩	16181
	21-198	F2	V	石頭	I-2	2.60	1.49	0.56	2.1	珪質頁岩	16196
	21-199	E1	V	石頭	I-2	2.30	1.53	0.32	1.1	細粒砂岩	16231
	21-200	A8	V	石頭	I-2	(1.79)	1.47	0.40	1.3	細粒砂岩	16243
	21-201	F1	V	石頭	I-3	2.50	1.75	0.52	2.1	珪質頁岩	16246
	21-202	表鉢	V	石頭	I-3	2.94	1.75	0.74	2.8	珪質砂岩	16133
	21-203	B1	II-N	石頭	I-4	(2.41)	1.69	0.58	2.2	珪質頁岩	16498
	21-204	C1	II-N	石頭	I-4	2.61	1.93	0.44	2.3	チャート	16067
	21-205	B1	II-N	石頭	I-4	2.51	1.75	0.54	2.5	珪質砂岩	16117
	21-206	F2	V	石頭	I-4	3.43	2.62	0.61	6.1	珪質砂岩	16477
第58回5	21-207	A1	V	角閃石輝石		3.95	1.37	0.46	2.2	珪質砂岩	16627
第58回6	21-208	B1	V	角閃石輝石		3.64	1.69	0.60	3.6	珪質頁岩	16483
	21-209	A8	V	角閃石輝石	N	2.57	2.22	0.47	3.2	珪質頁岩	16250
	21-210	B2	V	角閃石輝石	N	2.54	1.93	0.66	3.2	チャート	16053
	21-211	A2	V	角閃石輝石	N	2.65	1.82	0.38	2.8	珪質砂岩	16450
	21-212	A1	V	角閃石輝石	N	3.49	1.92	0.33	4.0	珪質頁岩	16199
	21-213	A1	V	角閃石輝石	N	2.45	1.69	0.58	2.4	珪質頁岩	16480
	21-214	F2	N	角閃石輝石	N	4.87	2.53	0.84	12.6	細粒砂岩	16499
	21-215	B1	II-N	角閃石輝石	N	(1.36)	(0.91)	0.19	0.2	黑雲母	16211
	21-216	F1	N	角閃石輝石	N	(2.82)	1.53	0.67	2.2	珪質頁岩	16252
	21-217	B2	V	角閃石輝石	N	(2.51)	1.36	0.29	1.0	珪質頁岩	16102
	21-218	E2	V	角閃石輝石	N	(2.33)	2.37	0.74	3.0	珪質頁岩	16482
	21-219	C3	V	石頭		3.11	1.05	0.36	1.0	珪質頁岩	16256
	21-220	F1	V	石頭		(2.55)	2.35	0.45	1.8	珪質頁岩	16259
	21-221	B1	V	石頭		3.63	1.11	0.87	2.9	チャート	16260
	21-222	F1	II-N	石頭		(2.73)	1.94	0.60	2.1	珪質頁岩	16262
	21-223	A1	V	石頭		(2.00)	2.27	0.57	2.1	チャート	16263
第58回7	21-224	E2	V	石頭		3.61	1.56	0.52	1.7	珪質頁岩	16264
	21-225	C1	V	石頭		2.73	1.72	0.65	2.4	珪質砂岩	16265
第58回9	21-227	A8	V	石頭		7.48	1.94	1.14	6.9	珪質頁岩	16266
第58回8	21-228	A2	V	石頭		(3.92)	1.26	0.52	2.0	珪質頁岩	16484
	21-229	B1	V	石頭		3.49	1.13	0.41	1.9	珪質頁岩	16149
	21-230	B2	V	石頭		(1.45)	0.85	0.36	0.4	珪質頁岩	16267
	21-231	E2	V	火浦		(2.52)	0.88	0.38	0.8	珪質頁岩	16261
	21-232	E2	V	火浦		6.47	2.29	1.25	19.3	珪質頁岩	16302
	21-233	A1	V	火浦		7.46	2.48	1.34	21.5	珪質頁岩	16303
	21-234	D2	V	火浦		7.49	2.47	1.50	28.0	珪質頁岩	16304
	21-235	B1	V	未透鏡火浦		(2.48)	1.29	0.48	1.4	珪質頁岩	16305
	21-236	E2 ベルト	V	火浦		(6.34)	2.47	1.10	15.4	珪質頁岩	16307
	21-236	F2	V	火浦		(3.42)	2.97	1.16	9.6	珪質頁岩	16344
第58回13	21-237	F1	N	石頭	I-A-a	3.78	4.28	0.76	9.5	珪質頁岩	16268
	21-238	A1 NO44	V	石頭	I-B-a	4.44	4.23	0.87	13.4	ホルンフェリス	16273
	21-239	A1 NO37	V	石頭	I-B-c	3.63	4.75	0.64	10.4	珪質頁岩	16272
第58回14	21-240	B2 NO59	V	石頭	I-B-c	3.88	6.47	1.14	20.1	珪質頁岩	16287
	21-241	AB	V	石頭	I-B-c	5.07	6.27	1.11	29.3	珪質頁岩	16291
	21-242	A2	V	石頭	I-C-c	3.27	3.17	0.50	5.5	珪質頁岩	16270
	21-243	A2	V	石頭	I-C-c	4.81	5.69	0.83	17.2	珪質頁岩	16269
	21-244	A8	V	石頭	I	2.78	(2.98)	0.53	3.0	珪質灰岩	16278
	21-245	B1	V	石頭	I-B-a	4.60	3.57	0.61	9.3	珪質灰岩	16281
	21-246	D2	V	石頭	I-B-a	2.24	5.97	0.82	9.8	珪質頁岩	16266
	21-247	A5	V	石頭	I-B-a	7.61	4.42	0.92	30.1	珪質頁岩	16333
	21-248	F1	V	石頭	I-B-a	3.45	2.92	0.59	6.5	珪質頁岩	16465
	21-249	F2	V	石頭	I-B-a	(6.37)	2.92	1.03	14.2	矽灰質頁岩	16277
	21-250	F2	V	火浦	I-B-a	3.32	1.64	0.55	3.3	珪質頁岩	16274
第58回16	21-251	E1	V	石頭	I-B-b	5.22	1.97	0.62	7.1	珪質頁岩	16276
	21-262	E1	V	石頭	I-B-b	(3.82)	1.52	0.45	3.2	珪質頁岩	16279
	21-253	C2	V	石頭	I-B-b	5.45	1.68	0.90	14.9	珪質頁岩	16292
	21-264	E1	V	石頭	I-B-b	(3.01)	1.57	0.49	3.0	珪質頁岩	16297
	21-265	F1	V	石頭	I-B-b	(5.79)	2.71	0.94	12.0	珪質頁岩	16249
	21-256	D2	V	石頭	I-C-b	(3.45)	2.11	0.57	4.2	珪質頁岩	16299
	21-267	C2	V	石頭	I-C-b	5.52	2.54	0.65	9.2	珪質頁岩	16333
	21-268	A2	V	石頭	I-C-c	4.18	3.02	0.68	8.6	珪質頁岩	16280
	21-269	E1	V	石頭	I-C-c	5.44	2.77	0.43	8.1	珪質頁岩	16288
	21-260	E1	V	石頭	I-C-c	6.28	2.09	0.54	8.2	矽灰質頁岩	16275
	21-261	A1	V	石頭	I-C-c	7.58	3.14	0.69	18.0	珪質頁岩	16290
	21-262	D1 トレンチ	V	石頭	I-C-c	5.25	3.95	0.66	17.6	珪質頁岩	16287
	21-263	F2	V	石頭	I	(3.87)	2.44	0.99	7.4	珪質頁岩	16269
	21-264	B2	V	石頭	I	(4.43)	2.43	0.63	5.4	珪質頁岩	16271
	21-265	C1	V	石頭	I	(2.58)	1.59	0.32	1.8	珪質頁岩	16275

回 標	写真図版	出 土 地 点	種	基	分類・備考	計測値 (cm)	重量 (g)	石 材	目録 No
21-266 A1	III	石動	Ⅲ			(4.24) 3.07 0.37	4.7	珪藻土	18262
21-267 A1	V	石動	Ⅲ			(5.09) 2.62 0.81	7.3	珪藻土	18263
21-268 F1	VI	石動	Ⅲ			(4.01) 2.12 0.86	11.4	珪藻土	18270
21-269 D1 NO71	石	石動	Ⅲ			(2.53) 1.57 0.81	1.7	珪藻土	18294
21-270 A8	B	石動	Ⅲ			(4.98) 4.08 1.08	24.2	珪藻土	18422
21-271 B2	V	石動	Ⅲ			(4.16) 2.26 0.86	5.3	珪藻土	18423
21-272 E1	B	石動	Ⅲ			(6.92) 2.27 0.86	14.4	珪藻土	18493
21-273 C2	石	石動	Ⅲ			(3.96) 2.06 1.14	7.1	珪藻土	18495
21-274 A1 西壁	III	石動赤埴	Ⅲ			(6.36) 1.84 0.52	6.2	珪藻土	18488
21-275 A1	III	石動欠塗品	Ⅲ			(2.58) 2.19 0.48	3.6	珪藻土	18284
21-276 F1 西壁	V	石動欠塗品	Ⅲ			(3.31) 2.54 0.56	5.4	珪藻土	18295
21-277 B1	V	石動欠塗品	Ⅲ			(2.03) 1.79 0.40	1.0	珪藻土	18296
21-278 R2	II	石動欠塗品	Ⅲ			(1.84) 1.39 0.30	1.0	珪藻土	18298
22-279 F1	Ⅲ	不定形石器	I-1-A			6.32 3.82 1.78	39.4	珪藻土	18499
22-280 B1	III	N 不定形石器	I-1-A			3.67 2.59 0.76	7.5	珪藻土	18500
22-281 B2	V	N 不定形石器	I-1-A			2.95 2.98 0.92	6.6	珪藻土	18501
22-282 F1	VI	不定形石器	I-1-A			3.26 5.94 1.21	24.3	珪藻土	18502
22-283 D1	Ⅲ	不定形石器	I-1-A			4.27 3.02 0.60	7.2	珪藻土	18503
22-284 A2	Ⅲ	不定形石器	I-1-A			2.85 2.79 0.51	4.5	珪藻土	18504
22-285 D2	Ⅲ	不定形石器	I-1-A			4.01 5.15 1.12	21.7	珪藻土	18505
22-286 F1	II	不定形石器	I-1-A			6.07 5.87 2.12	85.6	珪藻土	18506
22-287 E1	V	不定形石器	I-1-A			6.65 5.01 1.75	57.8	珪藻土	18710
22-288 A8 サブレンチ	Ⅲ	不定形石器	I-1-A			3.62 2.96 1.07	11.6	珪藻土	18711
22-289 O1	B	不定形石器	I-1-A			3.28 4.35 0.90	11.3	珪藻土	18918
22-290 F1	V	不定形石器	I-1-B			4.68 3.07 1.05	15.9	珪藻土	18421
22-291 F2	M	不定形石器	I-1-B			2.15 2.32 0.62	3.1	珪藻土	18407
22-292 F1-2 トレンチ	Ⅲ	不定形石器	I-1-B			3.37 2.07 0.68	12.1	珪藻土	18408
22-293 F2	II	不定形石器	I-1-D			2.21 2.73 0.53	10.1	珪藻土	18409
22-294 Q3	M	不定形石器	I-1-B			2.71 1.73 0.72	3.0	珪藻土	18510
22-295 F1-2 トレンチ	Ⅲ	不定形石器	I-1-B			5.26 4.06 1.70	37.1	珪藻土	18511
22-296 A1	Ⅲ	不定形石器	I-1-B			5.82 4.49 1.94	30.7	珪藻土	18512
22-297 D1	II	不定形石器	I-1-B			3.83 7.25 2.13	69.0	珪藻土	18513
22-298 D2	II	不定形石器	I-1-B			5.69 5.97 1.61	65.4	珪藻土	18515
22-299 A1	Ⅲ	不定形石器	I-1-B			3.04 6.98 1.14	35.4	珪藻土	18516
22-300 A2	Ⅲ	不定形石器	I-1-B			6.17 1.35 0.54	5.5	珪藻土	18517
22-301 A8	Ⅲ	不定形石器	I-1-B			3.10 1.99 0.44	3.5	珪藻土	18518
22-302 F1	II	不定形石器	I-1-B			3.35 2.97 1.04	12.7	風蝕	18519
22-303 D1	Ⅲ	不定形石器	I-1-B			3.66 2.57 1.27	14.7	珪藻土	18520
22-304 A1	Ⅲ	不定形石器	I-1-B			3.57 1.74 0.86	5.6	チート	18521
22-305 A2	V	不定形石器	I-1-B			3.95 3.57 0.97	9.1	珪藻土	18522
22-306 B2	V	不定形石器	I-1-B			4.39 3.03 0.90	10.2	珪藻土	18523
22-307 A8	Ⅲ	不定形石器	I-1-B			2.23 3.63 1.21	7.9	珪藻土	18524
22-308 F1	II	不定形石器	I-1-B			3.91 3.10 0.80	10.9	珪藻土	18695
22-309 A2	Ⅲ	不定形石器	I-1-B			3.21 2.99 1.03	10.1	珪藻土	18696
22-310 B2	VI	不定形石器	I-1-B			4.07 2.87 0.92	11.2	珪藻土	18927
22-311 A8	Ⅲ	不定形石器	I-1-B			3.19 3.21 0.89	8.8	珪藻土	18678
22-312 A1	Ⅲ	不定形石器	I-1-B			3.94 3.90 0.92	16.0	珪藻土	18529
22-313 A1	Ⅲ	不定形石器	I-1-B			2.87 2.04 0.67	14.7	珪藻土	18700
22-314 G1	Ⅲ	不定形石器	I-1-B			3.65 3.17 1.51	13.1	珪藻土	18531
22-315 A8	Ⅲ	不定形石器	I-1-B			4.40 3.30 1.07	16.1	珪藻土	18532
22-316 E2	II	不定形石器	I-1-B			4.35 4.65 2.14	42.7	珪藻土	18635
22-317 E1	V	不定形石器	I-1-B			4.89 5.10 1.32	34.1	珪藻土	18636
22-318 E1	V	不定形石器	I-1-B			6.09 6.65 2.46	88.4	珪藻土	18637
22-319 A8 サブレンチ	不定形石器	I-1-B				3.98 2.32 0.96	7.9	珪藻土	18678
22-320 F2	VI	不定形石器	I-1-B			4.03 3.64 1.15	10.5	珪藻土	18691
22-321 C2	II	不定形石器	I-1-B			2.97 5.04 1.29	19.0	珪藻土	18692
22-322 B1	III-N	不定形石器	I-1-B			2.26 2.07 0.34	1.3	珪藻土	18693
22-323 C1	Ⅲ	不定形石器	I-1-B			5.21 4.34 1.24	31.4	チート	18604
22-324 A8	Ⅲ	不定形石器	I-1-B			2.61 2.11 0.50	3.3	珪藻土	18695
22-325 A8	Ⅲ	不定形石器	I-1-B			2.51 2.67 0.31	2.9	珪藻土	18696
22-326 A8 サブレンチ	不定形石器	I-1-B				5.32 3.96 0.95	21.6	珪藻土	18697
22-327 C1	Ⅲ	不定形石器	I-1-B			3.69 3.41 0.66	7.6	珪藻土	19164
22-328 F1	II	不定形石器	I-1-B			2.61 1.58 0.40	2.1	珪藻土	19171
22-329 E2	II	不定形石器	I-1-B			4.17 2.96 1.32	16.7	珪藻土	19603
22-330 A1	III-N	不定形石器	I-1-B			1.47 2.54 0.52	1.3	珪藻土	19637
22-331 C1	Ⅲ	不定形石器	I-1-B			2.05 3.94 0.71	7.7	珪藻土	19643
22-332 A8	III-D2	不定形石器	I-1-C			2.28 2.42 0.64	4.5	珪藻土	18533
22-333 D2	IV	不定形石器	I-1-C			2.40 2.76 0.52	3.2	珪藻土	18534
22-334 C1	Ⅲ	不定形石器	I-1-C			2.57 4.70 1.11	14.1	珪藻土	18535
22-335 D2	II	不定形石器	I-1-C			2.80 6.77 1.32	16.7	珪藻土	18536
22-336 B2	Ⅲ	不定形石器	I-1-C			4.06 6.71 2.01	65.4	珪藻土	18539
22-337 B2	II	不定形石器	I-1-C			6.93 4.87 1.67	45.5	珪藻土	18659
22-338 C1	Ⅲ	不定形石器	I-1-C			5.87 7.06 1.67	76.6	珪藻土	18540
22-339 C2	II	不定形石器	I-1-C			11.19 3.30 0.86	39.6	珪藻土	18631
22-340 E2	II	不定形石器	I-1-C			4.73 3.68 1.12	18.7	珪藻土	18638
22-341 C2	II	不定形石器	I-1-C			2.12 3.95 0.75	7.0	珪藻土	18667
22-342 C2	II	不定形石器	I-1-C			5.06 6.97 1.78	46.2	珪藻土	18688
22-343 E2	V	不定形石器	I-1-C			5.69 5.21 1.15	30.9	珪藻土	18689
22-344 F1	II	不定形石器	I-1-C			10.08 7.91 1.23	118.5	珪藻土	18690
22-345 D1	II	不定形石器	I-1-C			2.25 2.42 0.42	2.7	珪藻土	18694
22-346 A8	III	不定形石器	I-2-A			4.04 2.28 1.05	10.5	珪藻土	18641
22-347 E2	V	不定形石器	I-2-A			5.66 3.04 1.04	16.2	珪藻土	18542
22-348 B1	III-N	不定形石器	I-2-A			6.38 4.25 1.24	26.1	珪藻土	18543
22-349 F1	II	不定形石器	I-2-A			6.05 10.25 2.45	175.6	珪藻土	18544
22-350 A8	III	不定形石器	I-2-A			4.20 2.69 1.51	19.4	珪藻土	18639
22-351 C2	III-N	不定形石器	I-2-A			2.97 2.17 0.80	4.9	珪藻土	18610
22-352 E2	V	不定形石器	I-2-A			2.89 5.32 0.62	9.4	珪藻土	18605
22-353 E2	V	不定形石器	I-2-B			3.45 3.56 1.27	17.1	珪藻土	18645
22-354 A2	B	不定形石器	I-2-B			3.39 2.31 0.38	2.4	珪藻土	18646

国 属	写真番号	出 土 地 点	層	器 物	分 類・備 考	計測値 (cm)			重 量 (g)	石 材	目 錄
						長 度	幅	厚 度			
	22-355	I 1	Ⅲ	不定形石器	I - 2 - B	4.24	3.17	0.60	8.7	珪質砂岩	16547
	22-364	A2	Ⅱ	不定形石器	I - 2 - B	2.24	2.48	0.55	3.2	珪質砂岩	18548
	22-365	I 2	VI	不定形石器	I - 2 - B	2.33	1.84	0.60	2.5	珪質砂岩	16549
	22-366	I 1	Ⅱ	不定形石器	I - 2 - B	3.35	1.83	0.62	2.7	チャート	18550
	22-359	A6	III	不定形石器	I - 2 - B	2.67	1.95	1.36	6.6	珪質砂岩	16551
	22-360	I 1 - 2 レンチ	Ⅳ	不定形石器	I - 2 - B	2.89	2.72	0.66	4.9	珪質灰岩	18552
	22-361	I 1 - 2 レンチ	V	不定形石器	I - 2 - B	2.73	3.82	0.94	9.3	珪質頁岩	16553
	22-362	B2	V	不定形石器	I - 2 - B	3.40	4.22	1.38	15.8	珪質砂岩	18554
	22-363	E2	V	不定形石器	I - 2 - B	2.98	6.12	1.63	23.5	珪質砂岩	18555
	22-364	F1	II	不定形石器	I - 2 - B	5.53	2.59	1.43	33.6	珪質砂岩	18556
	22-365	B2	II	不定形石器	I - 2 - B	4.02	7.96	0.93	39.8	珪質砂岩	16557
	22-366	F2	II	不定形石器	I - 2 - B	3.69	5.02	1.15	22.4	珪質砂岩	16540
	22-367	E1	IV	不定形石器	I - 2 - B	3.08	2.62	0.95	6.9	珪質砂岩	16541
	22-368	F2	VI	不定形石器	I - 2 - B	4.74	2.52	1.06	11.8	珪質砂岩	16579
	22-369	C3	V	不定形石器	I - 2 - B	4.35	3.71	0.71	14.0	珪質砂岩	16580
	22-370	A8L	III	不定形石器	I - 2 - B	2.71	1.77	0.47	2.0	珪質砂岩	16581
	22-371	A1	III	不定形石器	I - 2 - B	2.69	3.65	0.77	18.6	珪質砂岩	16581
	22-372	C3	V	不定形石器	I - 2 - B	4.26	6.01	1.37	34.0	珪質砂岩	16582
	22-373	F2	V	不定形石器	I - 2 - B	2.74	5.73	1.58	66.5	珪質砂岩	16583
	22-374	A1	I - B	不定形石器	I - 2 - B	4.07	4.45	1.58	34.7	珪質砂岩	16584
	22-375	A1	I - B	不定形石器	I - 2 - B	2.60	3.15	1.19	11.2	珪質砂岩	16585
	22-376	I 3	II	不定形石器	I - 2 - B	3.14	4.26	0.88	10.6	珪質砂岩	16586
	22-377	A1	I - B	不定形石器	I - 2 - C	2.79	3.25	0.64	10.5	珪質砂岩	16588
	22-378	E1	II	不定形石器	I - 2 - C	2.02	2.64	0.23	1.6	珪質砂岩	19172
	22-379	未発	V	不定形石器	I - 1 - B	1.05	1.26	0.15	0.3	珪質砂岩	16559
	22-380	F1	II	不定形石器	I - 1 - B	3.33	2.14	0.62	3.2	珪質砂岩	16560
	22-381	A2	III	不定形石器	I - 1 - B	4.64	2.50	1.16	12.2	珪質砂岩	16561
	22-382	E2	III	不定形石器	I - 1 - B	5.44	3.38	1.10	21.1	珪質砂岩	16562
	22-383	A1	V	不定形石器	I - 1 - B	1.62	3.51	0.78	4.3	珪質砂岩	16564
	22-384	A8 サブレンチ	V	不定形石器	I - 1 - B	2.64	3.58	0.78	3.1	珪質砂岩	16568
	22-385	E2	V	不定形石器	I - 1 - B	6.15	4.52	1.35	48.6	ホルブルエルス	16569
	22-386	E2	V	不定形石器	I - 1 - B	2.81	3.04	0.73	7.9	珪質砂岩	16570
	22-387	C1 ベルト	II	不定形石器	I - 1 - B	3.58	2.56	0.54	6.0	珪質砂岩	16570
	22-388	B2	V	不定形石器	I - 1 - B	3.36	4.11	0.90	10.0	珪質砂岩	16570
	22-389	E1	II	不定形石器	I - 1 - B	2.38	2.72	0.77	4.6	珪質砂岩	16572
	22-390	E1	II	不定形石器	I - 1 - C	2.57	1.18	0.27	1.3	珪質砂岩	16573
	22-391	F1 - 2 レンチ	II	不定形石器	I - 1 - C	6.63	4.99	10.10	34.6	珪質砂岩	16574
	22-392	C1 ベルト	II	不定形石器	I - 1 - E	2.61	3.24	10.50	10.3	珪質砂岩	16575
	22-393	A3	III	不定形石器	I - 1 - E	3.66	2.26	10.49	8.4	珪質砂岩	16576
	22-394	F1	V	不定形石器	I - 2 - A	4.48	7.41	1.42	46.0	珪質砂岩	16577
	22-395	B1	Ⅲ - N	不定形石器	I - 2 - A	4.13	2.65	0.59	6.0	珪質砂岩	16578
	22-396	C3	II	不定形石器	I - 2 - B	5.09	2.88	1.06	12.3	珪質砂岩	16581
	22-397	F2	II	不定形石器	I - 2 - B	5.24	2.71	0.92	10.4	珪質砂岩	16571
	22-398	C2	V	不定形石器	I - 2 - B	2.30	3.77	0.80	6.6	珪質砂岩	16572
	22-399	F2	M	不定形石器	I - 2 - B	5.46	5.66	1.68	59.0	珪質砂岩	16573
	23-400	A1 N 35	III	不定形石器	I - 2 - B	3.71	1.97	0.53	3.7	珪質砂岩	16574
	23-401	A1	III	不定形石器	I - 2 - B	3.63	2.75	1.25	13.3	チャート	16575
	23-402	E2	V	不定形石器	I - 2 - B	3.61	3.07	1.16	12.2	珪質砂岩	16576
	23-403	B2	V	不定形石器	I - 2 - B	3.87	4.06	1.16	25.6	珪質頁岩	16573
	23-404	A2	V	不定形石器	I - 2 - B	4.65	3.21	0.91	14.8	珪質砂岩	16570
	23-405	E2	VI	不定形石器	I - 2 - C	3.05	3.34	1.19	9.6	珪質頁岩	16575
	23-406	F1 - 2 レンチ	II	不定形石器	I - 2 - C	1.68	2.55	0.58	2.6	珪質頁岩	16576
	23-407	B2	III - N	不定形石器	I - 2 - C	5.95	3.86	1.89	41.7	珪質砂岩	16577
	23-408	B1	III - N	不定形石器	I - 2 - C	3.74	3.07	0.95	11.2	珪質砂岩	16574
	23-409	F2	II	不定形石器	I - 2 - D	5.87	4.01	1.49	37.1	珪質砂岩	16578
	23-410	F2	IV	不定形石器	I - 3 - B	3.04	3.46	1.10	11.1	珪質頁岩	16560
	23-411	A1	III	不定形石器	I - 3 - B	4.29	2.71	1.10	10.3	珪質頁岩	16561
	23-412	F1 - 2 レンチ	II	不定形石器	I - 3 - B	2.35	3.94	0.50	3.1	チャート	16562
	23-413	B1	III - N	不定形石器	I - 3 - B	2.57	1.78	0.36	2.1	珪質砂岩	16563
	23-414	A1	III	不定形石器	I - 3 - B	3.43	2.26	0.73	6.4	珪質頁岩	16564
	23-415	A1	III	不定形石器	I - 3 - B	4.24	3.70	1.15	16.9	珪質頁岩	16567
	23-416	E2	V	不定形石器	I - 3 - B	5.12	1.94	0.83	10.6	珪質頁岩	16569
	23-417	A1	III	不定形石器	I - 3 - B	4.12	2.01	0.74	20.8	珪質頁岩	16560
	23-418	E2	V	不定形石器	I - 3 - B	5.94	5.45	2.99	7.9	珪質砂岩	16561
	23-419	A1	V	不定形石器	I - 3 - B	2.49	3.19	1.09	10.1	珪質砂岩	16564
	23-420	B1	III - N	不定形石器	I - 3 - B	3.18	2.09	0.63	3.6	珪質砂岩	16572
	23-421	F1 - 2	II	不定形石器	I - 3 - B	6.27	2.68	1.99	9.4	珪質砂岩	16573
	23-422	F1	II	不定形石器	I - 3 - B	3.54	2.24	0.93	6.4	珪質頁岩	16574
	23-423	A8	III	不定形石器	I - 3 - C	3.86	7.88	1.08	10.5	珪質頁岩	16562
	23-424	A1	V	不定形石器	I - 3 - C	2.35	1.59	0.42	1.7	珪質頁岩	16553
	23-425	C2	V	不定形石器	I - 3 - C	3.18	2.63	0.89	9.5	珪質頁岩	16564
	23-426	A1	III	不定形石器	I - 3 - D	3.22	3.45	0.89	9.3	珪質砂岩	16565
	23-427	A1	III	不定形石器	I - 3 - E	5.80	2.35	10.20	13.1	珪質砂岩	16566
	23-428	A1	III	不定形石器	I - 1 - A	6.64	4.30	1.12	28.1	珪質砂岩	16568
	23-429	C1	II	不定形石器	I - 1 - A	4.66	3.57	0.81	18.8	珪質砂岩	16569
	23-430	A2	II	不定形石器	I - 2 - A	4.03	3.88	0.81	12.2	珪質砂岩	16597
	23-431	C2 レンチ	II	不定形石器	I - 2 - A	4.90	2.53	1.11	16.7	チャート	16598
	23-432	A2	II	不定形石器	I - 2 - A	5.90	3.20	1.19	24.9	珪質砂岩	16599
	23-433	E2	V	不定形石器	I - 2 - A	4.69	3.19	0.92	13.1	珪質砂岩	16605
	23-434	C2	II	不定形石器	I - 2 - A	3.13	3.76	1.07	13.2	珪質頁岩	16571
	23-435	D2	VI	不定形石器	I - 2 - C	5.63	3.67	1.15	24.1	珪質頁岩	16570
	23-436	C2	II	不定形石器	I - 2 - C	6.48	4.26	2.20	40.3	珪質頁岩	16560
	23-437	E2	V	不定形石器	I - 2 - C	2.75	3.76	1.01	10.0	珪質砂岩	16574
	23-438	C1	VI	不定形石器	I - 3 - A	4.66	2.57	0.69	10.3	珪質砂岩	16510
	23-439	C1	VI	不定形石器	I - 3 - B	6.43	5.09	1.22	44.2	珪質砂岩	16575
	23-440	E2	V	不定形石器	I - 3 - C	4.72	3.85	1.48	32.7	珪質砂岩	16570
	23-441	D2	II	不定形石器	I - 4 - A	4.75	3.26	1.16	20.9	珪質砂岩	16563
	23-442	B1	III - N	不定形石器	I - 4 - A	2.93	2.35	0.63	5.0	チャート	16518
	23-443	A2	V	不定形石器	I - 4 - C	3.34	4.49	1.05	16.3	珪質砂岩	16605

固 形	等級	出 土 地 点	層	器 物	分類・備考	計測値 (cm)	重 量 (g)	石 材	登録 No
						長 度	幅	厚 度	
23-444	B.1	V	不定形石器	II-A-C		2.68	3.47	1.15	12.9 珪質灰岩
23-445	F.1	V	不定形石器	II-A-C		4.71	2.74	0.96	14.5 珪質砂岩
23-446	F.1	V	不定形石器	II-A-C		3.08	4.57	0.85	11.1 珪質灰岩
23-447	A.1	V	不定形石器	II-A-C		5.37	3.68	1.23	34.0 珪質頁岩
23-448	B.2	V	不定形石器	II-A-D		3.17	3.82	0.62	5.4 珪質頁岩
23-449	C.3	V	不定形石器	II-A		3.58	3.43	0.92	12.9 珪質頁岩
23-450	C.1	II	不定形石器	II-A		3.72	3.13	0.96	14.5 珪質頁岩
23-451	E.1	V	不定形石器	II-B		4.49	2.13	0.85	8.4 珪質頁岩
23-452	F.1	II	不定形石器	II-B		2.45	1.60	0.41	2.0 珪質頁岩
23-453	D.2	II	不定形石器	II-B		3.36	1.94	0.91	6.1 硅質砂岩
23-454	D.3	IV	不定形石器	IV		3.52	4.48	1.28	11.1 珪質灰岩
23-455	A.8	III	不定形石器	V		2.50	2.50	0.64	7.1 硅質砂岩
23-456	D.1	IV	不定形石器	V		4.85	2.20	0.86	16.0 硅質砂岩
23-457	E.1	II	不定形石器	V		5.14	2.49	0.91	11.5 珪質頁岩
23-458	C.1	V	不定形石器	V		2.01	2.65	0.48	2.6 珪質頁岩
23-459	D.3	V	不定形石器	V		3.28	4.93	0.85	12.4 珪質頁岩
23-460	サツテンチ		不定形石器	V		3.26	3.39	1.44	12.3 珪質頁岩
23-461	E.2	V	不定形石器	V		2.92	2.86	1.35	9.9 珪質頁岩
23-462	C.1	V	不定形石器	V		3.89	1.74	0.57	3.0 珪質頁岩
23-463	A.1	II	不定形石器	V		3.30	3.31	1.63	20.6 石灰岩
23-464	E.1	II	不定形石器	V		4.16	4.08	1.37	27.1 珪質頁岩
23-465	A.8	II	不定形石器	V		2.93	4.73	0.85	12.5 珪質頁岩
23-466	F.2	II	不定形石器	V		2.07	2.62	0.45	2.7 硅質灰岩
23-467	A.8	II	不定形石器	V		2.34	2.69	0.74	4.1 珪質頁岩
23-468	A.8	III	不定形石器	V		2.31	3.78	0.59	6.1 珪質頁岩
23-469	B.1	III-N	不定形石器	V		3.20	5.06	0.90	15.6 珪質頁岩
23-470	A.8	III	不定形石器	V		3.33	2.11	0.78	4.1 珪質頁岩
23-471	A.8	III	不定形石器	V		4.37	2.37	0.78	8.7 珪質頁岩
23-472	A.8	III	不定形石器	V		3.05	3.79	0.78	10.0 珪質頁岩
23-473	C.1	IV	不定形石器	V		4.11	2.78	0.82	9.6 珪質頁岩
23-474	E.1	ペルト	不定形石器	V		6.51	5.45	1.37	45.4 硅酸鹽岩
23-475	A.8	III	不定形石器	V		5.21	3.80	0.91	14.5 珪質頁岩
23-476	F.1	II	不定形石器	V		2.61	2.72	0.72	36.3 珪質頁岩
23-477	B.2	II	不定形石器	V		2.91	2.67	0.79	17.0 珪質頁岩
23-478	D.1	IV	不定形石器	V		2.30	2.91	0.69	18.9 珪質頁岩
23-479	F.1	IV	不定形石器	V		3.67	2.55	0.93	8.2 珪質頁岩
23-480	E.1	V	不定形石器	V		2.69	3.49	1.06	8.4 珪質頁岩
23-481	C.9	V	不定形石器	V		4.94	5.01	1.78	39.3 硅酸鹽岩
23-482	E.1	V	不定形石器	V		3.16	2.39	0.67	9.1 珪質頁岩
23-483	C.1	V	不定形石器	V		5.46	4.22	2.45	77.4 珪質頁岩
23-484	D.2	V	不定形石器	V		2.37	2.73	0.73	6.2 珪質頁岩
25-425	B.1 + 2 NO5B	II	打製石器	毎刀・腰刀・全体打削面	15.90	6.49	4.18	73.0 硅酸鹽岩	
25-426	F.1	II	打製石器	腰刀・面打削打痕	12.25	6.45	4.26	46.0 硅酸鹽岩	
第59回36	23-485	B.1	VI	打製石器未成型スクリュー	1-1-A	11.12	4.68	2.27	15.9 硅酸鹽岩
23-486	B.1	V	打製石器未成型スクリュー	1-2-A	11.51	5.87	2.88	26.0 安山岩	
第59回37	23-487	E.2	VI	打製石器未成型スクリュー	1-2-C	11.45	5.64	3.44	26.0 安山岩
23-488	C.2 ベント	V	打製石器未成型スクリュー	1-E-1	6.21	3.62	1.27	34.3 硅酸鹽岩	
23-489	B.1	V	打製石器未成型スクリュー	1-E-1	8.64	5.18	2.49	15.9 花崗岩	
23-490	B.1	III-N	打製石器未成型スクリュー	1-E-1	10.63	5.45	2.39	20.6 雷鳴岩	
第59回38	23-491	C.2	V	打製石器未成型スクリュー	1-E-1	10.65	5.56	2.77	18.6 硅酸鹽岩
23-492	C.1 N 059B	II	打製石器	腰刀・面打削打痕	10.87	4.93	2.31	17.3 硅酸鹽岩	
23-493	B.9	III	打製石器未成型スクリュー	1-E-1	11.63	4.40	2.67	48.7 硅酸鹽岩	
23-494	B.2	V	打製石器未成型スクリュー	1-E-1	13.17	6.34	3.49	55.0 硅酸鹽岩	
第59回39	23-495	E.1	V	打製石器未成型スクリュー	1-E-1-B	10.52	5.62	2.26	16.0 硅酸鹽岩
第59回40	23-496	A.8	III	打製石器未成型スクリュー	3-E-3	10.88	5.62	2.26	16.0 硅酸鹽岩
23-497	F.1	II	打製石器未成型スクリュー	8	17.17	4.99	2.39	13.2 硅酸鹽岩	
23-498	E.1 西脇	V	打製石器未成型スクリュー	1-E-1	7.02	3.22	1.41	35.5 硅酸鹽岩	
第59回41	23-499	B.1	V	打製石器未成型スクリュー	1-E-1	8.89	4.66	1.73	9.5 花崗岩
23-500	A.1	V	打製石器未成型スクリュー	1-E-1	10.26	5.29	2.02	11.6 硅酸鹽岩	
23-501	C.2	IV	打製石器未成型スクリュー	1-E-1	11.57	6.21	3.02	30.0 雷鳴岩	
23-502	E.2	V	打製石器未成型スクリュー	1-E-1-B	6.44	4.16	1.44	5.7 硅酸鹽岩	
24-503	B.1	V	打製石器未成型スクリュー	1-E-1-B	8.98	4.26	1.95	9.6 硅酸鹽岩	
第59回42	24-504	F.2	IV	打製石器未成型スクリュー	1-E-1-B	8.83	4.67	1.70	9.6 硅酸鹽岩
24-505	A.8 サブト	II	打製石器未成型スクリュー	1-E-1-B	12.69	5.59	2.80	28.0 硅酸鹽岩	
24-506	A.8	III	打製石器未成型スクリュー	1-E-1-B	7.80	3.93	1.28	4.6 石灰岩	
第59回43	24-507	A.2	VI	打製石器未成型スクリュー	1-E-3-A	11.75	6.10	2.89	26.0 雷鳴岩
24-508	C.2	V	打製石器未成型スクリュー	1-E-A	(8.18)	5.31	3.16	18.3 雷鳴岩	
24-509	A.2	II	打製石器未成型スクリュー	1-E-1	(9.36)	5.76	2.65	15.7 硅酸鹽岩	
24-510	C.1	VI	打製石器未成型スクリュー	1-E-1	(6.99)	5.95	2.82	12.5 雷鳴岩	
24-511	A.1	VI	打製石器未成型スクリュー	M-2	(10.10)	6.03	2.15	19.8 雷鳴岩	
24-513	E.1	V	打製石器未成型スクリュー	M-3	(8.93)	5.17	1.89	12.6 半火成	
24-514	D.1	V	打製石器未成型スクリュー	M-A	(5.99)	5.76	3.05	16.7 安山岩	
24-515	C.2	V	打製石器未成型スクリュー	M-A	(6.26)	5.00	1.87	6.6 硅酸鹽岩	
24-516	F.2	V	打製石器未成型スクリュー	M-C	(8.02)	5.49	2.12	14.8 硅酸鹽岩	
24-517	A.8	V	打製石器未成型スクリュー	M-C	(7.99)	6.08	3.29	15.3 石灰岩	
24-517	F.2	V	打製石器未成型スクリュー	M-C	(7.01)	5.05	2.76	12.5 ハイレイ岩	
24-518	E.3	IV	打製石器未成型スクリュー	M-C	(9.23)	6.06	2.97	19.7 雷鳴岩	
24-519	A.2	V	打製石器未成型スクリュー	M-C	(7.99)	6.08	3.29	15.3 石灰岩	
第59回45	24-520	D.1	V	打製石器	二ニチュア・腰刃	4.27	2.54	0.56	7.7 硅酸鹽岩
24-521	E.2	VI	打製石器	二ニチュア・腰刃	3.78	2.17	0.27	4.7 硅酸鹽岩	
24-522	L.1	V	打製石器	穴鑿品	(5.39)	3.24	2.54	5.67 L.半火成	
24-523	A.8	III	打製石器	穴鑿品	(5.63)	5.85	1.69	9.3 石灰岩	
24-524	E.2	II	打製石器	穴鑿品	(5.76)	3.77	2.15	5.6 L.半火成	
24-525	G.1 N 07	III	打製石器	輪刃・穴鑿品	(6.15)	4.60	2.53	108.6 日賀麻葉灰岩	
24-526	E.2	V	打製石器	輪刃・穴鑿品	(6.56)	4.84	2.60	173.6 古山岩	
24-527	A.1	III	打製石器	円刃	11.17	3.71	2.43	166.5 鶴見岩	
24-528	B.2	V	打製石器	輪刃・穴鑿品	(11.11)	5.16	3.16	250.0 猫御原	
24-529	E.1	V	打製石器	穴鑿品	(4.76)	3.98	1.31	45.7 猫御原	
24-530	B.2	V	打製石器	穴鑿品	(3.34)	2.60	0.41	5.0 珪質頁岩	

回 数	当用箇所	土 地 点	属 属	器 種	分類・備考	計測値(cm)	基準		材 料	目 録
							長 さ	幅 厚さ (g)		
24-631	C1	■	■	■	■	(3.91) 2.73 1.18	26.6	木製直角	18366	
24-532	A2	■	■	■	■	(5.48) 3.88 2.47	79.7	木製砂鉄	18367	
24-633	C1	■	■	■	■	5.32 2.89 0.96	26.6	木製砂鉄	18368	
24-534	A1	■	■	■	■	(4.90) 3.37 1.52	35.0	木製砂鉄	18369	
第58回21	24-535	F1	■	■	■	8.09 4.16 1.08	55.6	木製直角	18370	
	24-536	D1	■	■	■	(5.63) 4.95 3.39	103.3	木製	18371	
24-537	F1	■	■	■	■	(7.10) 4.77 3.30	163.0	木製	18372	
24-538	C2・トレンチ	■	■	■	■	(6.61) 4.20 2.56	171.4	木製砂鉄	18373	
24-539	E1	■	■	■	■	(8.56) 4.61 1.93	130.7	木製直角	18374	
24-540	F1・2・トレンチ	■	■	■	■	(6.73) 4.78 2.46	188.9	木製砂鉄	18375	
24-541	表鉄	■	■	■	■	(4.45) 3.85 2.06	53.0	木製直角	18376	
24-542	F1	■	■	■	■	(6.10) 4.82 2.47	86.5	木製砂鉄	18377	
24-543	D3	■	■	■	■	(3.91) 3.07 1.07	15.6	木製直角	18378	
24-544	B2	■	■	■	■	(6.62) 5.32 5.00	220.0	木製	18379	
24-545	E1	■	■	■	■	7.13 6.44 3.68	300.0	木製	18380	
24-546	B2	■	■	■	■	7.17 6.00 4.70	116.0	木製	18443	
24-547	A2	■	■	■	■	(5.30) 6.57 3.89	68.0	木製直角	18447	
24-548	E2	■	■	■	■	(9.11) 5.02 3.56	171.9	木製	18451	
24-549	F2	■	■	■	■	(9.03) 4.18 3.98	205.5	木製直角	18452	
24-550	A1	■	■	■	■	4.18 5.36 5.04	154.0	木製直角	18453	
24-551	E1	■	■	■	■	(7.35) 3.97 3.44	156.7	木製直角	18454	
24-552	C1 N070	■	■	■	■	(6.94) 4.77 4.84	210.0	木製直角	18455	
24-553	C2	■	■	■	■	10.75 9.52 5.49	84.0	木製直角	18457	
24-554	B1	■	■	■	■	10.41 7.94 4.45	59.0	木製直角	18458	
24-555	B1 N060	■	■	■	■	10.29 7.56 4.75	56.0	木製直角	18460	
24-556	E1	■	■	■	■	11.43 7.62 5.57	60.0	木製直角	18461	
24-557	F1	■	■	■	■	10.61 8.42 5.40	75.0	木製直角	18462	
24-558	E1	■	■	■	■	(12.91) 8.17 3.97	53.0	木製直角	18469	
24-559	E1	■	■	■	■	11.12 8.62 5.34	84.0	木製直角	18473	
24-560	A2	■	■	■	■	9.90 5.65 3.59	30.0	木製直角	18474	
24-561	A2	■	■	■	■	12.28 5.25 4.40	44.0	木製直角	18476	
24-562	F1	■	■	■	■	6.25 3.19 2.65	81.9	木製砂鉄	18476	
第59回47	24-563	B2	■	■	■	(6.37) 5.52 3.18	178.0	木製直角	18478	
	24-567	F2	■	■	■	8.74 7.70 5.93	62.0	木製直角	18436	
25-628	E1	■	■	■	■	(9.69) 6.24 3.49	37.0	木製直角	18463	
25-629	F2	■	■	■	■	14.90 6.93 4.97	84.0	木製直角	18462	
24-564	A1 N050	■	■	■	■	163.48 C.2.50				18424
24-565	A1	■	■	■	■	1-A-1				18425
24-566	E1	■	■	■	■	1-A-1				18426
24-567	B2	■	■	■	■	1-A-1				18427
24-568	F1	■	■	■	■	1-A-1				18428
24-569	B1	■	■	■	■	1-A-1				18429
24-570	E1	■	■	■	■	1-A-1				18430
24-571	F2	■	■	■	■	1-A-1-a				18431
24-572	A1 N055	■	■	■	■	1-A-1-b				18432
24-573	A2	■	■	■	■	1-A-1-b				18433
24-74	F2	■	■	■	■	1-A-1-b				18434
24-575	C2	■	■	■	■	1-A-1-b				18435
24-576	A2	■	■	■	■	1-A-1-c				18436
24-577	F1	■	■	■	■	1-A-1-c				18437
24-578	F1	■	■	■	■	1-A-1-c				18438
24-579	F1	■	■	■	■	1-A-1-e				18439
24-580	D2	■	■	■	■	1-A-2				18440
24-581	E1	■	■	■	■	1-A-2-a				18441
24-582	表鉄	■	■	■	■	1-A-2-a				18442
24-583	C2・3・ヘッド	■	■	■	■	1-A-2-b				18443
25-584	表鉄	■	■	■	■	1-A-3-b				18444
25-585	F1	■	■	■	■	1-A-3-b				18445
25-586	B1	■	■	■	■	1-D-1				18446
24-587	F1・トレンチ	■	■	■	■	1-D-1-b				18447
25-588	E2	■	■	■	■	1-D-1-c				18448
25-589	E1・西脛	■	■	■	■	1-D-1-c				18449
25-590	F1	■	■	■	■	1-D-3-b				18450
25-591	B1	■	■	■	■	1-D-3-b				18451
25-592	D2	■	■	■	■	1-D-3-b				18452
25-593	E1	■	■	■	■	1-A-1-b				18453
25-594	E1	■	■	■	■	1-A-1-b				18454
25-595	F1	■	■	■	■	1-A-1-d				18455
25-596	C2	■	■	■	■	1-A-4				18456
25-597	F1	■	■	■	■	1-A-5				18457
25-598	F1	■	■	■	■	1-A-5-a				18458
25-599	A2	■	■	■	■	1-A-5-b				18459
25-600	D2	■	■	■	■	1-A-5-b				18460
25-601	E2	■	■	■	■	1-B-1				18461
25-602	F2	■	■	■	■	1-B-1				18462
25-603	F2	■	■	■	■	1-B-1				18463
25-604	F2	■	■	■	■	1-B-2				18464
25-605	D2	■	■	■	■	1-B-2				18465
25-606	E1	■	■	■	■	1-B-2				18466
25-607	A1・サブトレ	■	■	■	■	1-B-3				18467
25-608	B2	■	■	■	■	1-B-3				18468
25-609	E2	■	■	■	■	1-B-3				18469
25-610	F1・2・トレンチ	■	■	■	■	1-B-3				18470
25-611	A1	■	■	■	■	1-B-3				18471
25-612	A1K	■	■	■	■	1-B-3				18472
25-613	A2	■	■	■	■	1-B-3				18473
25-614	E1	■	■	■	■	1-B-3				18474
25-615	A2	■	■	■	■	1-B-3				18475

因 数	写真図版	出 土 地 点	層	器 種	分 類 ・ 備 考	計測値(cm)	長さ 幅 厚さ			石 材	目録 No
							長 さ	幅	厚 さ		
	25-616	A.2	V	磨石	1962Bと結合・片側1部、1面削1部	14.29	5.59	4.06	460.9	和歌砂岩	18358
		A.1	III	磨石							18628
	25-617	A.3	III	磨石	2.頂面	12.54	5.38	2.66	300.0	和歌砂岩	18359
	25-618	E.1	V	磨石	ほぼ全周削打削離	14.42	7.53	2.20	330.0	レバ岩	18400
	25-619	B.1 NO.26	III	磨石	尖端・焼けハジケ(自然石の可燃性有)	(6.69)	7.65	4.83	320.0	レバ質砂岩	18401
	25-620	(C.2)トレンチ	III	磨石	1部打撲離	17.00	4.75	2.89	350.0	和歌砂岩	18402
	25-621	F.1	II	磨石	磨製石押し用具	(10.45)	6.80	2.69	230.0	和歌砂岩	18404
	25-622	A.2	II	磨石		9.46	4.46	3.07	210.0	和歌砂岩	18437
	25-623	F.1	V	磨石		12.44	8.36	6.90	1140.0	和歌砂岩	18668
	25-624	E.1	V	磨石		9.34	6.72	4.52	490.0	和歌砂岩	18665
	25-630	E.1	V	臼石	1面:凹1 (5.34)	6.52	2.93	1.80	500.0	和歌砂岩	18677
第59回45	25-631	E.2	V	臼石	2面:凹1	6.00	2.60	2.59	250.0	和歌砂岩	18428
	25-632	A.1 NO.47	III	臼石	1面:凹1 1面:凹1・風化著しい	10.01	11.19	1.97	600.0	和歌砂岩	18429
	25-633	A.1 NO.48	III	臼石	1面:凹1	(7.47)	11.37	4.21	520.0	和歌砂岩	18629
	25-634	E.2	V	臼石	1面:凹1・1面:溝4.52	8.68	8.02	5.56	580.0	和歌砂岩	18660
第59回44	25-635	E.1・2トレンチ	V	臼石	1面:凹1	6.93	6.31	4.54	400.0	和歌砂岩	18667
第59回46	25-636	G.2	V	石缶		(6.96)	7.62	3.40	250.0	瓦礫岩	18351
	25-637	E.2	V	石缶		9.59	7.33	1.84	165.8	和歌砂岩	18407
	25-638	E.1	V	石缶		10.96	3.91	2.14	134.9	和歌質砂岩	18408
	25-639	E.2	V	石缶		8.60	3.54	1.93	97.3	和歌砂岩	18494
第56回23	25-640	E.2	V	石棒		(13.21)	3.88	2.64	210.0	和歌砂岩	18423
	25-641	E.1	II	石棒		(8.82)	3.96	2.00	120.2	和歌砂岩	18328
第56回22	25-642	E.2	H	石棒		(6.53)	4.08	(3.45)	192.4	和歌砂岩	18424
	25-643	B.1 NO.66	III	石棒		(12.04)	11.21	7.56	1640.0	安山岩	18632
	25-644	E.1	II	石棒?		(3.62)	3.42	(1.76)	30.9	珪質砂岩	16671
第59回48	25-645	F.2	II	石刀		(10.41)	2.13	0.96	34.7	黄鐵	18327
	25-646	D.2	V	石刀未成品		(22.30)	5.52	1.75	37.2	和歌砂岩	18416
	25-647	D.2	V	石劍		(6.21)	2.10	(8.20)	12.5	計画砂岩	18326
	25-648	F.1・2トレンチ	石劍			(22.20)	5.47	1.72	240.0	和歌砂岩	18496
	25-649	E.1	V	石製未成品		9.52	3.18	1.65	49.7	和歌砂岩	18431
	25-650	E.2	II	石製未成品?	1部埋伏有	6.21	3.13	1.54	50.0	和歌砂岩	18664
第58回24	25-651	F.1	II	有孔石製品	内側・中央に貫通孔・火曜品	3.77	2.68	1.64	1.1	和歌砂岩	18657
	25-652	D.2	V	石製品	方彌形	(5.96)	3.17	1.77	1.6	和歌砂岩	18158
第58回25	25-653	D.2	V	石製品	方彌形	(3.69)	2.11	0.58	5.7	安山岩	18746
	25-654	E.1	V	けづ状抜き彌	方彌形	4.45	(2.19)	0.62	6.8	和歌砂岩	18147
第58回27	25-655	E.2	V	けづ状抜き彌	舟形	2.94	(1.89)	0.35	3.6	和歌砂岩	18748
	25-656	E.1	V	けづ状抜き彌	舟形	4.45	(2.31)	0.69	12.9	和歌砂岩	18749
第58回29	25-657	E.1	V	けづ状抜き彌	舟形・被透孔有	3.02	(1.64)	0.60	4.2	墨石	18750
	25-658	E.2	V	けづ状抜き彌	舟形・被透孔有	3.99	(2.34)	0.49	6.9	黄鐵	18751
第58回31	25-658	A.2	II	けづ状抜き彌	舟形	1.94	1.10	0.21	1.0	カシラン岩	18752
第58回32	25-659	A.2 NO.72	參物同			4.58	1.62	(0.64)	7.3	粘板岩	18753
	25-660	A.1 NO.43	參物同			6.82	3.02	0.47	13.4	板紋岩	18754
第58回34	25-661	D.1 NO.66	參物同			8.80	0.90	0.54	8.4	カシラン岩	18755
第58回35	25-663	A.1 NO.42	參物同								

VI 考察とまとめ

1 遺構

今回の発掘調査は、遺跡の西側の緩斜面の裾の、幾分平坦になった部分 176mを行った。発掘区の南側と北側は湧水が流れ、完掘時においては、写真図版 1 に見るよう、発掘区のほぼ半分、D1・D2・D3・E1・E2・F1・F2 グリットにおいて、花崗岩の岩盤上に大型の花崗岩礫が重なり合うような状況で検出された。そのため、もともと遺構の立地しがたい場所であったと思われ、検出した遺構は、A1・A2・B1・C1 グリットから縄文時代のものと思われる土坑 5 基・焼土遺構 2 基・埋設土器 1 基と、遺構は少ない。

土坑は、大型土坑 2 基、小型土坑 3 基である。大型土坑は、断面形が直壁状のもの 1 基とフラスコ状のもの 1 基であり、埋土中の出土遺物から時期的には大木 6 式から大木 7a 式期のものと思われる。

焼土遺構は、周辺から炭化物は検出されず、投棄されたものと思われる。

埋設土器は、口縁部・底部を欠いており時期不明である。

さて、花崗岩礫が多量に検出された遺跡は広田半島では他にも見られ、彌沢貝塚・雲南遺跡の発掘の際にも検出している。彌沢貝塚においては、花崗岩礫より検出した遺構は埋設土器 1 基のみであった。(注 1) この花崗岩礫の形成の時期は不明であるが、彌沢貝塚の発掘例では、本遺跡の第 I 群土器に相当する土器が、花崗岩礫の隙間から出土している。花崗岩礫の成立は、水・風等による花崗岩塊の浸食により成分の硬い部分のみが残ったことによるものと思われ、その成立は縄文時代前期初頭以前の可能性がある。しかし、局地的なものであるか広域的なものであるか、旧石器時代から縄文時代への変遷過程における気候変動によるものなのか、花崗岩礫帶の成立原因及び時期等不明で、今後の研究が待たれる。

注 1 陸前高田市教育委員会「彌沢貝塚発掘調査報告書」「陸前高田市内遺跡発掘調査報告書
3」陸前高田市文化財調査報告書第 23 号

2 土器

第 I 群

本群は、縄文前期に属するもので大木 1・2b・4・5 式のものである。大木 4・5 式は、出土数は多かったが、他の型式のものは少ない。

第 1 類は大木 1 式に相当するもので、胎土に植物纖維を含むものである。

A は、結節を有する羽状縄文を施文するもので、原体はすべて前々段多条であった。

B は、結節の無い羽状縄文を施文するもので、原体は、ほとんどが前々段多条であるが、74 のように前々段多条と直前段半燃のものもある。

C は、ループ文を有するものである。ループ文は、横位に三段から八段まで施文されるものが見られ、77 のように斜めに施文されるものもあり、陸前高田市友沼 III 遺跡(注 2)・小堀内 I 遺跡(注 3)に類例がある。

D は、斜縄文を施文するものである。単節斜縄文によるもの、前々段多条・組紐と思われるものがある。

E は撚糸文を有するもので、大木 2a 式の可能性もある。

第 2 類は、大木 2b 式に相当すると思われるもので、S 字状状鉗沈文を有するものである。

第3類は、胎土に植物纖維を含むが、型式不明のものである。

第4類は、大木4式・5式に相当するものである。

Aは、大木4式に相当すると思われるもので、細い粘土紐による小波状・「の」の字状・弧状の貼付文を有するものである。

Bは、大木5式に相当すると思われるもので、細い粘土紐や沈線による連続山形文や鋸歯状装飾帯を有するものである。大木5式は、5a式・5b式に細分が可能である。袖野遺跡においては、5a式のものが主であるが、136・144・146・147のように大木5b式と思われるものも混在する。

Cは、大木4式・5式と思われるもので、細い粘土紐による梯子状貼付文・格子状貼付文を有するものである。

第二群

繩文時代前期末から中期初頭にかけての、大木6式・7a式・7b式と思われるもので、大木7a式は出土点数が非常に多く、発掘資料の中心をなすものである。

第1類は、大木6式に相当すると思われるものである。

Aは、球胴形の深鉢である。胴部文様帯を有するものと、持たないものがある。胴部文様帯は、胴部上半部に集中し、横位沈線によって胴下半部と区画され、胴下半部には斜綱文が施される。胴部文様帯の文様は、縦位の弧状沈線と緩やかに斜めに下がり先端が渦巻き状をなすものが多いが、3のように円文・波状沈線・横位沈線・刺突文列を有するものもある。口唇には、數個単位の台形状の突起を有するものがあり、突起に刻みを施すもの、ソーメン状の貼付文を有するもの等がある。口縁部には、3のように沈線と刺突文列によっての文様、4～6のように沈線と貼付文による文様構成のものとがある。本類は、鳩岡崎遺跡第3群1類bに類例を見ることが出来る。

Bは、長胴形深鉢で胴部文様帯を有するものである。胴部文様帯は、胴上半部のみに文様帯を持つものと、胴下半部まで文様帯が展開するものとがある。胴上半部のみに文様を持つものは、横位沈線・山形沈線が施されている。胴下半部まで、文様帯が展開するものは、11のように2条単位の横位沈線と沈線間への半截竹管による押し引きが施されるもの、縦位・横位・弧状の沈線からなる対角線文を有するものとがある。口唇には、突起を有するものがあり、9のように連続する弧状の突起を有するものもある。口縁部には、沈線と貼付文の組み合わせによる文様を有するが、173のように沈線のみのもの、11のように斜綱文施文後に縦位の貼付文を貼付するものも見られる。11は、大木7a式の可能性もある。本類は、長根貝塚第一群第一類・鳩岡崎遺跡第3群2類aに類例を見ることが出来る。

Cは、長胴形深鉢で、口縁部のみに文様を有するものである。口唇に突起を有するものは見られず、口縁部の文様は、沈線主体で、沈線による渦巻き文・円文・縦位弧状沈線・山形沈線を有しており、12では刺突文列を有する。本類は、長根貝塚第二群第一類・鳩岡崎遺跡第3群3類に類例を見ることが出来る。

第2類は、大木7a式に相当すると思われるもので、出土土器の中心をなすものである。

Aは球胴形深鉢で胴部文様帯を有する。胴部文様帯は、胴上半部に集中し、胴下半部と沈線によって区画するもの（13・14）、区画しないもの（15・16）がある。胴部文様は、15のよう

に沈線による単純な文様も見られるが、沈線・集合沈線により複雑化した文様も見られる。胴下半部には、結節回転繩文・結節羽状繩文を施文するものが多く見られる。口縁部の文様は、貼付文・細い粘土紐の貼付による浮線文・沈線・集合沈線・三角形印刻文等の組み合わせによって複雑化している。長根貝塚第三群第六類に類例を見ることが出来る。

Bは、球胴形深鉢で胴部文様帯を持たないものである。口縁は、平縁・山形口縁のものがみられ、山形口縁のものは、頂部下に縱位の貼付文を有するものが多く見られ、194のように複雑化した貼付文を有するものもある。口縁部には、沈線・三角形印刻文・刺突文等によって文様が意匠されているが、19・22のように原体施文のみのものもある。胴部には、縱位の回転羽状繩文・結節回転繩文が施文されるものが多い。

Cは、長胴形の深鉢で、器形が胴部で彫れ頸部が締まり、口縁部が開くもので、胴部文様帯を有するものである。口縁部文様帯及び胴部文様帯は、斜繩文施文後に沈線によって文様を意匠するものや、貼付文・隆起線・沈線・集合沈線・三角形印刻文・半截竹管による押し引き等の組み合わせによって文様を意匠するものがある。

Dは、長胴形の深鉢で、器形が胴部で彫れ頸部が締まり、口縁部が開くもので、胴部文様帯を持たないものである。口唇には、突起を持つものが多く見られ、突起下の口縁部には刻みの施された縱位の貼付文を有するものが多い。口縁部には、平行沈線・渦巻き文・波状沈線・刺突等による文様を有するものも見られるが、斜繩文や横位の回転羽状繩文のみのものもある。胴部には、縱位の結節羽状繩文・結節回転繩文が施文されるものが多く見られるが、斜繩文・縫繩文が施文されるものもある。鳩岡崎遺跡第4群2類Cに類例を見ることが出来る。

Eは、長胴形の深鉢で、器形が口縁部から胴部にかけて直線的に立ち上がるもの、及び胴部が直線的に立ち上がり、頸部で屈折し口縁部が開くもので、区画された口縁部文様帯を有するものである。口縁は平縁をなすものが多く見られ、口唇に突起を有するものがある。頸部には横位の刻みの施された隆起線が巡り、胴部と区画するものが多い。口縁部には、横位沈線・波状沈線・渦巻き文・集合沈線文が描かれている。F・Gは割愛する。Hは、斜繩文施文後に、幅の狭い半截竹管による縱位沈線・弧状沈線・縱長の渦巻き文と、半截竹管によって縁取られた縱長の幅広い「匁」状の凹みを4単位有している。このような文様構成は他には見られず、搬入品の可能性のあるものである。

第3類は、大木7b式に相当すると思われるものである。

Aは、球胴形の深鉢で、口縁部には斜繩文と貼付文を有している。口縁部と胴部の境が不明瞭なもの、段によって胴部と区画するものがある。

Bは、長胴形の深鉢で、器形が頸部で締まり口縁部が開くもののうち、口縁部文様帯・胴部文様帯を有するものである。口縁部には沈線による円文と区画文を有し、Aと同様、段によって胴部と区画している。

Cは、長胴形の深鉢で、器形が頸部で締まり口縁部が開くもので、口縁部に縱位の貼付文を有し、胴部文様帯を持たないものである。口縁は、平縁・山形口縁がある。口唇の内面・外面に隆起線を有するものが多い。口縁部には、斜繩文や横位結節繩文・撲糸文を施文後に、縱位の貼付文や「Y」字状貼付文・「U」字状貼付文・「匁」字状貼付文が貼付される。貼付文には、斜繩文が施文されるものが多い。口縁部と胴部は、段によって区画されるもの、隆起線によって区画されるものがある。胴部には斜繩文が施文されるものが多く見られるが、縱位の結節回

転繩文・結節羽状繩文のものもある。

Dは、長胴形の深鉢で、器形が、口縁部から胴部にかけて直線的に立ち上がるものである。口唇外面に幅の広い隆起線を有し、口縁部には、回転羽状繩文を施文後に、縦位の貼付文が貼付され、貼付文上には刻みが施されている。口縁部と胴部の境は、刻みを有する横位の隆起線で区画されている。胴部には、縦位・横位の結節羽状繩文が施文される。Eは、長胴形の深鉢で、器形が、胴部が直線的に立ち上がり、頭部で屈折し、口縁部が大きく開くものである。Fは、長胴形の深鉢で原体側面圧痕文による文様を有するものである。

第III群

繩文時代中期中葉から中期後葉の、大木8a式から大木9式に相当すると思われるものである。出土点数は少ない。第1類は大木8a式、第2類は大木8b式、第3類は大木9式に相当するとと思われるものである。

第IV群

繩文時代後期中葉から後期後葉と思われるものである。ほとんどの資料が細片である。第1類は文様が磨消繩文によるもの、第2類は充填繩文を有するもの、第3類は入組文を有するもの、第4類は口縁部に数条の横位平行を有し平行沈線間に瘤状貼付文や刺突文・刻みが充填されるもの、第5類は口縁部に横位の弧状沈線を有するものである。

第V群

繩文時代晩期のものと思われるものである。出土点数は3点と少ない。

注2 隣前高田市教育委員会 1990 「友沼Ⅲ遺跡」隣前高田市文化財調査報告

注3 (財) 岩手県埋蔵文化財センター 1983 「小堀内Ⅰ遺跡発掘調査報告書」 岩手県埋蔵文化財センター文化財調査報告書第52集

3 石器

袖野Ⅰ遺跡より出土した石器は、681点であった。袖野Ⅰ遺跡を特徴づける石器として、打製石斧未成品型スクレイパーがあげられる。同様の石器が、力持遺跡では「力持型スクレイパー」として名称されているが、今まで打製石斧未製品として分類していた経緯を考え、当遺跡では「打製石斧未成品型スクレイパー」と名称することとした。

力持遺跡では「打製石斧未成品型スクレイパー」と同様の石器「力持型スクレイパー」が77点報告されている。当遺跡ではその半分の34点の出土量であったが、発掘面積が力持遺跡では6000m²をこえ、当遺跡では200m²以下であることからも異様な出土量であるといえる。

片面のほぼ全面に母岩とした自然面を残し、剥離面の周縁に刃部を形成した。形状が梢円形もしくは長方形に整形されている。打製石斧としては刃部が未熟で、側縁に摩滅痕などの使用痕があり、スクレイパーとしての使用が確認できるものもある。自然面側にも剥離があり両刃になっているものも多い。側縁の刃部を利用しやすいように（握りやすく）刃つぶしされているものもある。

当遺跡から一定の出土量によって、三陸海岸南部地域においても片面に自然面を残す打

製石斧的な石器が分布していることが判明された。石器と共に土器が前期末から中期初頭で主体が大木6~7式土器であることから、この時期に隆盛した石器である可能性が高い。

『力持遺跡発掘調査報告書』によると、「從来から宮古市を中心に三陸沿岸北部地に出土が確認され、地理的な立地を考慮すると、用途は海産系の生業に関連することが想起される。」とあり、三陸沿岸南部の大船渡市での出土例（打製石斧未製品として分類）も報告されている。当遺跡においても、主体とする縄文前期には海に近く近い場所で生活していたと思われ、海産系の生業に使用されたことは十分考えられる。

全体の形状から、石籠や打製石斧未製品にも判断できるが、製造工程と形状がほぼ同じであり一定の出土量があることから、当遺跡では定型石器（スクレイパー）として製造されたものであろう。

以上のことから、三陸海岸北部から南部にかけて広範囲に分布する石器といえるのではないだろうか。今まで、市内の遺跡から一定量の出土がなかったため、打製石斧未製品（未製品）として報告したことを付記しておく。また、今後の「打製石斧未製品型スクレイパー」研究において当遺跡の石器が参考になれば幸いである。

引用参考文献

- (財) 岩手県埋蔵文化財センター 1983 「小堀内I遺跡発掘調査報告書」「田老大規模年金保養基地関連遺跡発掘調査」 岩手県埋蔵文化財センター文化財調査報告書第52集
- (財) 岩手県文化振興事業団埋蔵文化財センター 1991 「間館I遺跡発掘調査報告書」「土地改良総合整備事業寺田地区関連遺跡発掘調査」 岩手県文化振興事業団埋蔵文化財調査報告書第156号
- (財) 岩手県文化振興事業団埋蔵文化財センター 1992 「上八木田III・IV・V遺跡発掘調査報告書」「新盛岡競馬建設関連遺跡発掘調査」 岩手県文化振興事業団埋蔵文化財調査報告書第177号
- (財) 岩手県文化振興事業団埋蔵文化財センター 1994 「煤孫遺跡発掘調査報告書」「東北横断自動車道秋田線建設関連遺跡発掘調査」 岩手県文化振興事業団埋蔵文化財調査報告書第196号
- (財) 岩手県文化振興事業団埋蔵文化財センター 2004 「館遺跡発掘調査報告書」「国道397号道路整備事業関連遺跡発掘調査」 岩手県文化振興事業団埋蔵文化財調査報告書第432号
- (財) 岩手県文化振興事業団埋蔵文化財センター 2004 「宝性寺跡発掘調査報告書」「ふるさと農道緊急整備事業根岸地区関連遺跡発掘調査」 岩手県文化振興事業団埋蔵文化財調査報告書第441号
- (財) 岩手県文化振興事業団埋蔵文化財センター 2004 「和野I遺跡発掘調査報告書」「公共下水道整備（代行）事業に伴う発掘調査」 岩手県文化振興事業団埋蔵文化財調査報告書第452号
- (財) 岩手県文化振興事業団埋蔵文化財センター 2008 「力持遺跡発掘調査報告書」(財) 岩手県文化振興事業団埋蔵文化財調査報告書第510集
- 岩手県教育委員会 1982 「江釣子村鳩岡崎遺跡 遺物・要約・分析鑑定結果編」「東北縦貫自動

- 車道関係埋蔵文化財調査報告書X V - 2』岩手県文化財調査報告書第 70 集
北上市教育委員会 1983 「滝の沢遺跡（1977～1982 年度調査）北上市文化財調査報告第 33 集
北上市教育委員会 1990 「滝の沢遺跡 II（1989 年度調査）」北上市文化財調査報告第 60 集
北上市教育委員会 1991 「滝の沢遺跡 III（1984・86・87・88・90 年度調査）」北上市文化財調査報告第 63 集
遠野市教育委員会 2002 「新田 II 遺跡」遠野市埋蔵文化財調査報告書 13 集
宮城県教育委員会 1969 「長根貝塚」『埋蔵文化財緊急発掘調査概報』宮城県文化財調査報告書第 19 集
宮城県教育委員会 1987 「小梁川遺跡」「七ヶ宿ダム関連遺跡発掘調査報告書Ⅲ」宮城県文化財調査報告書第 122 号
稻野彰子 1991 「大木式土器にみられる球胴形深鉢について」北上市立博物館研究報告第 8 号
今村啓爾 2006 「大木 6 式土器の諸系統と変遷過程」東京大学考古学研究室研究紀要第 20 号
興野義一 1967 「大木式土器理解のために（I）」「考古学ジャーナル」13 ニューサイエンス社
興野義一 1968 「大木式土器理解のために（II）」「考古学ジャーナル」16 ニューサイエンス社
興野義一 1968 「大木式土器理解のために（III）」「考古学ジャーナル」18 ニューサイエンス社
興野義一 1968 「大木式土器理解のために（IV）」「考古学ジャーナル」24 ニューサイエンス社
興野義一 1969 「大木式土器理解のために（V）」「考古学ジャーナル」32 ニューサイエンス社
興野義一 1970 「大木式土器理解のために（VI）」「考古学ジャーナル」48 ニューサイエンス社
須原 拓 2005 「大木 7a 式土器にみられる集合沈線文系土器について」（財）岩手県文化振興事業団埋蔵文化財センター紀要 IV
須原 拓 2009 「大木 7a 式土器にみられる地域性」（財）岩手県文化振興事業団埋蔵文化財センター紀要 XVIII
千葉正彦 2007 「和賀川上・中流域における大木 6 式土器」（財）岩手県文化振興事業団埋蔵文化財センター紀要 XXVI
丹羽 茂 1989 「中期大木式土器様式」「縄文土器大観」1 小学館

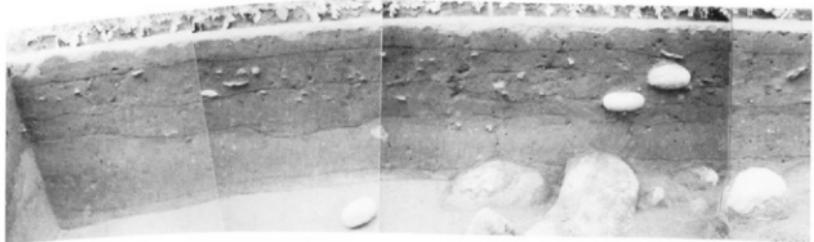
写 真 図 版



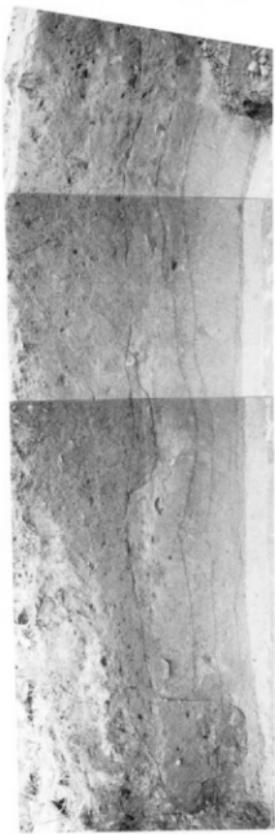
調査区遠景



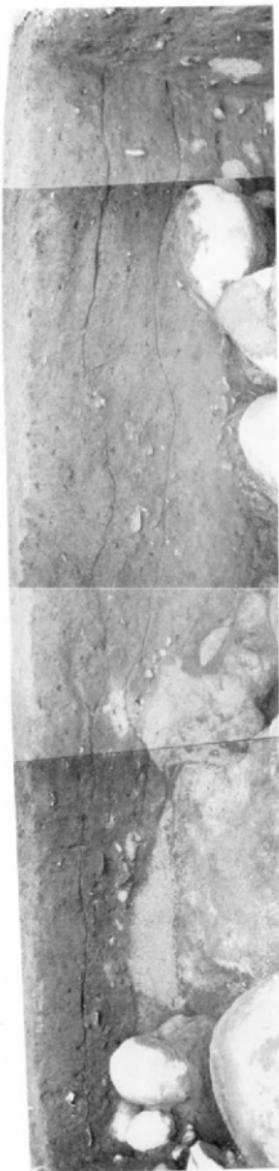
調査区実地状況
写真図版1



写真図版2 A1～F1西壁セクション



A1～3南壁セクション

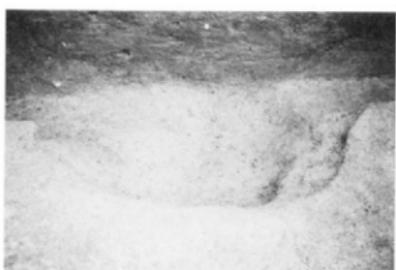


F1～2北壁セクション

写真図版3



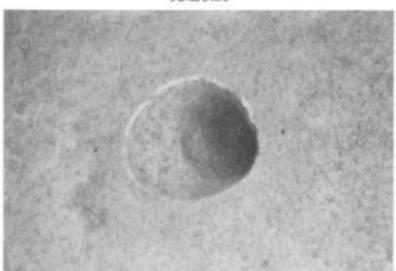
A1-1 土坑検出状況



完堀状況



A2-1 土坑土層断面



完堀状況



A2-2 土坑検出状況



完堀状況



B1-1 土坑土層断面



完堀状況

写真図版4



C1-1土坑土層断面



完堀状況



B2-1燒土造横土層断面



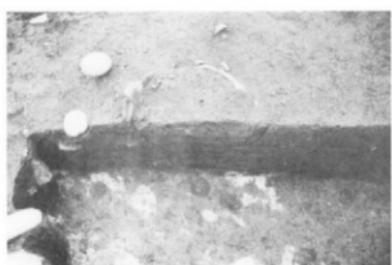
C1-1焼土造横土層断面



C1-1埋設土器検出状況



埋設状況

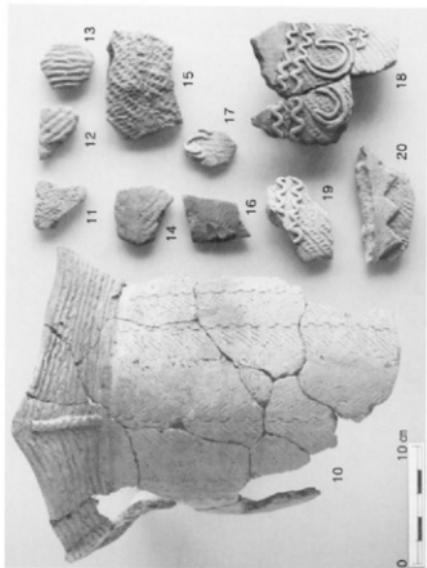


土層断面

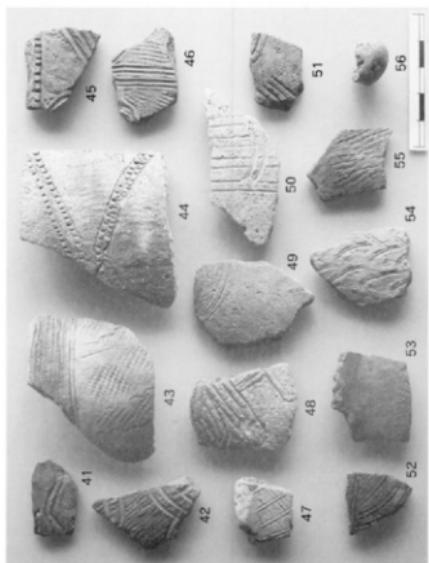
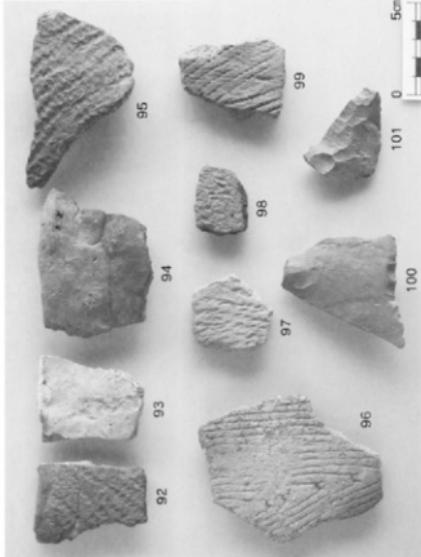
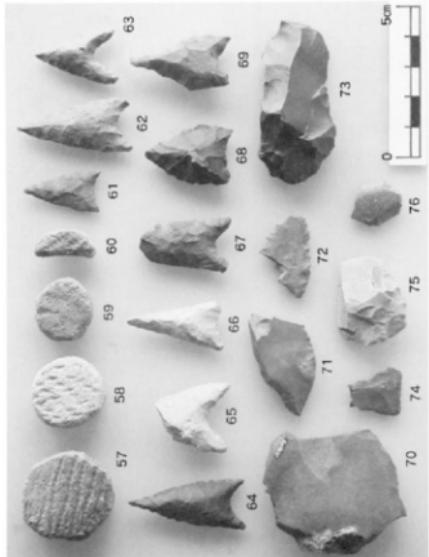


完堀状況

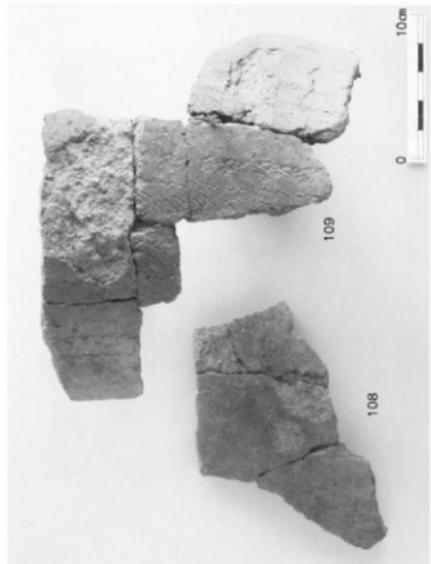
写真図版5



写真図版 6 遺構内出土遺物

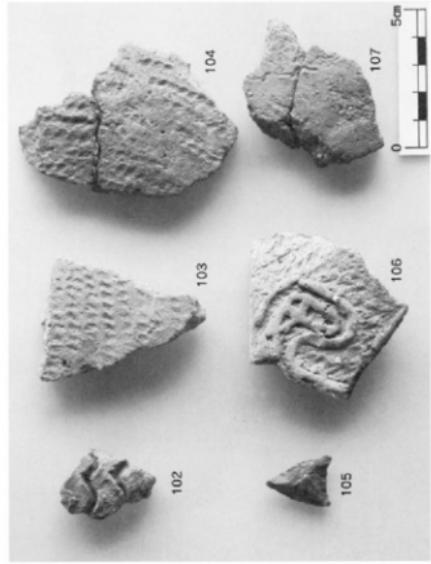


写真図版 7 遺構内出土遺物



109

108



104

107

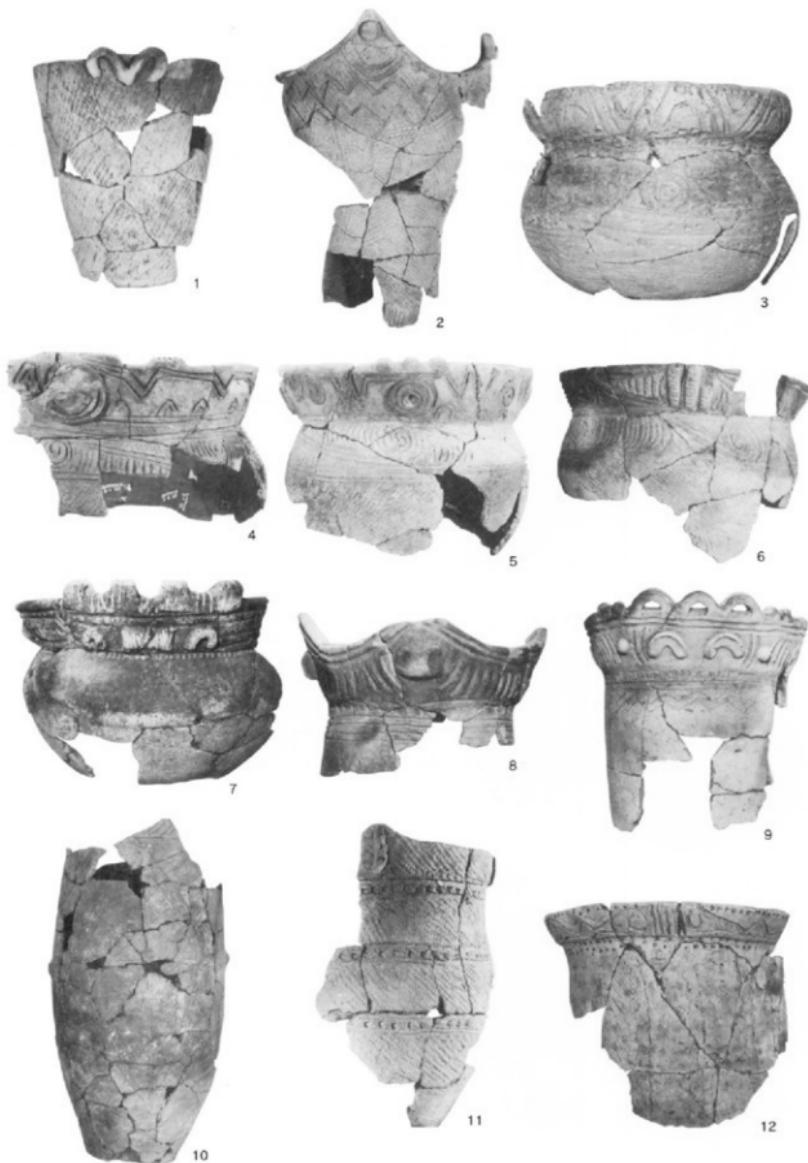
103

106

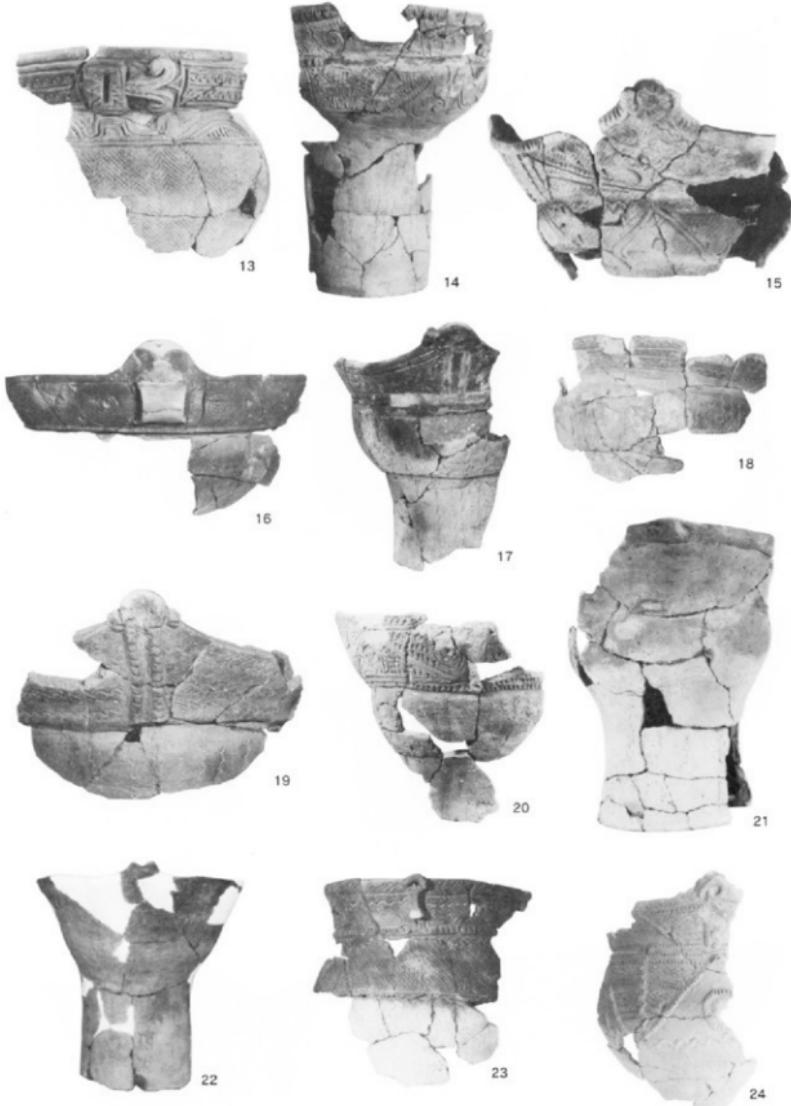
102

105

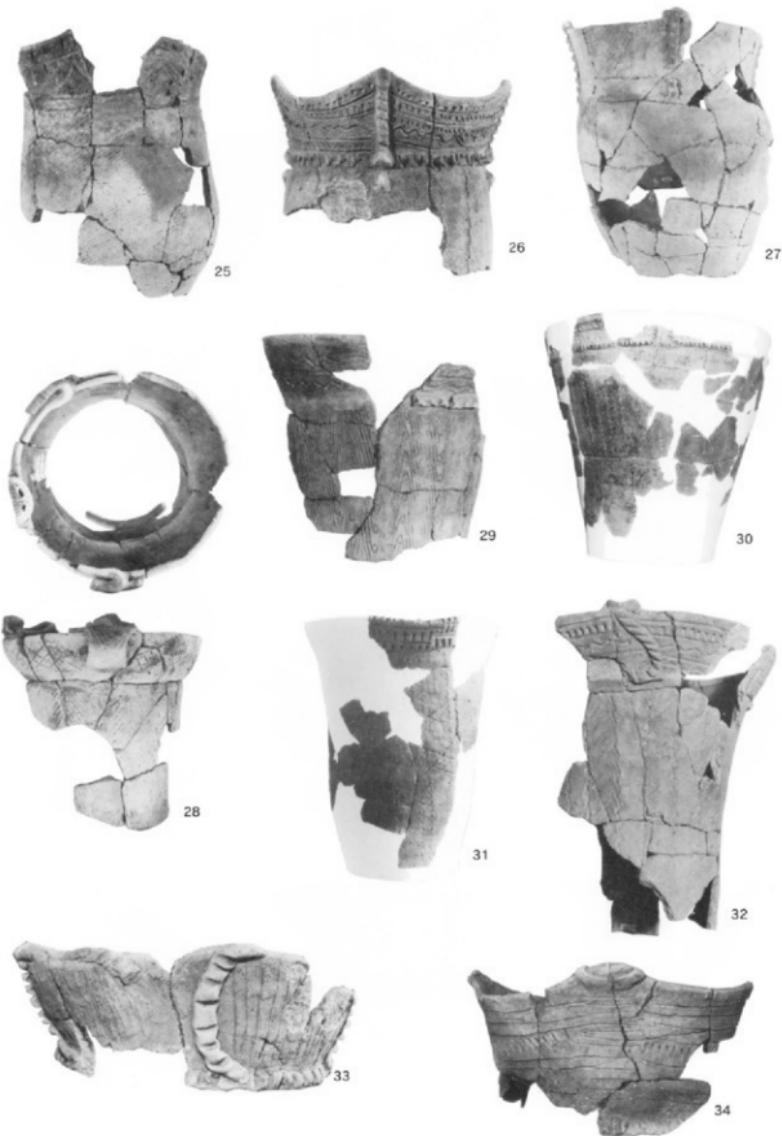
写真図版 8 遺構内出土遺物



写真図版9 遺構外出土土器



写真図版10 遺構外出土土器



写真図版11 遺構外出土土器



35



36



37



38



39



40



41



42



43



44



45

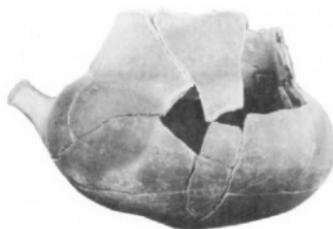
写真図版12 遺構外出土土器



46



47



48



49



50



51

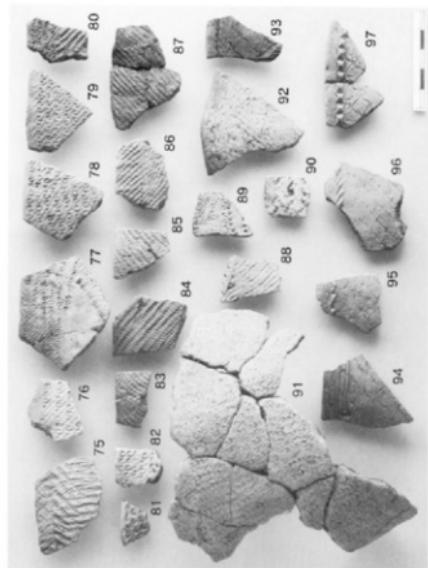


52

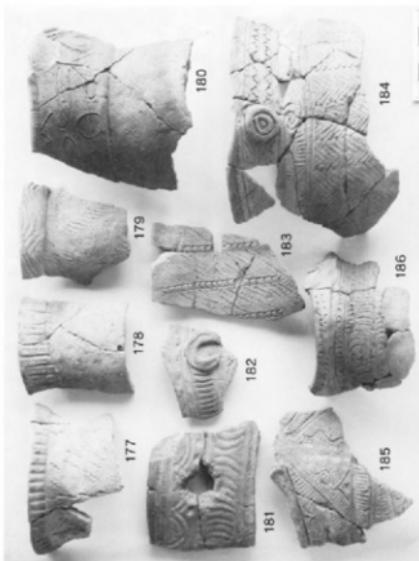
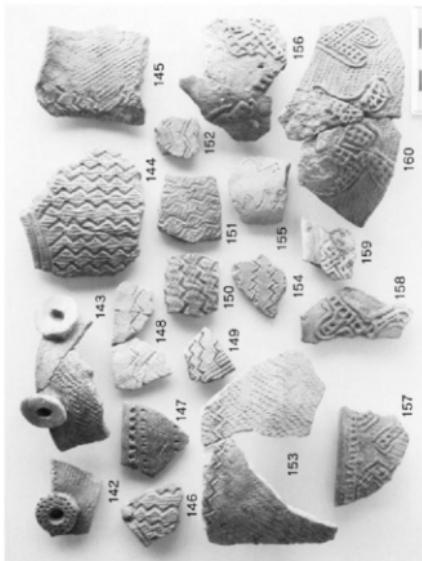
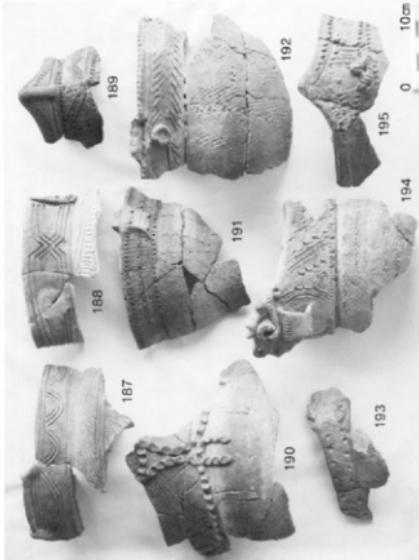


53

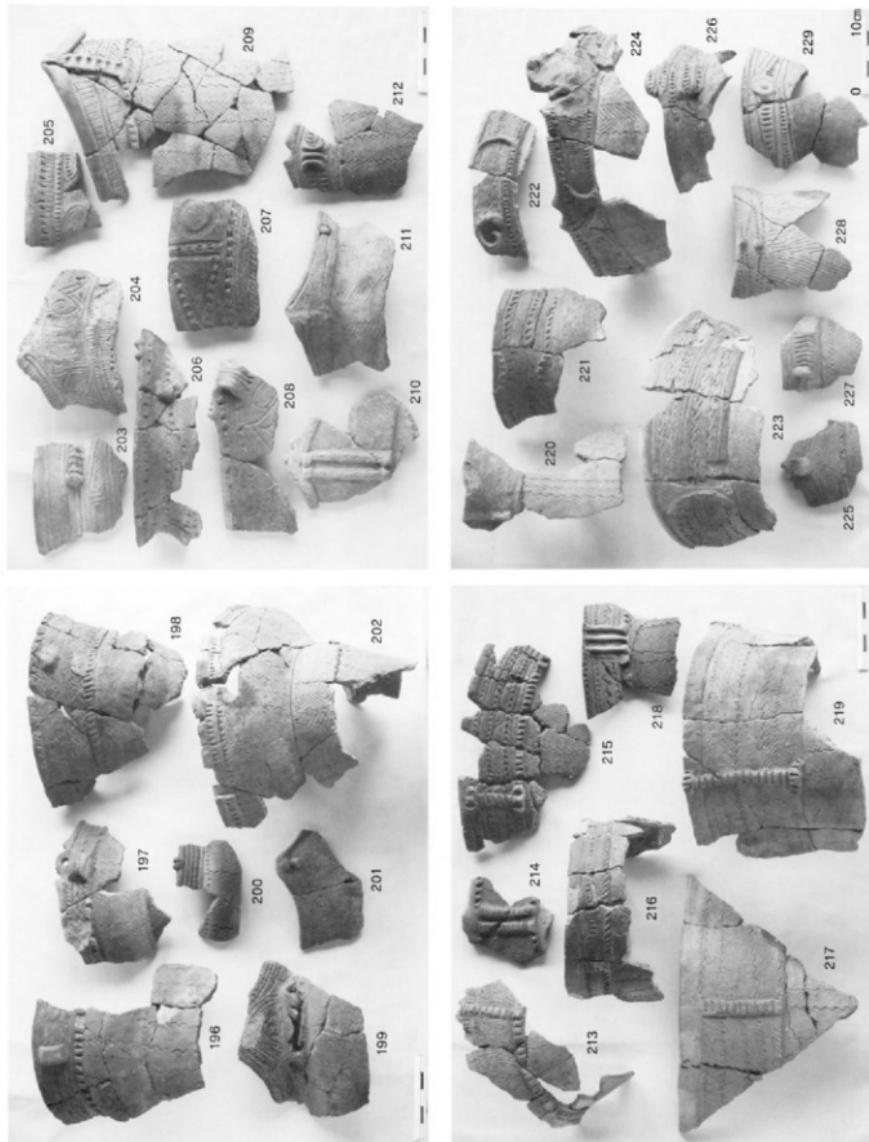
写真図版13 遺構外出土土器



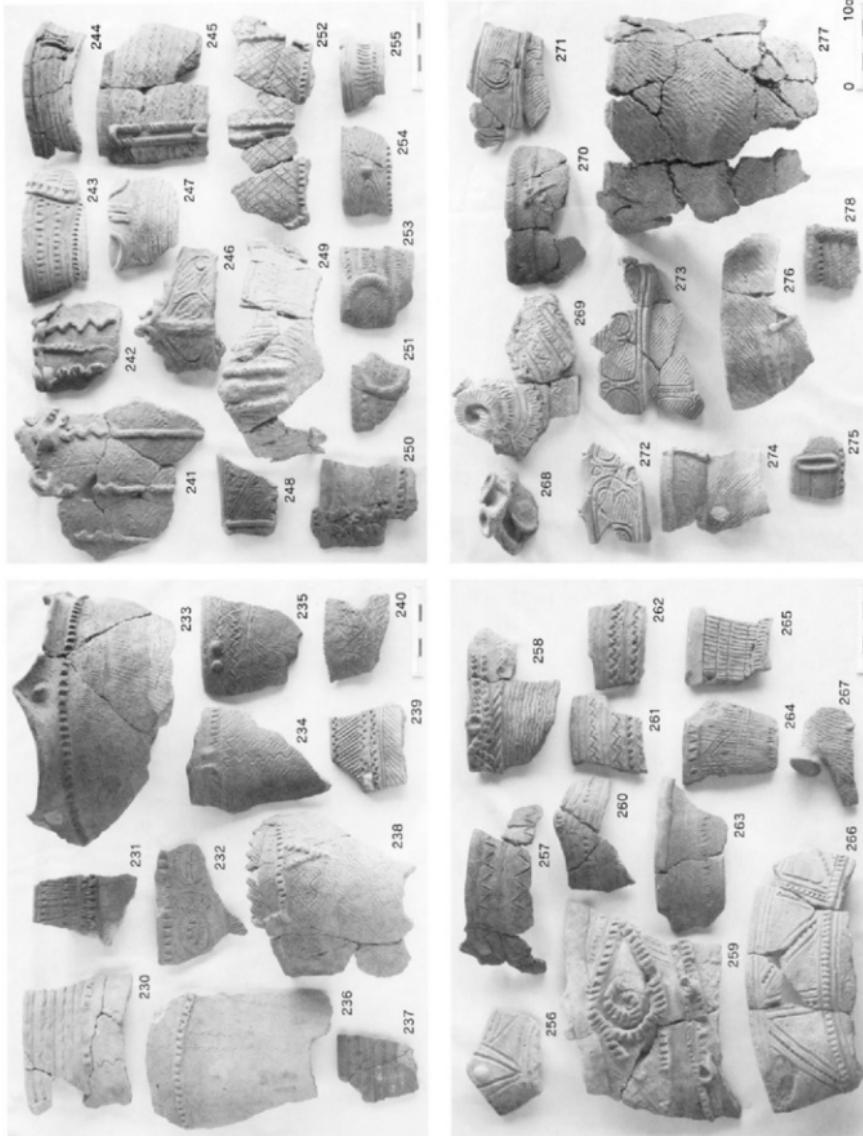
写真図版 14 遺構外出土土器



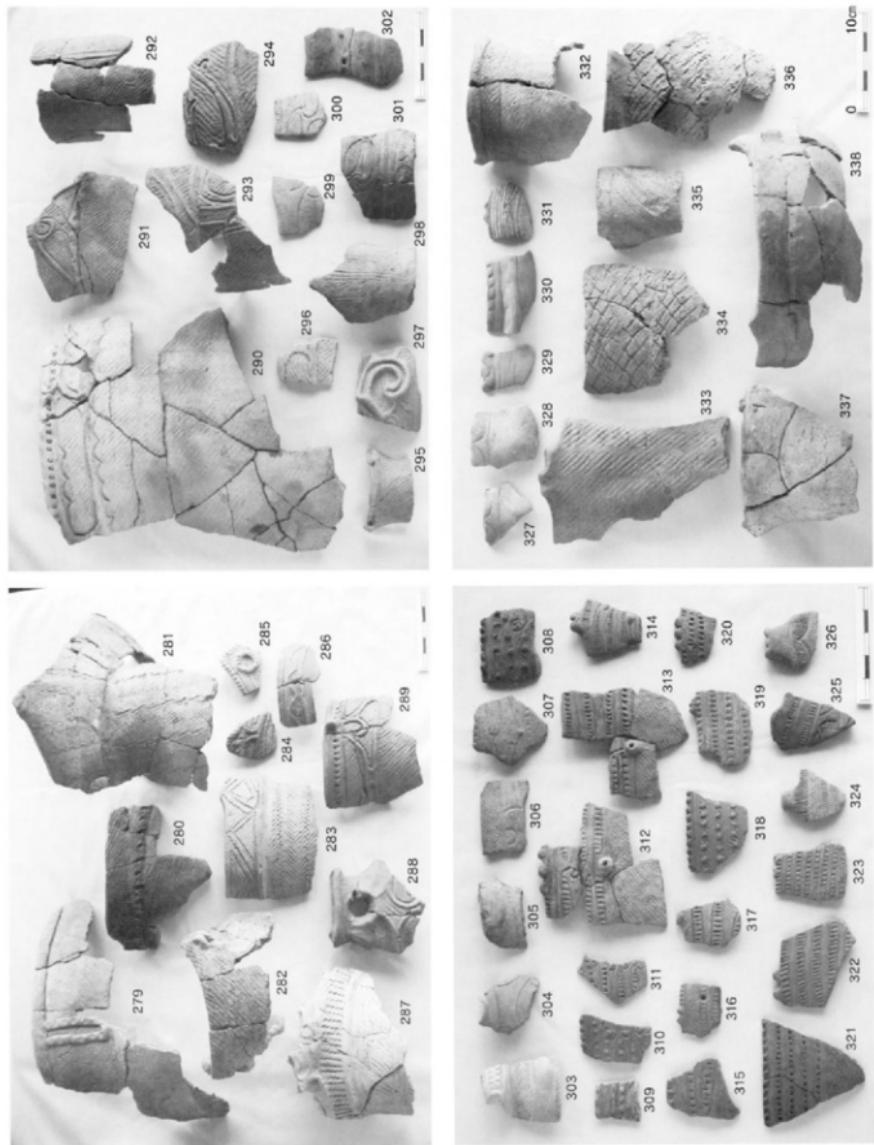
写真図版 15 遺構外出土土器



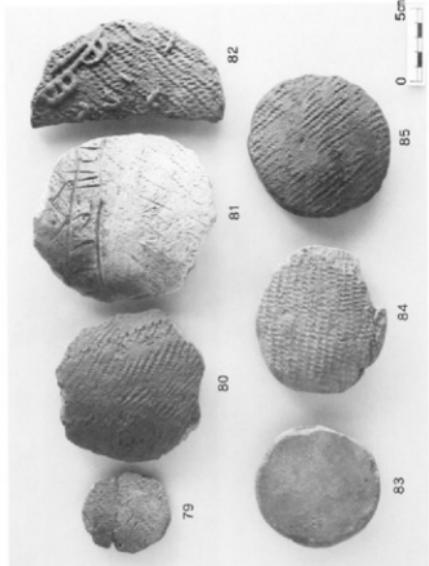
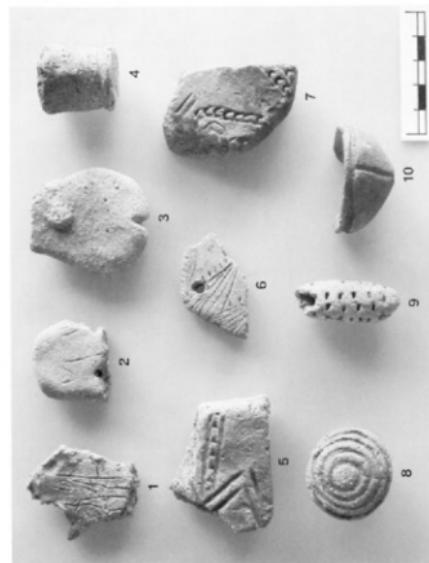
写真図版 16 遺構外出土土器



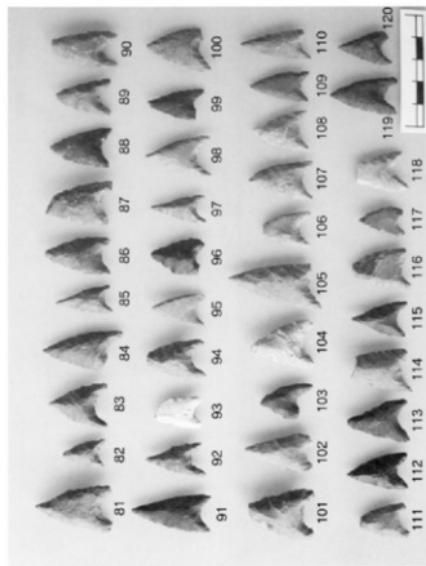
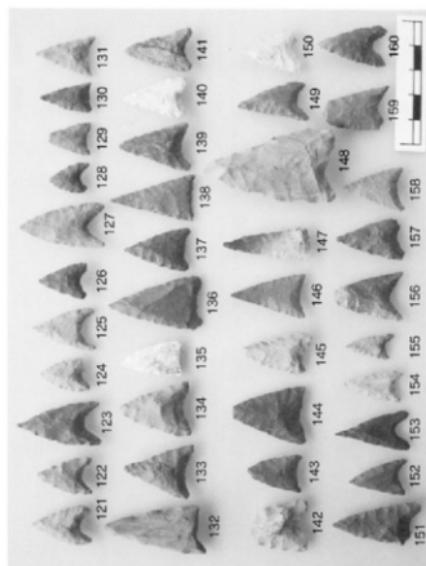
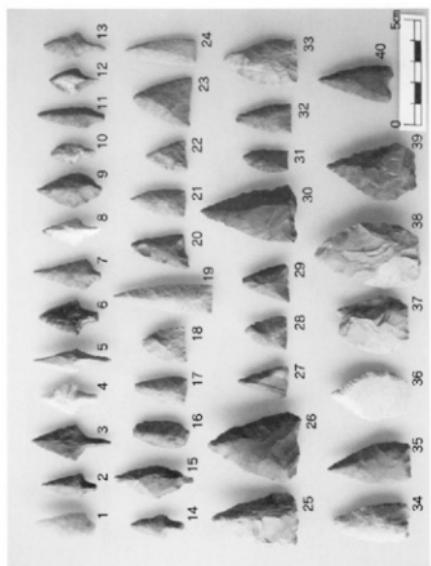
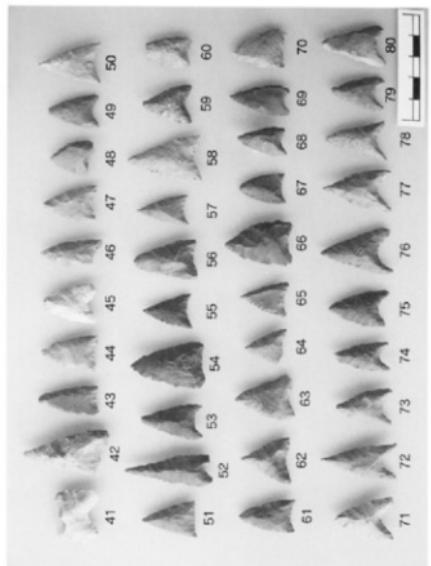
写真図版 17 遺構外出土土器



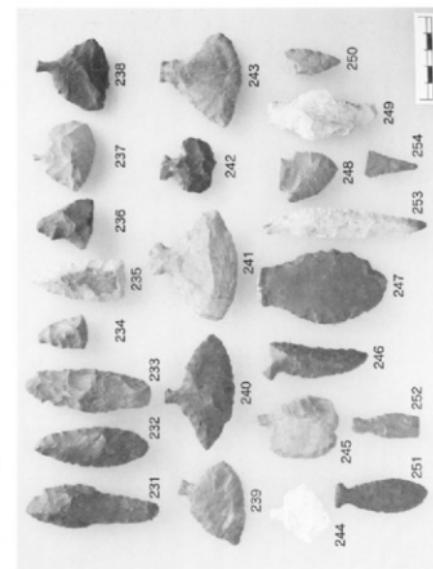
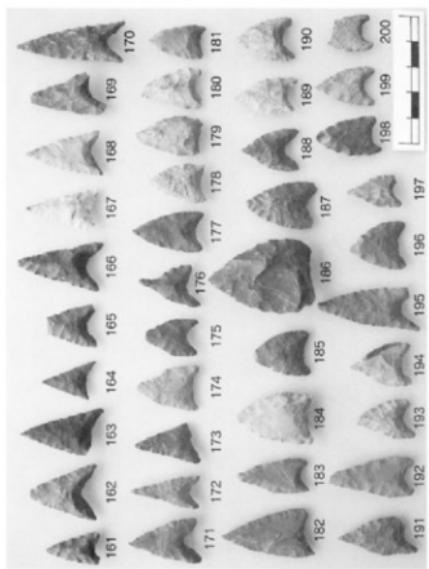
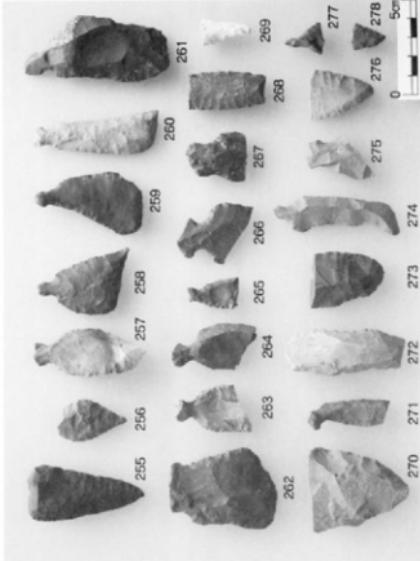
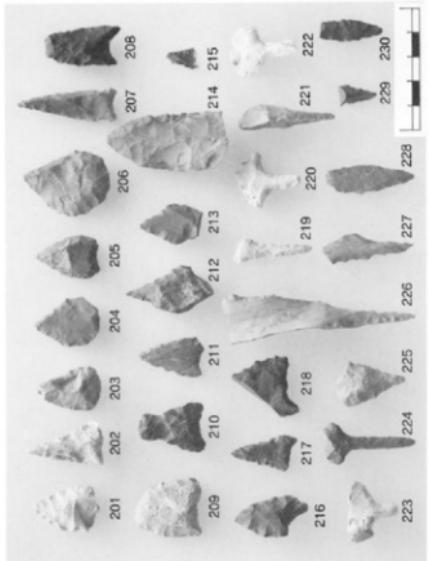
写真図版 18 遺構外出土土器



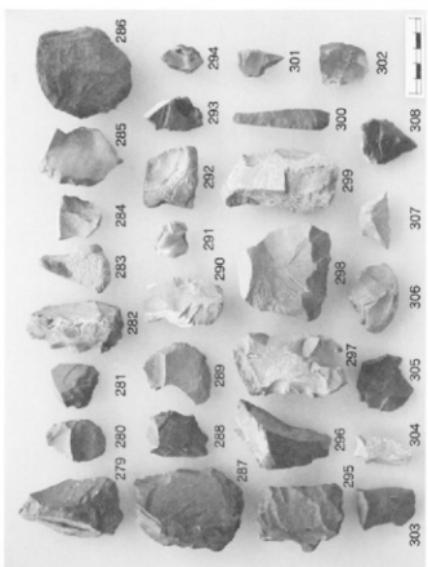
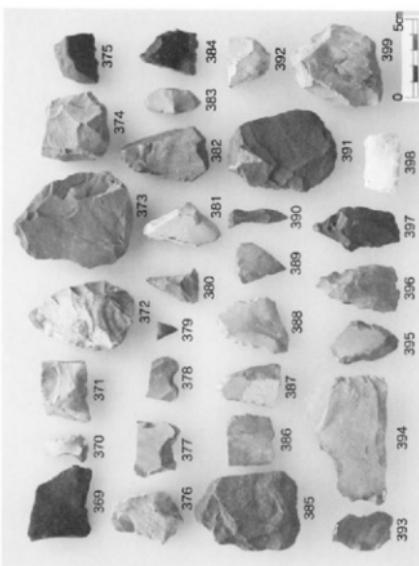
写真図版 19 土製品



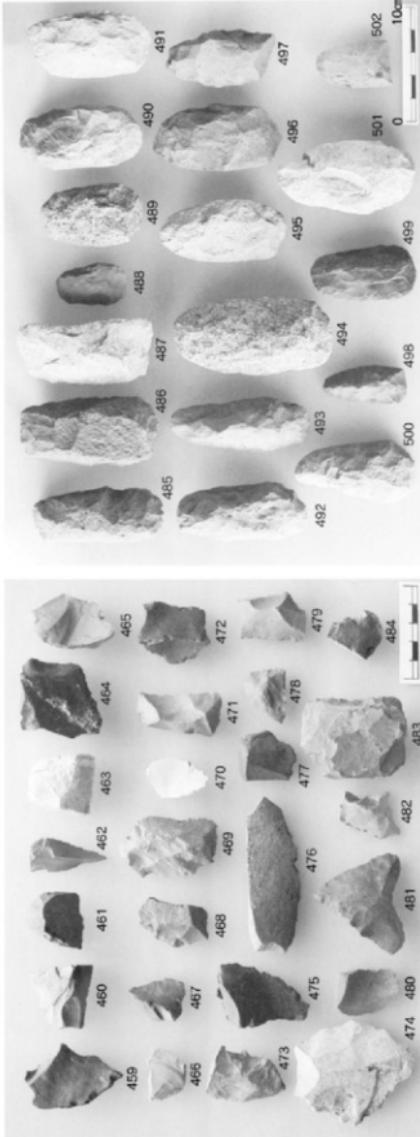
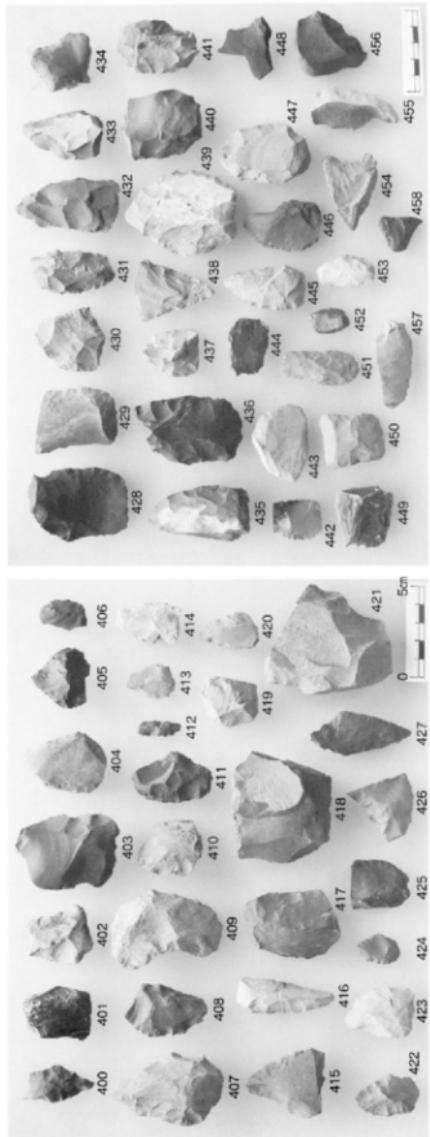
写真図版 20 石器



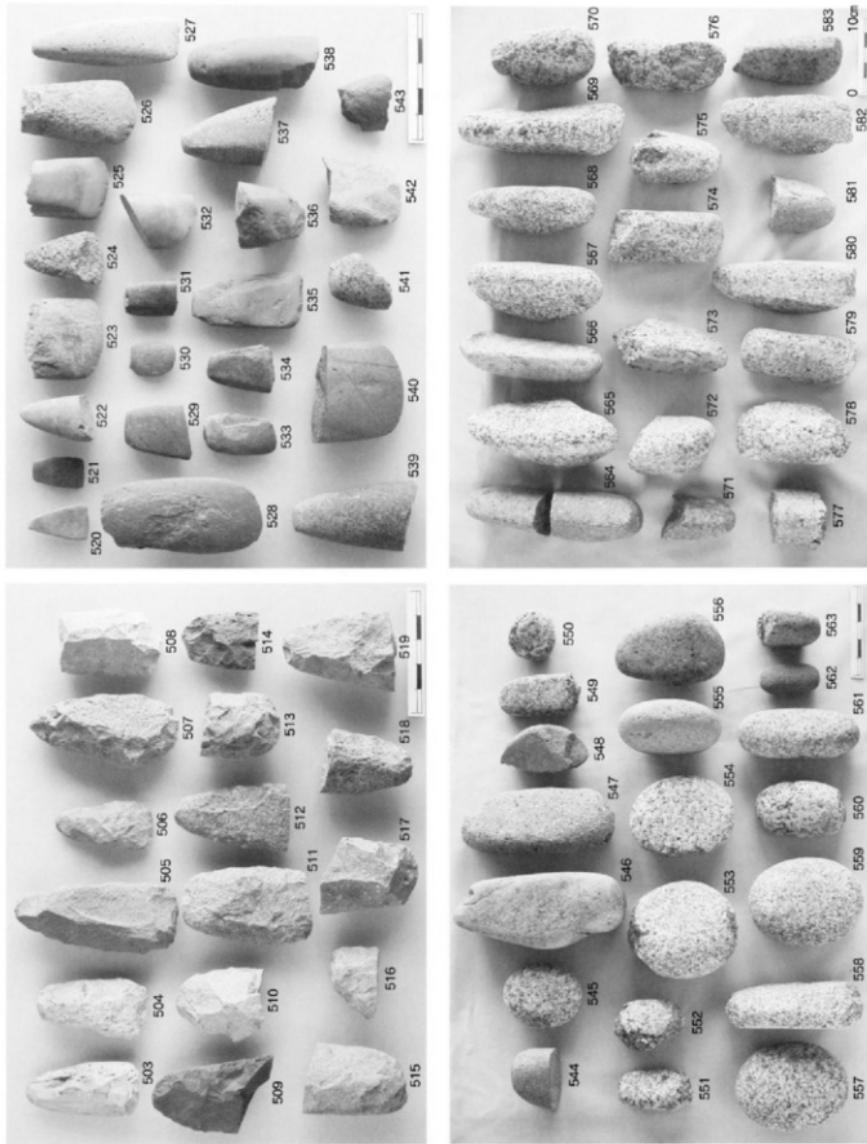
写真図版 21 石器



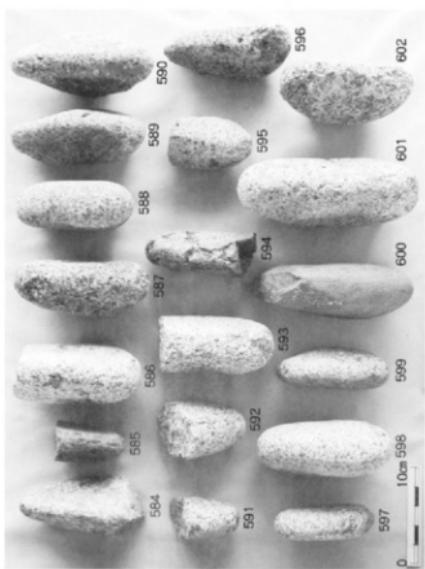
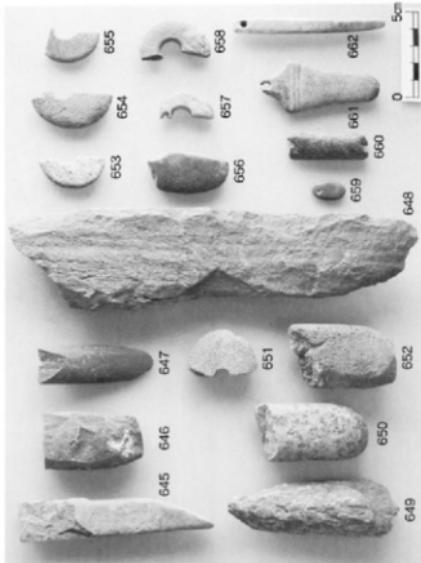
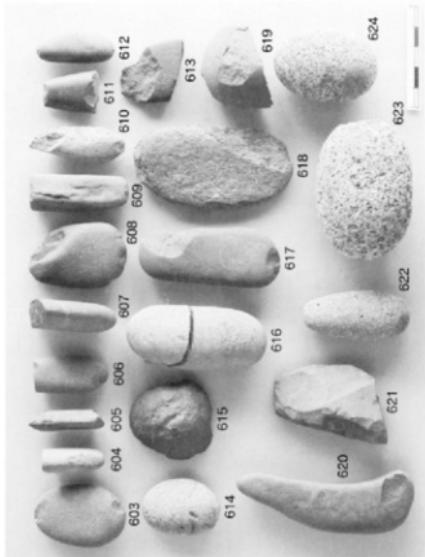
写真図版 22 石器



写真図版 23 石器



写真図版 24 石器



写真図版 25 石器

報告書抄録

ふりがな	そでのいちいせき							
書名	袖野Ⅰ遺跡							
副書名	陸前高田市内遺跡発掘調査報告書							
巻次								
シリーズ名	陸前高田市文化財調査報告書							
シリーズ番号	第28集							
編著者名	佐藤正彦 遠藤優子							
編集機関	陸前高田市教育委員会（担当：陸前高田市教育委員会事務局生涯学習課）							
所在地	029-2292 岩手県陸前高田市高田町字館の沖110 TEL 0192-54-2111							
発行年月日	西暦2010年3月23日							
ふりがな 所収遺跡名	ふりがな 所在地	コード		北緯	東経	調査期間	調査面積m ²	調査原因
		市町村	遺跡番号					
袖野Ⅰ遺跡	岩手県 陸前高田市 高田町 字袖野	03210	NF78- 2239	38度 58分 41秒	141度 41分 45秒	20030801 ~ 20031030	176m ²	宅地造成 による
所収遺跡名	種別	主な時代	主な遺構		主な遺物			特記事項
袖野Ⅰ遺跡	散布地	縄文時代 前期～中期	土坑 焼土遺構 埋設土器	5基 2基 1基	縄文土器（前～中期） 土製品 土偶 石器 けつ状耳飾り 石製垂飾品			

(陸前高田市文化財調査報告書第28集)

袖野 I 遺跡

発行日 2010年3月23日

編集・発行 陸前高田市教育委員会

岩手県陸前高田市高田町字館の沖110

TEL 0192(54)2111

印 刷 タクミ印刷(有)

岩手県陸前高田市高田町字館の沖164

TEL 0192(55)2178